

平成4年度埋蔵文化財発掘調査報告

吉林第4遺跡Ⅱ

2002. 3

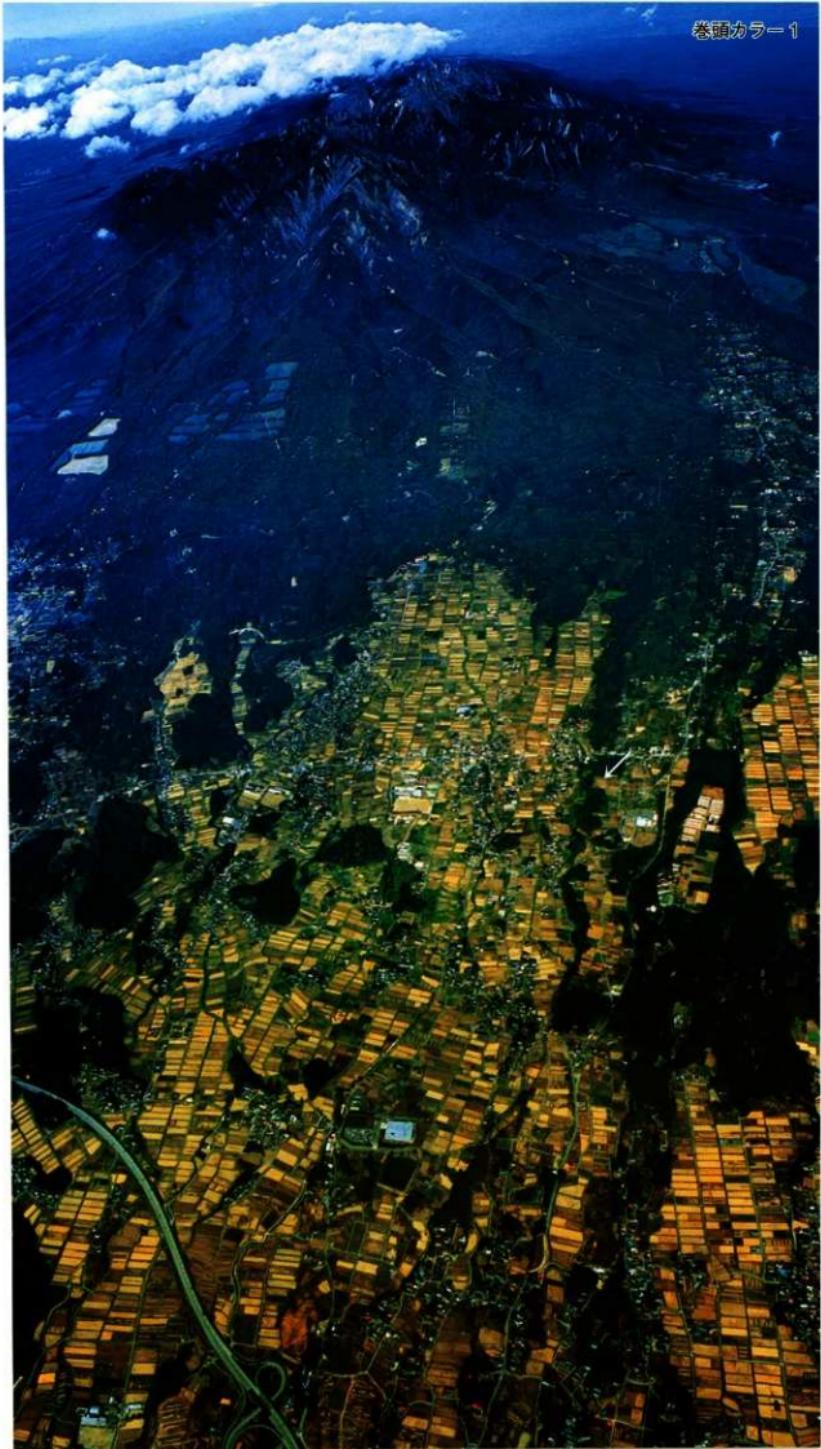
大泉村教育委員会

平成4年度埋蔵文化財発掘調査報告

吉林第4遺跡Ⅱ

2002.3

大泉村教育委員会



八ヶ岳鳥瞰
(矢印は古林第4
遺跡)



1号住居跡
出土状況



12号住居跡
出土状況



09001



14008



05001



15018

例　　言

1. 本書は平成4年度県営圃場整備事業に伴う古林第4遺跡の報告で、平成10年度発行の『古林第4遺跡Ⅰ（石器編）』で報告した部分を除く全ての報告である。なお、遺構出土の石器については図面のみを縮小して再録した。観察所見等は前報告を参照願いたい。
2. 本書所収の遺構図のトレース、製版、図集は（有）アルケーリサーチに委託し、計測、事実記載の一部及び本書全体の図集を同じく（有）アルケーリサーチに委託している。また、遺物の実測用写真、報告用スナップ及び展開写真撮影を小川忠博氏に委託し、遺物尖端の一部を（株）アルカに委託している。その他遺物の実測を山下及び伊藤が、03054、0054を除く土偶についても鶴原功一氏が作図したものを伊藤がトレースし、遺物写真撮影の一部を渡邊が担当した。
3. 本書の図集は伊藤が担当した。
4. 本報告整理作業に山下大輔（信州大学卒）が参加している。
5. その他については『古林第4遺跡Ⅰ』を参照のこと。

凡　　例

1. 遺構の名称は調査時のものをそのまま使用している。
2. 遺構・遺物の縮尺は以下のとおりである。
住居跡 - 1/60 炉 - 1/30 土坑 - 1/30 墓 - 1/100
遺物実測図 繩文土器 - 1/4 繩文土器拓影 - 1/2、1/4 土製品 - 1/2
上記以外のもの、特殊なものについてはその都度縮尺を表記した。
3. 遺構断面図中の基準線脇の数字は標高を表し、特に指示のないものは同一図版中では同一の標高であることを示している。
4. 遺構平面図中の網がけは被熱変形部分を表す。
5. 土層注記の色調は黒みの強いものから黒色→黒褐色→暗褐色→褐色→暗黃褐色→黃褐色を用いた。
6. 繩文土器実測図中の網がけは胎上に繊維を含むことを表している。
7. 遺物図版中○-○Gと表記したものは出土グリッドを表す。
8. その他必要に応じてそれぞれ表記しておいた。

目 次

目 次

例 言	
凡 例	
1 調査の概要	1
2 遺構と遺物	8
遺構観察所見	8
住居跡	8
土 坑	13
溝状遺構	22
堅穴状遺構	22
遺構挿図	23
住居跡	23
土 坑	80
溝状遺構	117
堅穴状遺構	122
遺物挿図	123
遺構外出土縄文時代遺物	123
住居跡出土遺物	124
土坑・遺構外出土遺物	217
近世遺物	230
遺構別石器組成表	231
時期別遺構分布図	232
3 調査の成果と課題	235
参考文献	239
写真図版	

1 調査の概要

古林第4遺跡の調査の概要については『古林第4遺跡I（石器編）』（以下『石器編』という。）⁽¹⁾において述べたところであるが、そこに述べたのは発掘調査時の所見を中心としたもので、その後の一連の整理作業により若干の修正を要する部分が生じている。

まず調査時には気が付かなかったが『石器編』において報告したとおり、村内で初めて旧石器時代の遺物が得られているほか、縄文時代前期前葉、後葉の遺物の存在が明らかになっている。これらは遺構に伴うものではなかったが、当時の人々をまさしく跡付けるものとして注目される。これらの遺物は第130図に示しておいたが、0001～0010までが前期前葉のものであり0011～0013は前期後葉の遺物である。

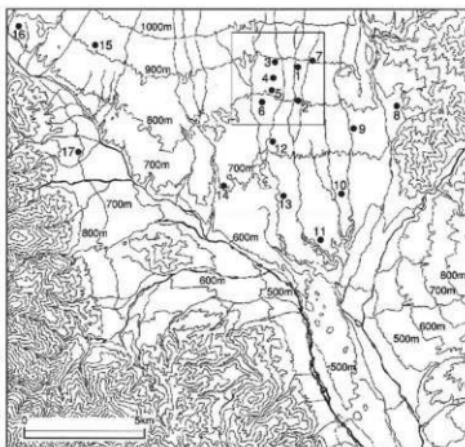
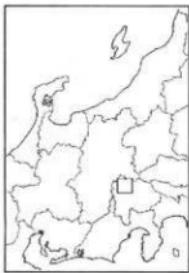
0001～0009は土器胎土に繊維を含むもので、0010は胎土に繊維が確認されなかった。0001は口縁部の資料で、無文。0006、0007は半節縄文の施文が見られる。0008は条痕の施文が見られる。0011は半節LRを地文としその上に沈線文を施す。口縁部の突起は剥落している。0012は沈線文系のもので、0013は結節沈線文。

中期中葉の集落は『石器編』で触れたとおり、環状もしくは馬蹄形状の集落と判断されるもので、土坑については覆土の残りに良好なものはないものの遺物の出土状況等から墓坑と判断されるものを含み、集落の纏まりがモデル的に捉えられる。これらの時期的変遷については『石器編』で既に触れたところであるが、その後の資料整理により若干の修正を加えておきたい。

『石器編』では中期中葉の遺物を6時期に細分しているが、その内容、概念的なものに大きな変更はないが細部において見直しが必要と考えている。例えば、『石器編』においてⅠ期としたものの細分の可能性を指摘しておいたが、現在では別校⁽²⁾で分析したとおり2段階に細別できるものと考えている。即ち『石器編』でⅠ期として5、8、12号住居跡を挙げておいたが、このうち12号住居跡を古い段階に位置付けておきたい。また、6、7、10号住居跡についてはその後の整理作業によりⅣ期としたものを主な出土遺物からⅡ期に組み入れたい。既にこの集落の変遷については『石器編』以外に『山梨県史』⁽³⁾においても紹介されている。混乱を来たした部分については深謝し、訂正を請うものである。なお、出土遺物から同一時期と判断される遺構間でも近接すぎていて同時存在し得ないものとしてⅡ期の9、16号住居跡が挙げられるが、ここでは後に記載のとおり09040の接合関係から9号住居跡の埋没が先行するものと判断している。更にⅣ期としたものの時間幅の問題が挙げられる。『石器編』で提示したにも前後の時期の混在が見られるが、曾利Ⅰ式と共にしない井戸式の新しい部分を念頭に置いた時間幅で設定したものである。今後、更に遺物の縦年研究、あるいは遺構間接合関係の分析等を通して集落分析の深化を図る必要を感じている。

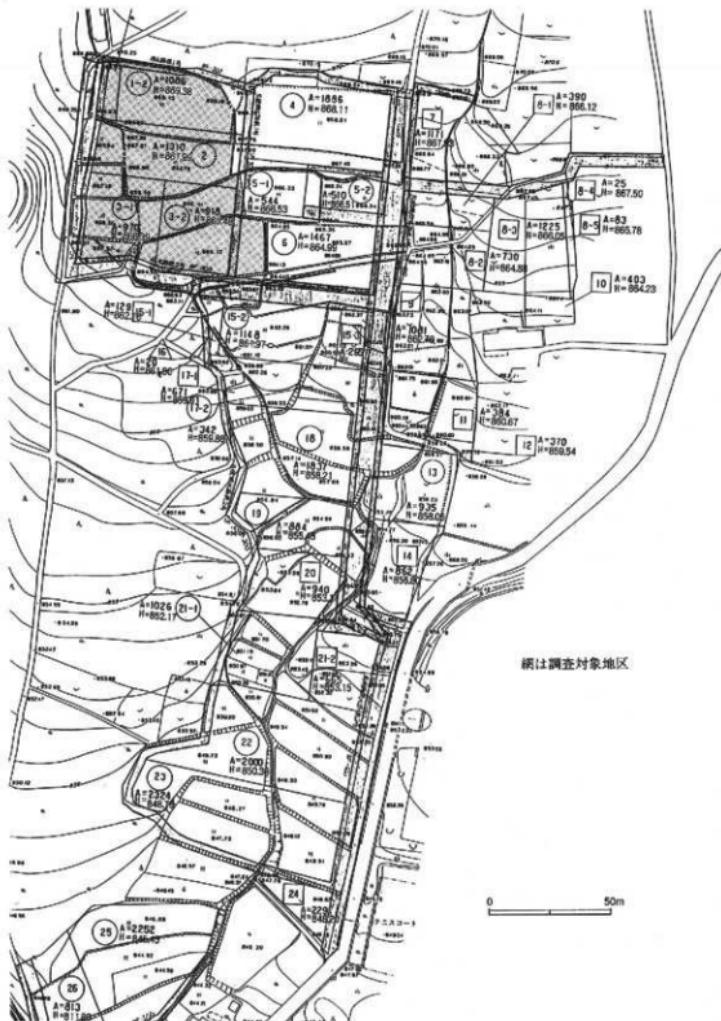
中期後葉の遺構は十坑のみが単独で検出されている。これらの土坑は遺物の出土状況等より土坑墓と考えられるが、墓域のみを集落（居住）域から離れて形成する例は村内では甲ツ原遺跡第5地点でも確認され、時期的にも同時期の中葉終末に該当している。今後注目していく必要があろう。

中近世の集落はE～H～7～9グリッドを中心に展開しているが、石組み井戸がD・E～5グリッドから検出されていることや、明らかに縄文時代以降の十坑が他の地点から検出されていることから更に同時期の遺構が広がりを見せる可能性が高い。ただし、遺物の含まれた十坑はほとんどないことから、その帰属を明らかにすることは困難である。

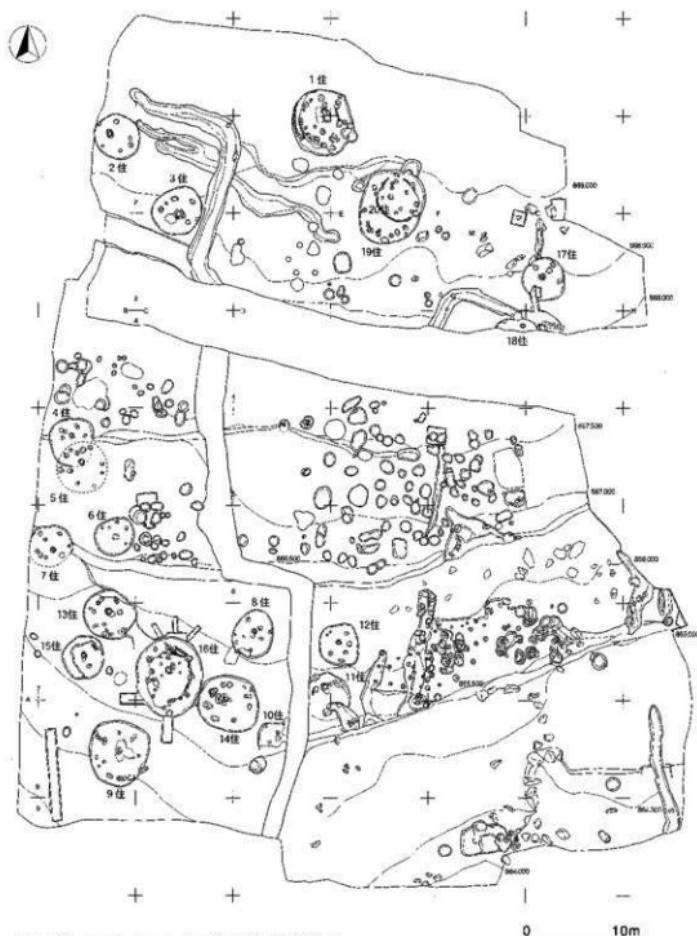


第1図 周辺の地形と遺跡の分布

- (1) 大泉村教育委員会 1999 「古林第4遺跡I (石器編)」大泉村埋蔵文化財調査報告書第12集
- (2) 伊藤公明 2001 「寺所第2遺跡T地区37号住居跡出土の遺物について」『八ヶ岳考古—平成12年度年報—』
北巨摩市町村文化財担当者会
- (3) 植原巧一 1999 「第3章 2 繩文時代の住居と集落」『山梨県史 資料編2 原始古代2』 山梨県



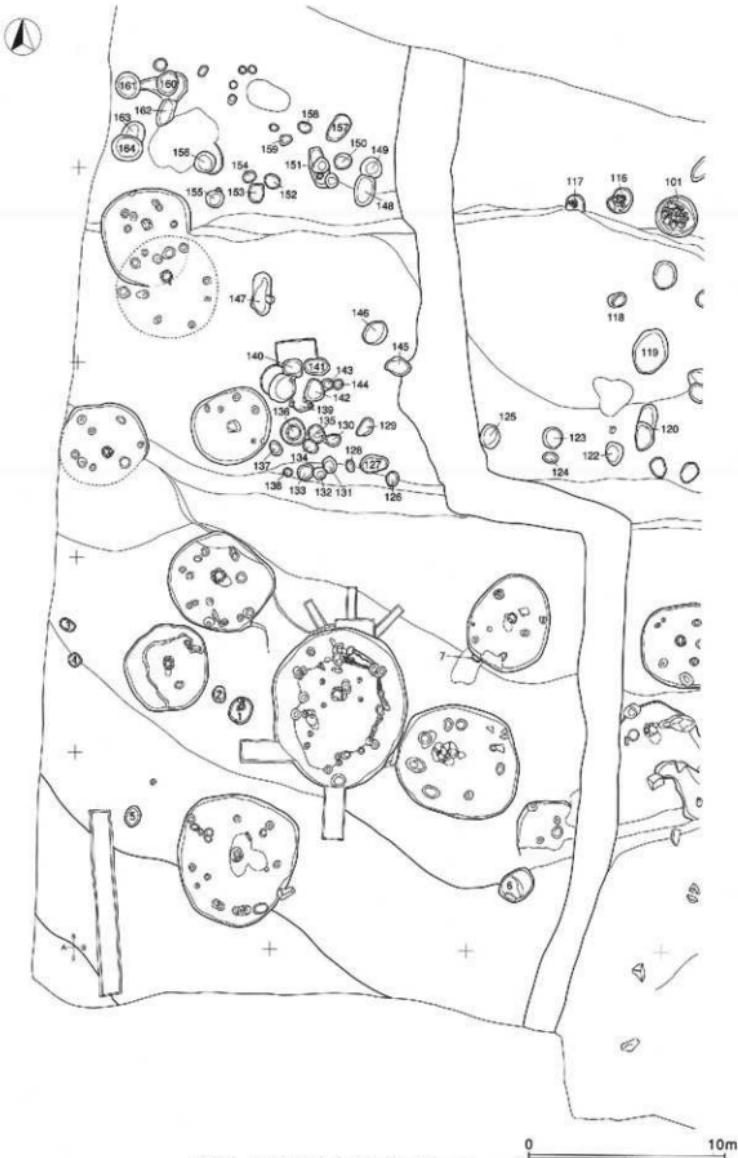
第2図 調査対象地区と施工計画図 (S = 1/2,000)



第3図 調査全体図 (S = 1/500)



第4図 土壌分布図1(調査区北部) (S=1/250)



第5図 土坑分布図2 (調査区南西部) (S=1/250)



第6図 土坑分布図3 (調査区南東部) (S = 1/250)

2 遺構と遺物

遺構観察所見

住居跡

1号住居跡

位置 D・E-1・2グリッド。調査区内最北に位置する。南東4mに19号住居跡が存在する。形態 楕円形 規模 長軸6.90m、短軸6.06mを測る。壁高は18~24cmを測る。主軸 N-15°-W 床面 斜面に沿って北東から南西に穢やかに傾斜する。周溝 内側住居壁及び住居北側に部分的にみられる。炉 住居中央部よりやや北側に偏して110×75cm、深さ24cmを測る石窓いが検出された。炉石は扁平な幅広の礫が使用されている。柱穴 21本検出されている。その他の遺構 住居南西部に地山造り出しによりベッド状遺構を構築する。また、住居北東部に一部柱穴間を結ぶ溝が検出されている。遺物出土状況 住居中央やや南側に偏して覆土中にレンズ状に多量の遺物が出土。01006、01013は2号住居跡と、01001、01003、01008、01017は19号住居跡と接合関係を持つ。また、住居南側出土の石柱はベッド状遺構底上、01018は住居西側床底出土。

2号住居跡

位置 B・C-2グリッド。南東5.3mに3号住居跡が存在する。形態 ほぼ円形 規模 長軸5.16m、短軸4.38mを測る。壁高は9~12cmを測る。主軸 N-5°-W 床面 細やかな斜面に沿って北東から南西に穢やかに傾斜する。周溝 なし。炉 住居西側に偏して87×75cm、深さ28.5cmを測る石窓いが検出された。炉石は25~30cm前後の均一的な礫で、方形に配置されている。柱穴 6本検出されている。遺物出土状況 住居中央~西側に偏して覆土中から多量の遺物が出土。先述の1号住居跡との接合関係の他、02018が1号住居跡と、02021が3号住居跡と接合関係を持つ。また、住居南東部床底から無頭の石棒が出土している他、ヒスイ製の石笛（？）が住居跡北東部、床面より若干浮いて出土している。

3号住居跡

位置 C-2・3グリッド。北西5.3mに2号住居跡が存在する。形態 楕円の長軸の一部がやや突出した形のプラン 規模 長軸5.28m、短軸4.68mを測る。壁高は15~30cmを測る。主軸 N-86°-E 床面 斜面に沿って北から南に傾斜する。周溝 なし。炉 住居ほぼ中央部に114×96cm、深さ15cmを測る方形の石窓いが検出された。北側は一部のみ石が残っている。他三方は60~40cm前後の石柱状の巨礫が配置されている。柱穴 6本検出されている。この内ビット5、6は遺物出土状況より貯蔵穴状の機能が想定されようか。位置関係から南東部で掘り足らずか。遺物出土状況 住居東側から西側へ流れ込むような形で多量の遺物が出土。03013はビット3、4、5、炉内、覆土中から出土したものが接合。03004、03054は遺構外か。

4号住居跡

位置 B-5グリッド。南東部で5号住居跡を切っている。形態 住居東南部を削平されているため詳細

は不明であるが、残存部から考えて楕円形のプランを呈するものであろう。 規模 長軸 4.98m、短軸 4.38m を測る。壁高は 24cm を測る。 主軸 N-5°-W 床面 斜面に沿って北から南に穂やかに傾斜する。

周溝 なし。 炉 住居北側に偏して 57×54cm、深さ 10.5cm を測る方形の石囲いが検出された。幅広の扁平な疊が東西のが石となっている。北側の炉石は残っていない。 柱穴 7 本検出されている。 遺物出土状況 住居跡北側から南側へ流れ込むように遺物が出土。

5号住居跡

位置 B-5 グリッド。北西部を 4 号住居跡により切られている。南東 3.2m に 6 号住居跡が存在する。

形態 住居全城を削平されているため詳細は不明であるが、ピットの配列や炉跡の位置から考えてほぼ円形のプランであろうと想定される。 規模 現存部で長軸 5.22m、短軸 5.16m を測る。壁はほとんど残存していない。 主軸 N-64°-E 周溝 不明。 炉 住居推定中央部よりやや北側に偏して 57×57cm、深さ 75cm を測る石囲いが検出された。南西隅は長さ 26cm と 31cm の細長状の礫により正角が形成されているが、他は弧を描くように小ぶりの礫が配置されている。 柱穴 9 本検出されている。この内、ピット 5 を入り口施設と仮定すると 5 本+柱穴で住居主軸、入口方向、炉正面観がほぼ一致する形態となるが、樅土の状況や掘上がりの形状、規模から他の主柱穴としたものと隔たりはない。ここでは 6 本主柱穴の構造を想定したい。 遺物出土状況 住居跡推定プランの南側に偏して出土。05003 は遺構外か。

6号住居跡

位置 B-6 グリッド。北西 3.2m に 5 号住居跡、西 2.1m に 7 号住居跡、南 3.4m に 13 号住居跡が存在する。 形態 北東部が扁平な円形 規模 長軸 4.02m、短軸 3.78m を測る。壁高は 12~18cm を測る。

主軸 N-87°-E 床面 斜面に沿って北から南に穂やかに傾斜する。炉を挟み南北で高低差がある。

周溝 なし。 炉 住居中央部に 73×63cm、深さ 10cm を測る炉が検出された。堀方の觀察から地床炉と判断される。 柱穴 5 本検出されている。 遺物出土状況 住居跡中央、覆土下層を中心に遺物が分布。06007 は 16 号住居跡と接合関係を有する。

7号住居跡

位置 A-B-6 グリッド。東 2.1m に 6 号住居跡、南東 4.8m に 13 号住居跡が存在する。 形態 住居南北半分を削平されており詳細は不明であるが、ピットの配列や炉跡の位置から考えてほぼ円形のプランが想定される。 規模 現存部で長軸 4.32m、短軸 3.99m を測る。壁高は 18cm を測る。 主軸 N-90°-E 周溝 なし。 炉 住居南東側に偏して 57×51cm、深さ 10.5cm を測る方形の石囲いが検出された。

柱穴 7 本検出されている。 遺物出土状況 住居跡北側から南側への遺物の流れ込みが想定される。

8号住居跡

位置 D-7 グリッド。南西 3.6m に 16 号住居跡、南 2.3m に 14 号住居跡、東 4.8m に 12 号住居跡が存在する。 形態 楕円形の長軸側の一部がやや突出したプラン。住居南側プラン内に地山の巨礫が露出している。 規模 長軸 4.80m、短軸 4.02m を測る。壁高は 18 cm を測る。 主軸 N-27°-E 床面 細やかな斜面に沿って北から南に穂やかに傾斜する。住居跡中央部が若干低くなる。 周溝 なし。 炉 住居中央部よりやや北側に偏して 51×45cm、深さ 9 cm を測る石囲いが検出された。東側では炉石の代わりに

土器片が炉壁に沿って見つかっている。北側は石が残っていない。柱穴 4 本検出されている。遺物出土状況 住居中央、覆土中位に遺物が集中。

9号住居跡

位置 B・C-8 グリッド。調査区最南端に位置する住居跡であり、北西 4.6 m に 15 号住居跡、北東 2.1 m に 16 号住居跡が存在する。形態 不整円形 規模 長軸 6.78 m、短軸 6.06 m を測る。壁高は 24~48 cm を測る。主軸 N-3°-W 床面 北壁から炉までは穏やかに傾斜して下り、炉以南ではほぼ水平に構築されている。周溝 なし。炉 住居は中央部に 69×60 cm、深さ 12 cm を測る炉が検出された。本来掘方の形状から石囲い炉と考えられるが炉石は北側に 18 cm 前後の石が残るのみで、他は抜き取られている。炉掘方全面が被熱赤変する他、炉周辺に大きく地床が状に地山の被熱赤変部分が広がる。柱穴 15 本検出されている。放射状に分布する部分があることから、住居の拡張が行われたものと判断される。遺物出土状況 住居中央、覆土中位から多量の遺物が出土。総出土量は整理箱で 5 箱程度であった。09009, 09010, 09040 が 16 号住居跡と接合関係を有する。この内 09040 の土偶は頭部のみこの住居跡から出土し、体部が 16 号住居跡から出土している。この頭部が 9 号住居跡南壁近く、住居埋没の 1 次堆積層と考えられる三角形の土層中からの出土であるのに対し、体部は 16 号住居跡の覆土中位からの出土であることからこの住居に帰属させた。また、住居北東部床直から石柱が出土している。

10号住居跡

位置 D-8 グリッド。北西 0.8 m に 14 号住居跡、北東 2.7 m に 11 号住居跡が存在する。形態 東・南側を削平されているため詳細は不明である。規模 現存部で長軸 2.94 m、短軸 2.46 m を測る。壁はほとんど残存していない。主軸 不明。床面 斜面に沿って北から南に傾斜する。周溝 なし。遺物出土状況 住居中央部から出土。

11号住居跡

位置 D-E-7・8 グリッド。南西 2.7 m に 10 号住居跡、北 0.8 m に 12 号住居跡が存在する。形態 西・南側を若干削平されているが、残存部の形状から考えてほぼ円形のプランが想定されよう。南東部は 4 号溝により切られている。規模 現存部で長軸 4.74 m、短軸 4.68 m を測る。壁高は 3 cm を測る。主軸 N-30°-W 床面 斜面に沿って北から南に穏やかに傾斜する。周溝 なし。炉 住居北側に偏して 63×60 cm、深さ 15 cm を測る方形の石囲い炉が検出された。炉石は北と西側で残っている。北側はか石として有頭石棒が利用されている。炉南側に地床炉状の地山被熱赤変部が広がる。柱穴 4 本検出されている。遺物出土状況 住居北西部床直から石柱出土している他、11001 が炉東側床直から出土。

12号住居跡

位置 D-E-7 グリッド。西 4.8 m に 8 号住居跡、南 0.8 m に 11 号住居跡が存在する。形態 一隅が丸みの強い隅丸方形のプラン 規模 長軸 4.32 m、短軸 3.96 m を測る。壁高は 12 cm を測る。主軸 N-5°-W 床面 ほぼ水平に構築される。周溝 なし。炉 住居中央部よりやや北側に偏して 54×51 cm、深さ 12 cm を測る方形の石囲い炉が検出された。炉石は細長い礫が使用されている。柱穴 7 本検出されている。この内ピット 4 は形状及び遺物出土状況から貯蔵穴としての機能が想定される。遺物出土状況

住居中央、覆土中～下位から集中して出土。

13号住居跡

位置 B・C-6・7グリッド。北3.4mに6号住居跡、北西4.8mに7号住居跡、南西0.25mに15号住居跡、南東2.5mに16号住居跡が存在する。形態 円形の北東部が突出したプラン 規模 長軸5.10m、短軸4.86mを測る。壁高は12～18cmを測る。主軸 N-36°-W 床面 細やかな斜面に沿って北から南に傾やかに傾斜する。周溝なし。炉 住居中央部よりやや北側に偏して84×78cm、深さ15cmを測る方形の石囲い炉が検出された。内側は細長い形状の櫛で畳み、その外側に20cm～拳大の砾を配している。また、南東部に接して地床炉状の地山赤変部が広がる。柱穴 14本検出されている。遺物出土状況 住居跡中央、覆土下層から集中して遺物が出土。

14号住居跡

位置 C・D-7・8グリッド。北2.3mに8号住居跡、西に近接して16号住居跡、南東0.8mに10号住居跡が存在する。形態 円形の南東側が張り出した形のプラン 規模 長軸6.42m、短軸5.82mを測る。壁高は12～36cmを測る。主軸 N-55°-W 床面 ほぼ水平に構築される。周溝なし。炉 住居中央部よりやや北西側に偏して72×66cm、深さ15cmを測る方形の石囲い炉が検出された。炉石は扁平で幅広の砾が使われている。炉の東側に接して地床炉状の浅い掘り込みが存在する。砾の改変によるものと考えられる。柱穴 8本検出されている。遺物出土状況 住居プラン外縁部からの出土が多く、他の住居跡の遺物出土状況とは大きく異なる。14008は住居奥壁寄りから完形で正位で出土。床直に置かれた石の上に置かれた状況か。特記事項 炭化材や焼土の分布から焼失家屋の可能性あり。覆土地積、遺物出土状況も他の住居跡とは異なり、いわゆる吹上バターンとは考えられない。また、出土器中二次焼成を受けているものが目立つ。当時の日常の土器の管理状況を考える時、示唆的である。

15号住居跡

位置 B-7グリッド。北東0.25mに13号住居跡、東3.6mに16号住居跡、南東4.6mに9号住居跡が存在する。形態 不整円形 規模 長軸4.44m、短軸4.14mを測る。壁高は12～24cmを測る。主軸 N-6°-W 床面 ほぼ水平に構築されるが、北～西壁に沿って造り出しによるテラスが存在し段差を生じさせている。1号住居跡と同様、ベッド状の遺構と判断したい。周溝なし。炉 住居ほぼ中央部に66×51cm、深さ18cmを測る石囲い炉が検出された。柱穴 2本検出されている。遺物出土状況 住居中央、覆土中位からの出土が多い。また、住居北東部床直から石柱が出土している他、15003は住居南東部壁際からほぼ完形で床直から出土している。また、15021は炉の南西部床直からの出土である。15018は破片となって覆土中の出土。

16号住居跡

位置 C-7・8グリッド。北西2.5mに13号住居跡、西3.6mに15号住居跡、南西2.1mに9号住居跡、南西に近接して14号住居跡、北東3.6mに8号住居跡が存在する。形態 楕円形 規模 長軸8.16m、短軸6.60mを測る。壁高は24～42cmを測る。調査区内最大の規模をなす。主軸 N-0°-W 床面 ほぼ水平に構築される。周溝なし。炉 住居中央部よりやや北側に偏して81×73.5cm、深さ15cmを測

る方形の石圓いがが検出された。この炉を一部壊す形で柱穴状のピットが存在するが、この住居に伴うものか不明。また、この炉の周間に左右対称の位置に小ピットが4本検出されている。炉に伴う何らかの施設であろうか。柱穴 19本を調査時に認識していたが、完掘状態で32本存在していた。規模、配置にバラつきが見られ、改修等も想定されるが、概ね8本主柱穴と2本の出入り施設として捉えられようか。その他の施設 住居址北側から東南側に柱穴間を結ぶ間仕切状の溝がみられる。北側では小規模の1本を含め3本並行して確認されている。また溝は掘られていないが、これと連結して間仕切状の段差が企図する。遺物出土状況 住居中央、覆土上～中位から多量の遺物が出土。総出土量は整理箱10箱程度で、本集落跡中最多の出土量である。16023が14号住居跡と、16043、16051が15号住居跡と、16076が3号住居跡と接合関係、もしくは同一個体群が出土している。09040の出土状況については前述。

17号住居跡

位置 F・G-3グリッド。南西2.1mに18号住居跡、北西12mに19号住居跡が存在する。形態 ほぼ円形。南東側を10号溝に切られている。規模 長軸4.38m、短軸4.35mを測る。壁高は15～18cmを測る。主軸 N-12°-W 床面 北から南に若干傾斜する。周溝なし。炉 住居ほぼ中央部に78×67.5cm、深さ18cmを測る石圓い炉が検出された。柱穴 4本検出されている。遺物出土状況 床面～覆土下層を中心に遺物が分布。

18号住居跡

位置 F・G-4グリッド。北東2.1mに17号住居跡が存在する。形態 北側を除いて削平されているため詳細は不明である。規模 現存部で長軸5.22m、短軸1.32mを測る。壁高は6cmを測る。主軸不明。床面 残存部ではほぼ水平に構築されている。周溝 現存部では検出されていない。炉 現存部では検出されていない。柱穴 1本検出されている。遺物出土状況 18001は住居北側床面から出土。

19号住居跡

位置 E-2・3グリッド。北西4mに1号住居跡、南東12mに17号住居跡が存在する。19号住居跡北寄り3分の2を占めて20号住居跡が存在する。形態 桁円形 規模 長軸7.93m、短軸6.37mを測る。壁高は18～36cmを測る。主軸 N-36°-E 床面 ほぼ水平に構築される。周溝なし。炉 住居ほぼ中央部に66×45cm、深さ12cmを測る石圓い炉が検出された。北東側に露出する巨礫を炉石として利用している。他の炉石は抜き取られている。柱穴 調査時に16本を認識していたが、最終的に19本検出している。この内1、2、3、4、5、6、12、13、16が主柱穴、7は入口施設であろうか。遺物出土状況 覆土上～中位を中心に遺物が出土。1号住居跡出土遺物と接合関係を有する。

20号住居跡

位置 E-2・3グリッド。19号住居内に存在する。形態 槌張りの隅丸方形。規模 長軸4.38m、短軸4.08mを測る。壁はほとんど残存していない。主軸 N-52°-W 周溝 住居東側を除いて断続的に周溝が巡る。炉 住居中央部よりやや北側に偏して78×57cm、深さ13cmを測る方形の石圓い炉が検出された。柱穴 9本検出されている。遺物出土状況 床面を19号住居跡と共有することから炉面上の20001のみ。

土坑

調査時の混亂のため、一部欠番のものもあるが以下調査時の番号順に記述を進める。形状的に本來複数の土坑から構成されるものと想定できるものもあるが、調査時の認定に依った。また、調査区北側のD・E-2・3区を中心に主に2号溝の影響によると考えられる多數のシミ状の落ち込みが確認されているが、最終的には掘り上りの形状、遺物の出土状態から土坑の認定を行った。

1号土坑 B-7区に位置する。長軸138cm、短軸114cmの楕円形の土坑である。深さは30cmを測る。1層中より0055出土。

2号土坑 B-7区に位置する。長軸80cm、短軸66cmの不整円形のプランを呈している。深さは22cmを測る。

3号土坑 A-7区に位置する。長軸79cm、短軸56cmの楕円形のプランを呈している。深さは9cmを測る。

4号土坑 A・B-7区に位置する。径62cmのはば円形のプランを呈し、深さは11cmを測る。

5号土坑 B-5区に位置する。長軸107cm、短軸74cmの楕円形のプランを呈している。深さは33cmを測る。

6号土坑 D-8区に位置する。長軸186cm、短軸145cmの楕円形のプランの上坑である。深さは36cmを測る。底面に若干の段差がみられる。調査前に石造物が設置された付近にあり(図版2参照)、関連施設を想定して調査に当たったがその関連性については不明。

7号土坑 D-7区に位置する。長軸55cm、短軸42cm、深さ21cmを測る。南東側は巨石が土坑の一部となり、開口部と壁面の一部を形成している。8号住居跡構築以前の遺構と考えられる。

8号土坑 F-9区に位置する。長軸128cm、短軸114cmの不整楕円形のプランを呈している。深さは19cmを測る。

9号土坑 G-9区に位置する。長軸138cm、短軸68cmの不整楕円形のプランを呈している。深さは18cmを測る。底部南東隅には長さ60cmにわたり疊が露出している。

10号土坑 G・H-8区に位置する。長軸147cm、短軸141cmの楕円形のプランの土坑である。深さは34cmを測る。

11号土坑 F-7区に位置する。長軸74cm、短軸66cmの不整円形のプランを呈している。深さは36cmを測る。

12号土坑 F-7区に位置する。長軸69cm、短軸67cmの不整円形のプランを呈している。深さは81cmを測る。

13号土坑 F-7区に位置する。北側で14号土坑と複合しているが先後関係不明。長軸102cm、短軸76cmの不整楕円形のプランを呈している。深さは56cmを測る。南東部に疊(47×33cm)が露出している。

14号土坑 F-7区に位置する。南側を13号土坑と複合しているが先後関係不明。残存部で長軸51cm、短軸44cm、深さは56cmを測る。

15号土坑 F-7区に位置する。北東側を16号土坑と複合しているが先後関係不明。残存部で長軸108cm、短軸58cmを測る。

16号土坑 F-7区に位置する。南西側で15号土坑と複合しているが先後関係不明。長軸96cm、短軸71cmの楕円形のプランを呈している。楕円形の両端内側にそれぞれピットが穿たれている。

17号土坑 E-7・8区に位置する。長軸180cm、短軸151cmの不整楕円形のプランを呈している。深さは119cmを測る。壁面、底部に疊4個(長さ16~78cm)が露出している。

18号土坑 F-7区に位置する。20号土坑と複合しているが先後関係不明。残存部で長軸84cm、短軸69cm、深さは24cmを測る。

19号土坑 H-7区に位置する。長軸96cm、短軸90cmの楕円形のプランの土坑である。深さは126cmを測る。土坑底部の南側に偏して小ピットが穿たれている。

20号土坑 F-7区に位置する。北側で18号土坑と複合しているが先後関係不明。南側も21号土坑と切り合うが、先後関係は明確でない。長軸132cm、短軸114cmの楕円形のプランの土坑である。深さは63cmを測る。壁面、底面にはおよそ40~80cm大の礫5個が露出している。

21号土坑 F-7区に位置する。北側で20号土坑と接し、南側で22号土坑と切り合うが、先後関係は不明。残存部で長軸81cm、深さは60cmを測る。底面に直径35cmほどの礫が露出している。

22号土坑 F-7区に位置する。北側で21号土坑と切り合う（先後関係不明）。残存部で長軸99cm、深さは67cmを測る。65×50cmほどの礫が露出し、底面を形成している。

23号土坑 F-7区に位置する。北側で24、25号土坑と複合しているが先後関係不明。長軸135cm、短軸111cmの不整楕円形プランを呈し、深さは42cmを測る。底部北側は60×80cmほどの礫が露出して底面を形成し、全底面の半分以上を占めている。

24号土坑 F-7区に位置する。南側を23号土坑と、東側で25号土坑と切り合っている（先後関係不明）ため、残存部分はわずかである。残存部で長軸108cm、短軸48cmを測る。

25号土坑 F-7区に位置する。南側を23号土坑と、東隅部分を26号土坑と、更に西側で24号土坑と切り合うが、いずれも先後関係は不明。残存部で長軸138cm、短軸123cm、深さは30cmを測る。

26号土坑 F・G-7区に位置する。南西側で25号土坑と複合しているが先後関係は不明。形態から考えて、3基の土坑により構成されている土坑である。そのため底部には段差がみられる。長軸78cm、短軸66cmの不整形を呈し、深さは42cmを測る。

27号土坑 F・G-7区に位置する。北側で28号土坑と切り合うが、先後関係は不明。壁面はほぼ垂直に立ち上がっている。底部には27・28号土坑にわたって礫（99×54cm）が露出している。残存部で長軸96cm、短軸75cm、深さは54cmを測る。

28号土坑 F・G-7区に位置する。南側で27号土坑と切り合うが、先後関係は不明。壁面はほぼ垂直に立ち上がっている。底部には27・28号土坑にわたって礫（99×54cm）が露出している。残存部で長軸84cm、短軸75cm、深さは75cmを測る。

29号土坑 G-7区に位置する。東側で30号土坑と、北側で31号土坑と切り合うが、先後関係は不明。壁面から底部にかけて礫（66×48cm）が露出している。残存部で長軸93cm、短軸84cm、深さは72cmを測る。

30号土坑 G-7区に位置する。西側を29号、北側を31号土坑と複合しているが先後関係は不明。残存部で長軸87cm、短軸72cmを測る。

31号土坑 G-7区に位置する。西側で29号土坑と、南側で30号土坑と切り合うが、先後関係は不明。壁面に礫が露出している。

32号土坑 G-7区に位置する。北東側で44号土坑と複合しているが先後関係は不明。2基の土坑から成るものと考えられるがその先後関係は不明。北側のものが深く、深さ30cmほどの段差が確認されている。長軸57cm、短軸45cm、深さは51cmを測る。

33号土坑 欠番

34号土坑 G-7区に位置する。西側で44号土坑と切り合う（先後関係不明）。土坑内には礫が露出している。残存部で長軸99cm、短軸75cm、深さは36cmを測る。

- 35号土坑 G-7区に位置する。東側土坑外周部を36号土坑と複合しているが先後関係は不明。残存部で長軸99cm、短軸96cmのほぼ円形のプランを呈している。
- 36号土坑 G-7区に位置する。東南隅をピットと、西南で35号土坑と複合しているが先後関係は不明。底部に30cmほどにわたり縁1個が露出している。残存部で長軸120cm、短軸111cm、深さは42cmを測る。
- 37号土坑 G-7区に位置する。北側で45号土坑と複合しているが先後関係は不明。底部及び底部付近で縁5個が露出している。長軸123cm、短軸96cm、深さは117cmを測る。
- 38号土坑 F-G-7区に位置する。東側で45号土坑と複合しているが先後関係は不明。底部は、90×90cmの範囲で縁が突出しており、底面のほぼ全域を占めている。径114cmの円形を呈し、深さは51cmを測る。
- 39号土坑 G-6・7区に位置する。土坑中に多量の6~20cm大の縁がみられる集石土坑である。長軸96cm、短軸87cmの不整円形を呈し、深さは12cmを測る。
- 40号土坑 G-7区に位置する。長軸83cm、短軸46cmの不整椭円形のプランを呈し、深さは41cmを測る。底部に段差がある。
- 41号土坑 G-7区に位置する。南側で42号土坑と切り合い（先後関係不明）、42号土坑の方が浅く、41号土坑に対してテラス状を呈している。残存部で長軸111cm、短軸60cm、深さは93cmを測る。
- 42号土坑 G-7区に位置する。北側で41号土坑と切り合う（先後関係不明）。残存部で長軸105cm、短軸75cm、深さ45cmを測る。
- 43号土坑 G-7区に位置する。北東側土坑外周部にかかって縁（84×57cm）が露出している。南側に小ピット2基が穿たれている。径159cmの円形のプランを呈している。深さは24cmを測る。
- 44号土坑 G-7区に位置する。東側で34号土坑と切り合う（先後関係不明）。東南隅には直径40cmほどのピットが穿たれている。残存部で長軸148cm、短軸84cmを測る。残存底部中央部分に縁が突出している（長さ84cm、高さ42cm）。
- 45号土坑 G-7区に位置する。南、東側をそれぞれ37号、38号土坑と複合しているが先後関係は不明。底部には、表面の平坦な縁（108×51cm）が傾斜して露出している。残存部で長軸168cm、短軸129cmを測る。
- 46号土坑 F-5区に位置する。長軸75cm、短軸59cmの不整形のプランを呈している。深さは37cmを測る。2基の土坑で構成されているものと考えられ南北で底部に段差がある。
- 47号土坑 F-5区に位置する。長軸113cm、短軸68cmの不整形のプランを呈している。深さは31.5cmを測る。2基の土坑で構成されているものと考えられ南北で底部に段差がある。
- 48号土坑 F-5区に位置する。長軸82cm、短軸72cmの不整方形のプランを呈している。深さは23cmを測る。
- 49号土坑 F-5区に位置する。南側を50号土坑と複合しているが先後関係は不明。残存部で長軸95cm、短軸88cm、深さ17cmを測る。
- 50号土坑 F-5区に位置する。北側で49号土坑と複合しているが先後関係は不明。長軸95cm、短軸90cmの不整円形のプランを呈し、深さは20cmを測る。
- 51号土坑 F-5区に位置する。南西側を52号土坑と複合しているが先後関係は不明。残存部で長軸90cm、短軸45cm、深さ18cmを測る。
- 52号土坑 F-5区に位置する。北東側で51号土坑と複合しているが先後関係は不明。長軸126cm、短軸117cmの不整椭円形のプランを呈している。深さは9cmを測る。土坑東側、確認面近くより0014出土。
- 53号土坑 F-5区に位置する。南東側で62号土坑と切り合っているが、先後関係は不明。残存部で長軸

170cm、短軸151cmの不整形のプランを呈し、深さは35cmを測る。底部中央より南東に偏して小ピットが穿たれている。

54号土坑 F-5区に位置する。長軸107cm、短軸80cmの不整楕円形のプランを呈し、深さは12cmを測る。

55号土坑 F-5区に位置する。長軸118cm、短軸89cmの不整形のプランを呈し、深さは15cmを測る。

56号土坑 F-5区に位置する。南側を57号土坑と複合しているが先後関係は不明。残存部で長軸63cm、短軸51cm、深さ12cmを測る。

57号土坑 F-5区に位置する。北、南側でそれぞれ56号、58号土坑と複合しているが先後関係は不明。長軸144cm、短軸84cmの不整楕円形のプランを呈している。深さは27cmを測る。

58号土坑 F-5区に位置する。北側上坑外周部を57号土坑と複合しているが先後関係は不明。残存部で長軸99cm、短軸78cmの不整円形のプランを呈し、深さは27cmを測る。

59号土坑 F-5区に位置する。径108cmの円形のプランを呈し、深さは27cmを測る。

60号土坑 F-5区に位置する。長軸108cm、短軸72cmの楕円形のプランを呈している。深さは15cmを測る。土坑東側、覆土中位から0015出土。

61号土坑 F-5区に位置する。長軸54cm、短軸48cmの不整楕円形のプランを呈し、深さは11cmを測る。

62号土坑 F-5区に位置する。北側で53号土坑と切り合っているが、先後関係は不明。残存部で長軸99cm、短軸66cm、深さ37cmを測る。

63号土坑 F-5区に位置する。長軸68cm、短軸56cmの楕円形のプランを呈している。深さは15cmを測る。

64号土坑 F-5・6区に位置する。長軸86cm、短軸60cmの楕円形のプランを呈し、深さは7cmを測る。

65号土坑 F-5・6区に位置する。長軸210cm、短軸168cmの不整楕円形のプランを呈している。深さは35cmを測る。土坑外周部北西隅及び底部南側に長さ46~50cmほどの櫛4個が露出している。

66号土坑 F-6区に位置する。長軸174cm、短軸100cmの不整楕円形のプランを呈している。深さは11cmを測る。

67号土坑 E-5区に位置する。長軸99cm、短軸60cm、深さ6cmの不整楕円形のプランを呈している。南西側で小ピットと接している。深鉢大型破片(0018)外向を上位に出土。

68号土坑 F-5区に位置する。西側土坑外周部分を69号土坑により切られている。残存部で長軸90cm、短軸90cmの不整形のプランを呈している。深さは15cmを測る。試掘調査時に検出。深鉢(0019)が横削しで出土。耕作によりその上部を欠損するがこれ以外略定形。

69号土坑 F-5区に位置する。東側で68号土坑を切っている。長軸81cm、短軸75cm、深さ18cmを割り、円形のプランに西側が突出する形を呈している。試掘調査時に検出。

70号土坑 F-5区に位置する。東側で71号土坑と切り合うが、先後関係は不明。残存部で長軸87cm、短軸60cm、深さ15cmを測る。

71号土坑 F-5区に位置する。西側で70号土坑と切り合う。東側で9号溝外周部分に切られている。残存部で長軸108cm、短軸66cm、深さ21cmを測る。

72号土坑 E-5区に位置する。長軸99cm、短軸90cmのはば円形のプランを呈している。深さは12cmを測る。深鉢大型破片(0020)外向を上位に出土。

73号土坑 E-5区に位置する。長軸234cm、短軸117cmの不整楕円形のプランを呈している。底部は西側で最深を測り、東側へならかに傾斜している。深さは36cmを測る。

74号土坑 E-4・5区に位置する。南側土坑外周部分を75号土坑と複合しているが先後関係は不明。残

存部で長軸 99cm、短軸 63cm、深さ 15cm の楕円形のプランを呈している。

75号土坑 E - 4・5 区に位置する。北側で 74号土坑と複合しているが先後関係は不明。径 57cm、深さ 15cm の円形のプランを呈している。

76号土坑 E - 5 区に位置する。南側で 77号土坑と接している。長軸 114cm、短軸 105cm の不整円形のプランを呈している。深さは 24cm を測る。

77号土坑 E - 5 区に位置する。北及び南東側でそれぞれ 76号、78号土坑と接している。それぞれ若干の切り合い関係にある（先後関係不明）。長軸 75cm、短軸 69cm、深さ 15cm のほぼ円形のプランを呈している。

78号土坑 E - 5 区に位置する。西側で 77号土坑と接している。長軸 111cm、短軸 105cm のほぼ円形のプランを呈している。深さは 18cm を測る。

79号土坑 E - 5 区に位置する。長軸 154cm、短軸 123cm、深さ 11cm の不整楕円形のプランを呈している。

80号土坑 E - 5 区に位置する。径 81cm の円形のプランを呈している。深さは 18cm を測る。

81号土坑 E - 5 区に位置する。長軸 120cm、短軸 114cm、深さ 24cm の不整円形のプランを呈している。

82号土坑 E・F - 5 区に位置する。長軸 144cm、短軸 114cm、深さ 12cm の楕円形のプランを呈している。

83号土坑 E - 5 区に位置する。長軸 99cm、短軸 78cm の不整楕円形のプランを呈している。深さは 19cm を測る。

84号土坑 E - 5 区に位置する。長軸 120cm、短軸 78cm、深さ 7cm の不整楕円形のプランを呈している。

85号土坑 E - 5・6 区に位置する。長軸 129cm、短軸 90cm の隅丸方形のプランを呈し、深さは 18cm を測る。土坑外から北東隅土坑外周部分にかかるて地山の上面に平坦な礎が露出している。

86号土坑 E・F - 6 区に位置する。長軸 105cm、短軸 99cm の方形のプランを呈している。深さは 21cm を測る。

87号土坑 F - 5 区に位置する。長軸 62cm、短軸 60cm の不整円形のプランを呈している。

88号土坑 F - 6 区に位置する。長軸 85cm、短軸 64cm、深さ 16cm の不整形のプランを呈している。

89号土坑 F - 6 区に位置する。長軸 74cm、短軸 51cm、深さ 23cm の不整楕円形のプランを呈している。

90号土坑 E - 6 区に位置する。長軸 109cm、短軸 98cm、深さ 15cm の不整形のプランを呈している。

91号土坑 E - 6 区に位置する。径 123cm の円形のプランを呈している。深さは 15cm を測る。

92号土坑 E - 6 区に位置する。長軸 201cm、短軸 139cm のほぼ方形のプランを呈している。底部は北西から南東側に傾斜し下っている。深さは 21cm を測る。略完成上器 0021 出土。

93号土坑 E - 6 区に位置する。長軸 108cm、短軸 83cm、深さ 16cm の小整形のプランを呈している。

94号土坑 E - 5・6 区に位置する。長軸 120cm、短軸 105cm の不整円形のプランを呈している。深さは 21cm を測る。

95号土坑 E - 5 区に位置する。長軸 77cm、短軸 64cm、深さ 15cm の不整楕円形のプランを呈している。

96号土坑 E - 5 区に位置する。長軸 117cm、短軸 102cm の不整円形のプランを呈している。深さは 33cm を測る。

97号土坑 E - 5 区に位置する。南東側を 98号土坑と複合しているが先後関係は不明。残存部で長軸 231cm、短軸 138cm、深さ 24cm を測る。

98号土坑 E - 5 区に位置する。北西側で 97号土坑と複合しているが先後関係は不明。北側以外は擾乱の影響で壁面を削り取られている。残存部で長軸 130cm、短軸 114cm、深さ 18cm を測る。

99号土坑 E - 5 区に位置する。長軸 135cm、短軸 97cm の楕円形のプランを呈している。深さは 18cm

を測る。

100号土坑 E-5・6区に位置する。長軸210cm、短軸192cmの不整円形のプランを呈している。深さは6cmを測る。底面が地山よりも硬化している。馬尻状の施設であろうか。

101号土坑 D・E-5区に位置する。径212cmの円形のプランを呈している。石組井戸であることが確認されたが、石組の崩落が顕著であり、調査の安全確保ができなかつたことから途中までの調査となつた。

102号土坑 E-4・5区に位置する。長軸237cm、短軸93cmの不整楕円形のプランを呈している。深さは36cmを測る。

103号土坑 E-4・5区に位置する。長軸197cm、短軸180cm、深さ21cmの不整台形のプランを呈している。北西部壁面から底部にかけて礎（50×27cm）が露出している。

104号土坑 D・E-5区に位置する。長軸138cm、短軸117cmの楕円形のプランを呈している。深さは27cmを測る。

105号土坑 E-6区に位置する。南側を106号土坑と複合しているが先後関係は不明。残存部で長軸111cm、短軸69cm、深さ24cmを測る。

106号土坑 E-6区に位置する。北側で105号土坑と複合しているが先後関係は不明。長軸108cm、短軸99cmの不整円形を呈し、深さは33cmを測る。

107号土坑 E-6区に位置する。東側で108号土坑と切り合っているが、先後関係は不明。残存部で長軸126cm、短軸82cm、深さ30cmを測る。

108号土坑 E-6区に位置する。西側で107号土坑と切り合っているが、先後関係は不明。残存部で長軸108cm、短軸95cm、深さ34cmを測る。

109号土坑 E-6区に位置する。西側で110号土坑と切り合っている（先後関係は不明）。残存部で長軸180cm、短軸85cm、深さ46cmを測る。

110号土坑 E-6区に位置する。東側で109号土坑と切り合っている（先後関係は不明）。残存部で長軸100cm、短軸52cm、深さ29cmを測る。北側にテラスを設けている。

111号土坑 E-6区に位置する。長軸57cm、短軸44cmの不整楕円形のプランを呈し、深さ15cmを測る。

112号土坑 E-6区に位置する。南西側で113号土坑と切り合っているが、先後関係は不明。残存部で長軸104cm、短軸80cm、深さ26cmを測る。

113号土坑 E-6区に位置する。北東側で112号土坑と切り合っているが、先後関係は不明。残存部で長軸111cm、短軸98cm、深さ24cmを測る。

114号土坑 E-6区に位置する。長軸114cm、短軸79cmの楕円形のプランを呈している。深さは6cmを測る。

115号土坑 E-6区に位置する。長軸102cm、短軸84cmの不整楕円形のプランを呈している。深さは21cmを測る。

116号土坑 D-5区に位置する。長軸138cm、短軸108cm、深さ30cmを測る。西側に58×27cmを測る礎を据え、土坑中央部に多量の拳大～人頭大の礎を投入した集石土坑である。

117号土坑 D-5区に位置する。南側を田舎請による攪乱により消失している。残存部中央には、拳大の礎が多量にみられる。壁面はなだらかに立ち上がっている。残存部で長軸93cm、短軸78cm、深さ12cmを測る。

118号土坑 D-5区に位置する。長軸90cm、短軸72cm、深さ18cmを測る。土坑上に扁平な礎（66×54×6cm）が嵩状に据えられていた。

119号土坑 D・E-5・6区に位置する。長軸228cm、短軸180cmの楕円形のプランを呈している。深

さは24cmを測る。

120号土坑 D-6区に位置する。2基の土坑から構成されると考えられるが先後関係は不明。底部に段差がみられ、南側のものがわずかに底部を低く構築している。長軸237cm、短軸93cm、深さ42cmを測る。

121号土坑 D-E-6区に位置する。長軸104cm、短軸77cmの不整楕円形のプランを呈し、深さ7cmを測る。

122号土坑 D-6区に位置する。長軸111cm、短軸90cmの不整円形のプランを呈し、深さ33cmを測る。

123号土坑 D-6区に位置する。径108cmの円形のプランを呈し、深さ27cmを測る。

124号土坑 D-6区に位置する。長軸81cm、短軸54cmの不整楕円形のプランを呈している。深さは18cmを測る。

125号土坑 D-6区に位置する。長軸117cm、短軸99cmの不整楕円形のプランを呈し、深さ15cmを測る。底部から確認面までだらだら立ち上がる。覆土上層から0025、0026、0032が出土。

126号土坑 C-6区に位置する。長軸78cm、短軸60cmの楕円形のプランを呈し、深さ26cmを測る。

127号土坑 C-6区に位置する。長軸139cm、短軸96cmの不整楕円形のプランを呈し、深さ10cmを測る。

128号土坑 C-6区に位置する。長軸59cm、短軸42cmの楕円形のプランを呈し、深さ13cmを測る。

129号土坑 C-6区に位置する。長軸105cm、短軸67cmの楕円形のプランを呈し、深さ9cmを測る。

130号土坑 C-6区に位置する。長軸74cm、短軸60cmの楕円形のプランを呈し、深さ8cmを測る。西侧で135号土坑と接している。

131号土坑 C-6区に位置する。南西側で132号土坑と切り合っているが、先後関係は不明。長軸88cm、短軸72cm、深さ13cmを測る。

132号土坑 C-6区に位置する。北東側で131号土坑と切り合っているが、先後関係は不明。残存部で長軸65cm、短軸59cm、深さ16cmを測る。

133号土坑 C-6区に位置する。長軸90cm、短軸82cmの不整円形のプランを呈し、深さ10cmを測る。

134号土坑 C-6区に位置する。北東側を135号土坑と複合しているが先後関係は不明。残存部で長軸82cm、短軸60cm、深さ9cmを測る。

135号土坑 C-6区に位置する。南西側で134号土坑と複合しているが先後関係は不明。長軸95cm、短軸80cmの楕円形のプランを呈し、深さ15cmを測る。底部中央から東側壁面にかけて縦長く礫（58×22cm）が露出している。

136号土坑 C-6区に位置する。長軸138cm、短軸122cmのほぼ円形のプランを呈し、深さ26cmを測る。開口部から約10cmの深さに幅20cmのテラスがあり巡し、底部では幅10cm、深さ2~3cm程の溝が周囲を巡っている。桶状の圧痕であろうか。下肥等が考えられようか。

137号土坑 B-C-6区に位置する。長軸80cm、短軸54cmの不整楕円形のプランを呈し、深さ9cmを測る。

138号土坑 C-6区に位置する。長軸52cm、短軸44cmの楕円形のプランを呈し、深さ14cmを測る。

139号土坑 C-6区に位置する。北東側を142号土坑と複合しているが先後関係は不明。北西側は擾乱を受けている。残存部で長軸130cm、短軸64cm、深さ13cmを測る。西側外周部にピットが穿たれている。

140号土坑 C-5・6区に位置する。南側を擾乱により一部破損している。残存部で長軸98cm、短軸85cmの不整形のプランを呈し、深さ25cmを測る。

141号土坑 C-5・6区に位置する。長軸123cm、短軸85cmの不整楕円形のプランを呈し、深さ22cmを測る。

142号土坑 C-6区に位置する。南側で139号土坑と複合しているが先後関係は不明。長軸110cm、短軸100cmの不整形のプランを呈し、深さ25cmを測る。

- 143号土坑 C-6区に位置する。西側を142号土坑と、東側で144号土坑と若干の切り合いがある（先後関係は不明）。残存部で長軸58cm、短軸58cm、深さ12cmを測る。
- 144号土坑 C-6区に位置する。西側で143号土坑と切り合っている（先後関係は不明）。残存部で長軸51cm、短軸45cm、深さ9cmを測る。
- 145号土坑 C-5・6区に位置する。東側で1号溝に切られている。長軸133cm、短軸94cmの不整楕円形のプランを呈し、深さ16cmを測る。
- 146号土坑 C-5区に位置する。長軸145cm、短軸114cmの不整形のプランを呈し、深さ22cmを測る。土坑壁面、底部に粘土の貼付けがみられる。
- 147号土坑 B-5区に位置する。長軸214cm、短軸110cmの不整形のプランを呈し、深さ44cmを測る。東側外周部中央付近にピットが穿たれている。
- 148号土坑 C-5区に位置する。北側で149号土坑と複合しているが先後関係は不明。長軸153cm、短軸99cmの不整楕円形のプランを呈し、深さは15cmを測る。
- 149号土坑 C-4・5区に位置する。南側を148号土坑と複合しているが先後関係は不明。径111cmのはば円形のプランを呈し、深さは69cmを測る。
- 150号土坑 C-4・5区に位置する。長軸85cm、短軸76cmの隅丸方形のプランを呈し、深さ16cmを測る。
- 151号土坑 C-4・5区に位置する。長軸207cm、短軸99cmの不整形のプランを呈し、深さ26cmを測る。基本形態は隅丸長方形を呈しており、南東隅に不整円形の掘り込み（別上坑）を有する。土坑底部中央に円形の掘り込み（別上坑）があり、底部南北部分はテラス状になっている。南側テラス状平坦部に小ピットが穿たれている。以上から底部施設を有する隅丸長方形の土坑と2基の別上坑の複合したものが想定される。
- 152号土坑 B・C-5区に位置する。長軸78cm、短軸72cmの不整円形のプランを呈し、深さは13cmを測る。土坑底部から底部打欠きの0031、浅鉢大型破片0033が出土。
- 153号土坑 B-5区に位置する。長軸100cm、短軸79cmの不整楕円形のプランを呈し、深さは21cmを測る。
- 154号土坑 B-5区に位置する。長軸69cm、短軸53cmの楕円形のプランを呈し、深さは12cmを測る。
- 155号土坑 B-5区に位置する。長軸93cm、短軸85cm、深さは54cmを測る。円形プランの北東部に小テラスを設けている。土坑中より六道鏡（0116、0117）が出土しており、近世の墓坑と考えられる。
- 156号土坑 B-4・5区に位置する。長軸111cm、短軸105cmのはば円形のプランを呈し、深さは75cmを測る。
- 157号土坑 C-4区に位置する。長軸144cm、短軸93cmの不整楕円形のプランを呈し、深さは9cmを測る。土坑北側、覆土下位から0034が出土。
- 158号土坑 C-4区に位置する。長軸70cm、短軸59cmの不整楕円形のプランを呈し、深さは5cmを測る。
- 159号土坑 C-4区に位置する。長軸63cm、短軸54cmの不整円形のプランを呈し、深さは17cmを測る。
- 160号土坑 B-4区に位置する。南側で162号土坑と複合しているが先後関係は不明。長軸153cm、短軸150cmの不整円形のプランを呈している。深さは75cmを測る。東～南部でテラス状に段差が検出されている。土坑中央、覆土下位に人頭大の礫を投入し、その上に完形土器（0056）を埋置、その上に板状の石を蓋状に設置している。再葬墓であろうか。完形土器以外に同時期土器片が覆土上位から出土している。
- 161号土坑 B-4区に位置する。径126cmの円形のプランを呈し、深さは48cmを測る。土坑南西部に偏して覆土中～上位に160号土坑と同様に拳大～人頭大の礫を投入している。遺物は土器小片が覆土下位から出土している。

162号土坑 B-4区に位置する。北側を160号土坑と複合しているが先後関係は不明。残存部で長軸144cm、短軸81cm、深さは24cmを測る。

163号土坑 B-4区に位置する。南側を164号土坑により切られている。残存部で長軸111cm、短軸81cm、深さは39cmを測る。

164号土坑 B-4区に位置する。北側で163号土坑を切っている。長軸147cm、短軸129cmの不整円形のプランを呈し、深さは51cmを測る。土坑中央、覆土下～中位より土器片（0078、0083、0085、0089、0100）出土。

165号土坑 F-2区に位置する。長軸162cm、短軸138cmの椭円形のプランを呈している。深さは27cmを測る。

166号土坑 欠番

167号土坑 E-3区に位置する。長軸117cm、短軸105cmの不整円形のプランを呈し、深さは30cmを測る。覆土中位から完形土器0036出土。同じく覆土中位から0037が大きく2つに割れて出土。

168号土坑 欠番

169号土坑 E・F-3区に位置する。長軸60cm、短軸57cmの不整円形のプランを呈し、深さは33cmを測る。覆土上位から0057が大型破片で出土。

170号土坑 E・F-3区に位置する。長軸75cm、短軸66cmの不整橭円形のプランを呈し、深さは33cmを測る。底部は南側で最深を測り、北側へ傾斜して上がっている。

171号土坑 E-3区に位置する。長軸89cm、短軸80cmの不整円形のプランを呈し、深さは32cmを測る。0041が覆土下位から出土しているが、上側半分を欠落している。擾乱（叩音説）によるものと考えられる。

172号土坑 E-3区に位置する。長軸111cm、短軸66cmの不整形のプランを呈し、深さは15cmを測る。

173号土坑 D・E-3区に位置する。径109cmの円形のプランを呈し、深さは21cmを測る。

174号土坑 E-3区に位置する。長軸206cm、短軸177cmの隅丸方形のプランを呈し、深さは63cmを測る。

175号土坑 D-3区に位置する。長軸69cm、短軸63cmのほぼ円形のプランを呈し、深さは12cmを測る。

176号土坑 E-2区に位置する。北東側で177号土坑と切り合う（先後関係不明）。また、東側で19号住居と複合しているが先後関係は不明。残存部で長軸135cm、短軸112cm、深さ32cmを測る。

177号土坑 E-2区に位置する。南西側で176号土坑と切り合う（先後関係不明）。また、東側で19号住居と複合しているが先後関係は不明。残存部で長軸108cm、短軸63cm、深さは31cmを測る。

178号土坑 E-2区に位置する。東側で19号住居と複合しているが先後関係は不明。残存部で長軸190cm、短軸159cm、深さは27cmを測る。

溝状遺構

実際に近年まで水路として用いられていたものと、機能が特定できずいわゆる溝状を呈するものの2者が
あるが、ここでは同様に溝状遺構として扱うこととした。

1号溝 調査区の西側、B～D-1～9区に位置する。やや東西方向から南北方向にはほぼ直角に曲がり、南
方向に延びる。調査区域外を挟んで、D-6区で再び東に曲がり、更に南に曲がって調査区域外に続く。南
側は最近まで水路として使用されていた。残存部で90.1mを測る。

2号溝 調査区の北西、B～E-2・3区に位置する。1号溝の北端部分に並行し、南北方向に曲がった1
号溝に切られる。西側の一部が2本に分かれ、25.2mを測る。

3号溝 調査区の南東、H-8・9区に位置する。南北方向に延び、南端は調査区域外に続く。残存部で13.2
mを測る。

4号溝 調査区の南側、E-8区に位置する。北端がわずかに西に曲がり、南側を段差によって切られる。
残存部で3.9mを測る。

5号溝 調査区の南側、E-7・8区に位置する。わずかにくの字形に曲がるが、ほぼ南北に延びる。中央
部に細く東に延びる突出部、南端に落ち込みがあり、段差によって切られる。残存部で8.1mを測る。

6号溝 調査区の南側、E-F-6～8区に位置する。17号土坑を切り、南端を段差によって切られる。残
存部は13.2mを測る。

7号溝 調査区の東端、G・H-6・7区に位置する。中央部で曲がり、残存部は9.6mを測る。

8号溝 調査区の中央部、F-6区に位置する。二又に分かれたような形状で、南端を段差によって切られ
る。残存部は7.9mを測る。

9号溝 調査区の中央部、F-5・6区に位置する。両端を土坑に切られ、残存部は9.6mを測る。

10号溝 調査区の東端、G-3・4区に位置する。南端は二又に分かれ、調査区域外に延びる。中央部で17
号住居跡を切る。残存部推定長は10.3mを測る。

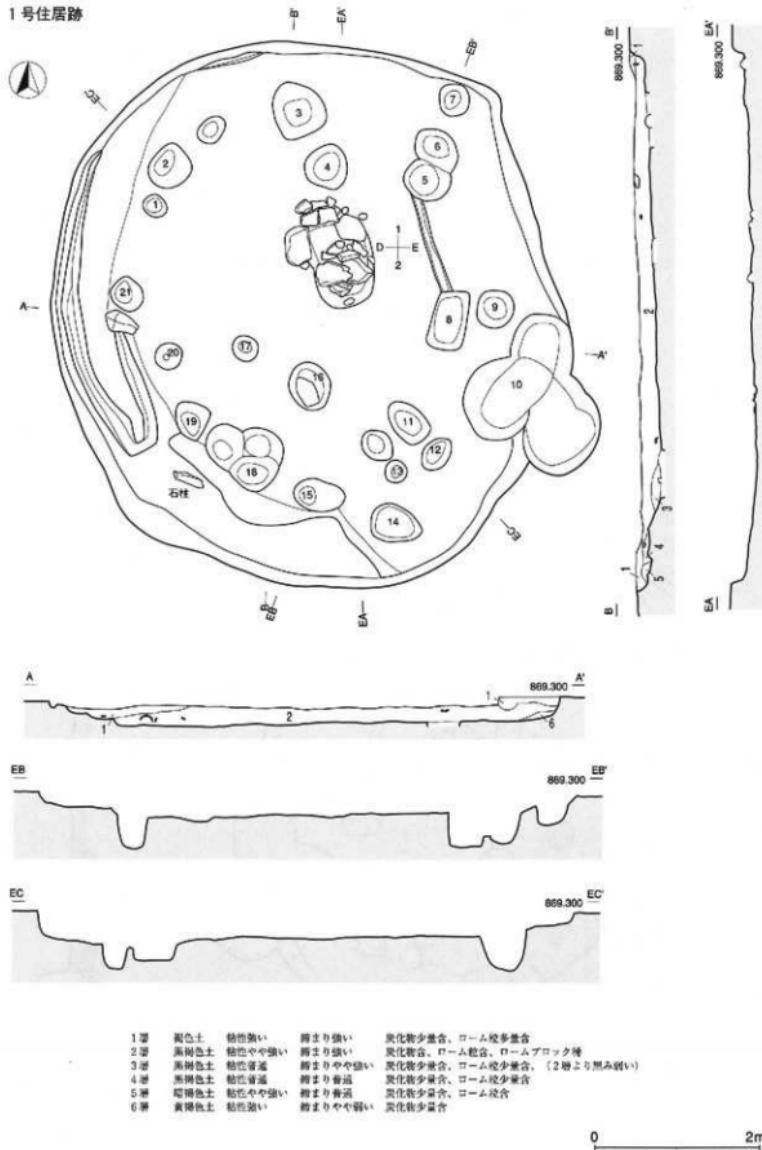
11号溝 調査区の東端、F・G-3・4区に位置する。東側ではほぼ直角に曲がっているため、両端が調査区
域外に続き、10号溝と直交する。残存部は15.1mを測る。

竪穴状遺構

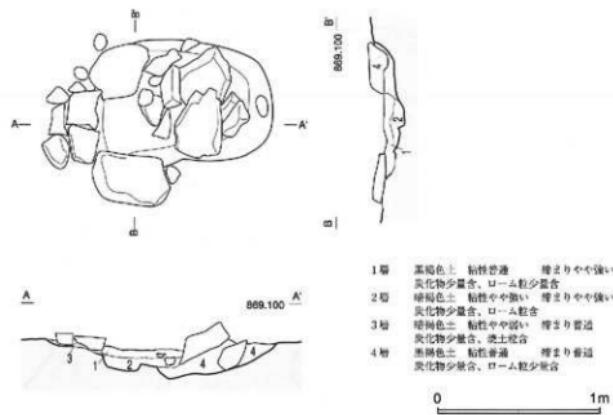
いわゆる土坑として認識する規模のものよりも大型で機能の明確でないものが1基だけ存在している。そ
の形状からは土坑との複合の可能性もあるが、周囲に土坑がほとんど分布しないことから、ここでは遺構内
の施設として認識して調査を進めている。

1号竪穴 調査区の南側、F-9区に位置する。長軸486cm、短軸318cmの東西方向に長軸を持つ方形の
プランを呈し、深さは69cmを測る。内部から疊が出土。

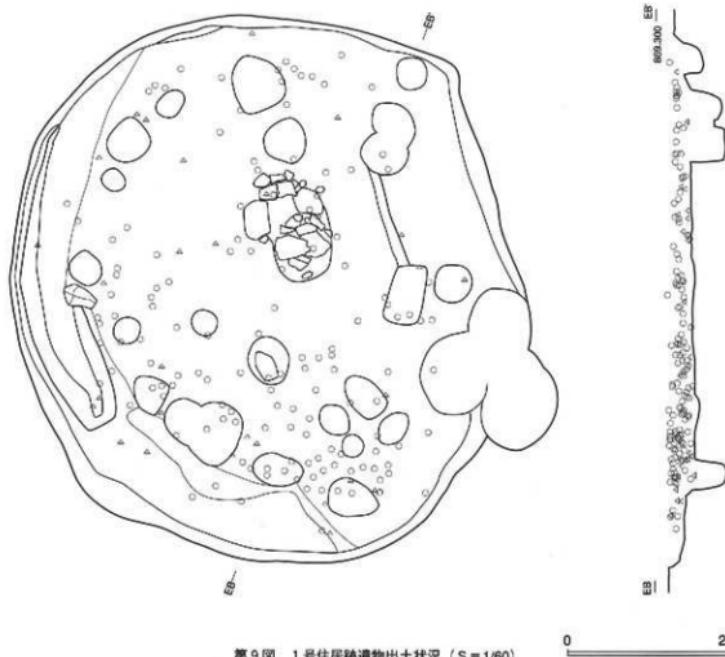
1号住居跡



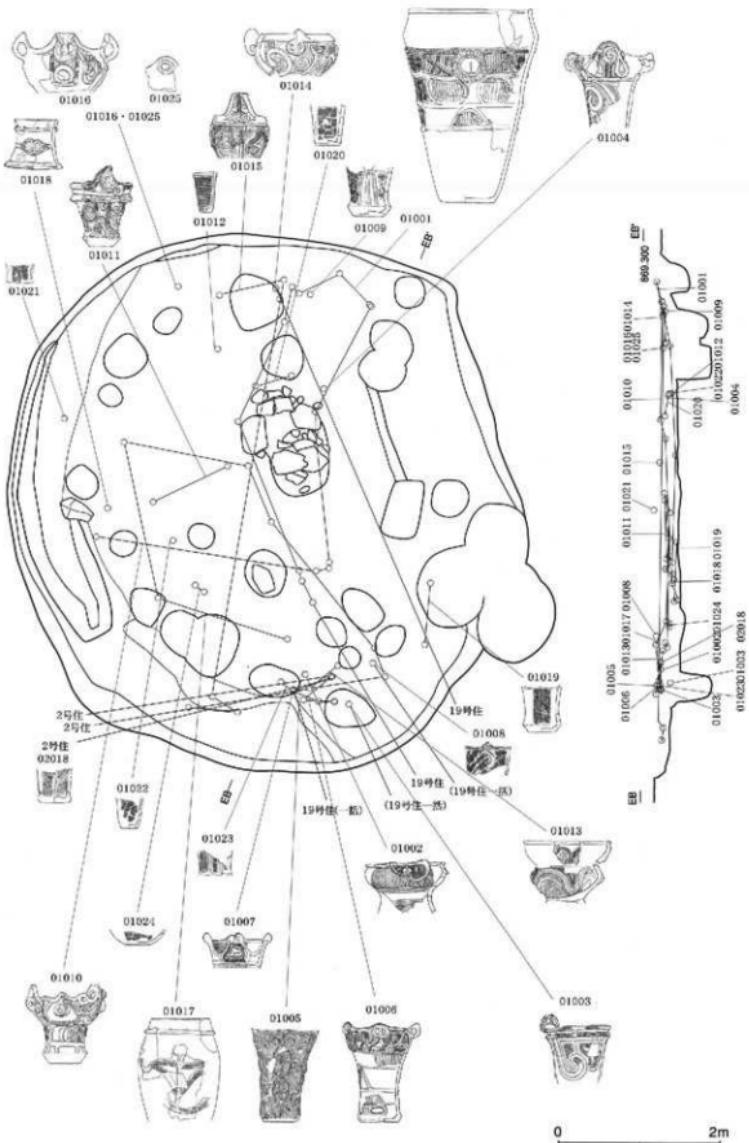
第7図 1号住居跡 (S=1/60)



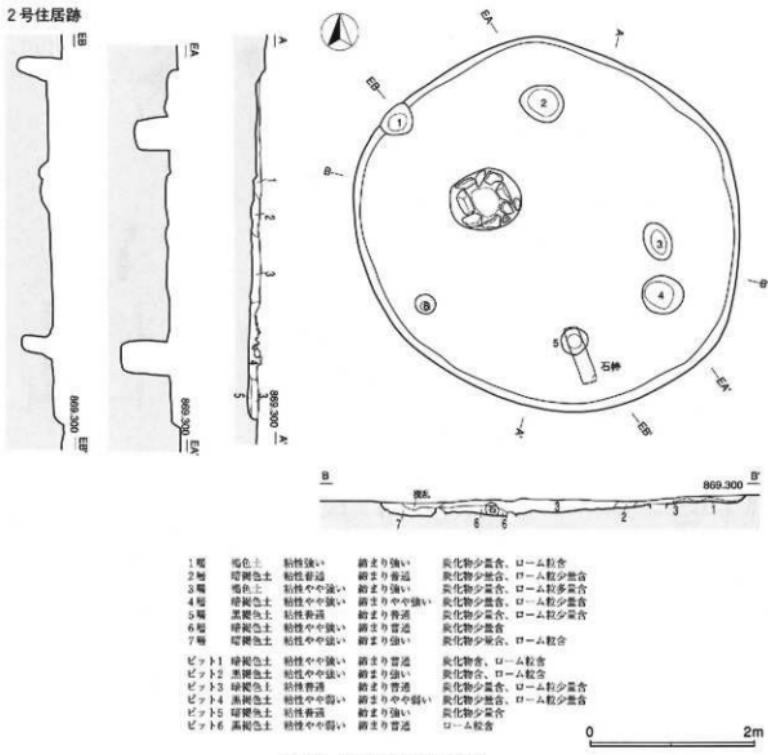
第8図 1号住居跡 炉跡 (S = 1/30)



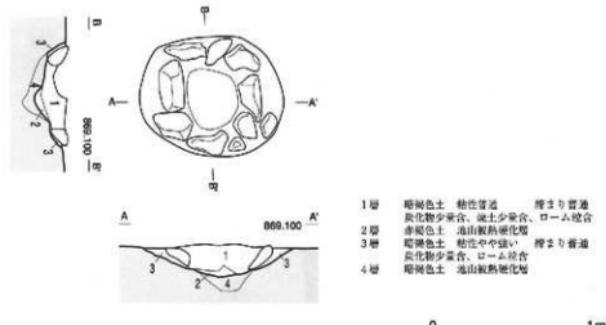
第9図 1号住居跡遺物出土状況 (S = 1/60)



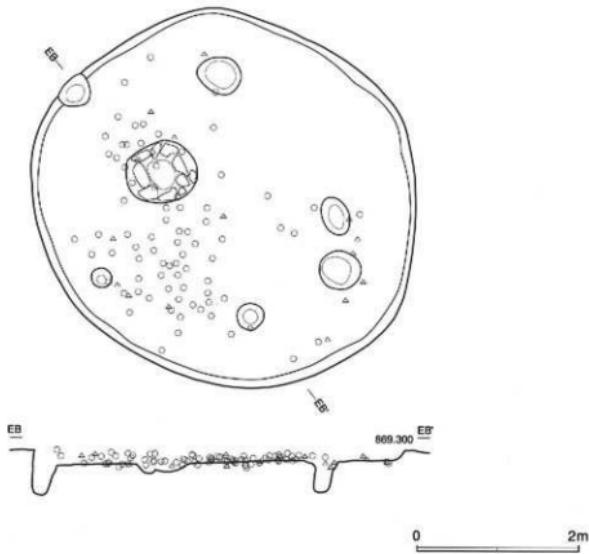
第10区 1号住居跡個体別遺物分布 (S=1/60)



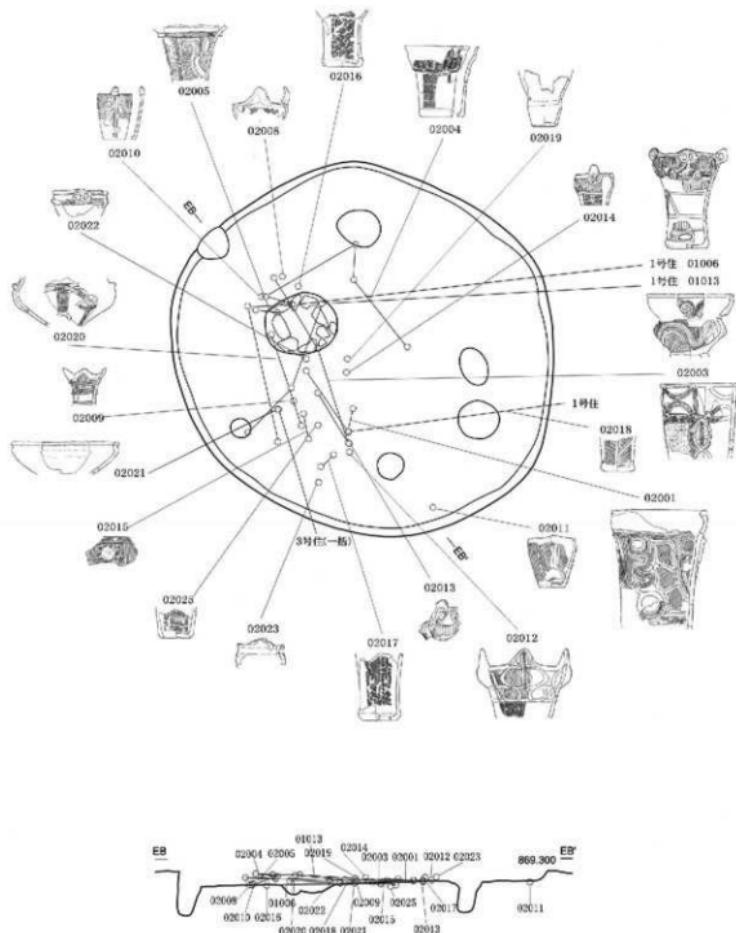
第11図 2号住居跡 (S = 1/60)



第12図 2号住居跡 炉跡 (S = 1/30)



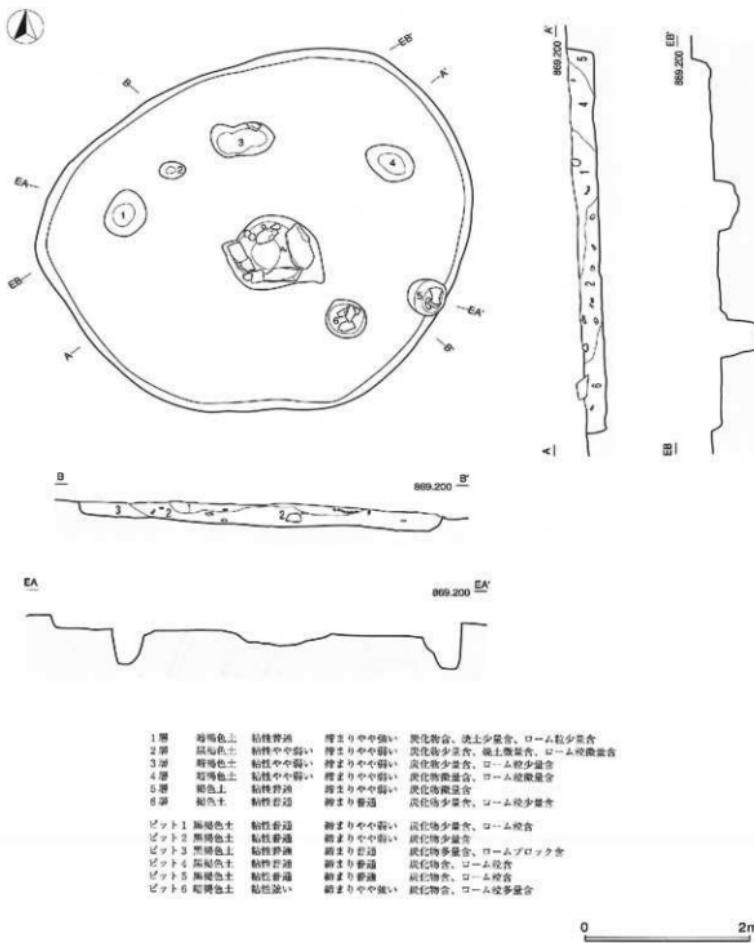
第13図 2号住居跡遺物出土状況 (S = 1/60)



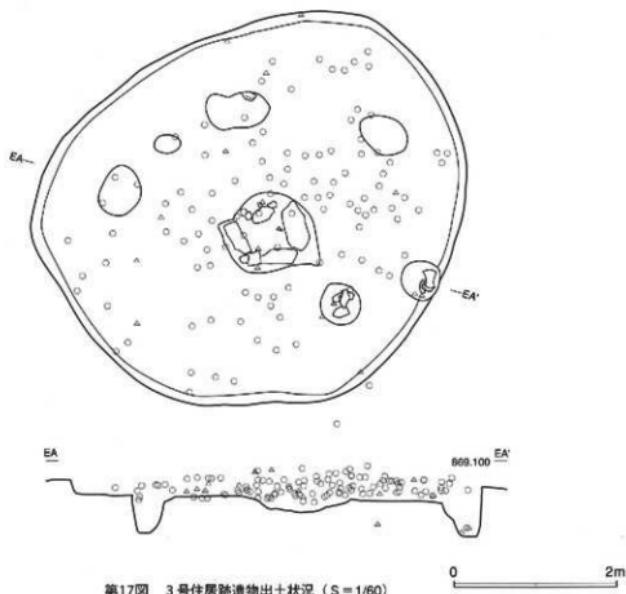
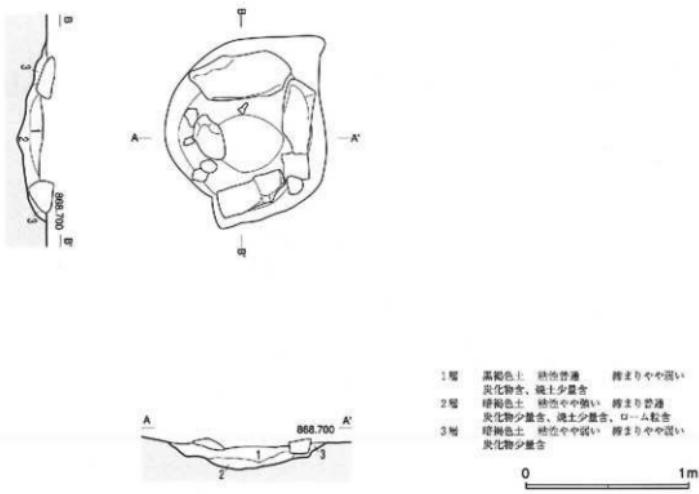
第14図 2号住居跡個体別遺物分布 (S = 1/60)

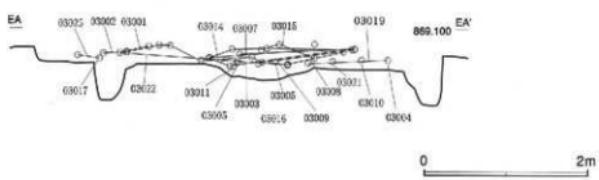
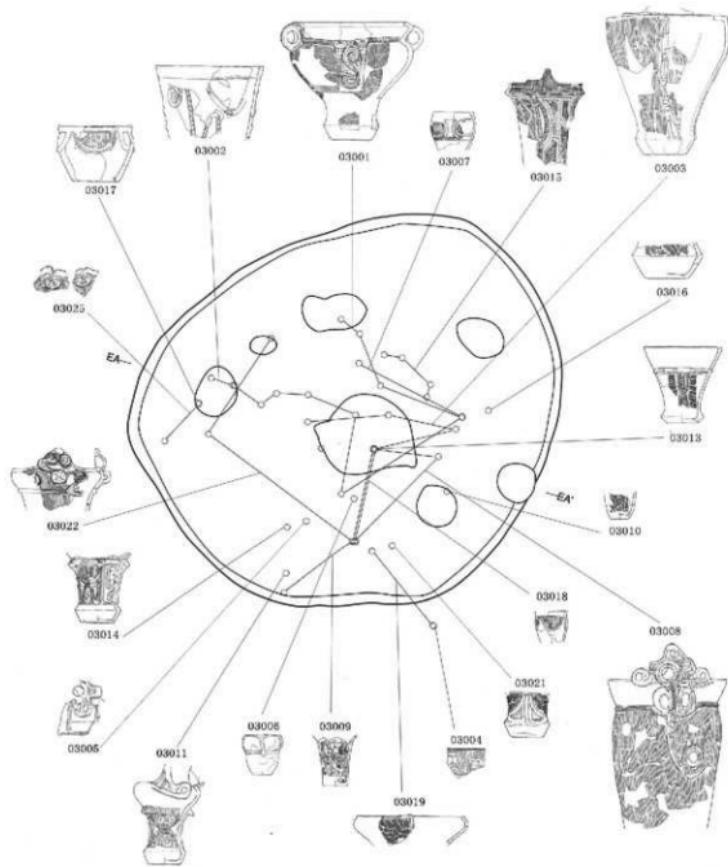
0 2m

3号住居跡

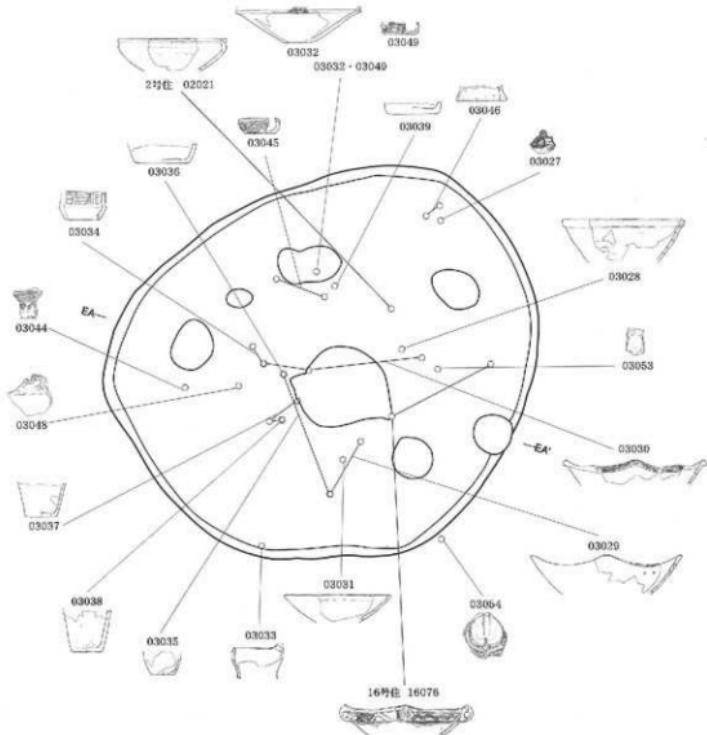


第15図 3号住居跡 (S = 1/60)



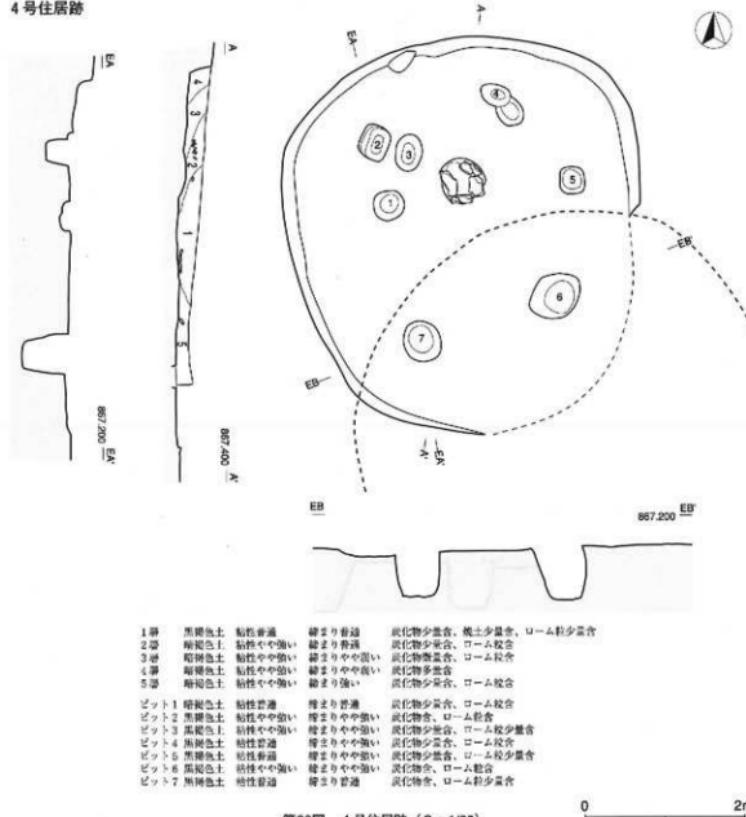


第18図 3号住居跡個体別遺物分布(1) (S=1/60)

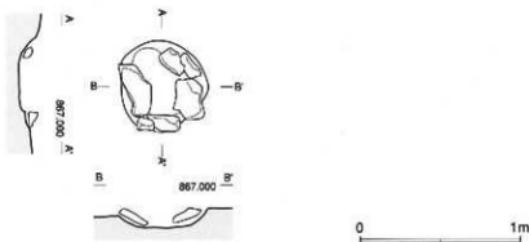


第19図 3号住居跡個別遺物分布(2) (S=1/60)

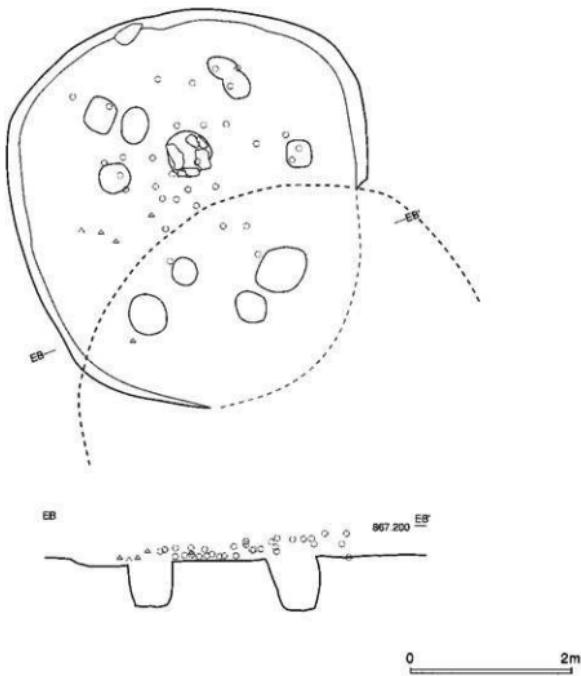
4号住居跡



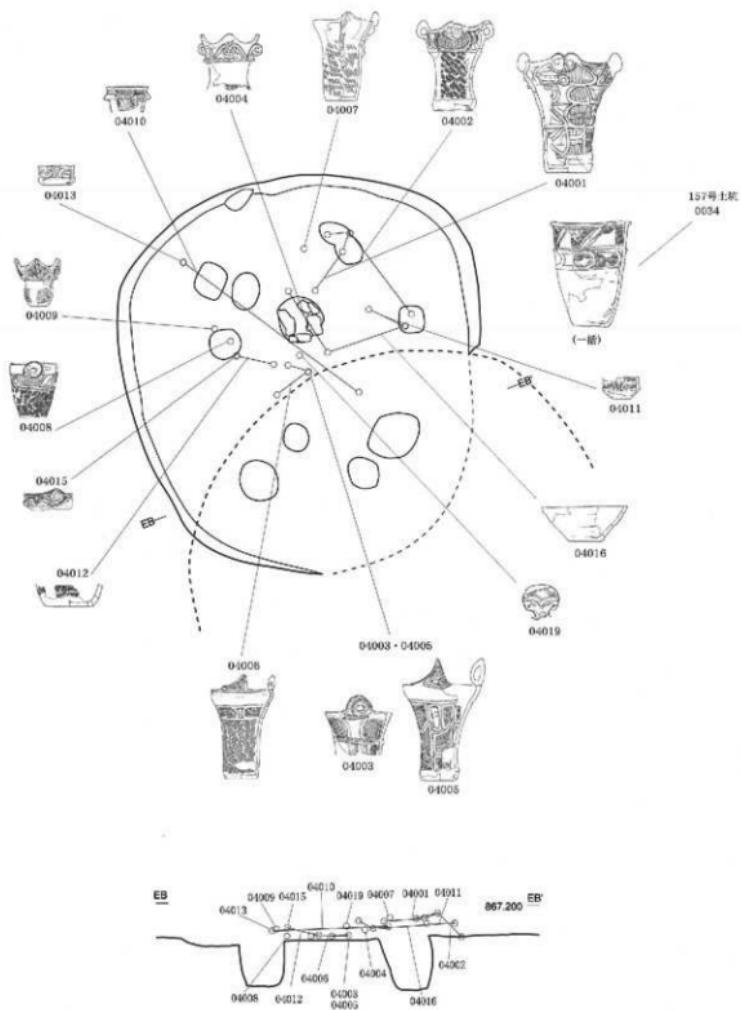
第20図 4号住居跡 (S = 1/60)



第21図 4号住居跡 炉跡 (S = 1/30)



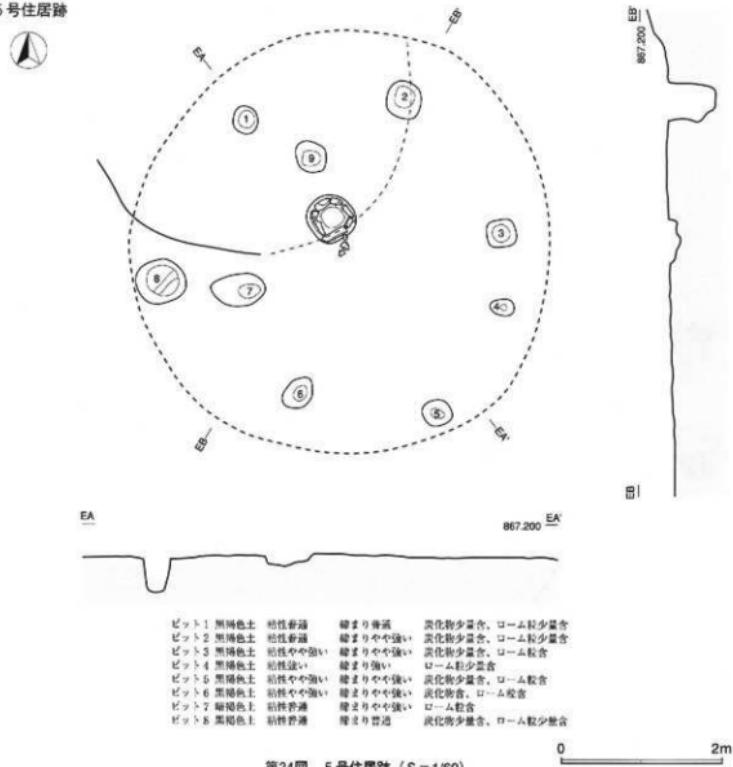
第22図 4号住居跡遺物出土状況 ($S = 1/60$)



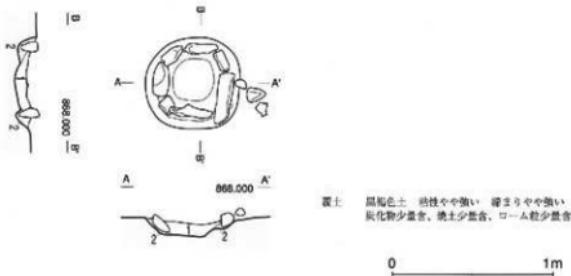
第23図 4号住居跡個体別遺物分布 (S=1/60)

0 2m

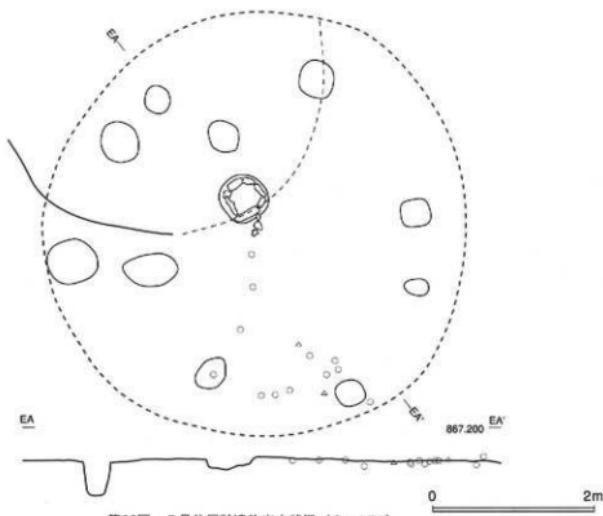
5号住居跡



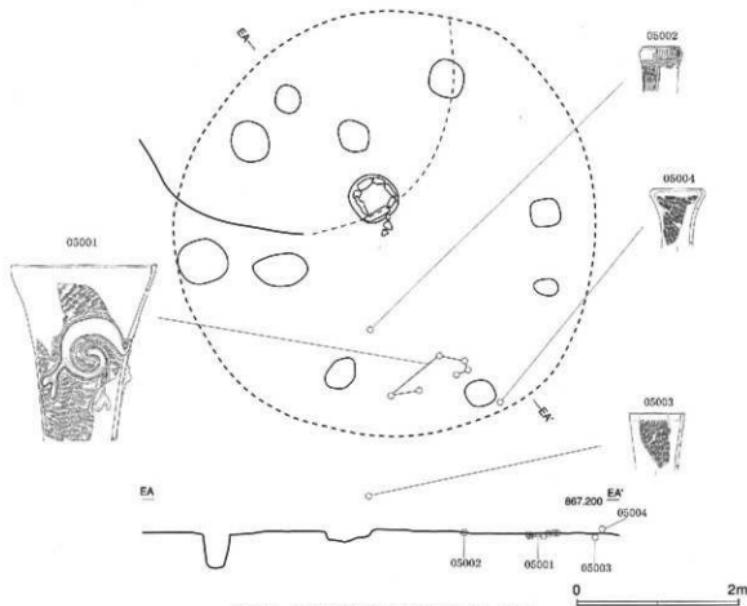
第24図 5号住居跡 (S = 1/60)



第25図 5号住居跡 炉跡 (S = 1/30)



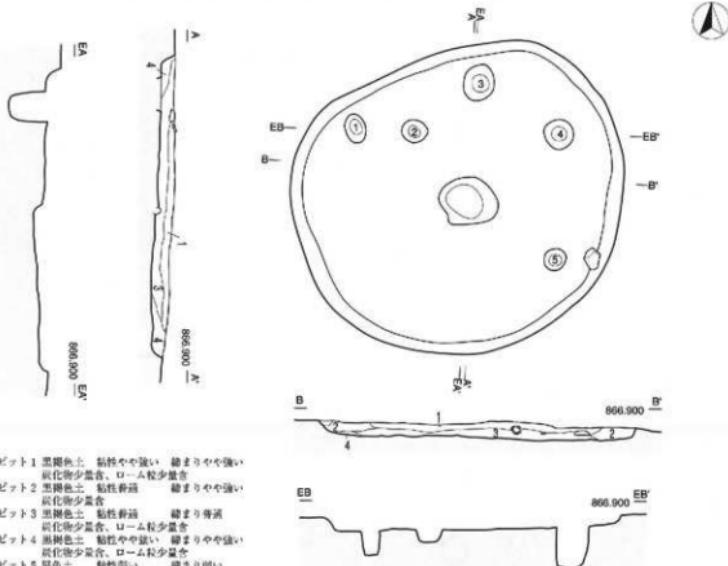
第26図 5号住居跡遺物出土状況 (S = 1/60)



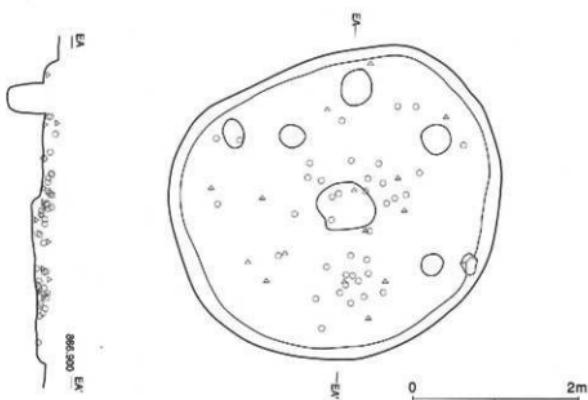
第27図 5号住居跡個体別遺物分布 (S = 1/60)

6号住居跡

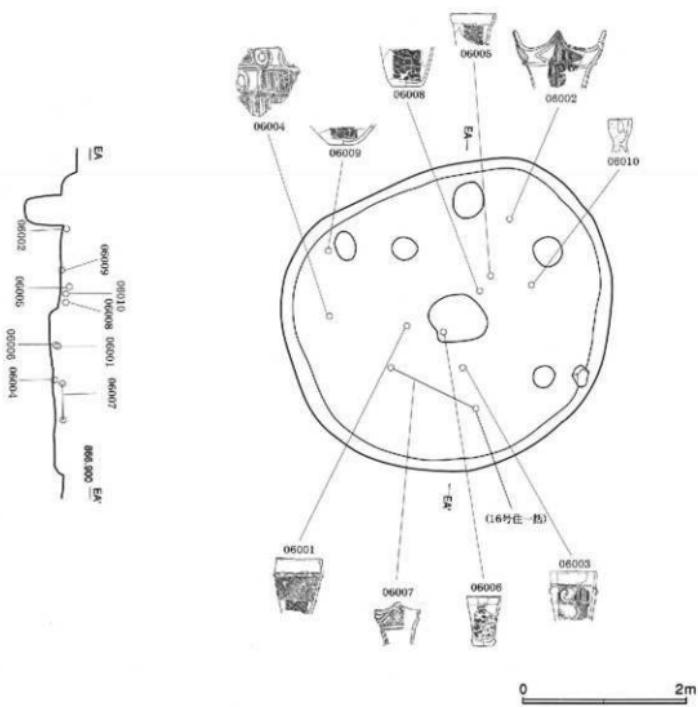
1番	褐褐色土	粘性普通	堆積土質	炭化物少量含、ローム较少量含
2番	褐褐色土	粘性普通	堆積土質	炭化物少量含、ローム较少量含、(1層より赤み帯びる)
3番	褐褐色土	粘性やや強い	堆積土質	炭化物少量含、(1層より赤み帯びる)
4番	褐褐色土	粘性普通	堆積土質	炭化物少量含、ローム较少量含
5番	黒褐色土	粘性普通	堆積土質	炭化物少量含、ローム较少量含、ロームブロック含



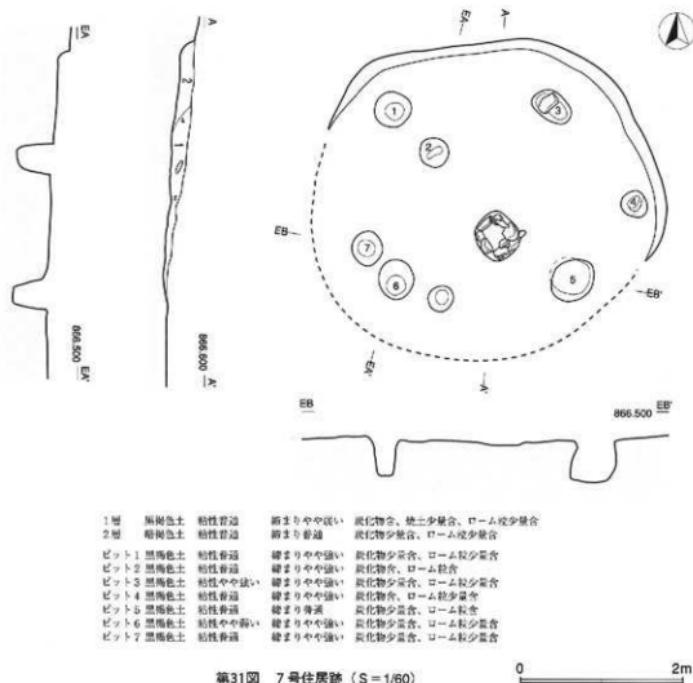
第28図 6号住居跡 (S = 1/60)



第29図 6号住居跡遺物出土状況 (S = 1/60)

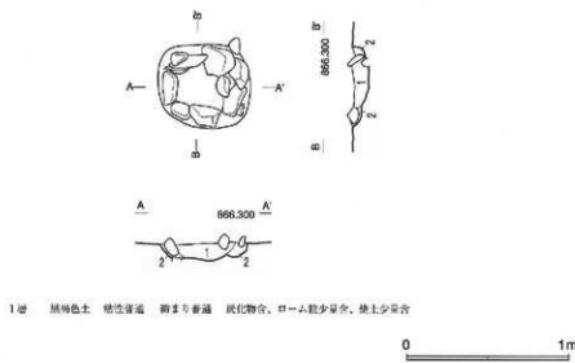


第30図 6号住居跡個体別遺物分布 (S=1/60)



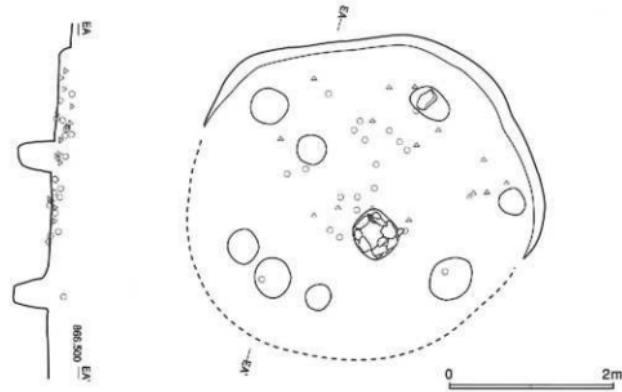
第31図 7号住居跡 (S = 1/60)

0 2m

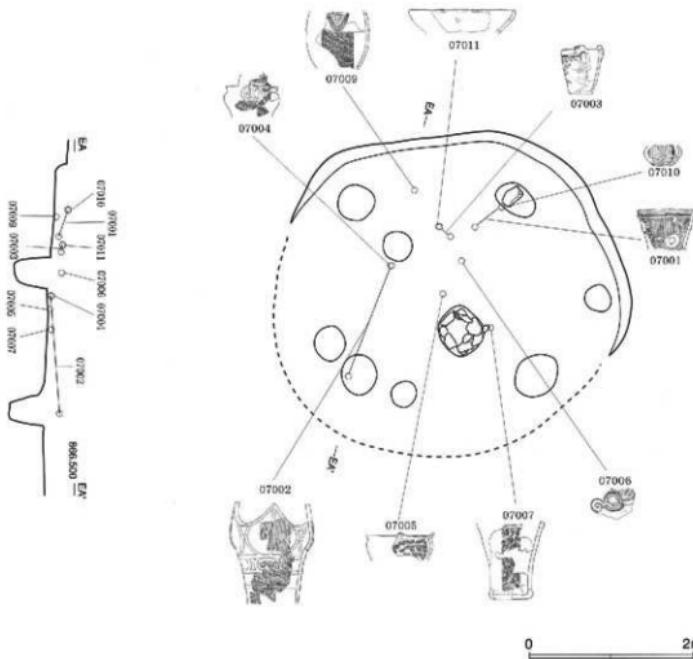


第32図 7号住居跡 炉跡 (S = 1/30)

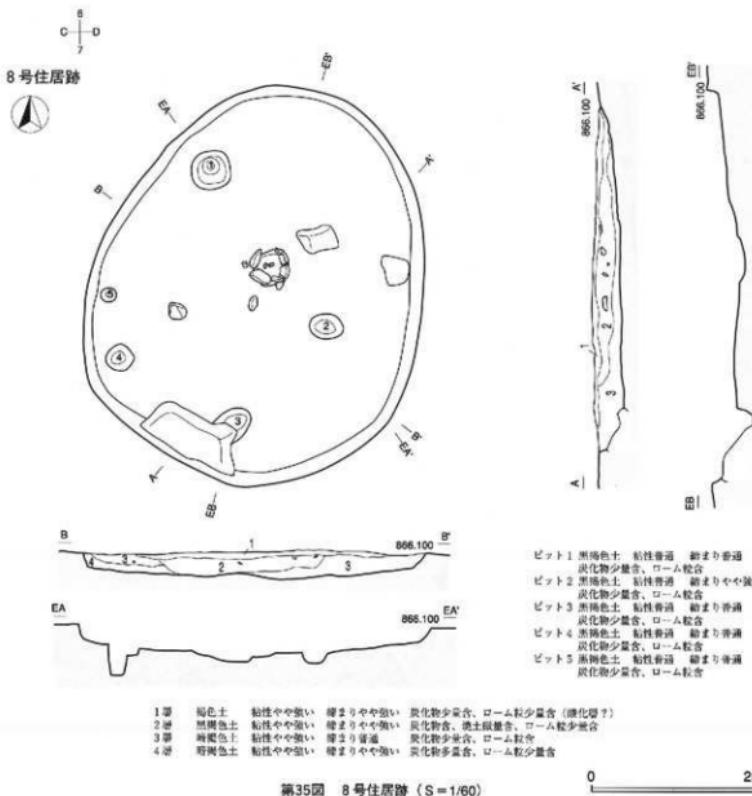
0 1m



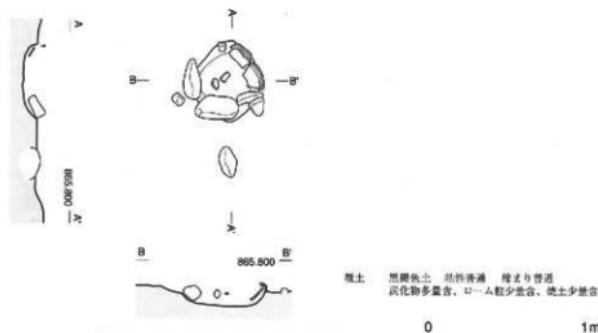
第33図 7号住居跡遺物出土状況 (S = 1/60)



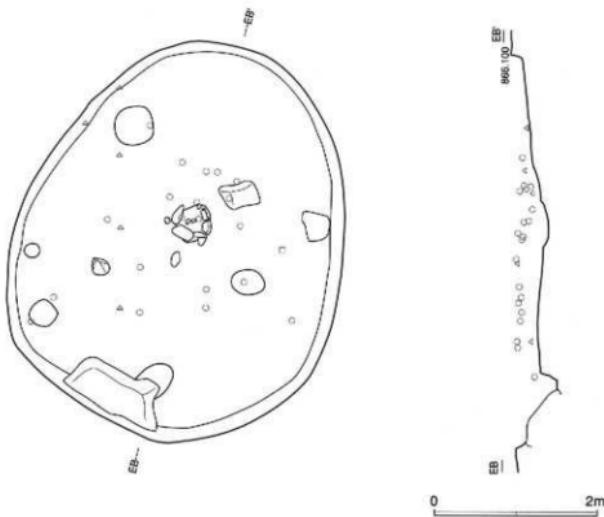
第34図 7号住居跡個体別遺物分布 (S = 1/60)



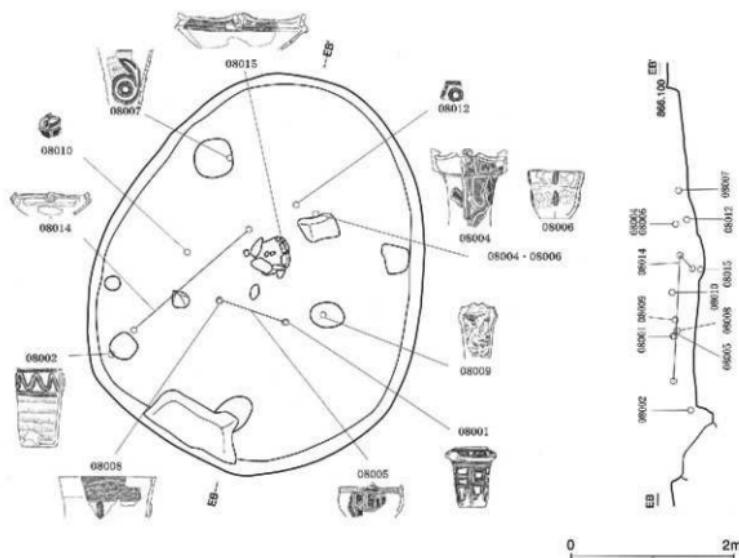
第35図 8号住居跡 (S = 1/60)



第36図 8号住居跡 炉跡 (S = 1/30)

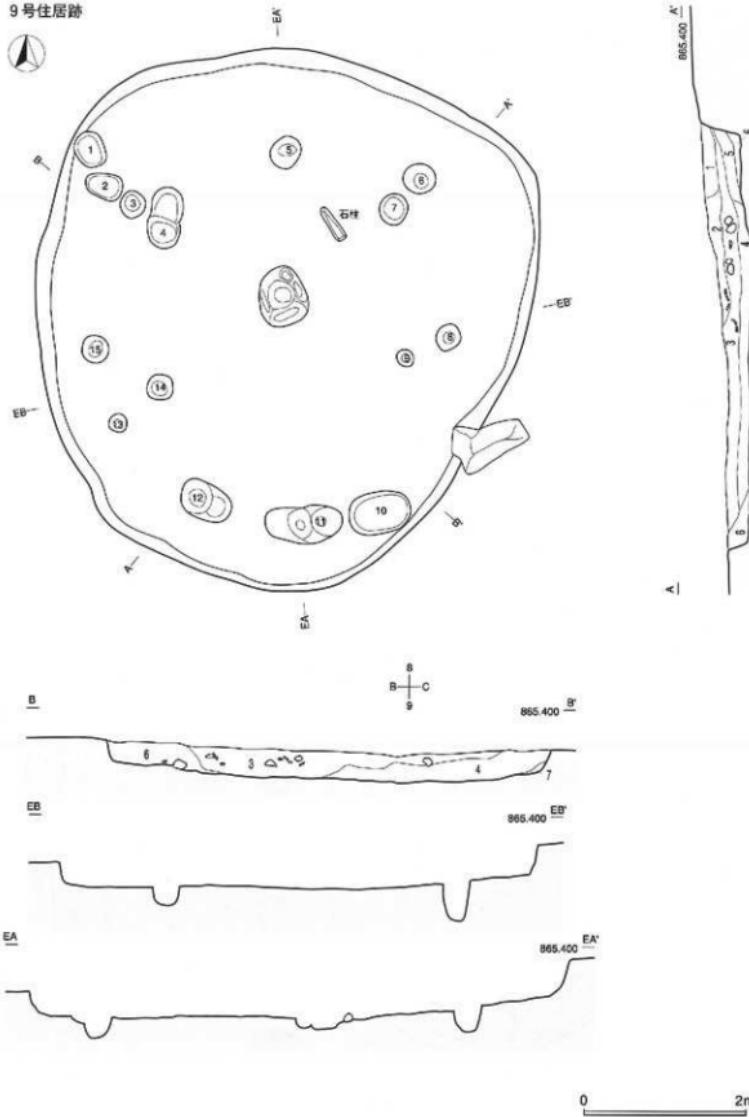


第37図 8号住居跡遺物出土状況 (S = 1/60)



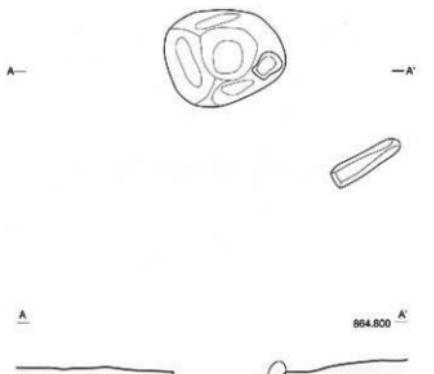
第38図 8号住居跡個別遺物分布 (S = 1/60)

9号住居跡



第39図 9号住居跡 (S = 1/60)

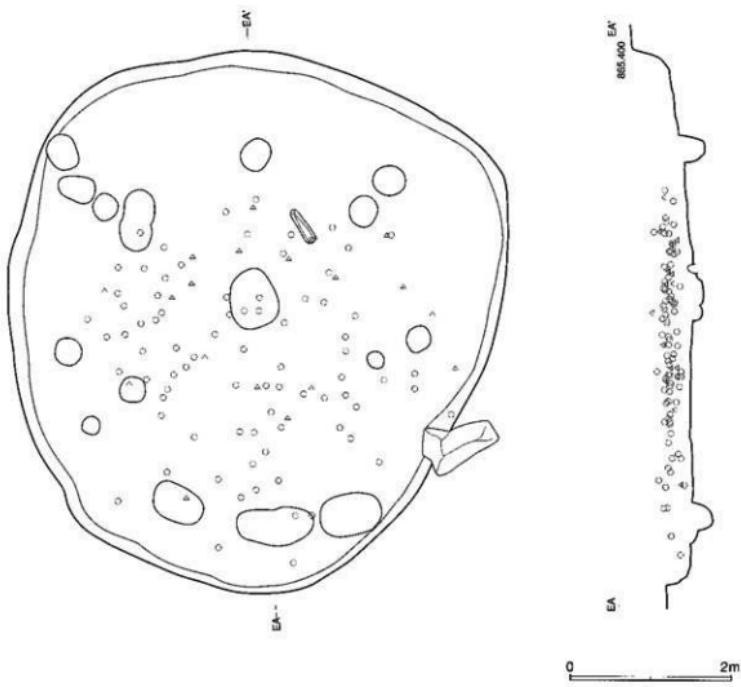
1層	暗褐色土	粘性普通	弱まり普通	炭化物少混合 (塊状?)
2層	暗褐色土	粘性普通	弱まり普通	炭化物少混合、ローム粒含
3層	黒褐色土	粘性普通	弱まり普通	炭化物含
4層	黒褐色土	粘性やや強い	弱まりやや強い	炭化物少混合、洗土少混合、ローム粒少混合
5層	黒褐色土	粘性普通	弱まり普通	炭化物多混合、ローム粒少混合
6層	黒褐色土	粘性やや強い	弱まり普通	炭化物少混合、ローム粒含
7層	暗褐色土	粘性普通	弱まり普通	ローム質含
ピット1	黒褐色土	粘性普通	弱まり普通	炭化物少混合、ローム粒少混合
ピット2	黒褐色土	粘性普通	弱まり普通	炭化物少混合、ローム粒少混合
ピット3	黒褐色土	粘性普通	弱まり普通	炭化物少混合、ローム粒含
ピット4	黒褐色土	粘性やや弱い	弱まりやや弱い	炭化物少混合、ローム粒含
ピット5	黒褐色土	粘性普通	弱まり普通	炭化物少混合、ローム粒少混合
ピット6	黒褐色土	粘性普通	弱まり普通	ローム粒少混合
ピット7	黒褐色土	粘性普通	弱まり普通	ローム粒少混合
ピット8	黒褐色土	粘性普通	弱まりやや弱い	炭化物少混合、ローム粒少混合、ロームブロック含
ピット9	黒褐色土	粘性普通	弱まり普通	炭化物少混合
ピット10	暗褐色土	粘性やや強い	弱まり普通	ローム粒含
ピット11	黒褐色土	粘性やや弱い	弱まり普通	ローム粒少混合
ピット12	黒褐色土	粘性普通	弱まり普通	ローム粒少混合
ピット13	黒褐色土	粘性やや弱い	弱まりやや弱い	炭化物少混合、ローム粒少混合
ピット14	空隙泥			
ピット15	黒褐色土	粘性普通	弱まり普通	炭化物少



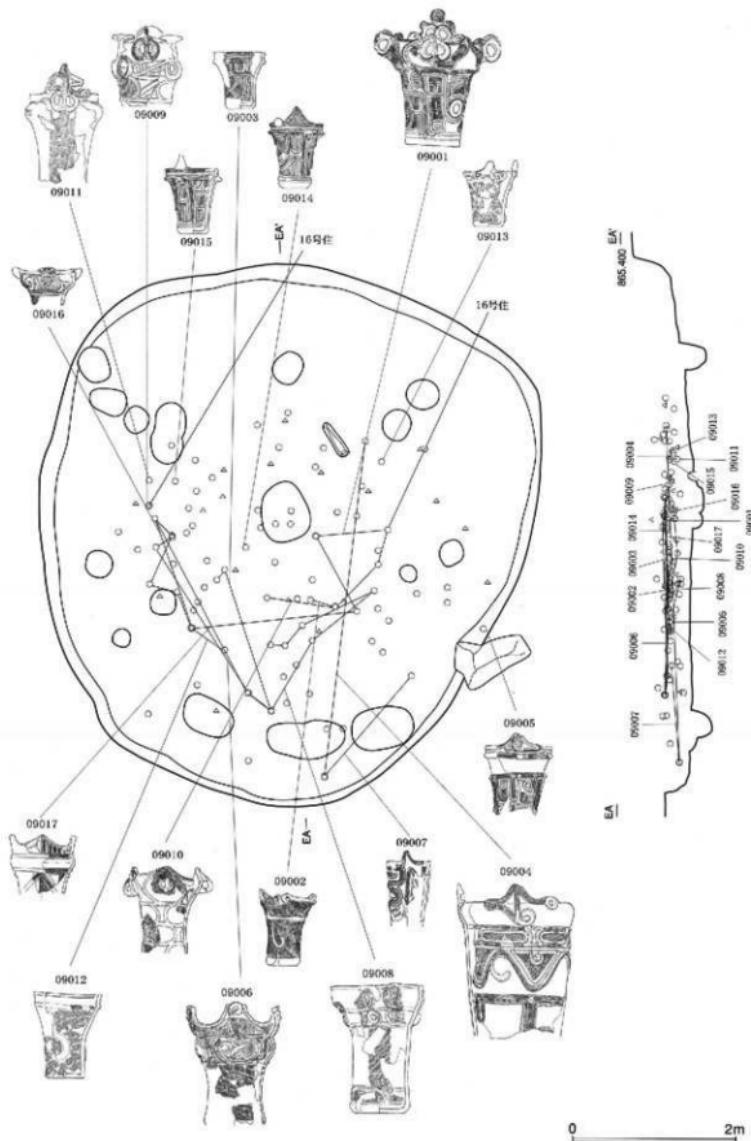
覆土　系褐色土　粘性強い　弱まり強い　炭化物少混合、洗土少混合、ローム粒少混合

0 1m

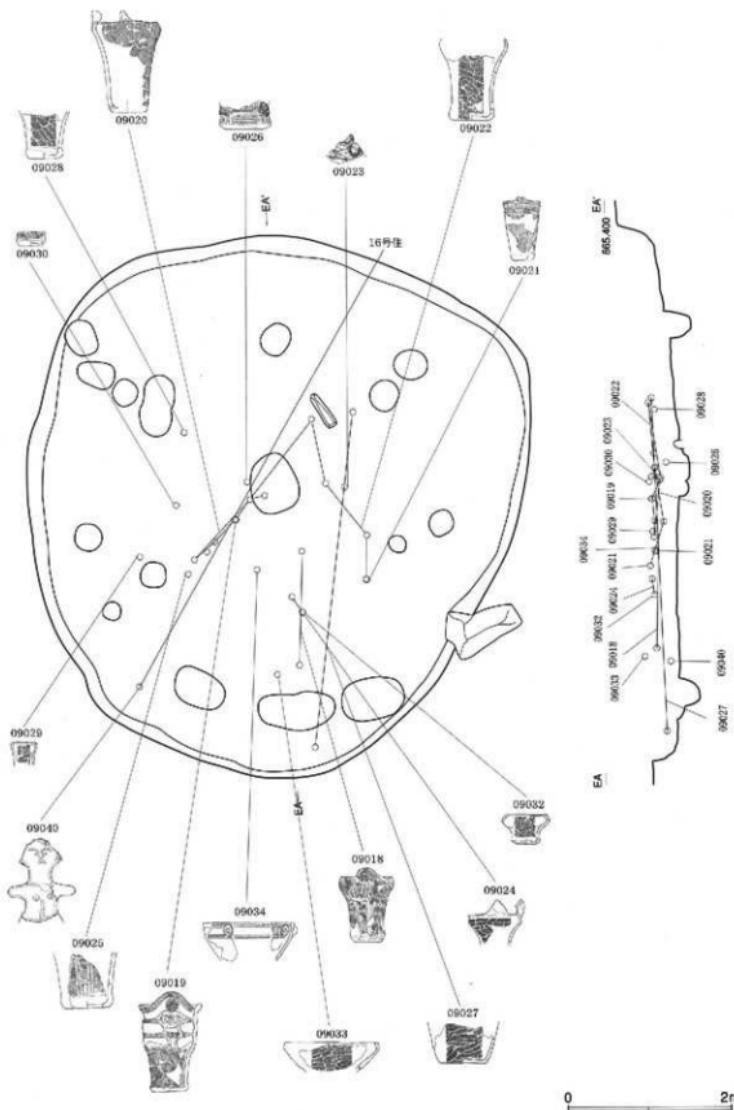
第40図 9号住居跡 炉跡 (S = 1/30)



第41図 9号住居跡遺物出土状況 (S = 1/60)

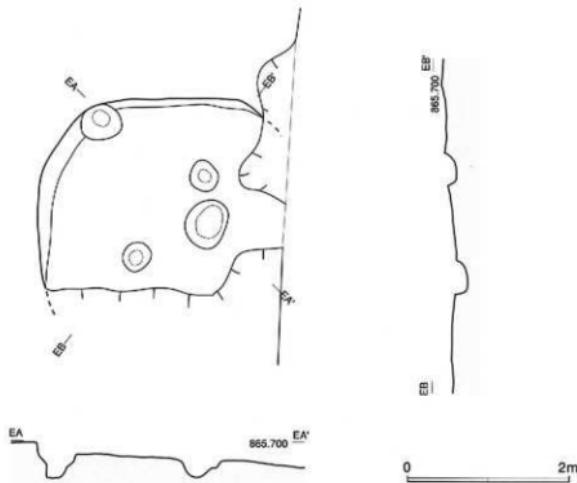


第42図 9号住居跡個体別遺物分布 (1) (S = 1/60)



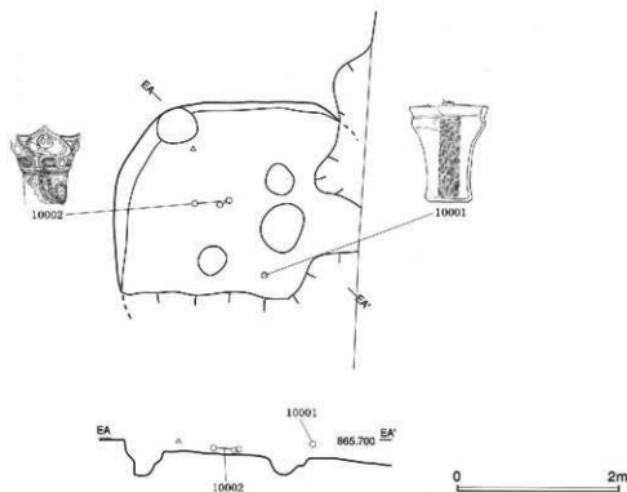
第43回 9号住居跡個体別遺物分布(2) (S=1/60)

10号住居跡



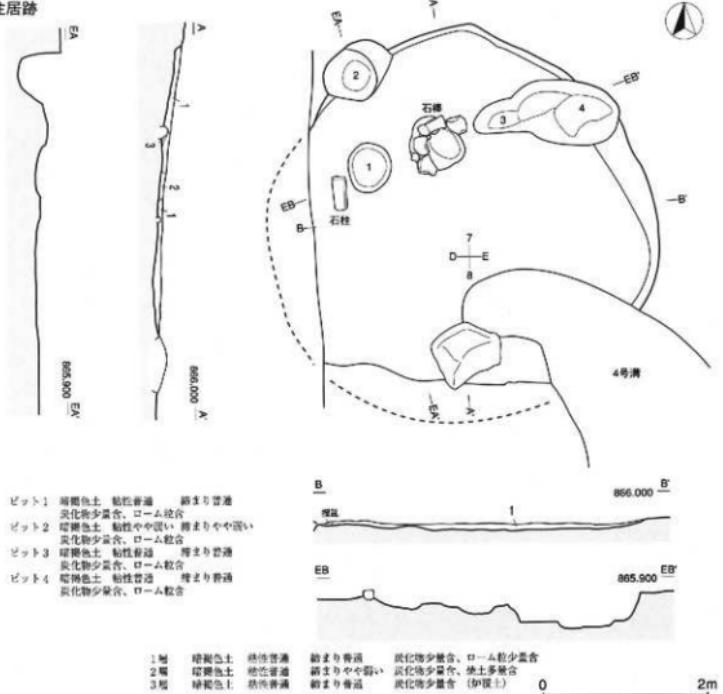
粗土 塙面土 黏性管道 細まりやや薄い 漆化物少量合、ローム微少量合、ロームブロック少量合

第44図 10号住居跡 ($S = 1/60$)

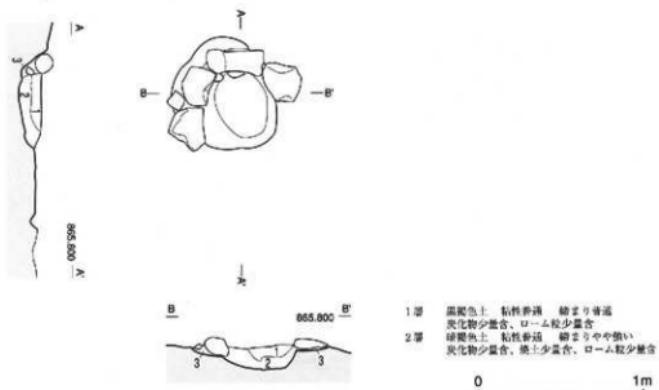


第45図 10号住居跡遺物出土状況・個体別分布 ($S = 1/60$)

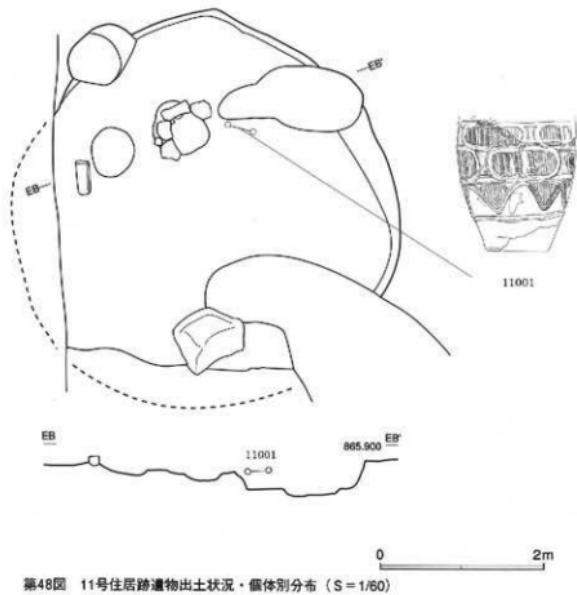
11号住居跡



第46図 11号住居跡 (S = 1/60)

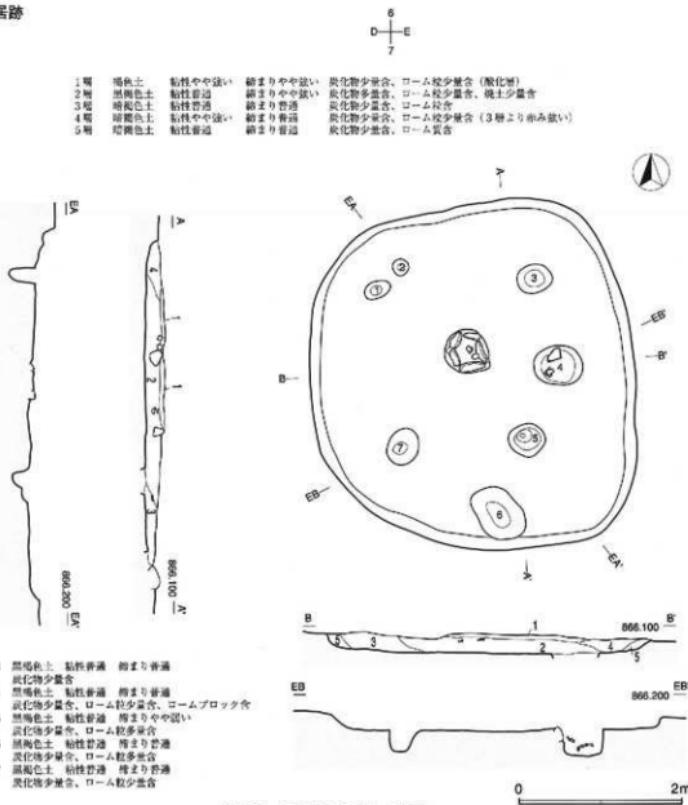


第47図 11号住居跡 炉跡 (S = 1/30)

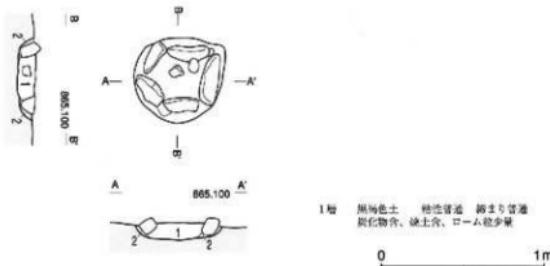


第48図 11号住居跡遺物出土状況・個体別分布 ($S = 1/60$)

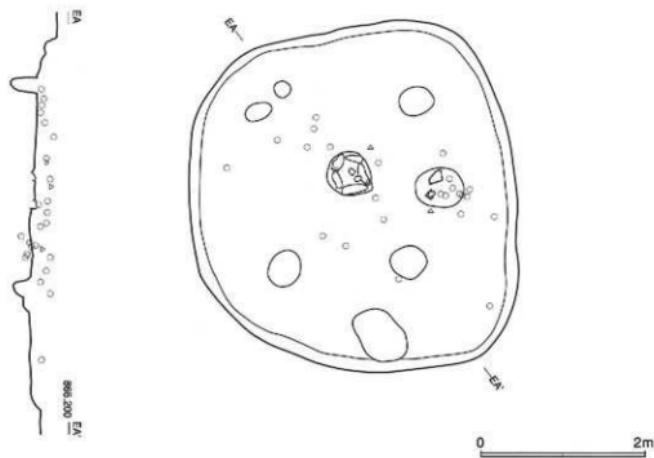
12号住居跡



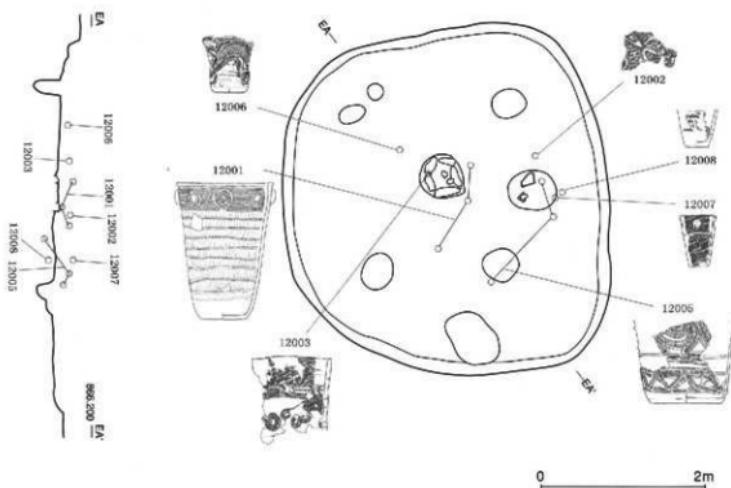
第49図 12号住居跡 (S = 1/60)



第50図 12号住居跡 炉跡 (S = 1/30)

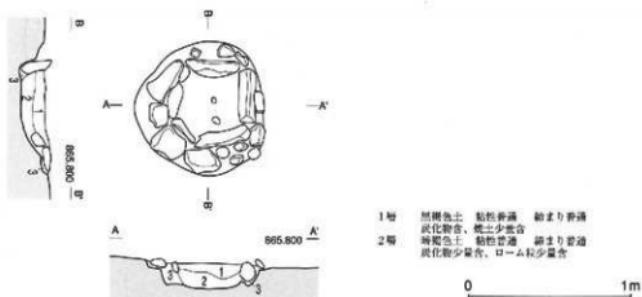
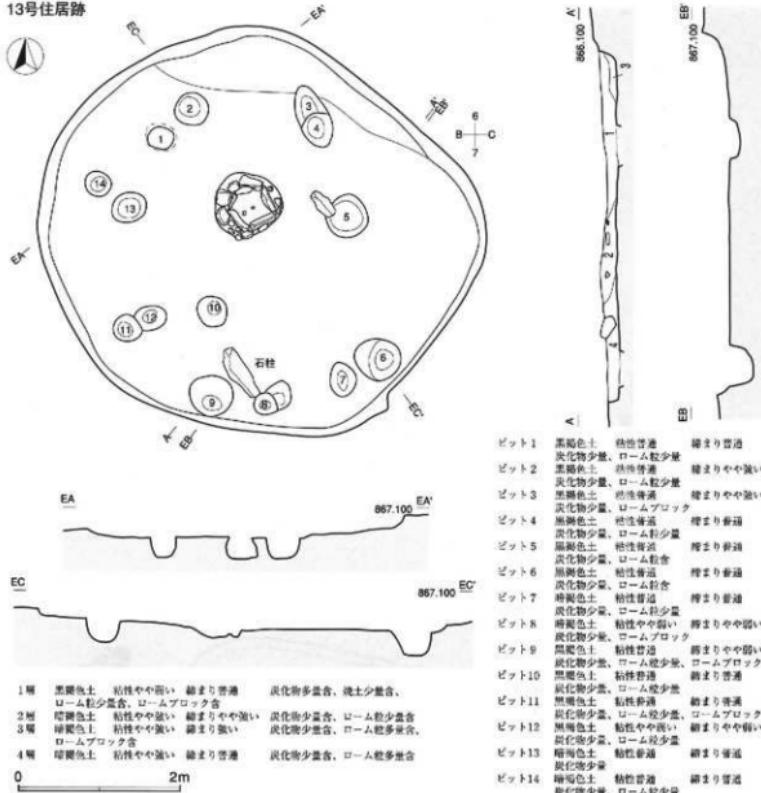


第51図 12号住居跡遺物出土状況 ($S = 1/60$)

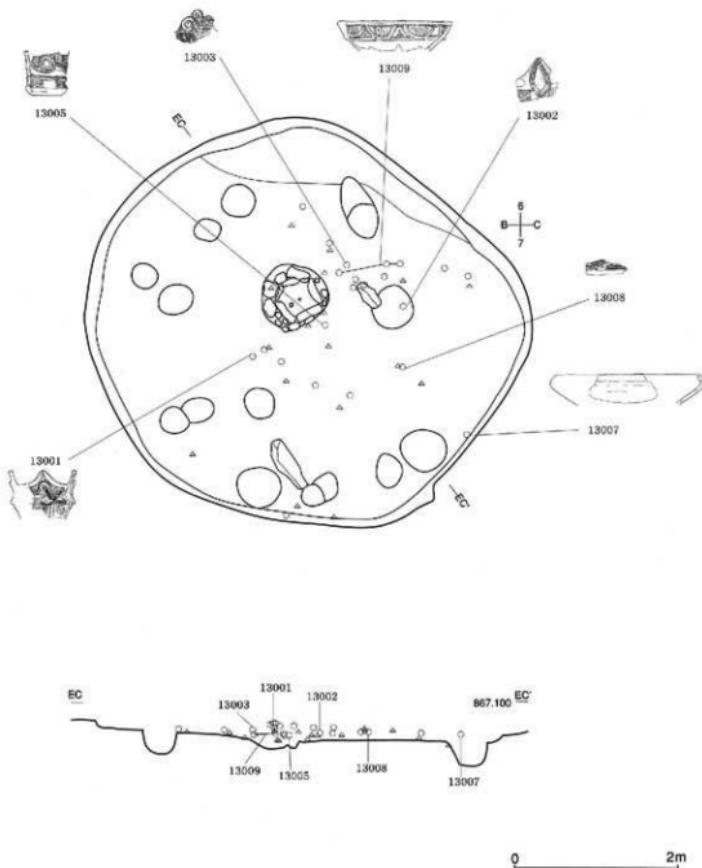


第52図 12号住居跡個体別遺物分布 ($S = 1/60$)

13号住居跡

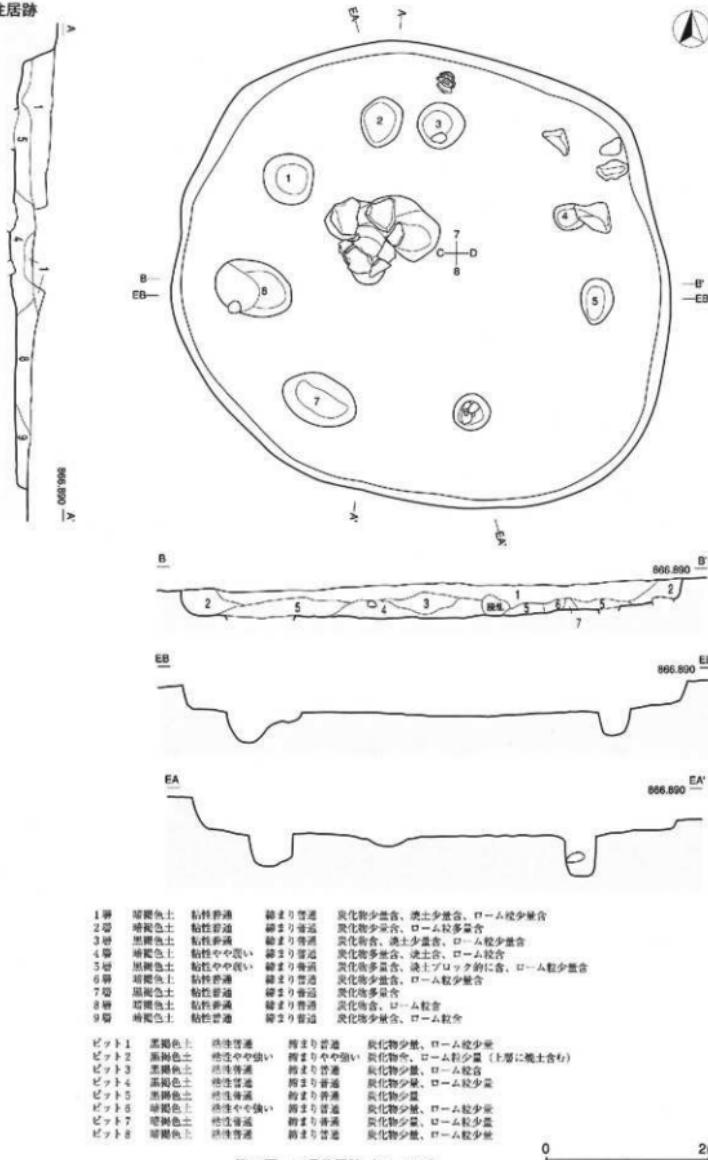


第53図 13号住居跡 炉跡 (S=1/30)

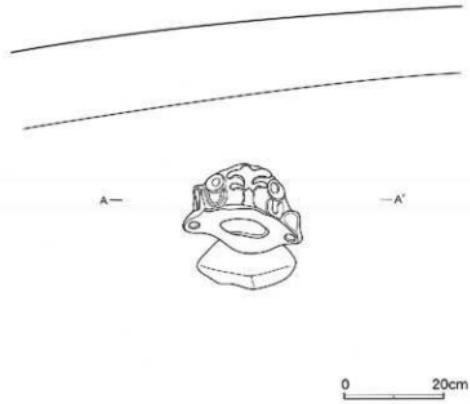


第54図 13号住居跡遺物出土状況・個体別分布 (S = 1/60)

14号住居跡



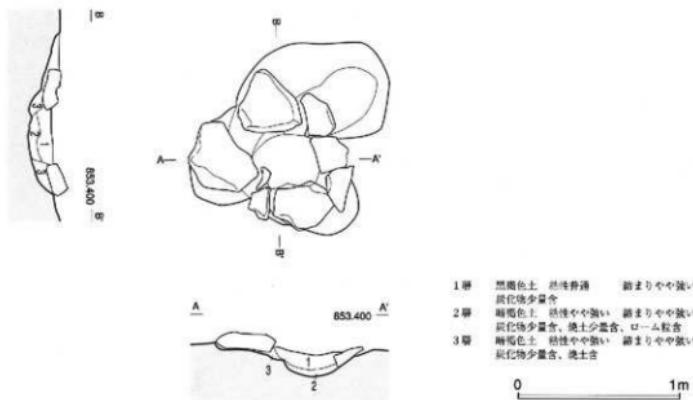
第55図 14号住居跡 (S = 1/60)



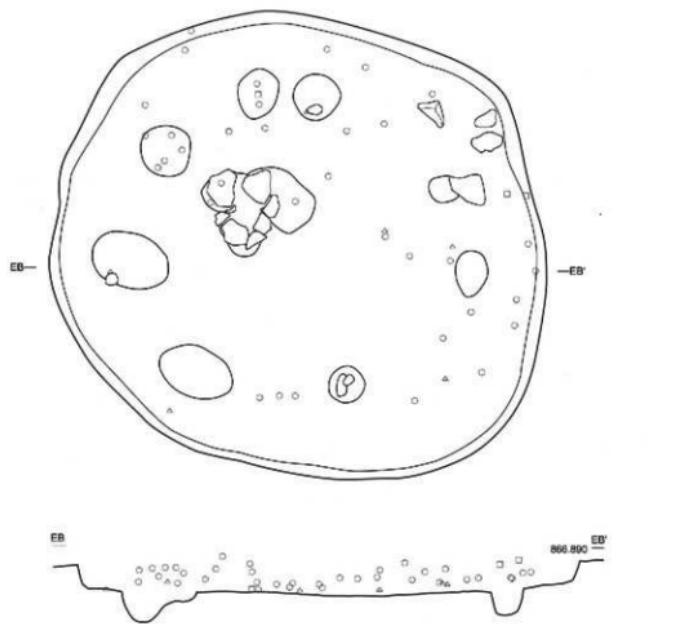
A— 866.700 A'



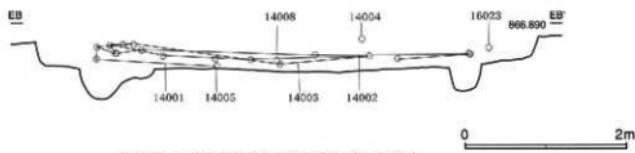
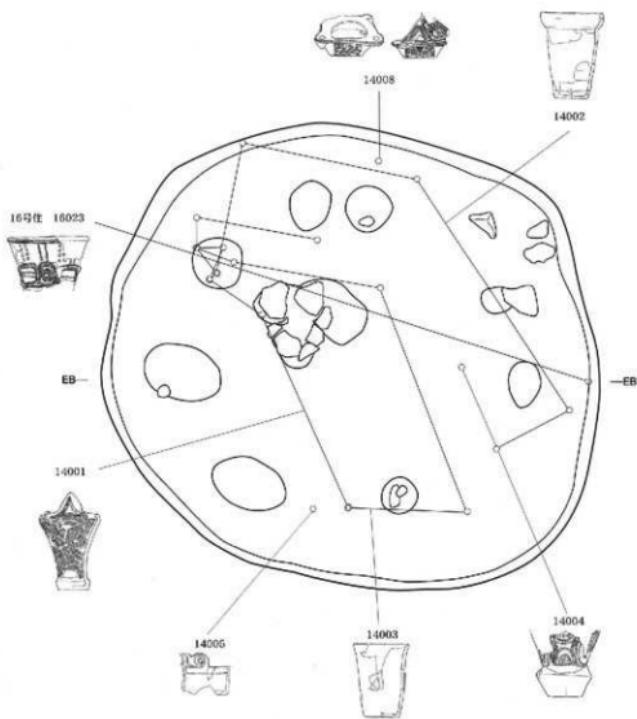
第56図 14号住居跡出土鉢手土器出土状況 (S = 1/10)



第57図 14号住居跡 炉跡 ($S = 1/30$)

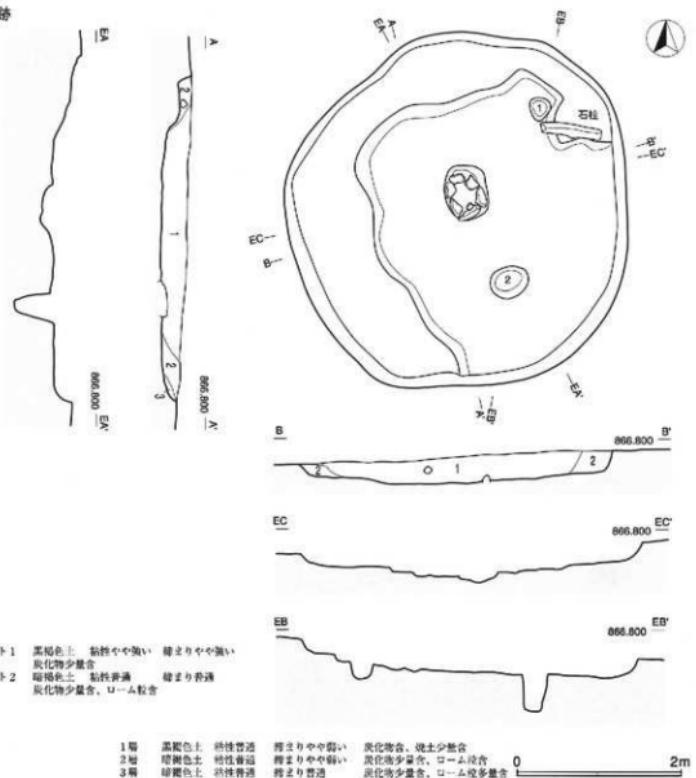


第58図 14号住居跡遺物出土状況 ($S = 1/60$)

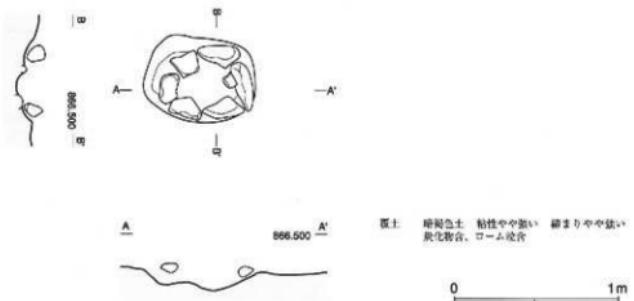


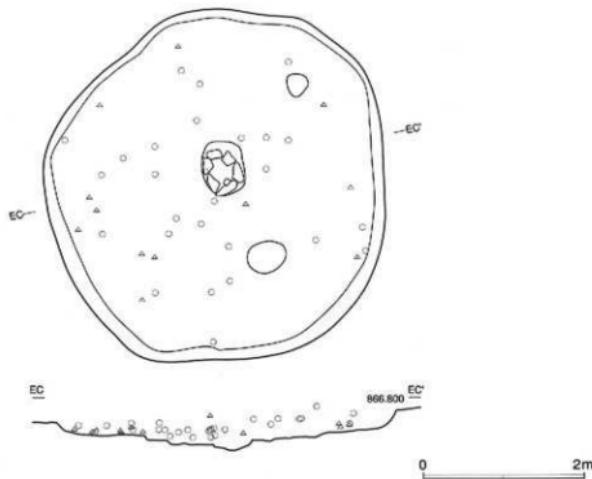
第59図 14号住居跡個体別遺物分布 (S = 1/60)

15号住居跡

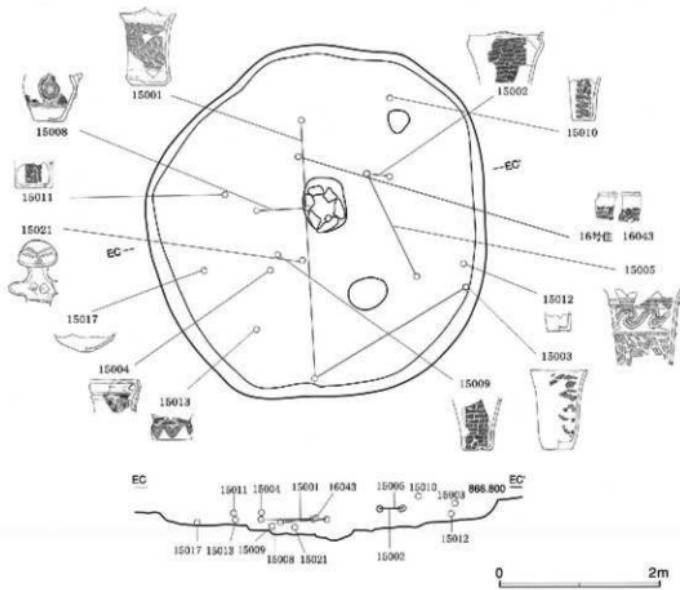


第60図 15号住居跡 (S = 1/60)



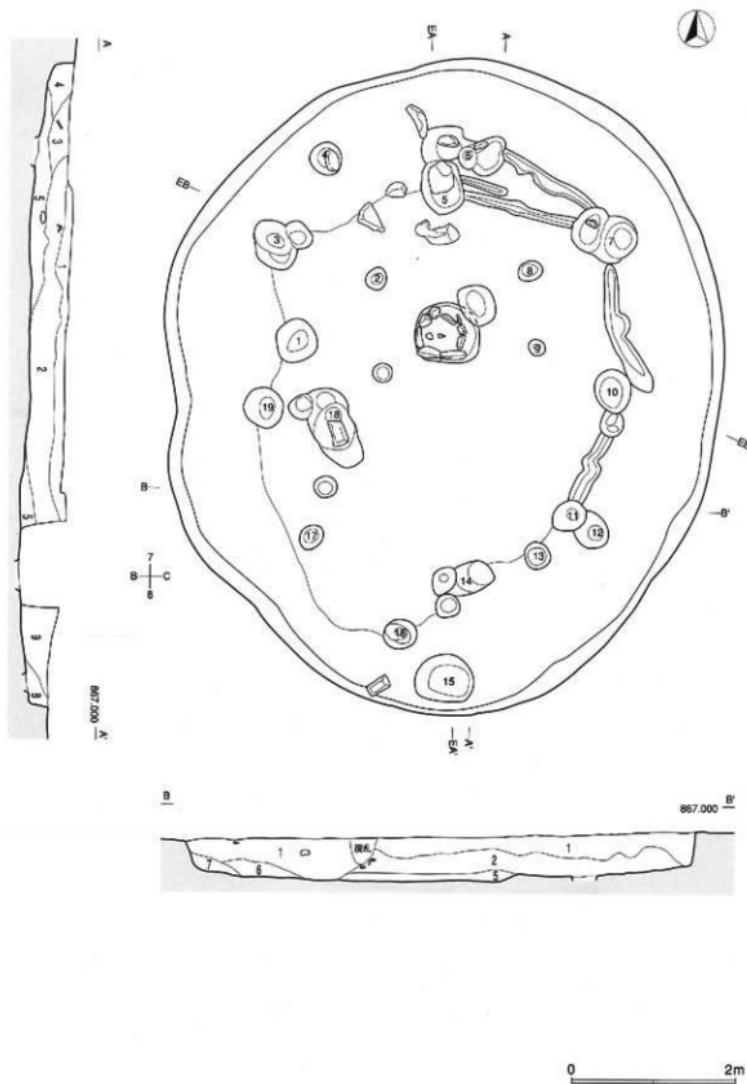


第62図 15号住居跡遺物出土状況 (S = 1/60)

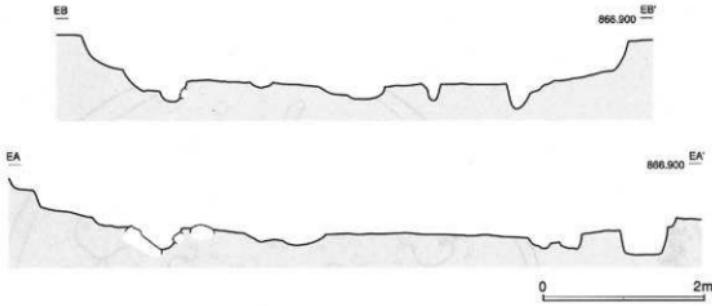


第63図 15号住居跡個体別遺物分布 (S = 1/60)

16号住居跡

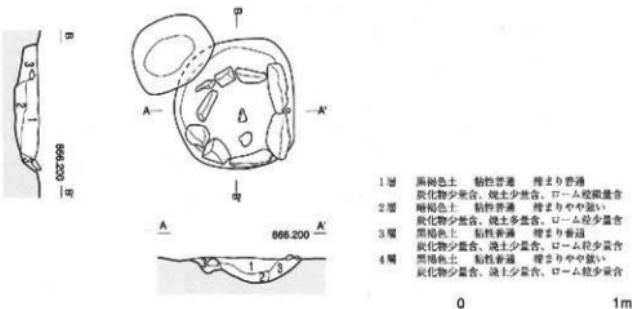


第64図 16号住居跡 (S = 1/60)

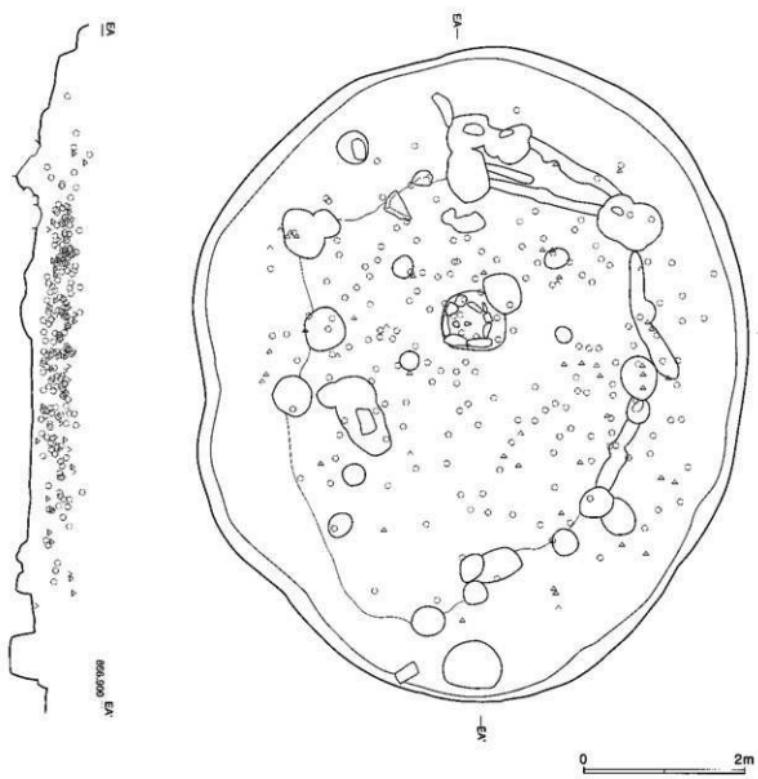


1層	暗褐色土	粘性普通	稍まり普通	部分的に炭化物含、泥土含、ローム粒少量含
2層	黒褐色土	粘性やや強い	稍まり普通	炭化物少量含、泥土含、ローム粒少量含
3層	暗褐色土	粘性普通	稍まりやや強い	炭化物少量含、ローム粒少
4層	暗褐色土	粘性普通	稍まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含、ロームブロック含
5層	黒褐色土	粘性普通	稍まり普通	炭化物少量含、泥土含、ローム粒少量含
6層	黒褐色土	粘性やや強い	稍まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
7層	暗褐色土	粘性やや弱い	稍まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
8層	暗褐色土	粘性やや弱い	稍まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
9層	暗褐色土	粘性やや弱い	稍まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット 1	黒褐色土	粘性普通	稍まりやや強い	炭化物少量含、ローム粒少
ピット 2	黒褐色土	粘性普通	稍まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット 3	黒褐色土	粘性普通	稍まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含、ロームブロック含
ピット 4	黒褐色土	粘性普通	稍まり普通	炭化物少量含、ローム粒少
ピット 5	黒褐色土	粘性普通	稍まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含、ロームブロック含
ピット 6	黒褐色土	粘性普通	稍まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット 7	黒褐色土	粘性普通	稍まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット 8	完掘			
ピット 9	黒褐色土	粘性普通	稍まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット 10	黒褐色土	粘性普通	稍まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット 11	黒褐色土	粘性普通	稍まり普通	炭化物少量含、ローム粒少
ピット 12	黒褐色土	粘性普通	稍まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット 13	黒褐色土	粘性普通	稍まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット 14	黒褐色土	粘性普通	稍まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット 15	黒褐色土	粘性普通	稍まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット 16	黒褐色土	粘性普通	稍まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット 17	黒褐色土	粘性普通	稍まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット 18	黒褐色土	粘性普通	稍まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含
ピット 19	黒褐色土	粘性普通	稍まり普通	炭化物少量含、ローム粒少量含

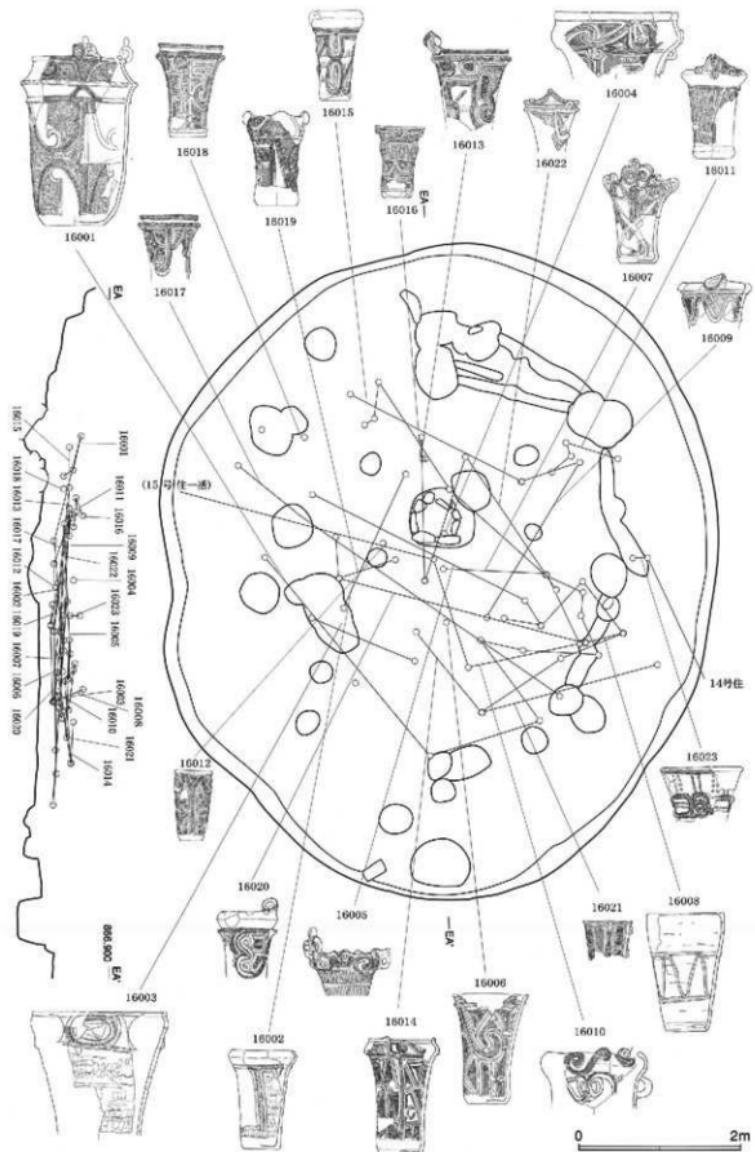
第65図 16号住居跡 (S = 1/60)



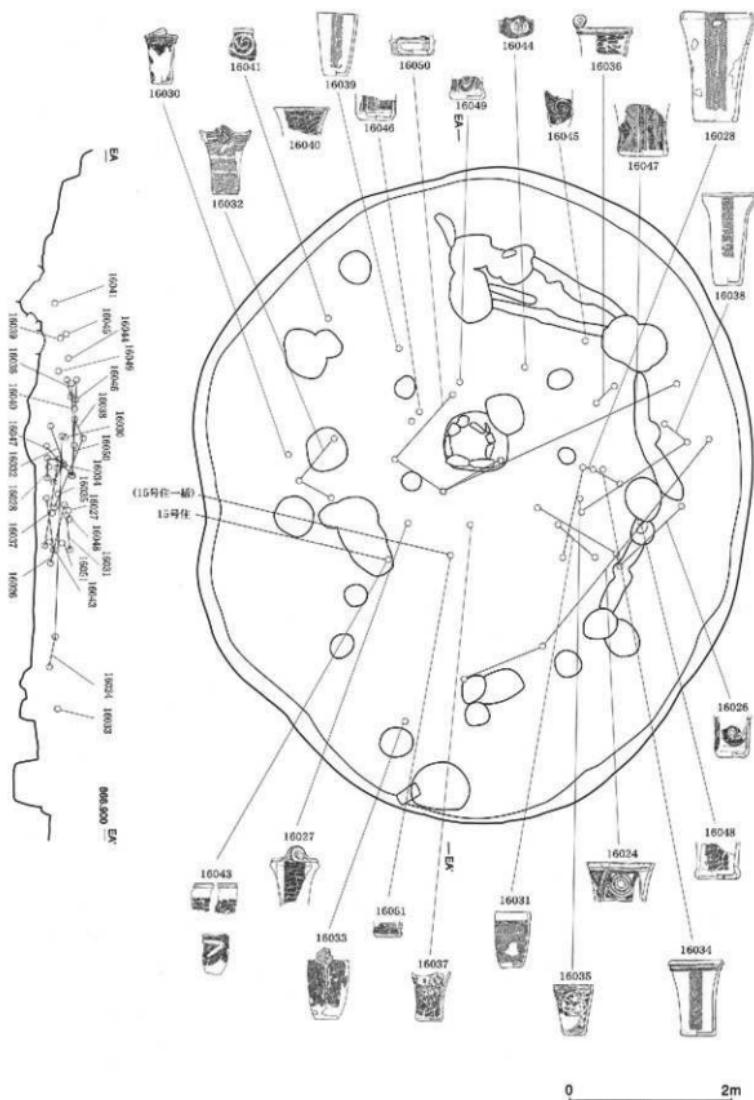
第66図 16号住居跡 炉跡 (S = 1/30)



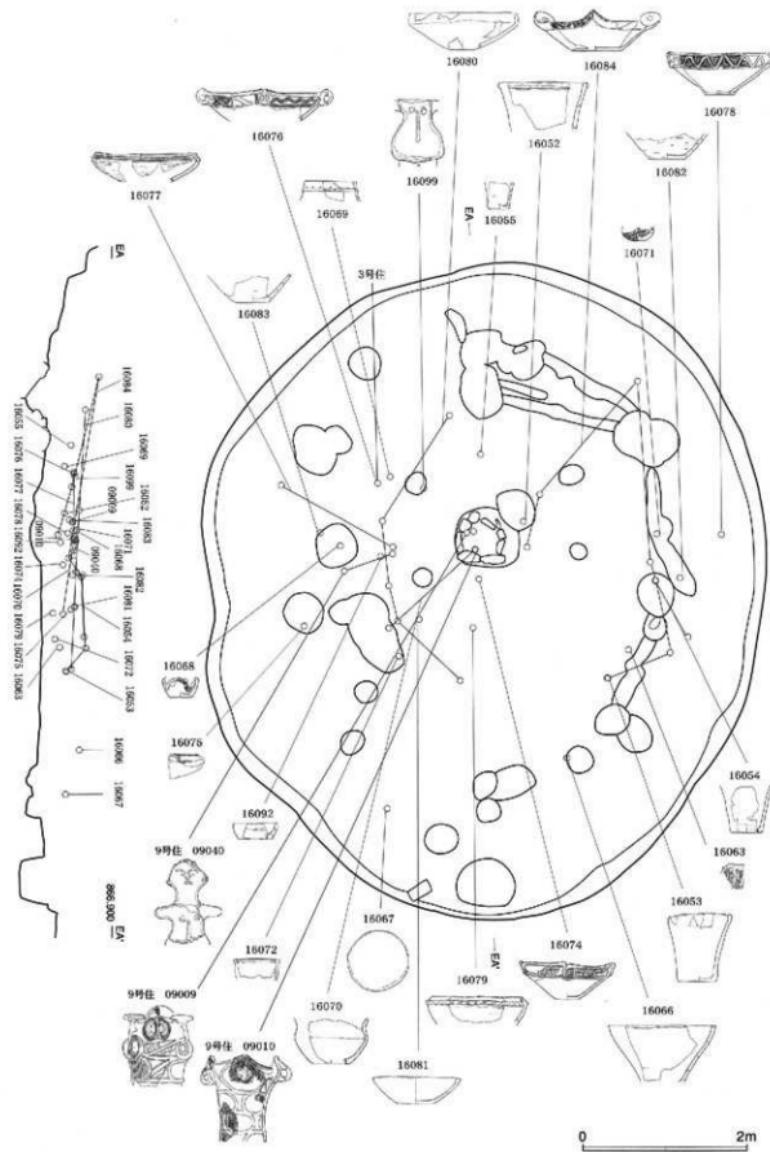
第67図 16号住居跡遺物出土状況 (S = 1/60)



第68図 16号住跡個体別遺物分布 (1) (S = 1/60)

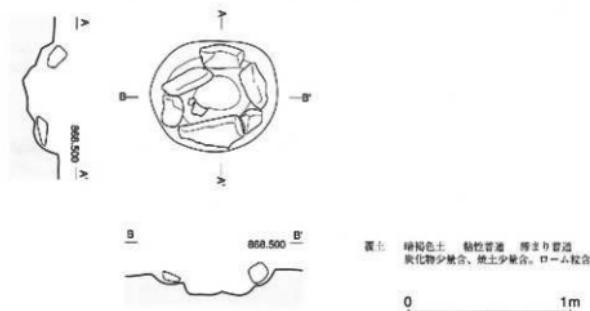
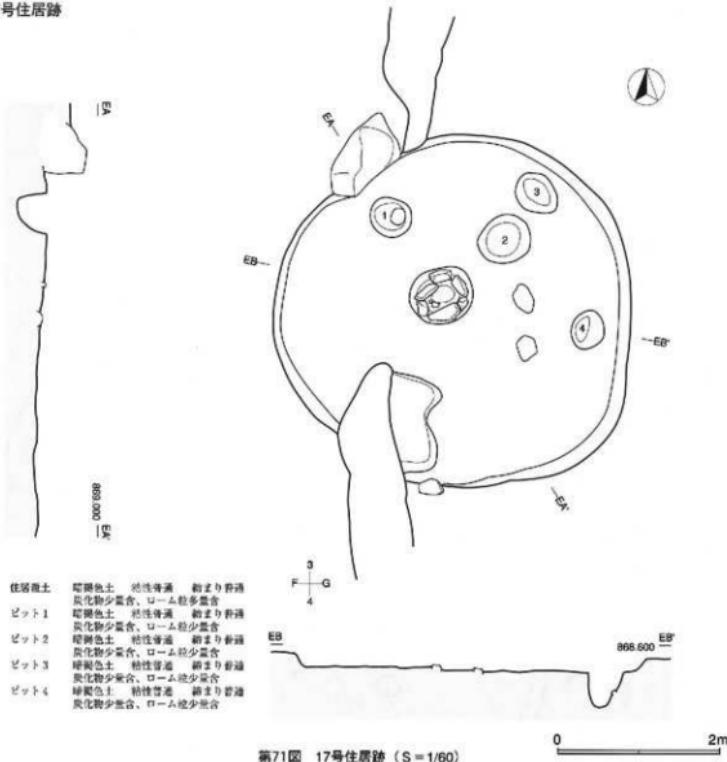


第69図 16号住居跡個体別遺物分布（2）（S=1/60）

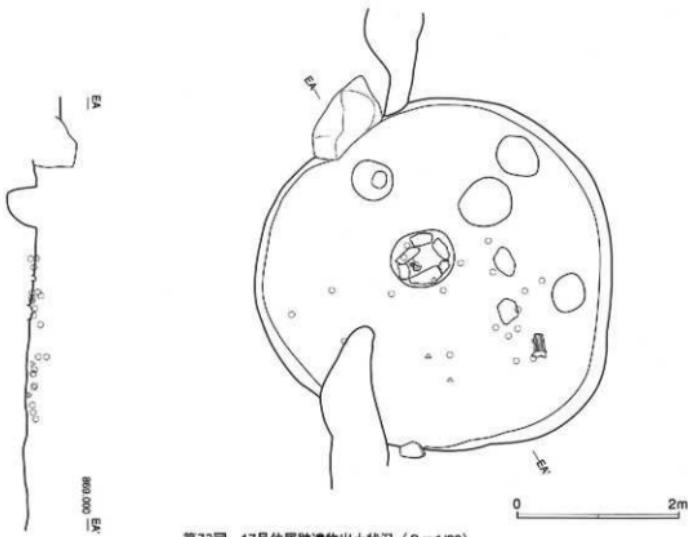


第70図 16号住跡個別遺物分布 (3) (S = 1/60)

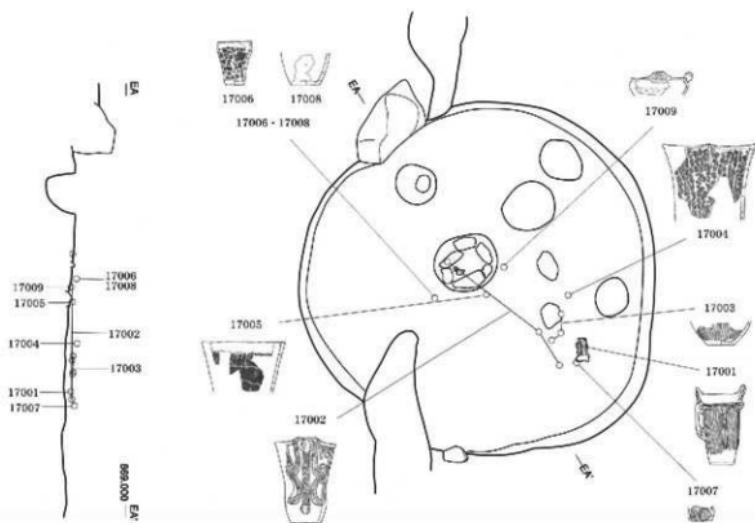
17号住居跡



第72図 17号住居跡 炉跡 (S = 1/30)

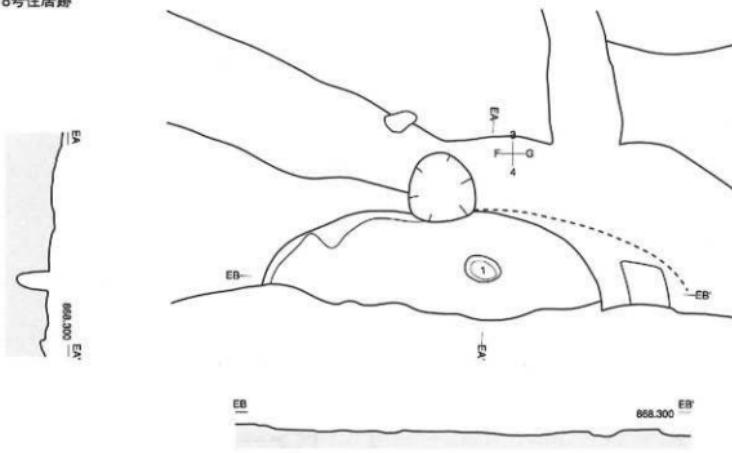


第73図 17号住居跡出土状況 (S = 1/60)



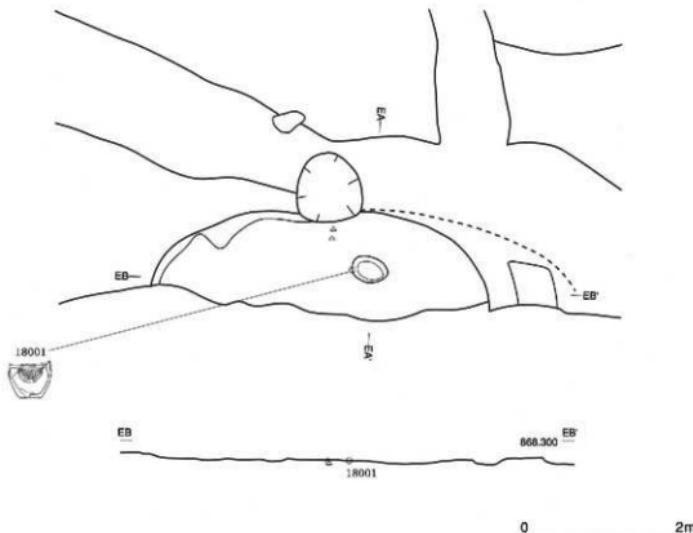
第74図 17号住居跡個体別遺物分布 (S = 1/60)

18号住居跡



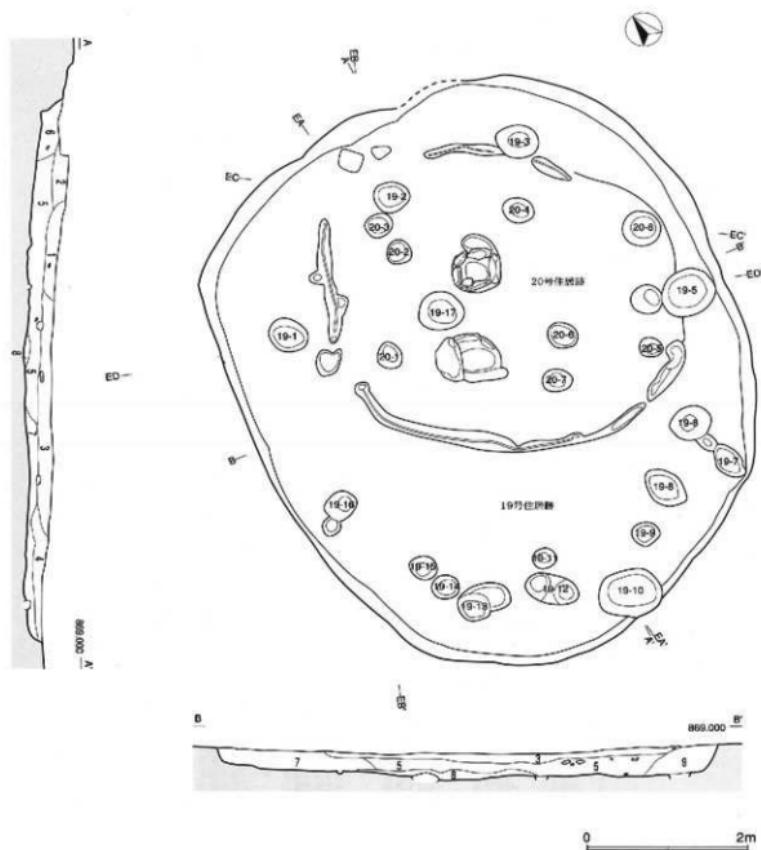
住居裏土 ピット1	暗褐色土 黒褐色土	粘性普通 粘性普通	純まり普通 純まり普通	炭化物多量含、ローム粒含 炭化物含、ローム粒少含
--------------	--------------	--------------	----------------	-----------------------------

第75図 18号住居跡 (S = 1/60)

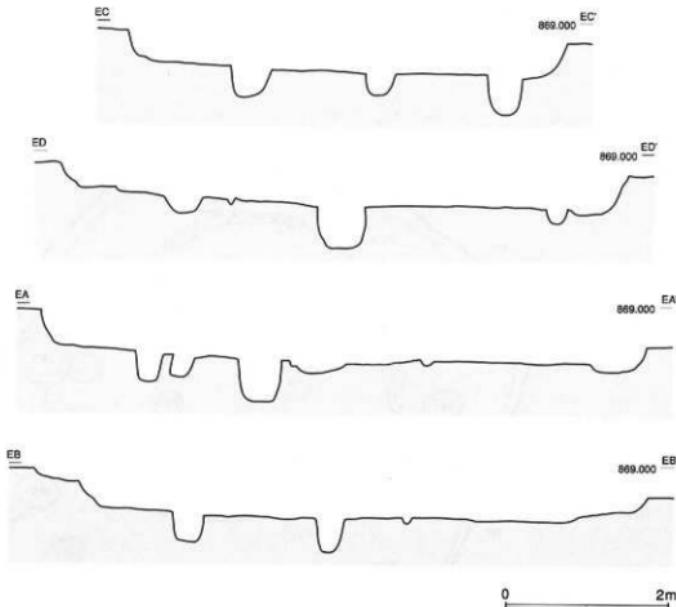


第76図 18号住居跡遺物出土状況・個体別分布 (S = 1/60)

19・20号住居跡

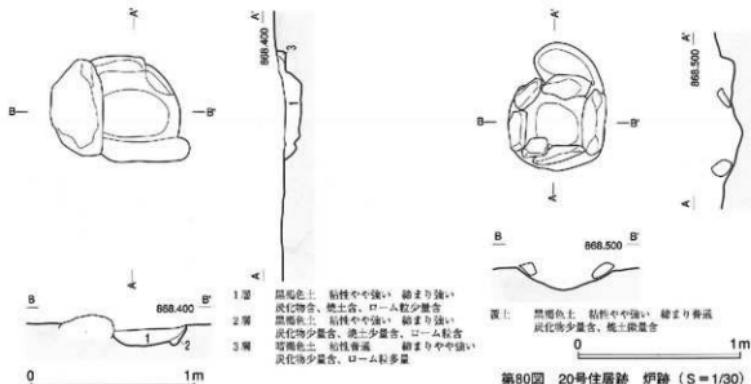


第77図 19・20号住居跡(1) (S=1/60)



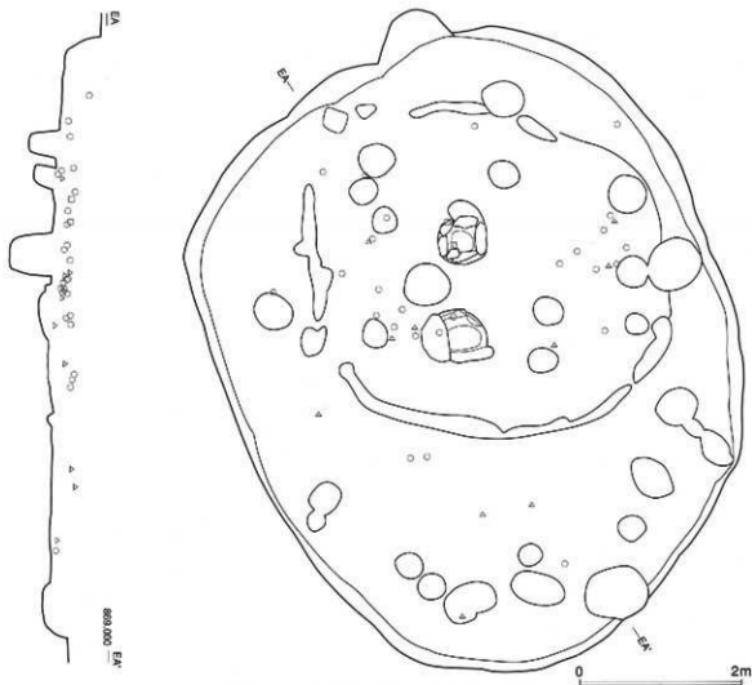
19住					
1号	暗褐色土	粘性普通	深さりやや普通	炭化物合、油山ブロック多量含	
2号	黒褐色土	粘性普通	深さりやや弱い	炭化物少、ローム少量含	
3号	黒褐色土	粘性普通	深さりやや弱い	炭化物多量含、ローム粒少量含	
4号	暗褐色土	粘性普通	深さりやや弱い	炭化物多量含、ローム粒多量含	
5号	黒褐色土	粘性普通	深さりやや弱い	炭化物多量含、ローム粒少量含	
6号	暗褐色土	粘性普通	深さりやや弱い	炭化物合、ローム粒少量含	
7号	暗褐色土	粘性普通	深さりやや弱い	炭化物少量含、ローム粒含	
8号	暗褐色土	粘性普通	深さりやや弱い	炭化物多量含、油土少量含	
9号	暗褐色土	粘性普通	深さりやや弱い	炭化物多量含、油土少量含、ローム統合	
19住					
ピット1	暗褐色土	粘性やや弱い	深さりやや弱い	炭化物少量含、油山ブロック多量含	
ピット2	黒褐色土	粘性普通	深さりやや弱い	炭化物少量含、ローム粒少量含	
ピット3	黒褐色土	粘性普通	深さりやや弱い	炭化物少量含、ローム粒少量含	
ピット4	暗褐色土	粘性普通	深さりやや弱い	炭化物少量含、ローム粒少量含	
ピット5	暗褐色土	粘性普通	深さりやや弱い	炭化物少量含、ローム粒少量含	
ピット6	黒褐色土	粘性普通	深さりやや弱い	炭化物少量含、ローム粒少量含	
ピット7	黒褐色土	粘性普通	深さりやや弱い	炭化物少量含、ローム粒少量含	
ピット8	暗褐色土	粘性普通	深さりやや弱い	炭化物少量含、ローム粒少量含	
ピット9	黒褐色土	粘性普通	深さりやや弱い	炭化物少量含、ローム粒少量含	
ピット10	暗褐色土	粘性普通	深さりやや弱い	炭化物少量含、ローム粒少量含	
ピット11	丈木層	粘性普通	深さりやや弱い	炭化物少量含、油山ブロック多量含	
ピット12	暗褐色土	粘性普通	深さりやや弱い	炭化物少量含、ローム粒少量含	
ピット13	暗褐色土	粘性普通	深さりやや弱い	炭化物少量含、ローム粒含	
ピット14	黒褐色土	粘性普通	深さりやや弱い	炭化物少量含、ローム粒少量含	
ピット15	黒褐色土	粘性普通	深さりやや弱い	炭化物少量含、油山粒少量含	
ピット16	黒褐色土	粘性普通	深さりやや弱い	炭化物少量含、油山粒含	
ピット17	黒褐色土	粘性普通	深さりやや弱い	炭化物多量含、油土少量含、ローム粒少量含	
20住					
ピット1	黒褐色土	粘性普通	深さりやや弱い	炭化物合、ローム粒少量含	
ピット2	黒褐色土	粘性普通	深さりやや弱い	炭化物少量含、ローム粒少量含	
ピット3	黒褐色土	粘性やや弱い	深さりやや弱い	炭化物少量含、ローム粒少量含	
ピット4	黒褐色土	粘性普通	深さりやや弱い	炭化物少量含、ローム粒少量含	
ピット5	黒褐色土	粘性普通	深さりやや弱い	炭化物少量含、ローム粒少量含	
ピット6	黒褐色土	粘性やや弱い	深さりやや弱い	炭化物少量含、ローム粒少量含	
ピット7	黒褐色土	粘性普通	深さりやや弱い	炭化物少量含、ローム粒少量含	
ピット8	黒褐色土	粘性普通	深さりやや弱い	炭化物少量含、ローム粒少量含	

第78図 19・20住層跡 (2) (S = 1/60)

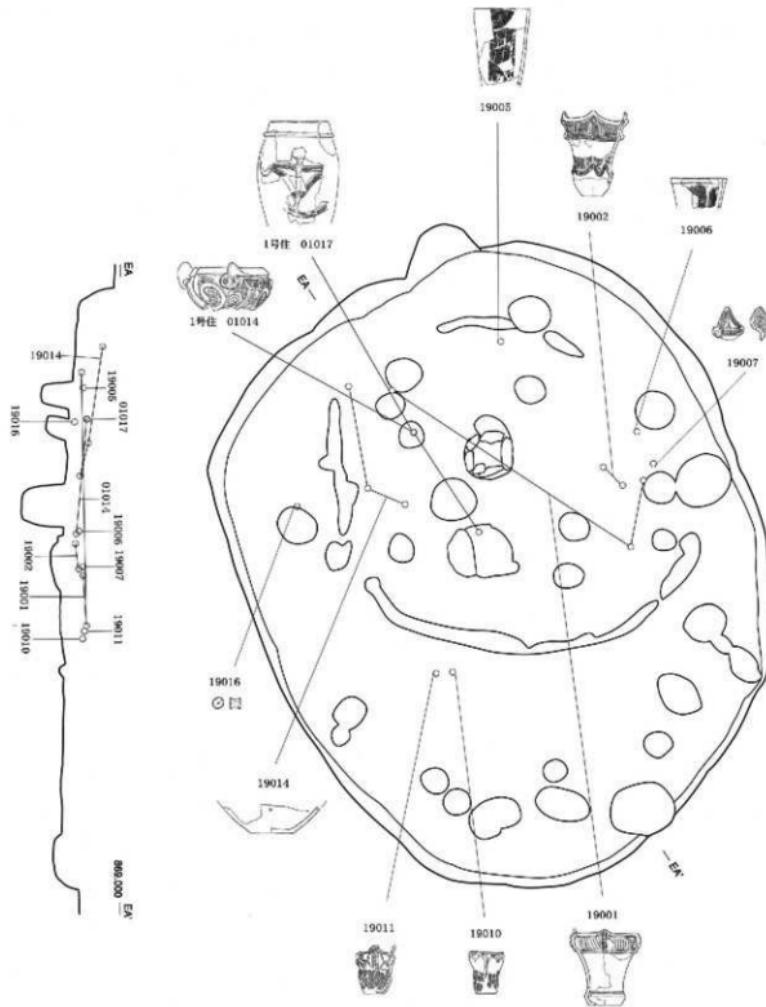


第79図 19号住居跡 炉跡 (S = 1/30)

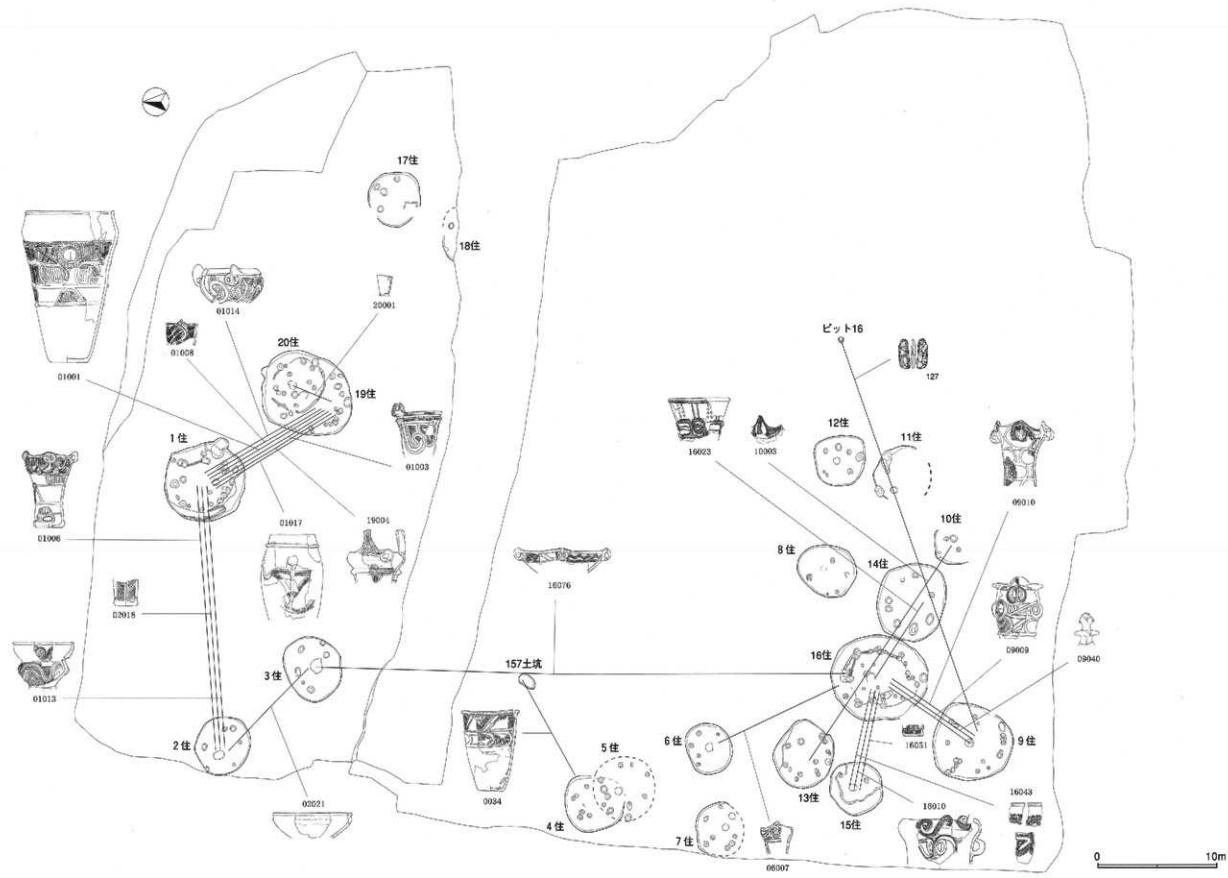
第80図 20号住居跡 炉跡 (S = 1/30)



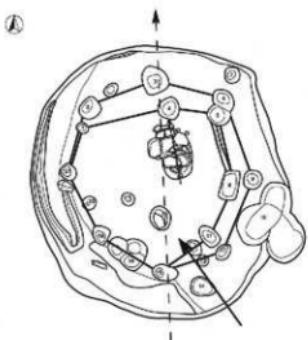
第81図 19・20号住居跡遺物出土状況 (S = 1/60)



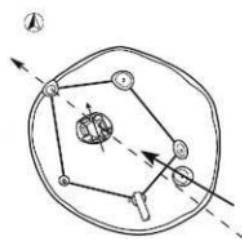
第82図 19・20号住居跡個体別遺物分布 (S = 1/60)



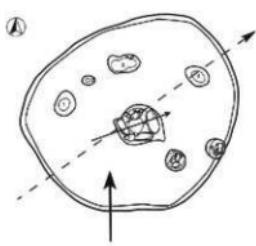
第83図 出土遺物分布圖 (S = 1/300)



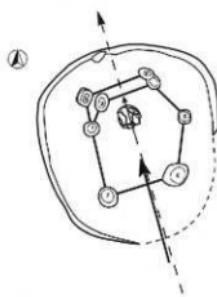
1号住居跡



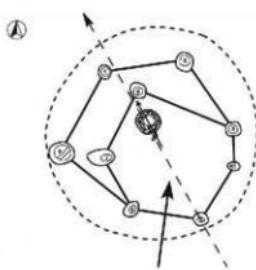
2号住居跡



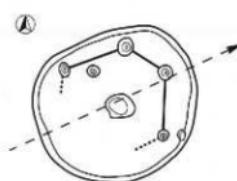
3号住居跡



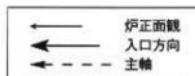
4号住居跡



5号住居跡

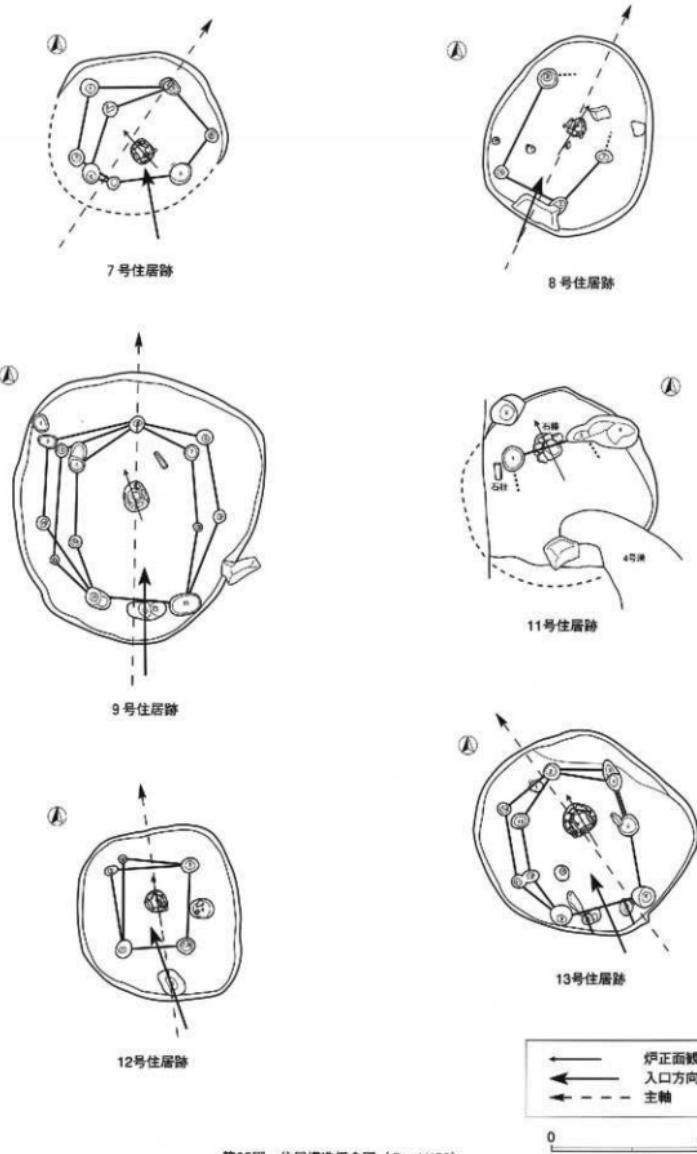


6号住居跡

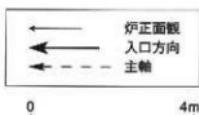
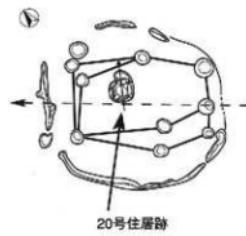
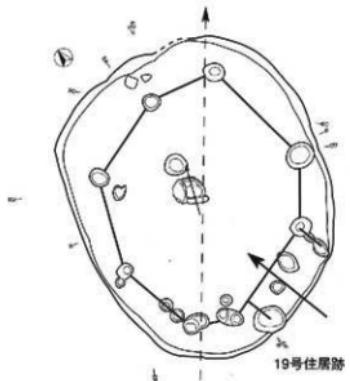
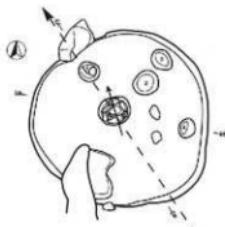
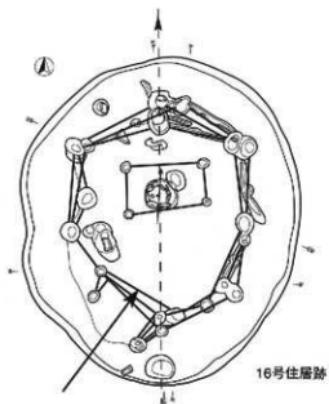
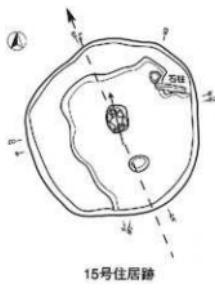
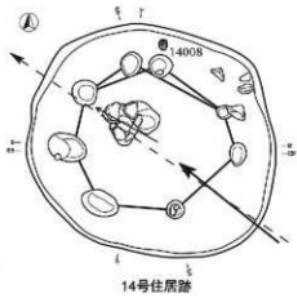


0 4m

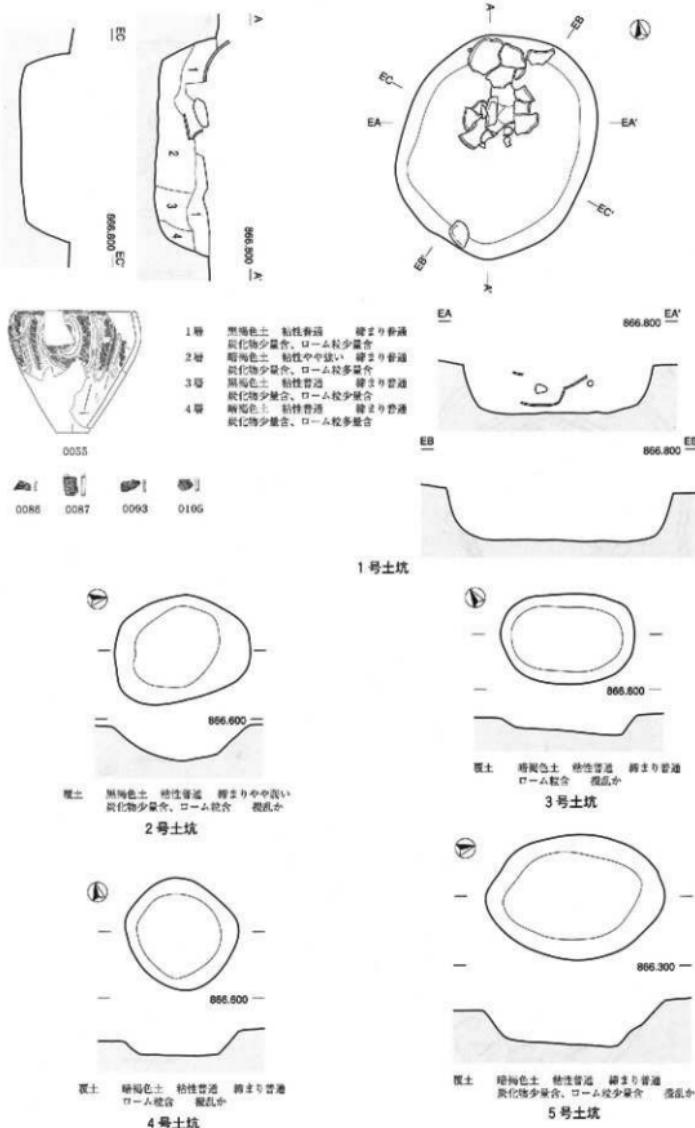
第84図 住居構造概念図 (S = 1/120)



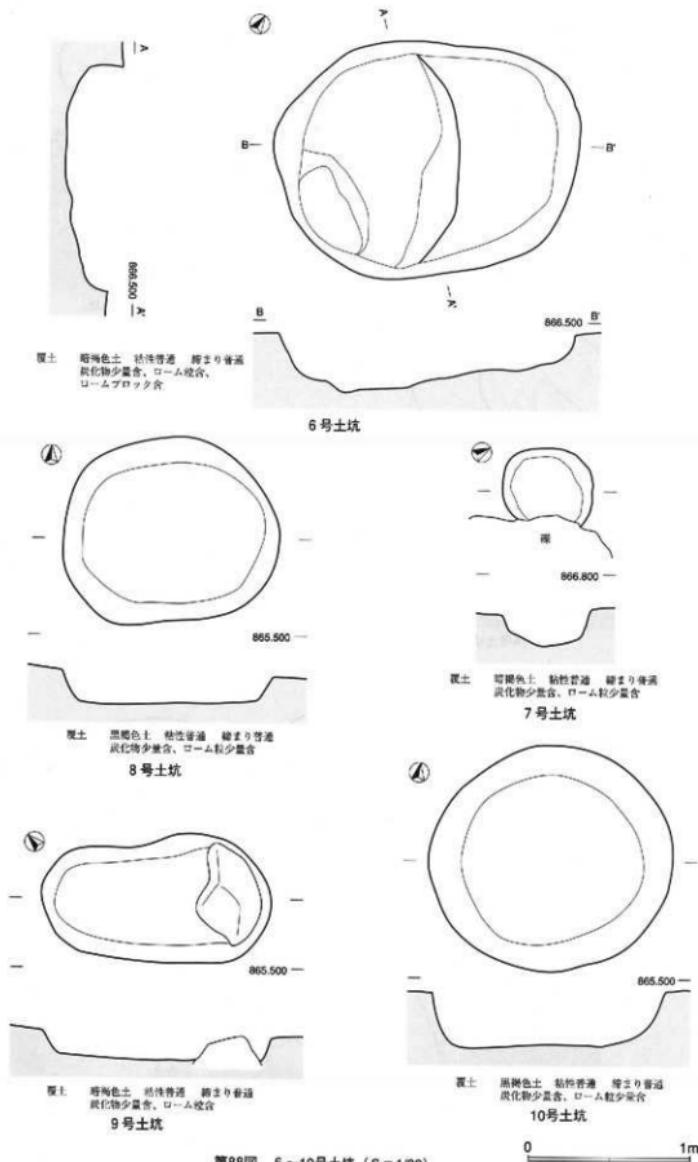
第85図 住居構造概念図 ($S = 1/120$)



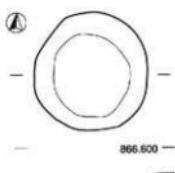
第86図 住居構造概念図 (S = 1/120)



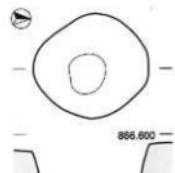
第87図 1～5号土坑 (S=1/30)



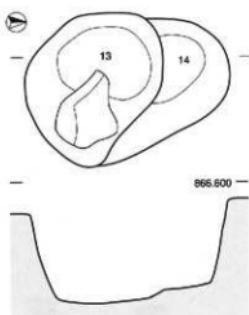
第88図 6～10号土坑 ($S = 1/30$)



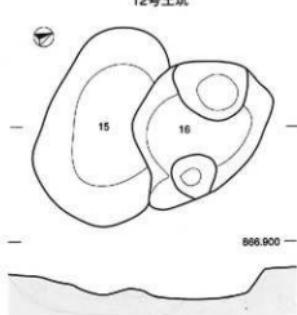
11号土坑



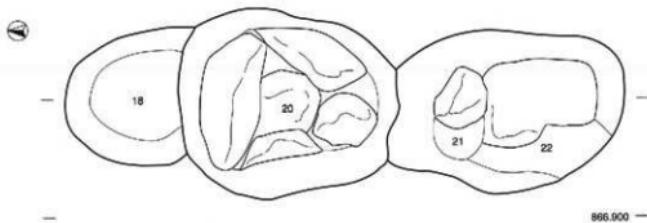
12号土坑



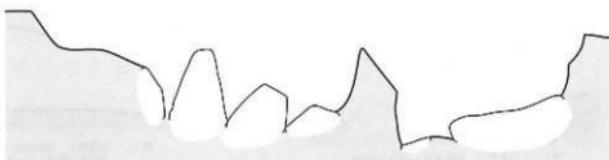
13・14号土坑



15・16号土坑

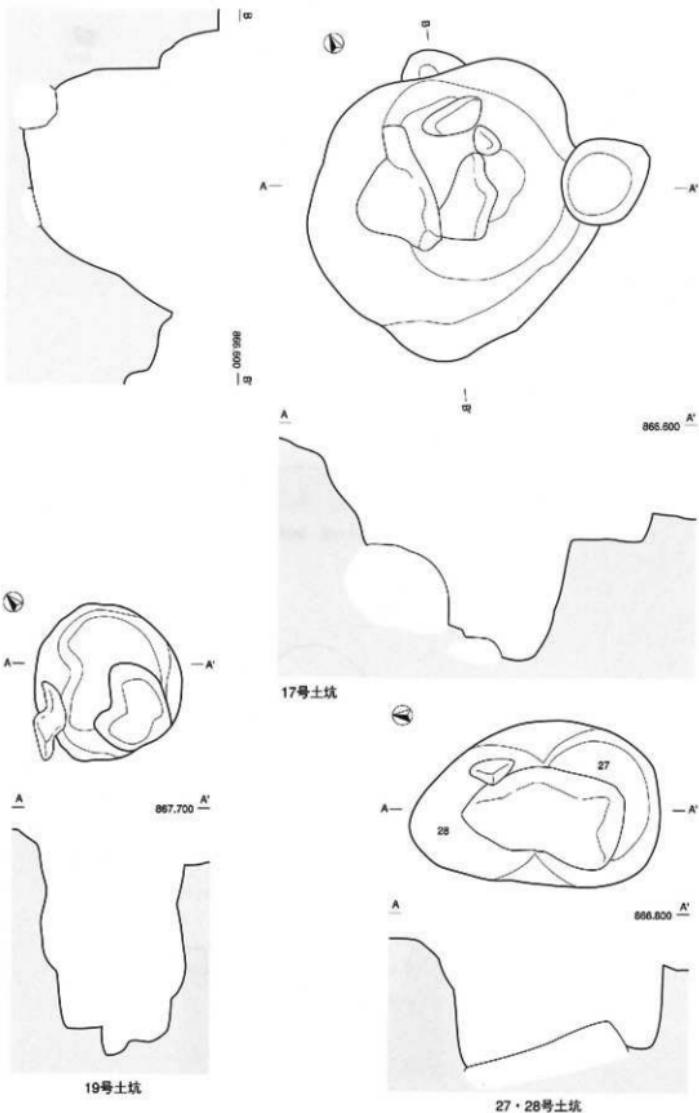


18・20・21・22号土坑

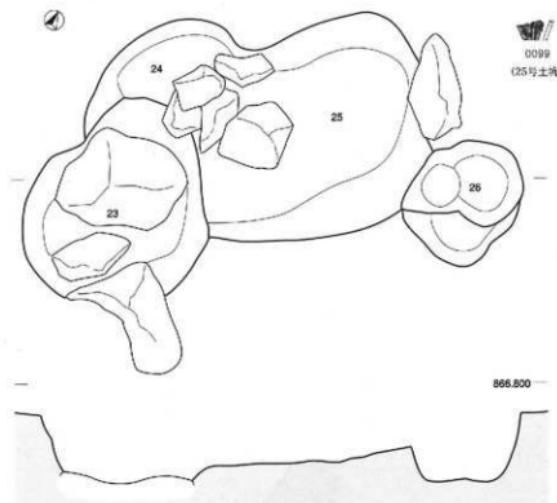


第89図 11～16・18・20～22号土坑 (S = 1/30)

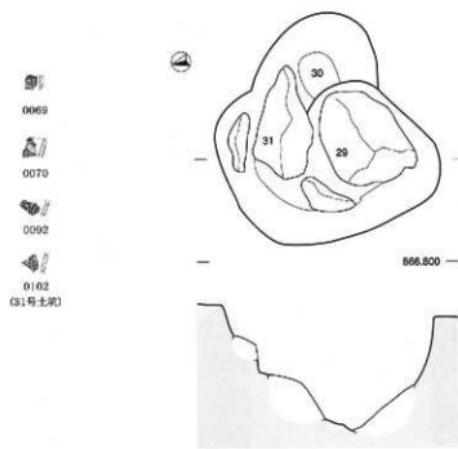




第90圖 17·19·27·28號土坑 ($S = 1/30$)



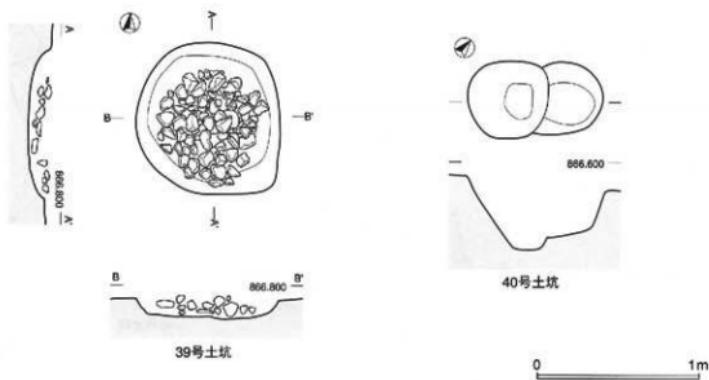
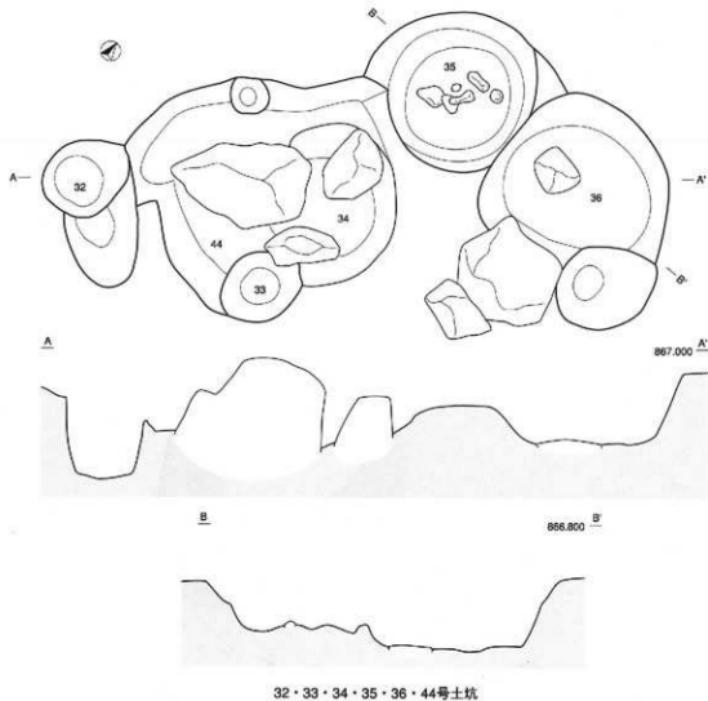
23・24・25・26号土坑



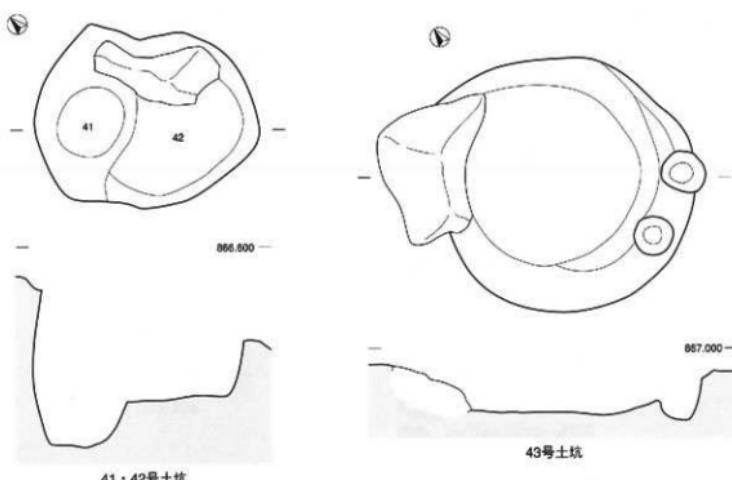
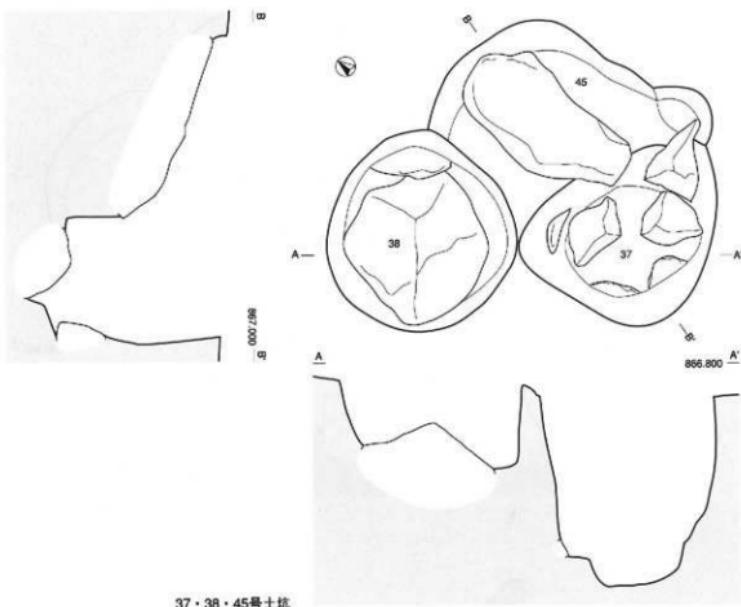
29・30・31号土坑

第91図 23~26・29~31号土坑 (S = 1/30)

0 1m

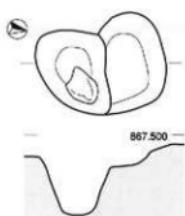


第92図 32~36・39・40・44号土坑 (S = 1/30)

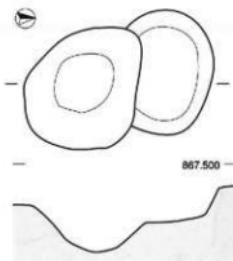


第93圖 37·38·41~43·45號土坑 ($S = 1/30$)

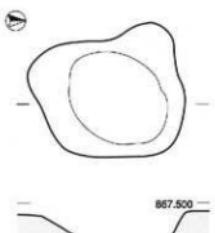
0 1m



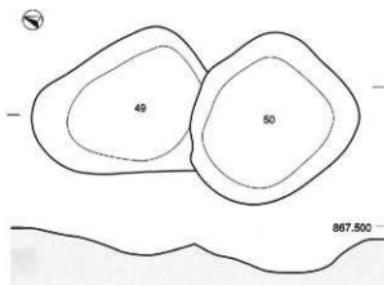
覆土 暗褐色土、粘性普通、縫まり普通
炭化物少量含、ローム粒含
46号土坑



覆土 暗褐色土、粘性普通、縫まり普通
炭化物少量含、ローム粒含
47号土坑

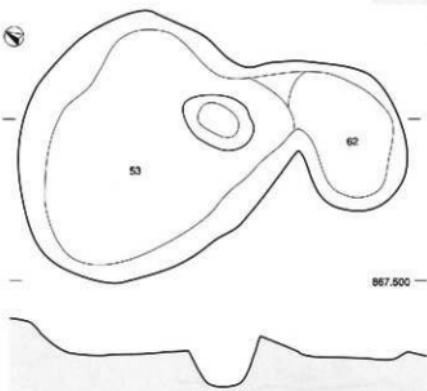


覆土 暗褐色土、粘性普通、縫まり普通
炭化物少量含、ローム粒含
48号土坑



49号土坑 覆土 暗褐色土、粘性普通、縫まり普通
炭化物少量含、ローム粒含
50号土坑 覆土 黒褐色土、粘性普通、縫まり普通
炭化物少含、ローム粒少含

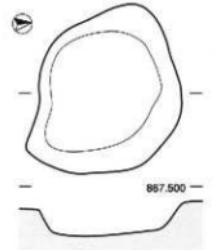
49・50号土坑



53号土坑 覆土 黒褐色土、粘性普通、縫まり普通
炭化物少量含、ローム粒含

62号土坑 覆土 黑褐色土、粘性普通、縫まり普通
炭化物少含、ローム粒含

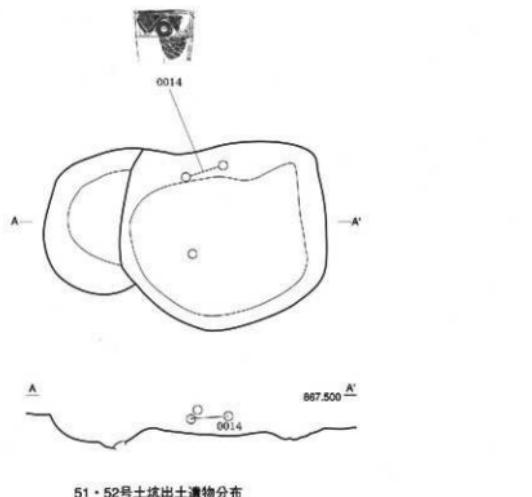
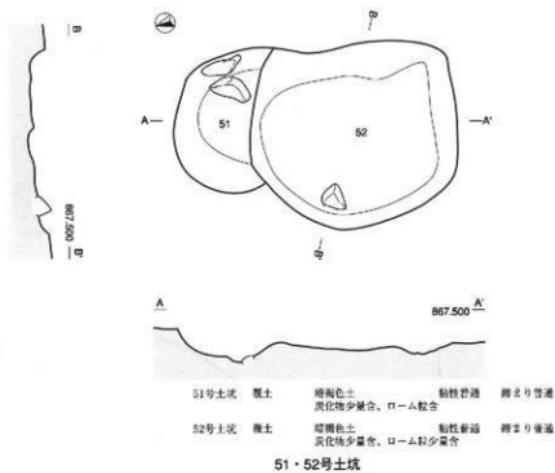
53・62号土坑



覆土 暗褐色土、粘性やや強、縫まり普通
炭化物少量含、ローム粒含
54号土坑

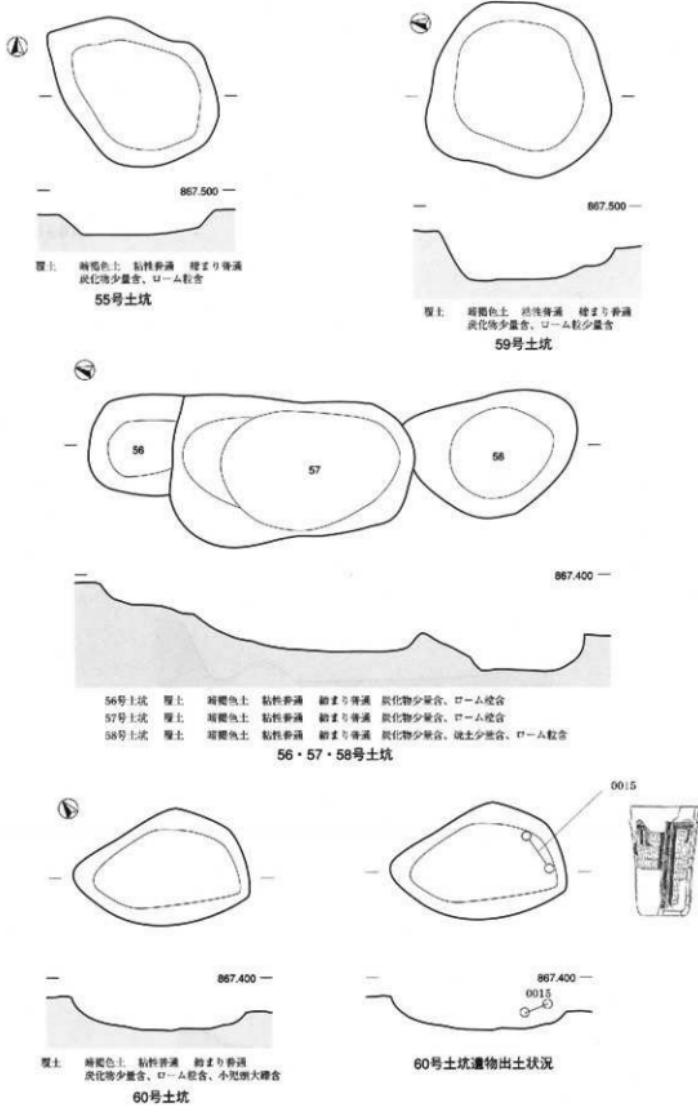
第94図 46~50・53・54・62号土坑 (S=1/30)





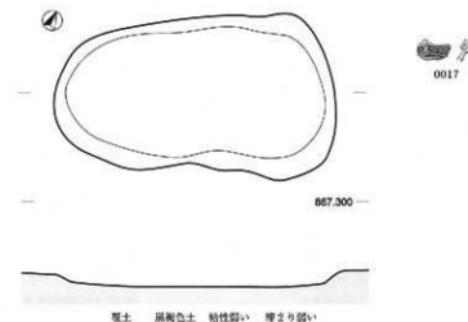
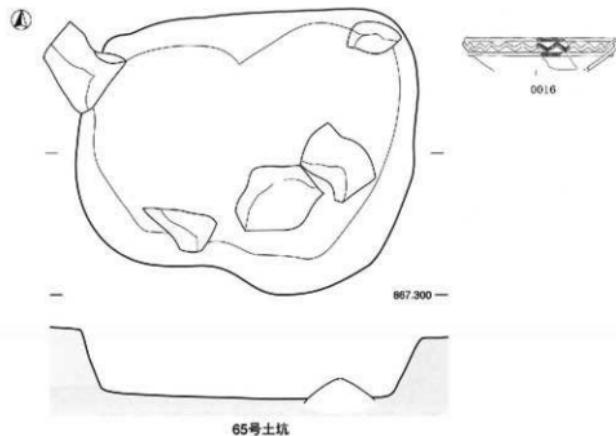
第95図 51・52号土坑 (S = 1/30)





第96図 55~60号土坑 (S = 1/30)

0 1m



第97図 61・63~66号土坑 (S = 1/30)

0 1m



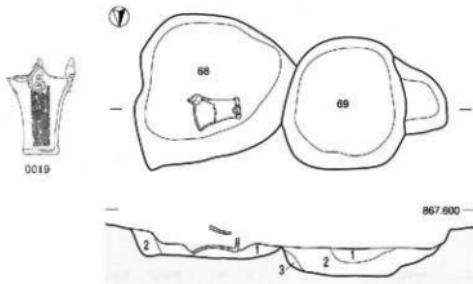
覆土 黑褐色土 粘性普通 硬まりやや弱い
炭化物少量含、ローム粒含

67号土坑

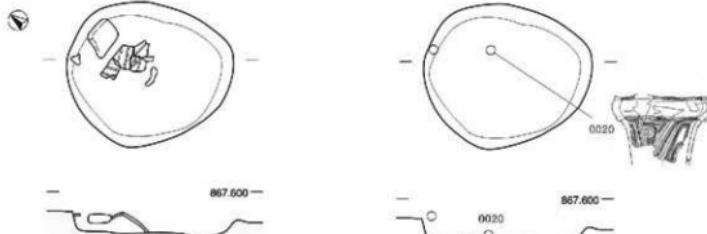
70号土坑
覆土 黑褐色土 硬性やや弱い 硬まりやや弱い
炭化物少量含、ロームブロック含

71号土坑
覆土 喷褐色土 粘性普通 硬まりやや強
炭化物少量含、ローム粒含

70・71号土坑



68・69号土坑



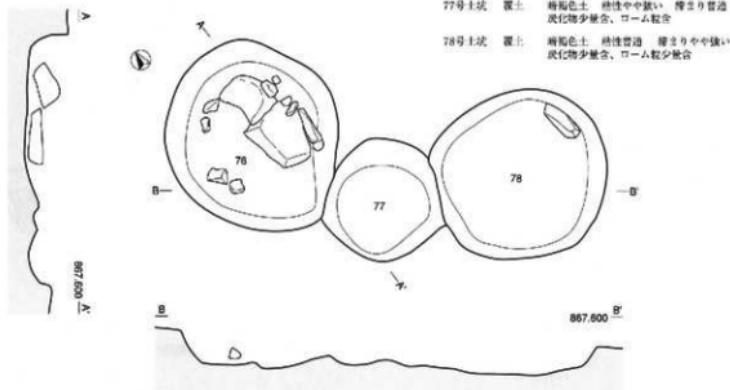
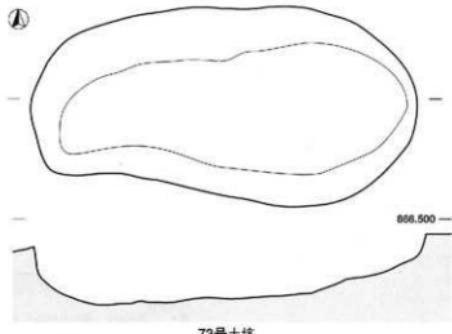
覆土 可憐褐色土 粘性普通 硬まりやや強
炭化物少量含、ローム粒少量含

72号土坑

72号土坑遺物出土状況

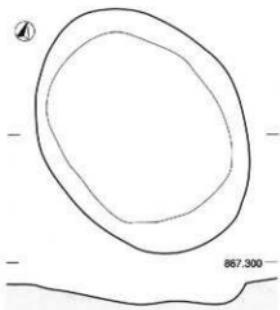
0 1m

第98図 67~72号土坑 (S=1/30)



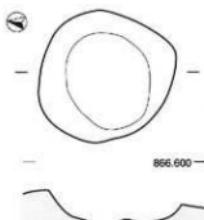
第99図 73～78号土坑 (S = 1/30)





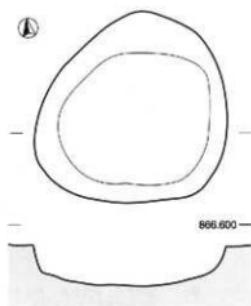
覆土 塗褐色土、粘性普通、耕まき普通
炭化物少量含、ローム結合

79号土坑



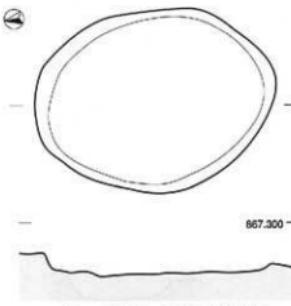
覆土 塗褐色土、粘性普通、耕まき普通
炭化物少量含、ローム結合

80号土坑



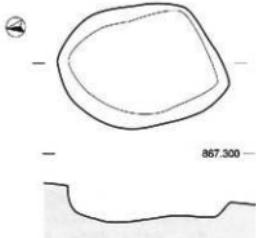
覆土 塗褐色土、粘性普通、耕まき普通
炭化物少量含、ローム結合

81号土坑



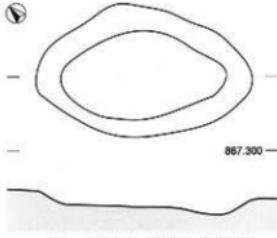
覆土 塗褐色土、粘性普通、耕まき普通
炭化物少量含、ローム結合

82号土坑



覆土 塗褐色土、粘性普通、耕まき普通
炭化物少量含、ローム結合

83号土坑

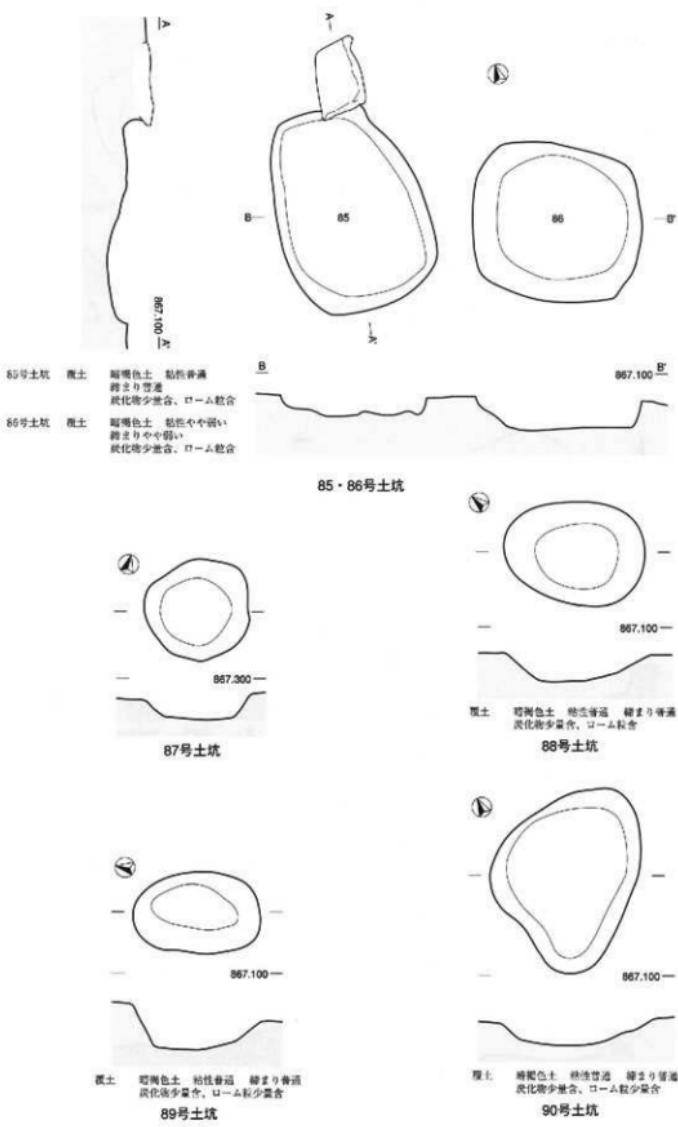


覆土 塗褐色土、粘性普通、耕まき普通
炭化物少量含、ローム結合

84号土坑

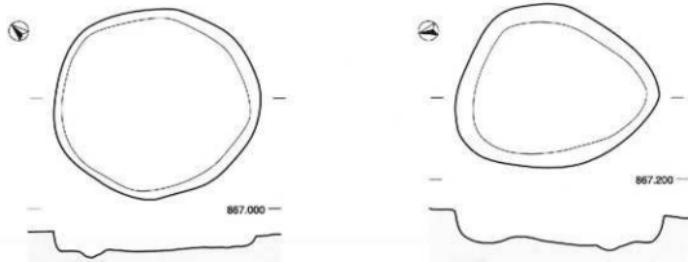
第100図 79~84号土坑 (S = 1/30)



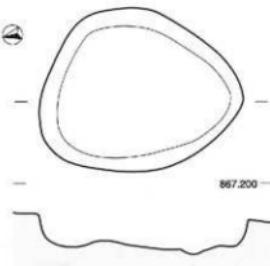


第101図 85~90号土坑 (S = 1/30)

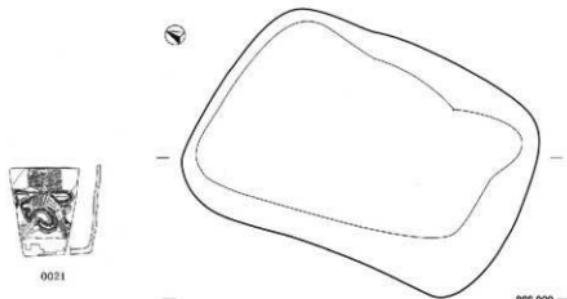
0 1m



覆土：褐褐色土、粘性普通
炭化物少含、ローム粒多含
91号土坑

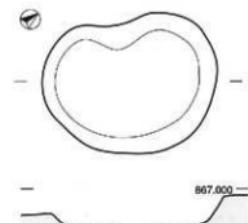


覆土：褐褐色土、粘性普通
炭化物少含、ローム粒多含
94号土坑

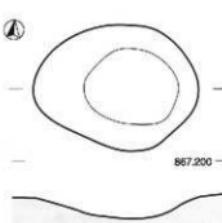


覆土：褐褐色土、粘性普通
炭化物少含、ローム粒多含
92号土坑

92号土坑



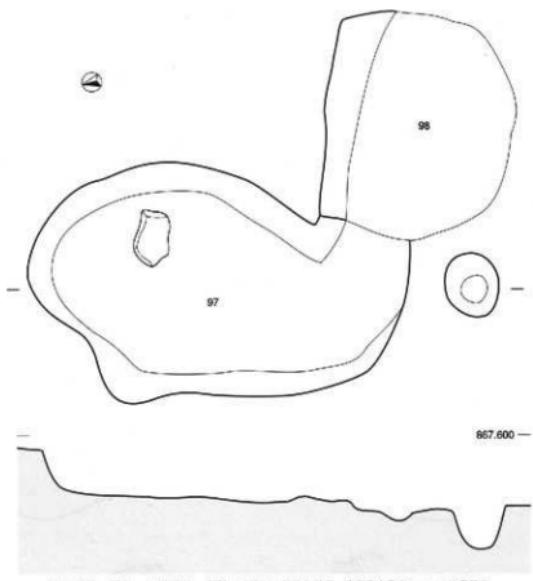
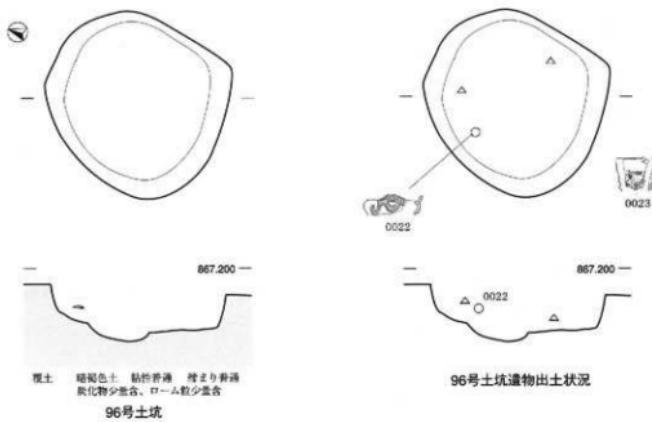
覆土：褐褐色土、粘性普通
炭化物少含、ローム粒多含
93号土坑



覆土：褐褐色土、粘性普通
炭化物少含、ローム粒多含
95号土坑

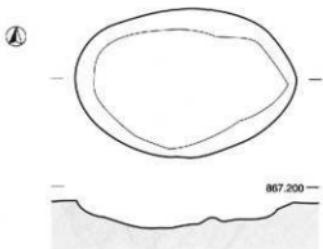
第102図 91~95号土坑 (S = 1/30)





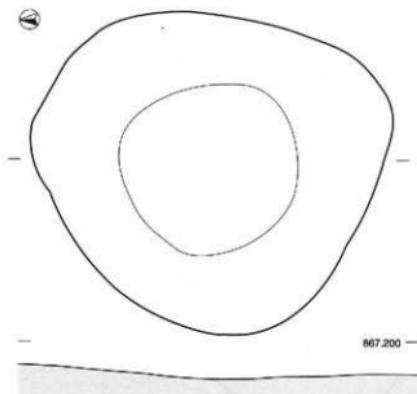
第103図 96~98号土坑 (S = 1/30)

0 1m



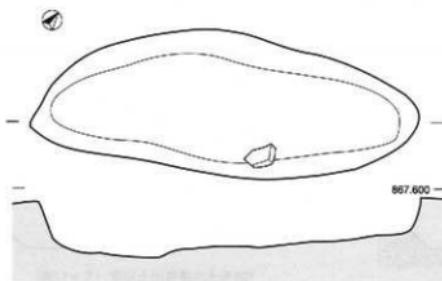
覆土 硫褐色土、粘性やや弱い、耕まりやや弱い、
炭化物少量含、ロームブロック含

99号土坑



覆土 黄褐色土、粘性やや弱い、耕まりやや弱い、
炭化物少量含

100号土坑

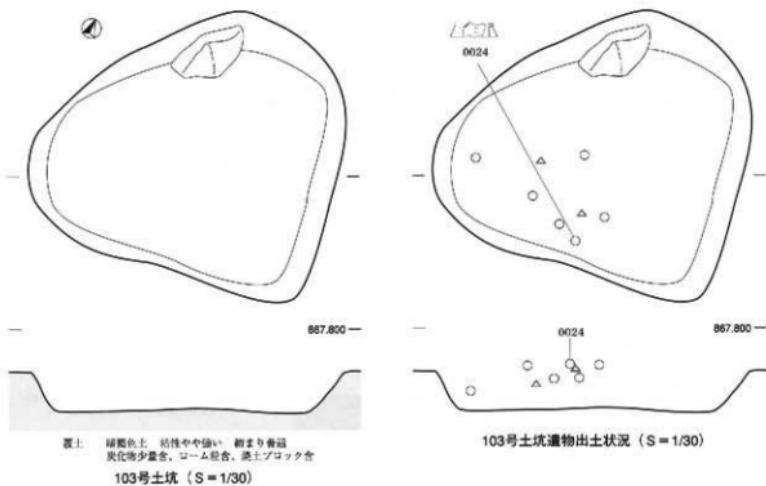
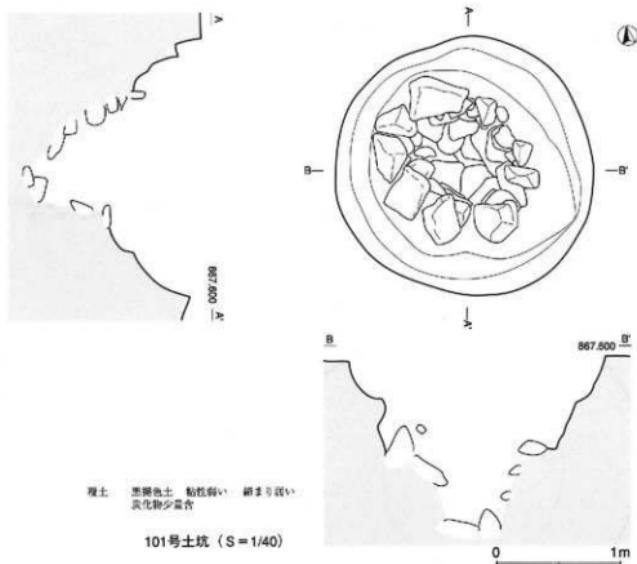


覆土 硫褐色土、粘性やや弱い、耕まりやや弱い、
炭化物少量含、ローム或多量含

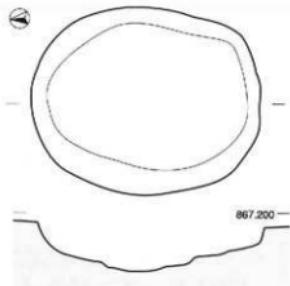
102号土坑

第104図 99・100・102号土坑 (S = 1/30)

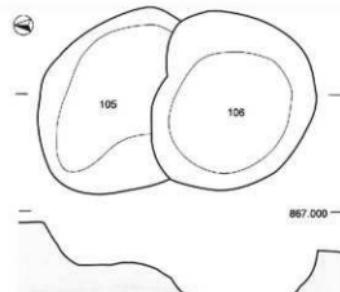




第105図 101号土坑 (S = 1/40) + 103号土坑 (S = 1/30) 0 1m

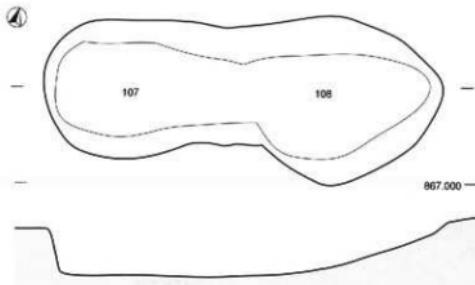


表土 硫黄色土、粘性普通、締まり普通
炭化物少叢合、ローム粒少叢合
104号土坑



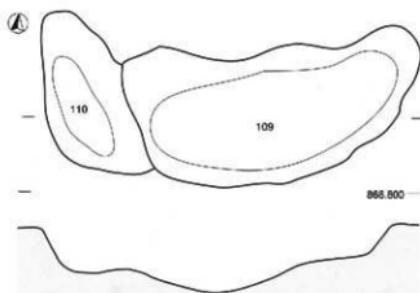
105号土坑 覆土 硫黄色土、粘性普通、締まり普通
炭化物少叢合、ローム粒少叢合
106号土坑 覆土 黑褐色土、粘性普通、締まり普通
炭化物少叢合、ローム粒少叒合

105・106号土坑



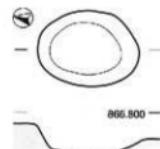
107号土坑 覆土 硫黄色土、粘性やや強、
締まり普通
炭化物少叢合、ローム粒少叒合
108号土坑 覆土 硫黄色土、粘性やや強、
締まり普通
炭化物少叢合、ローム粒少叒合

107・108号土坑



109号土坑 覆土 硫黄色土、粘性やや強、締まり普通
炭化物少叢合、ローム粒少叒合
110号土坑 覆土 硫黄色土、粘性やや強、締まり普通
炭化物少叢合、ローム粒少叒合

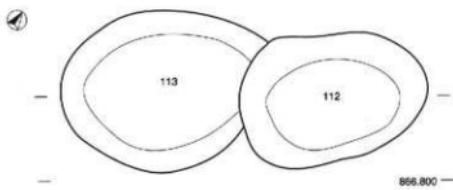
109・110号土坑



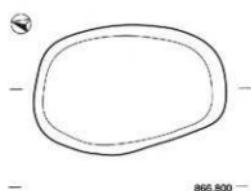
表土 硫黄色土、粘性普通、締まり普通
炭化物少叢合、ローム粒少叒合
111号土坑

第106図 104~111号土坑 (S = 1/30)



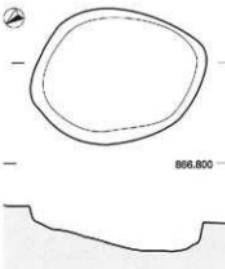


112号土坑 覆土 黒褐色土、粘性普通、細まり普通
炭化物少混合、ローム粒少量含
113号土坑 覆土 黒褐色土、粘性普通、細まり普通
炭化物少混合、ローム粒少量含



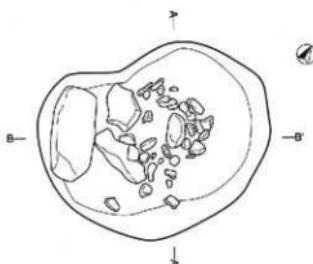
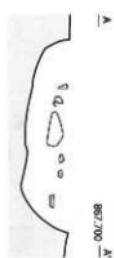
覆土 黒褐色土、粘性普通、細まり普通
炭化物少混合、ローム粒含

114号土坑



覆土 黒褐色土、粘性やや強、細まり普通
炭化物少混合、ローム粒少量含

115号土坑

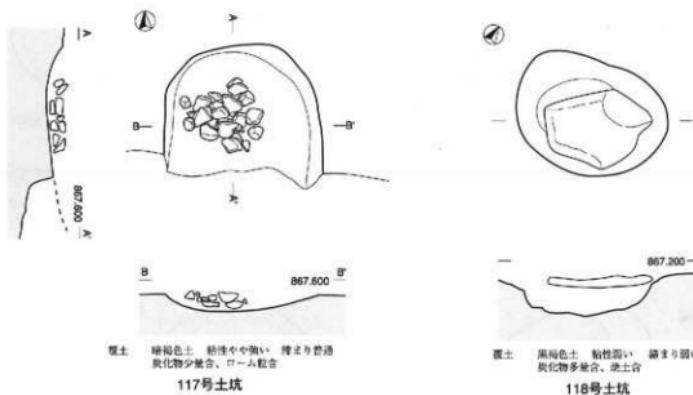


覆土 黒褐色土、粘性普通、細まり普通
炭化物少混合、ローム粒少量含

116号土坑

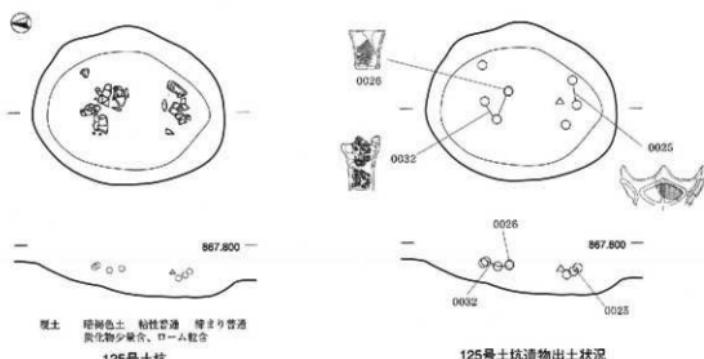
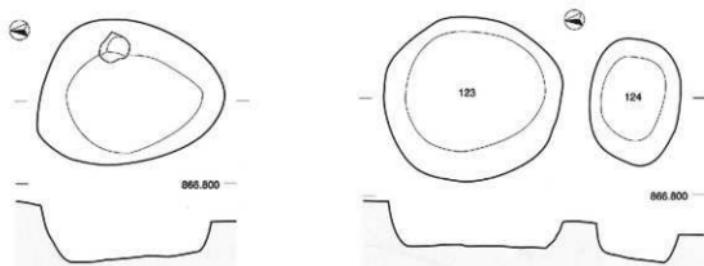
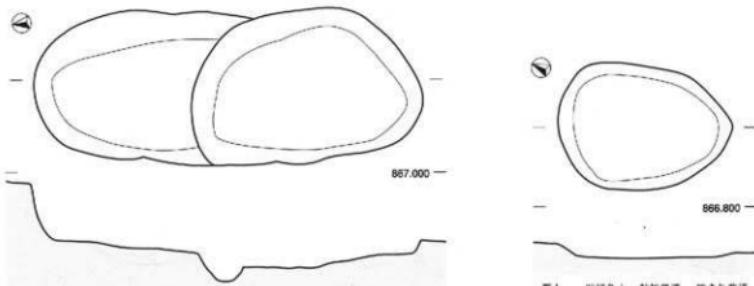
第107図 112~116号土坑 (S = 1/30)





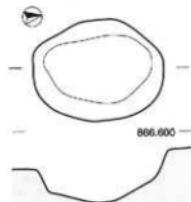
第108図 117~119号土坑 (S = 1/30)



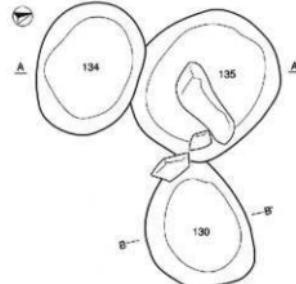


第109図 120～125号土坑 (S = 1/30)

0 1m

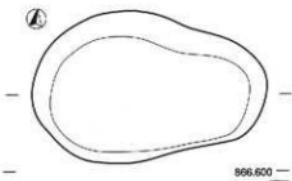


覆土 異色土 硬性普通 緩まり普通
炭化物少量含、ローム粒多量含
126号土坑

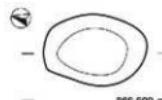


130号土坑 覆土 異色やや硬い 緩まりやや深い
炭化物少量含、ローム粒少量含
134号土坑 覆土 異色土 硬性普通 緩まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含
135号土坑 覆土 異色土 硬性普通 緩まり弱い
炭化物含、ローム粒少量含

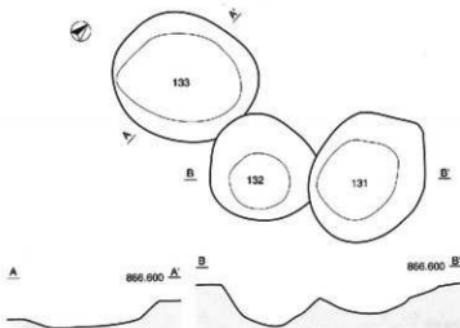
130・134・135号土坑



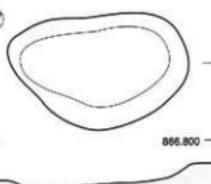
覆土 異色土 硬性普通 緩まりやや弱い
炭化物少量含、ローム粒多量含
127号土坑



覆土 異色土 硬性やや弱い 緩まり普通
炭化物少量含、ローム粒多量含
128号土坑



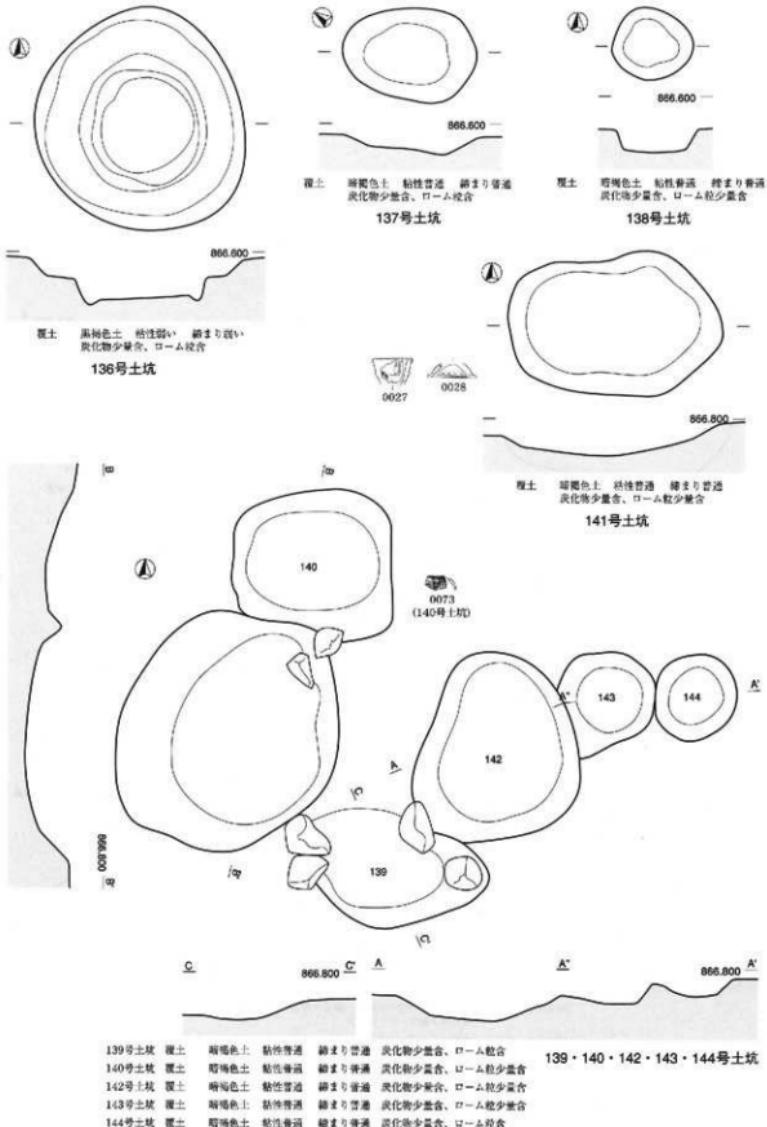
131号土坑 覆土 異色土 硬性やや弱い 緩まり普通
炭化物少量含、ローム粒多量含
132号土坑 覆土 異色土 硬性やや弱い 緩まり普通
炭化物少量含、ローム粒多量含
133号土坑 覆土 異色土 硬性普通 緩まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含
131・132・133号土坑



覆土 異色土 硬性普通 緩まり普通
炭化物少量含、ローム粒少量含
129号土坑

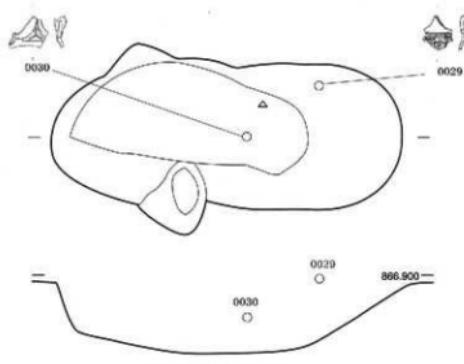
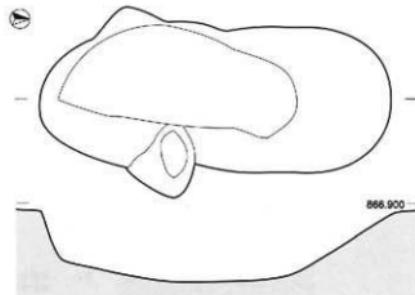
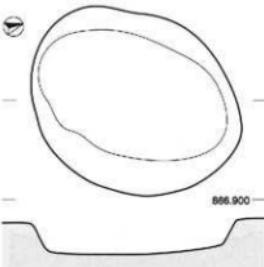
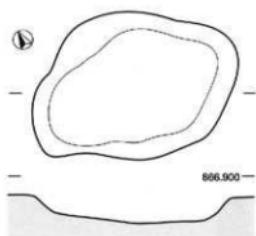
第110図 126～135号土坑 (S=1/30)





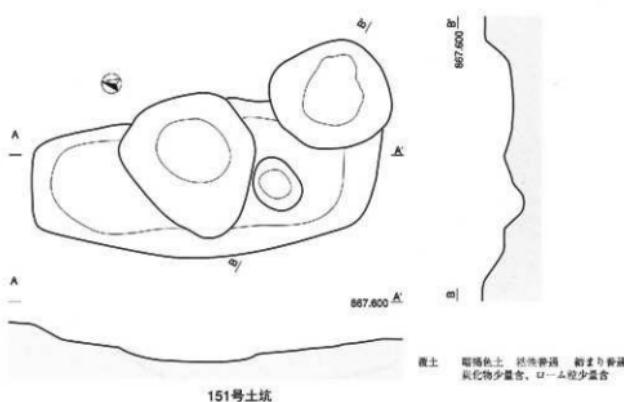
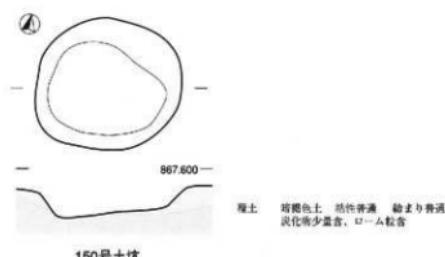
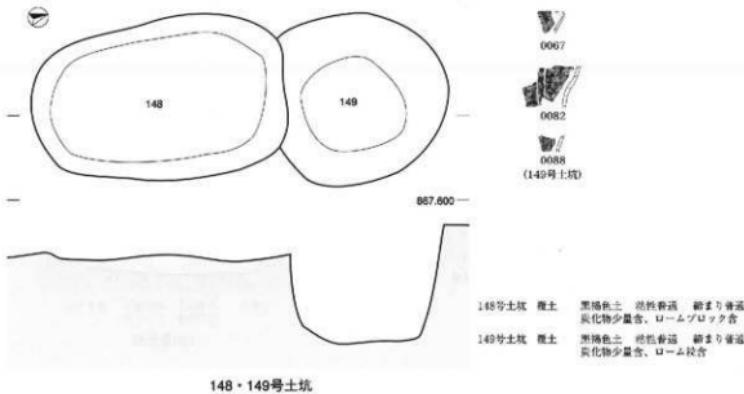
第111図 136～144号土坑 (S=1/30)

0 1m



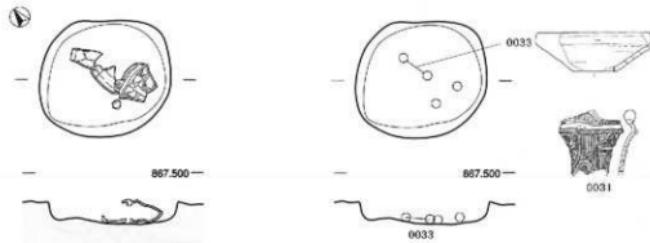
第112図 145~147号土坑 (S = 1/30)

0 1m



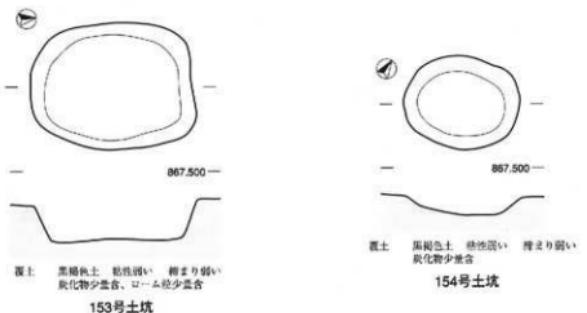
第113図 148～151号土坑 (S = 1/30)





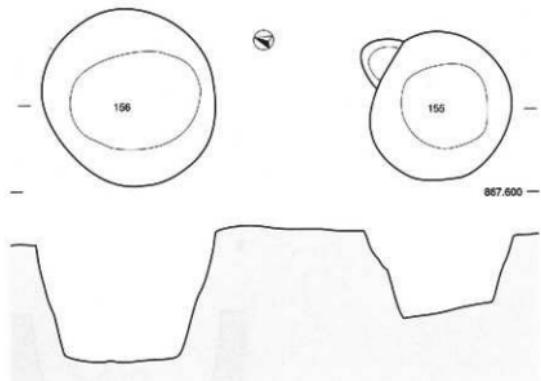
覆土 黒褐色土 粘性弱い 槌まり弱い
炭化物少含、ローム粒少量含
152号土坑

152号土坑遺物出土状況



覆土 黒褐色土 粘性弱い 槌まり弱い
炭化物少含、ローム粒少量含
153号土坑

覆土 黑褐色土 粘性弱い 槌まり弱い
炭化物少含
154号土坑

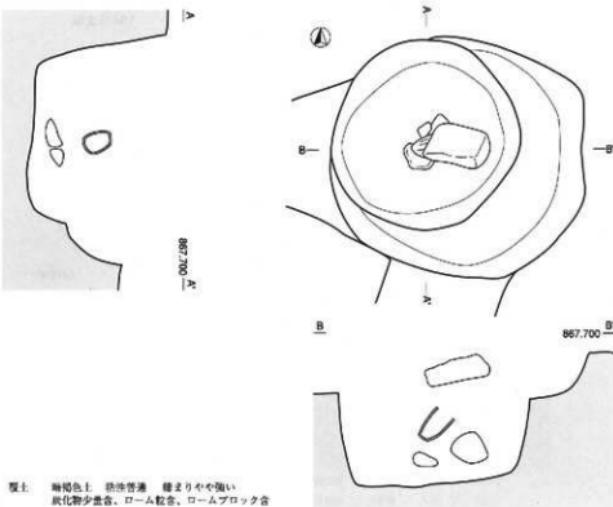
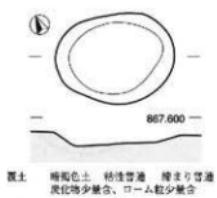
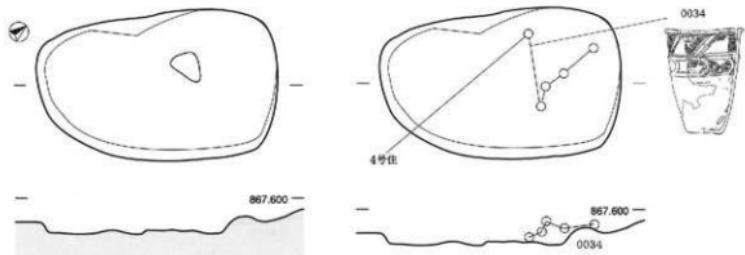


155号土坑 覆土 黑褐色土 粘性弱い 槌まり弱い 炭化物少含、ローム粒少量含
156号土坑 覆土 黑褐色土 粘性弱い 槌まり弱い 炭化物少含、ローム粒少量含

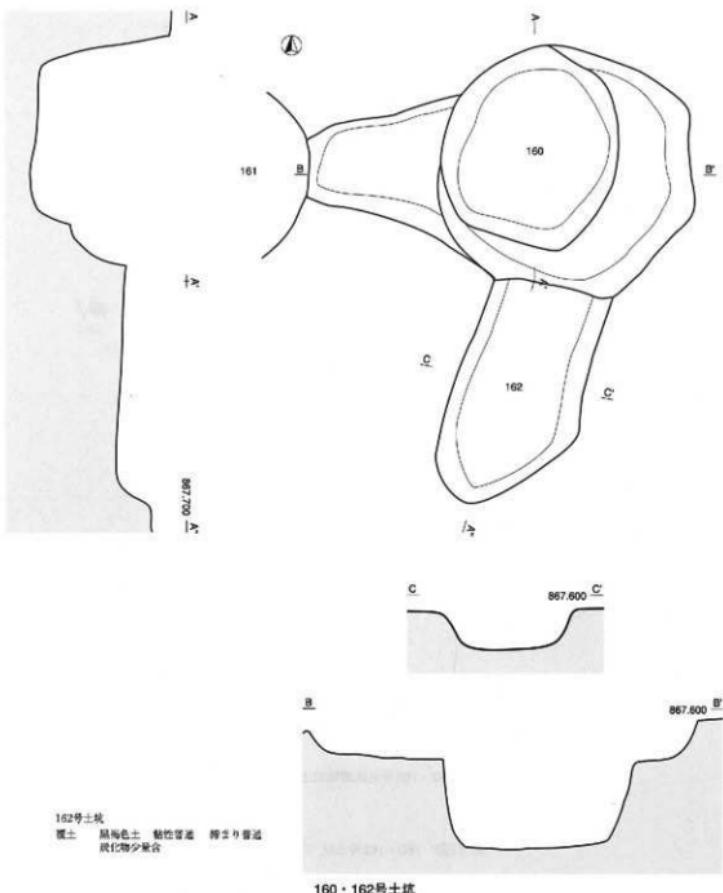
155・156号土坑

第114図 152~156号土坑 (S = 1/30)





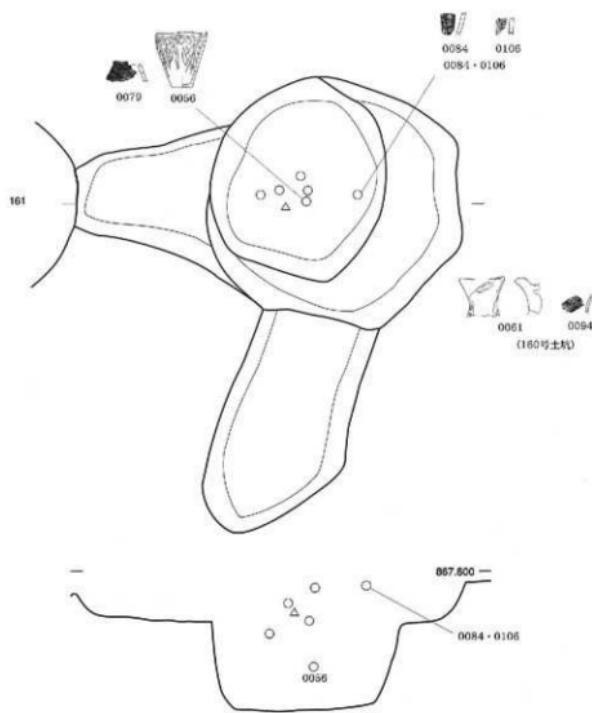
第115図 157~160号土坑 (S = 1/30)



160・162号土坑

0 1m

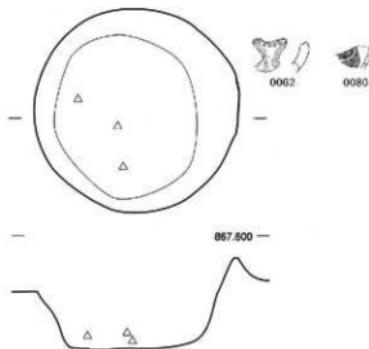
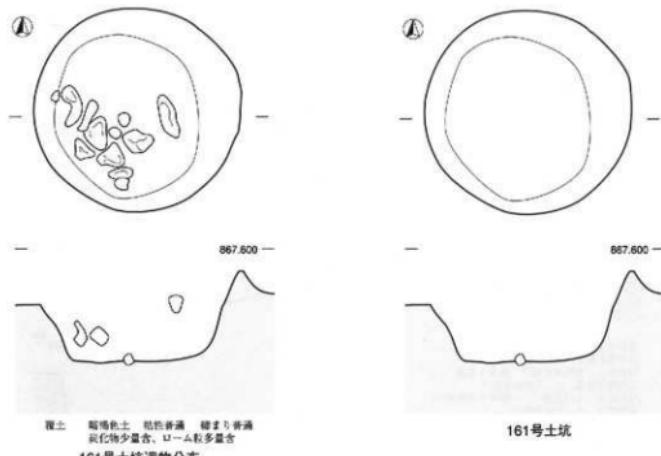
第116図 160・162号土坑 ($S = 1/30$)



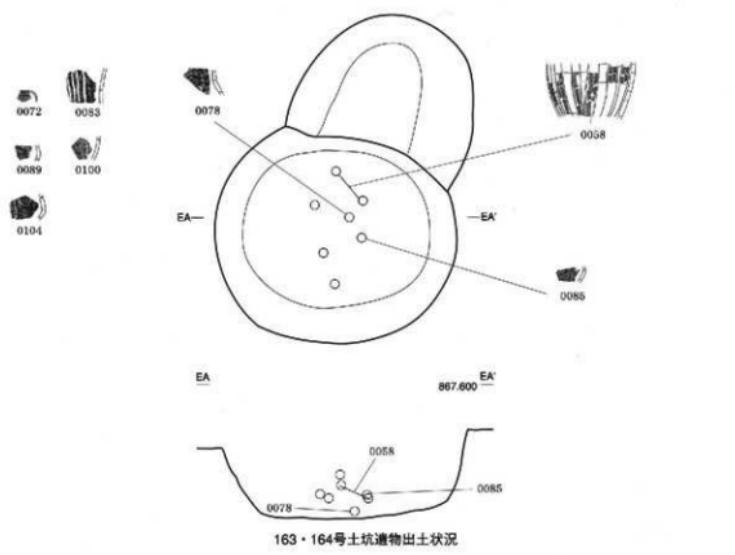
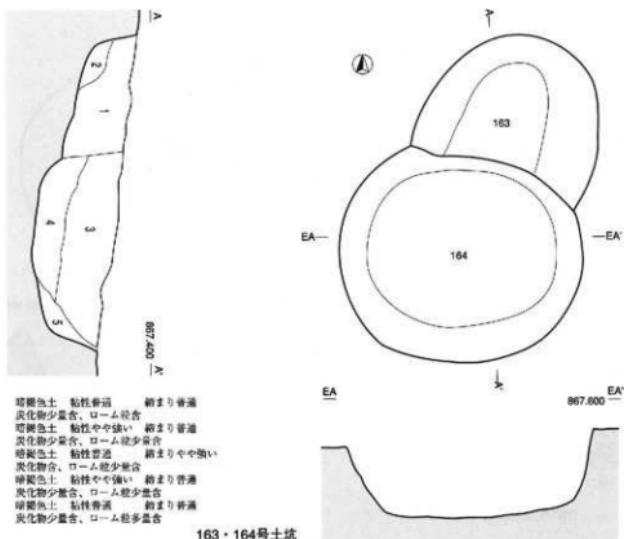
160・162号土坑遺物出土状況

第117図 160・162号土坑 (S = 1/30)

0 1m

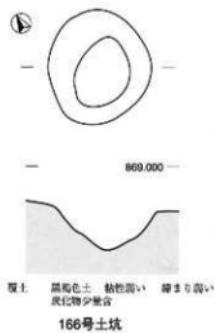
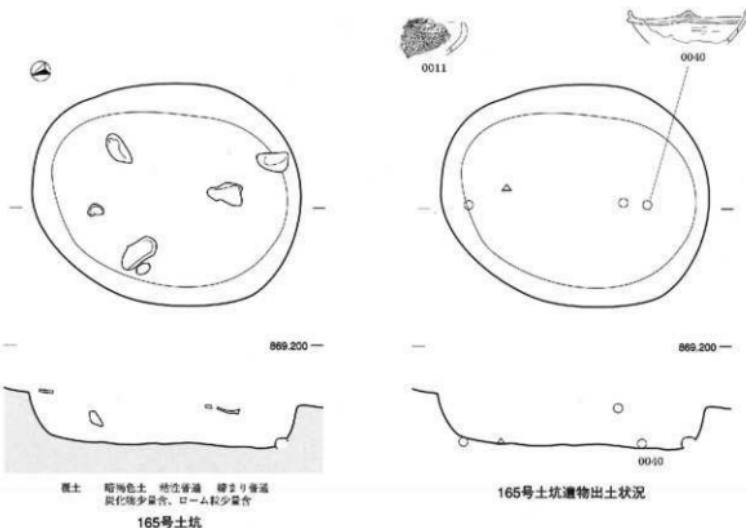


161号土坑遺物出土状況



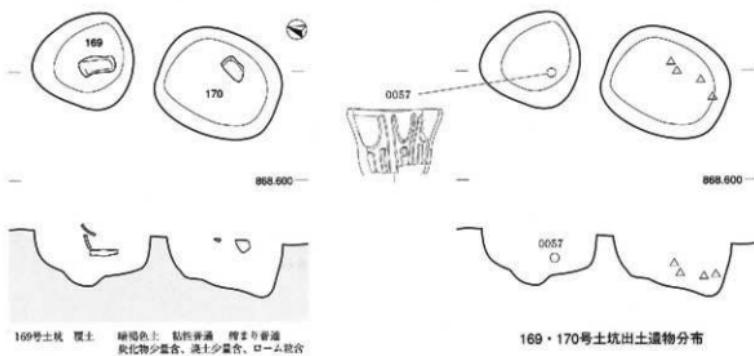
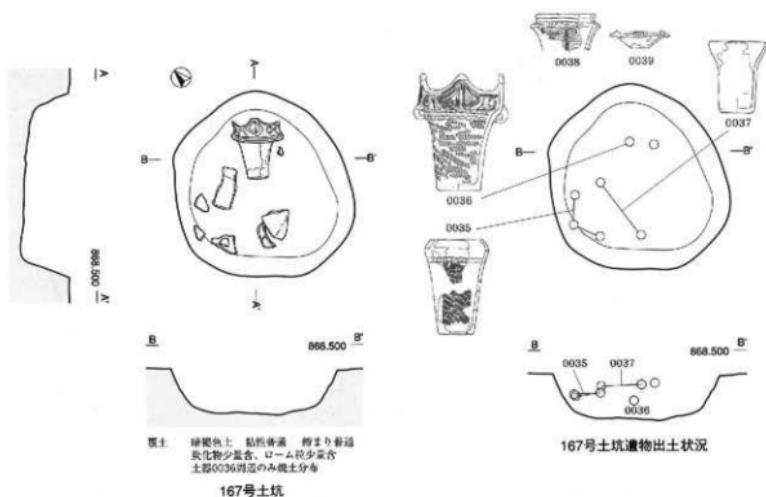
第119図 163・164号土坑 (S=1/30)





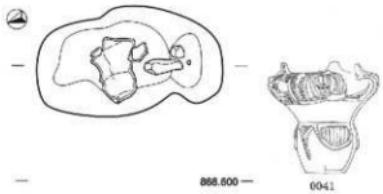
第120図 165・166号土坑 (S = 1/30)





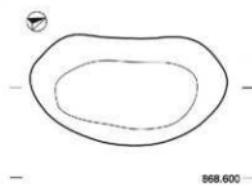
第121図 167~170号土坑 (S = 1/30)

0 1m



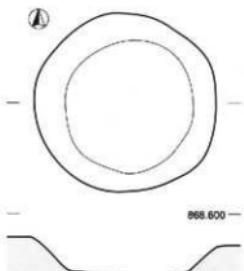
覆土 塔褐色土 粘性普通 緩まり普通
炭化物少含合、ローム没合、灰土少含合

171号土坑

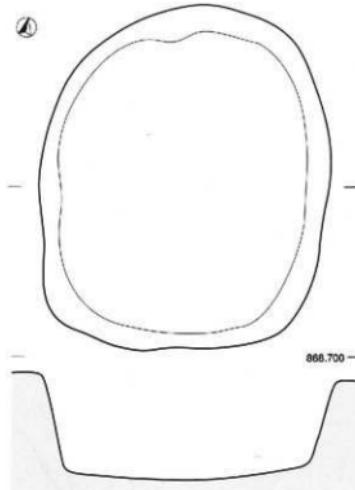


覆土 塔褐色土 粘性普通 緩まり普通
炭化物少含合、ローム没合、灰土少含合

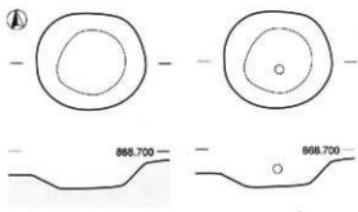
172号土坑



173号土坑



174号土坑

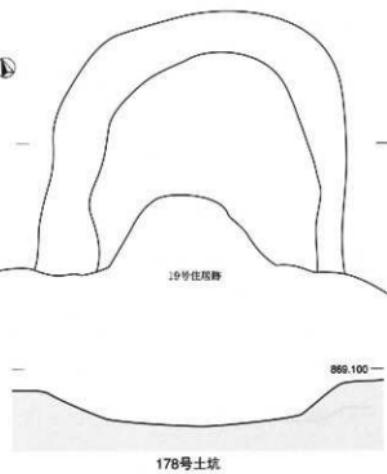
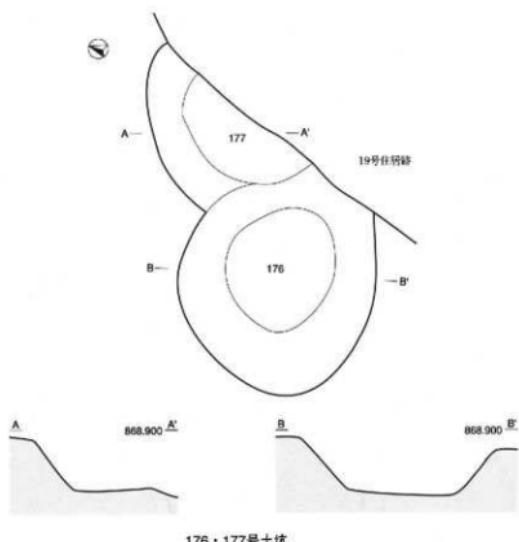


175号土坑

175号土坑出土遺物分布

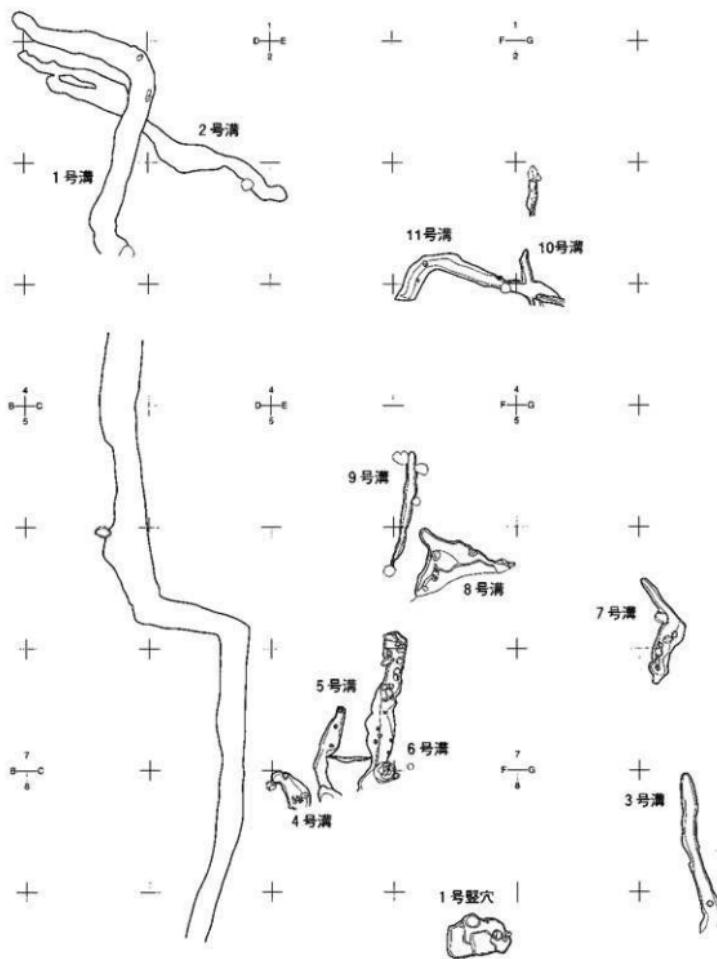
第122図 171~175号土坑 (S=1/30)



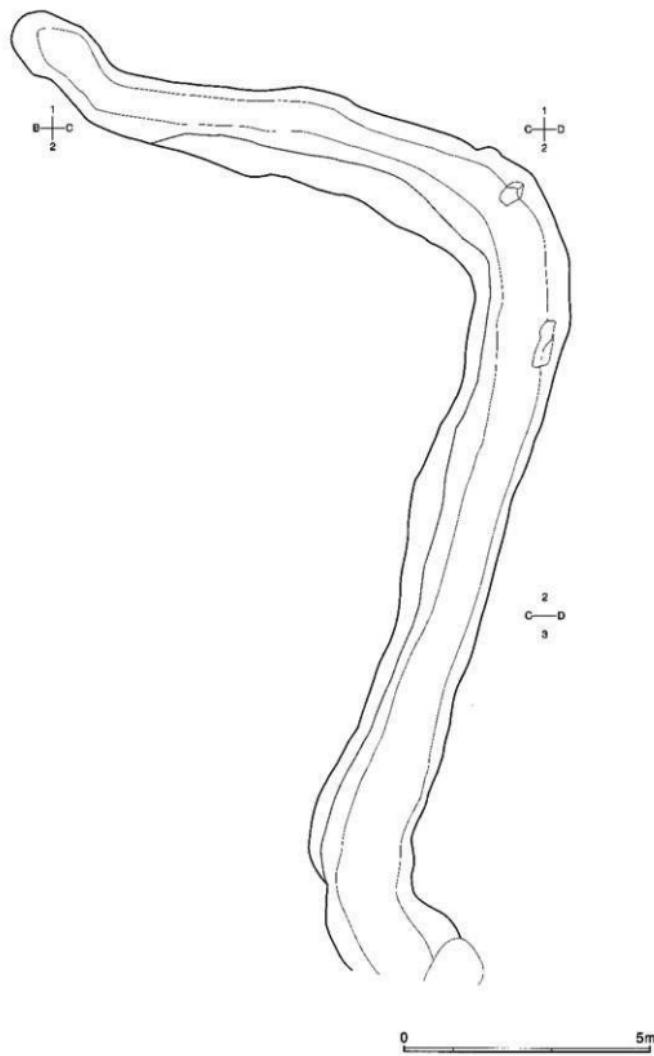


第123図 176～178号土坑 (S = 1/30)

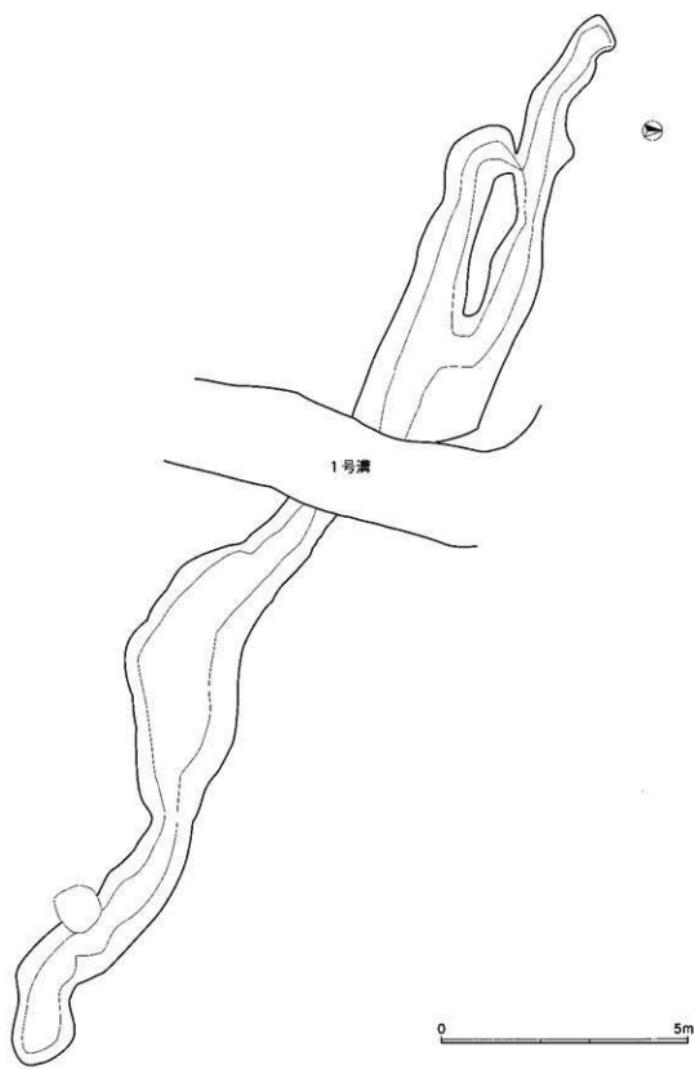
0 1m



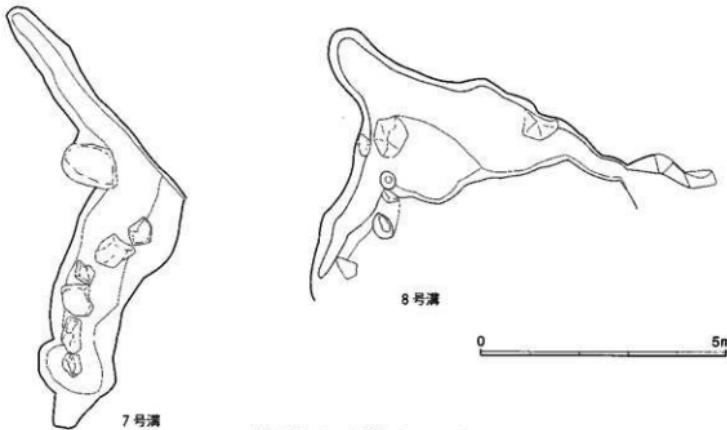
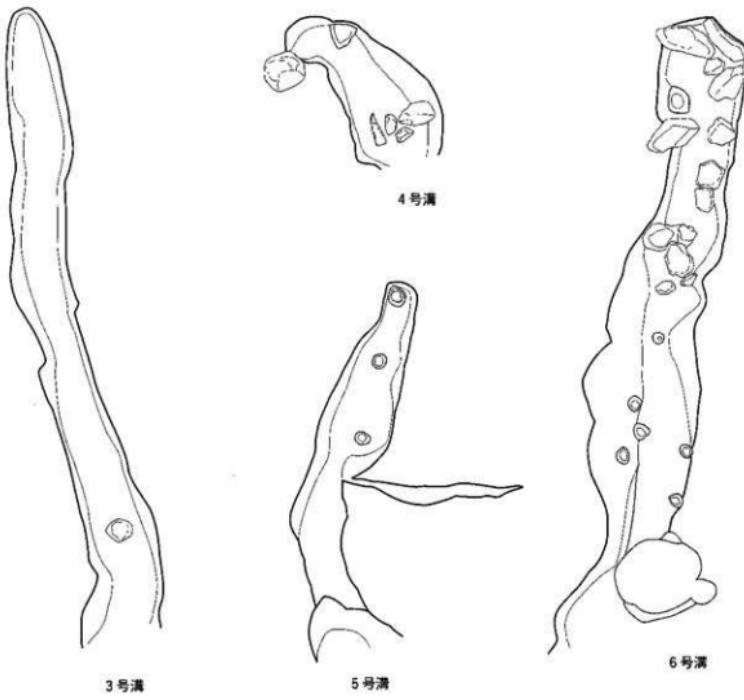
第124図 1~11号溝 (S = 1/400)



第125図 1号溝北側 ($S = 1/100$)

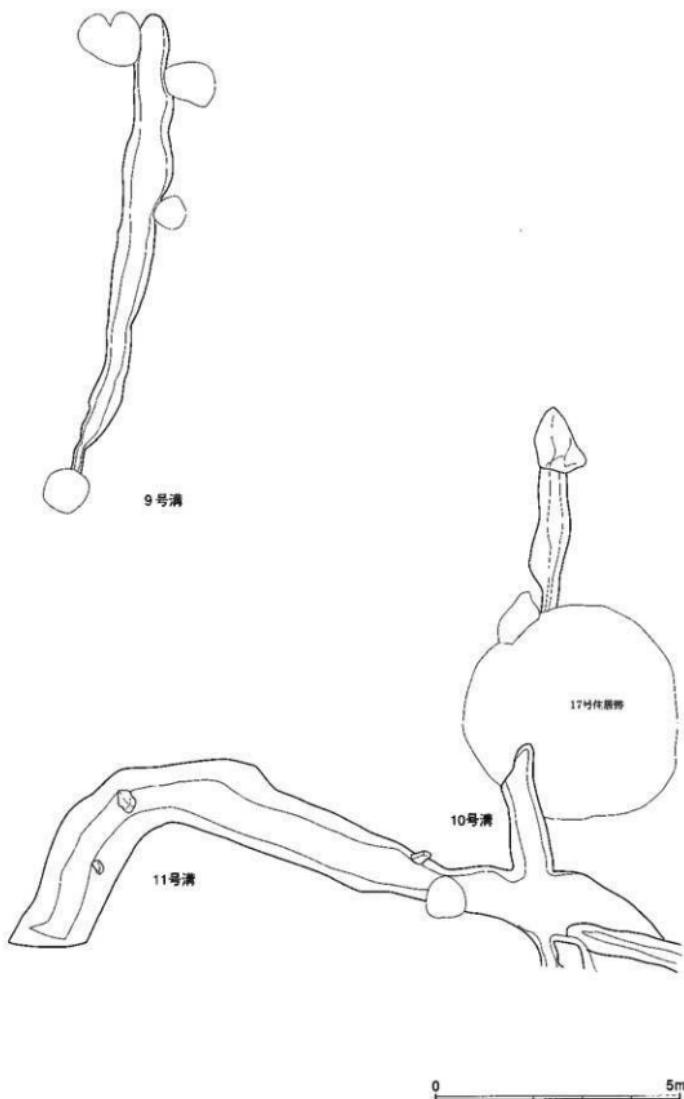


第126図 2号溝 ($S = 1/100$)

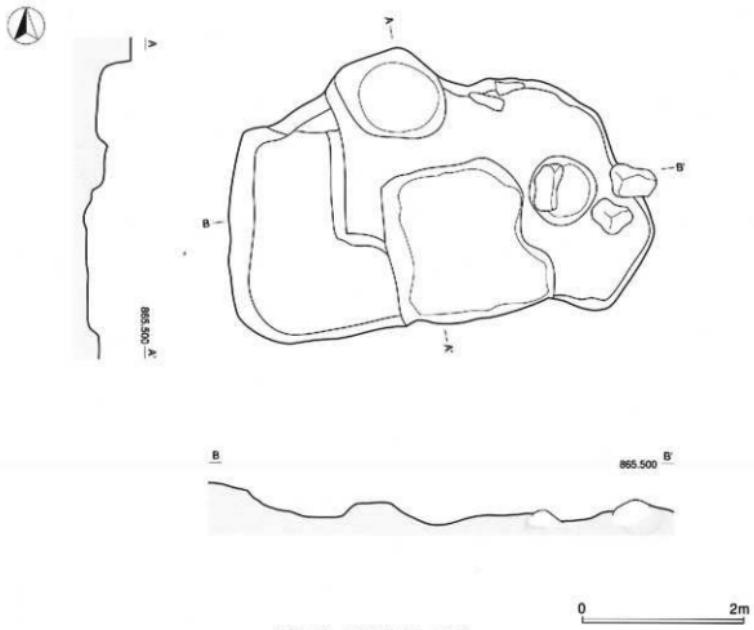


0 5m

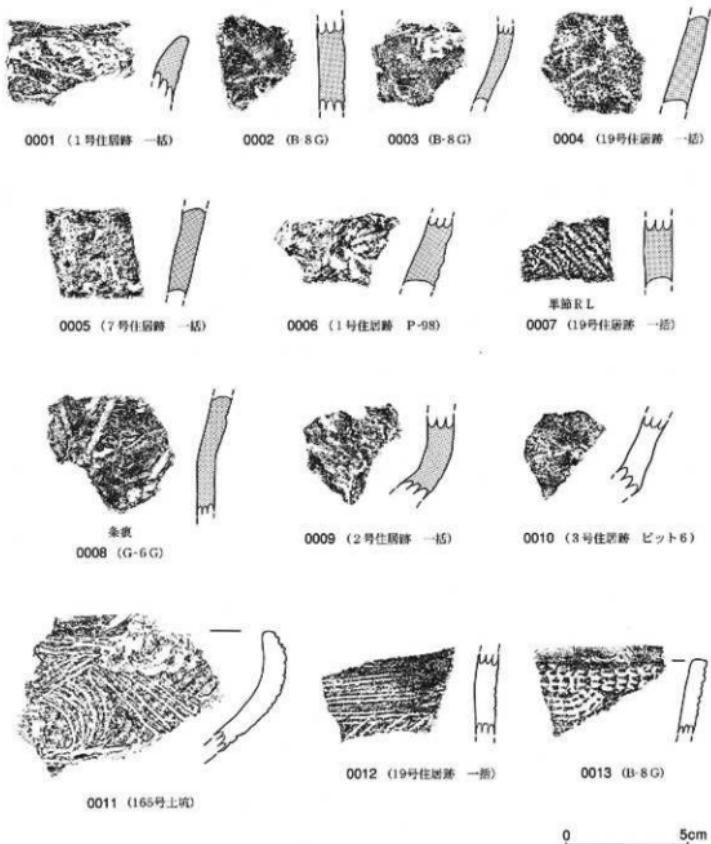
第127圖 3～8号溝 ($S = 1/100$)



第128図 9～11号溝 (S = 1/100)

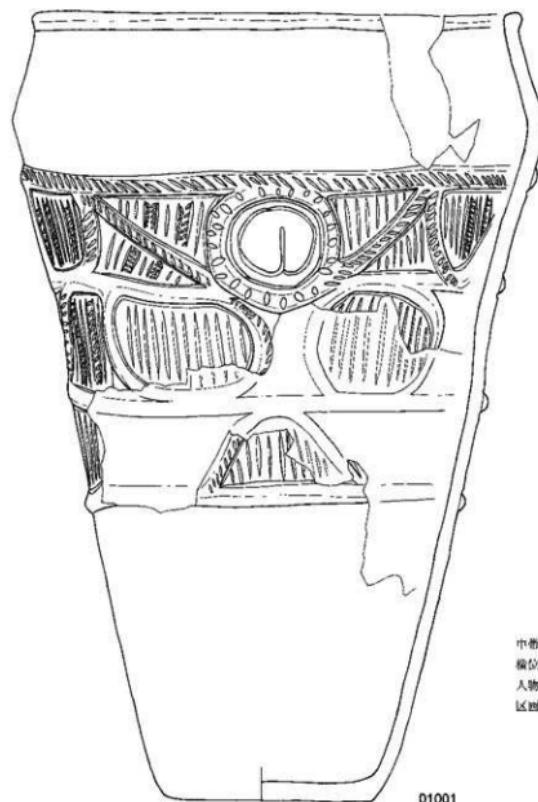


第129図 1号竪穴 ($S = 1/60$)



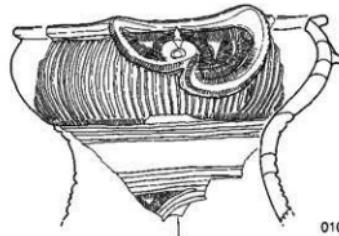
第130図 綱文時代遺構外出土遺物 (S = 1/2)

1号住居跡



中帯文
横位 3 段区画
人物意匠 1 單位
区西内板位比縫无痕

01001



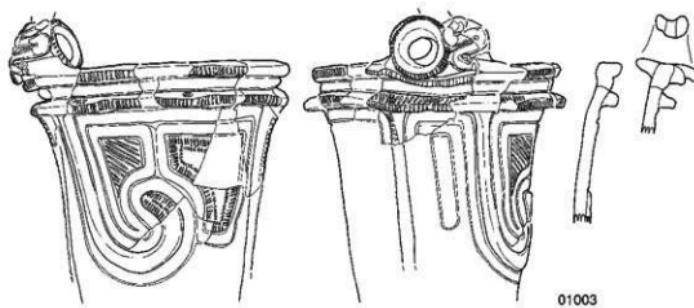
01002

口縁部基定 1 単位の区画文様
区両内キャラピラ文
平裁竹管削突による蓮華文
内面黒彩 外面一部黒彩か

第131図 1号住居跡出土遺物 (1) ($S = 1/4$)

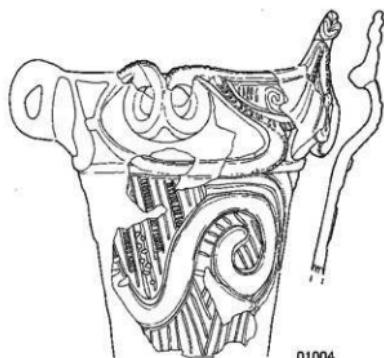
0 10cm

1号住居跡



01003

頸部掲状隆背付部パネル文
T字状隆付区画
区画内斜位沈線、キヤタビラ文、三角押し文



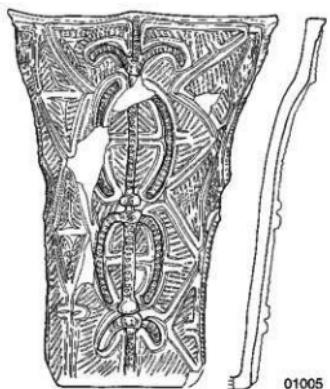
01004

口縁部4単位の把手
内1単位は隆背により蛇状の装飾を付す
直三角区画
背部横位蛇行彫帶

0 10cm

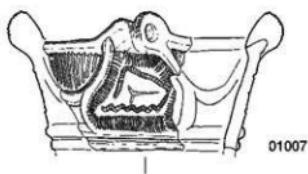
第132図 1号住居跡出土遺物（2）（S=1/4）

1号住居跡



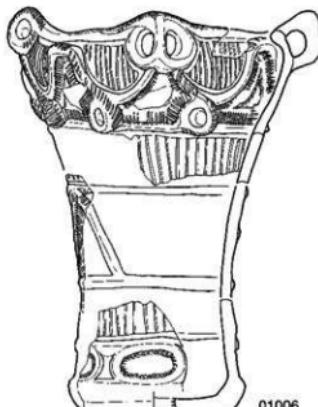
01005

4単位の陣布区画
陣布間に三角区画を重ね
施文は竹管内面を使用した牛糞帯



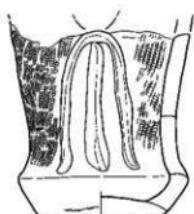
01007

口縁部重二角区画
区画内キャタピラ文、三角押し文、三叉文等



01006

口縁部重二角区画
4単位のミミズク把手
以下施文は4段区画、中央は連続二角区画か
或下部格円文



01009

体部下半1単位のU字状隆番に後位隆番付加
单治 R L
外向黒彩



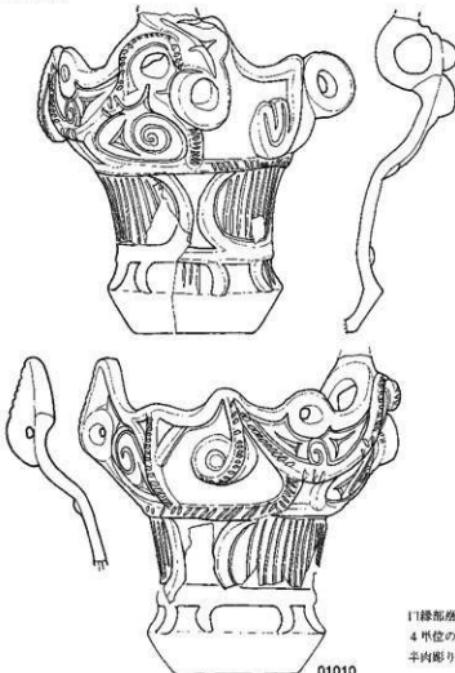
01008

口縁部1単位の隆番付けによる小突起
体部单治 R L 施文

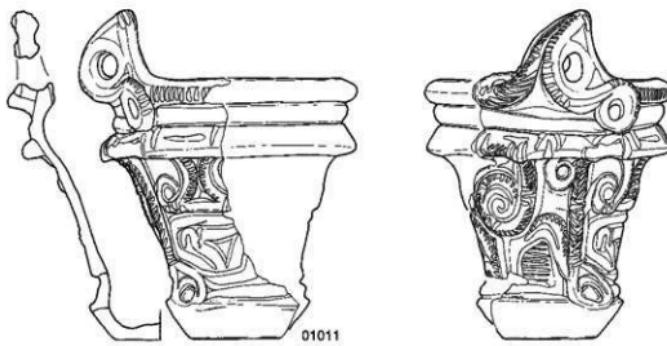
0 10cm

第133図 1号住居跡出土遺物(3) (S=1/4)

1号住居跡



口縁部彫られた重三角区画
4 手位の把手 内1つは内面ミミズク状の人把手
半内彌的



口縁部1手位の大把手から瘤末を巻き込む

頸部鷹状座着

体部瘤末を巻き込んだI字状羅帯区画のパネル文

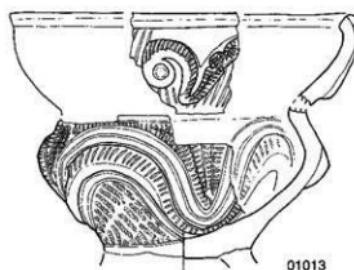
0 10cm

第134図 1号住居跡出土遺物(4) (S=1/4)

1号住居跡

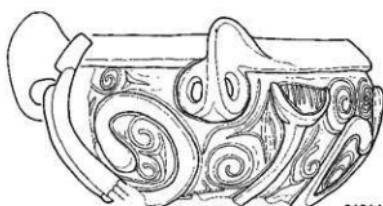


01012



01013

体部半截竹管による連續刺突

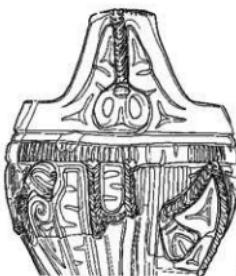


01014

口縁部推定上単位のミミズク把手中位から貼付け
体部解状モチーフ、渦巻状隆脊
縫合面は渦巻き文・火文等で充填



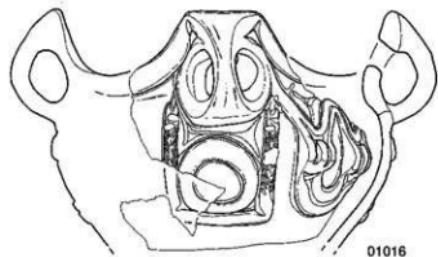
01015



0 10cm

第135図 1号住居跡出土遺物（5）（S=1/4）

1号住居跡



01016

口縁部推定 4 単位のミミズク状把手

体部残部による文様模因

把手下部の陣箒に波形状刻突

外向黒彩



01017

体部推定 2 単位の人物童匠

人体童匠上に単韻 R L 繰文

頭部脱落

外向黒彩か



01018

体部 1 単位の頭筋状突起（押出し）

底部 2 個 1 对の浅成前刻み 4 単位

内面赤彩、外面一部黒彩

上圧により器形の歪み顕著

0 10cm

第136図 1号住居跡出土遺物 (6) (S = 1/4)

1号住居跡



第137図 1号住居跡出土遺物(7) (S=1/4)

0 10cm

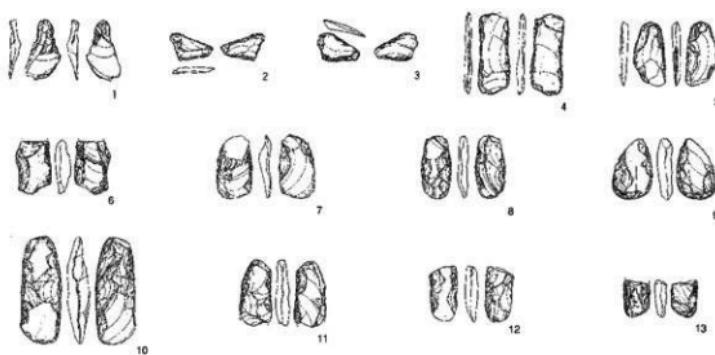
小形削片石器



第138図 1号住居跡出土石器一覧(1) (S=1/4)

1号住居跡

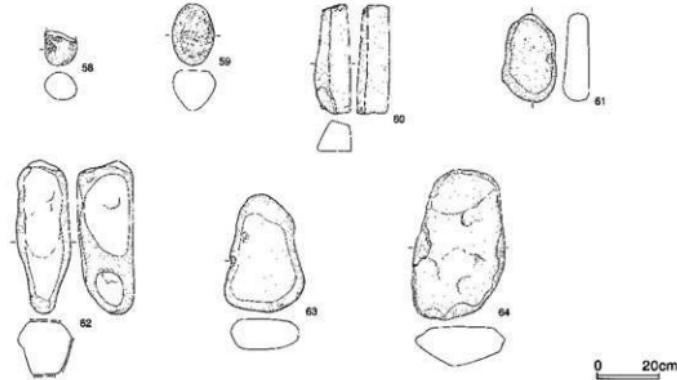
中形側片石器



磨製石斧頭

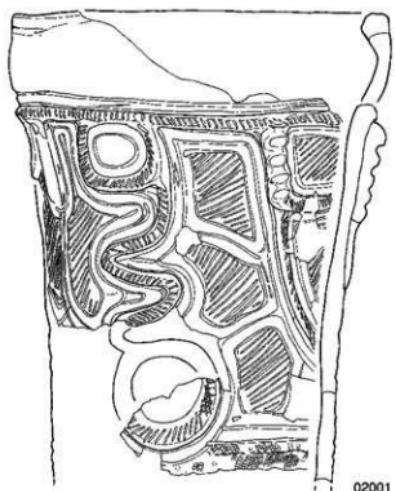


磨石頭（大）



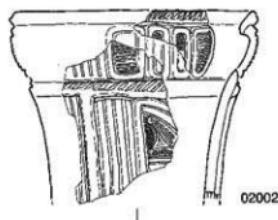
第139図 1号住居跡出土石器一覧 (2) (S=1/8・1/16)

2号住居跡



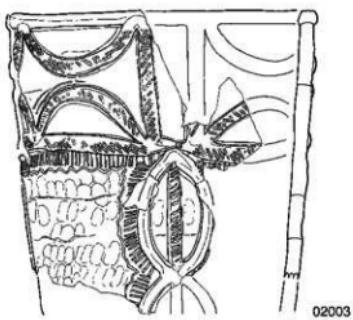
口縁部横文帯
作形パネル文
縦位蛇行彫帶他
区面内斜行沈線
下位に単筋L.R
輪積み痕一部残す

02001



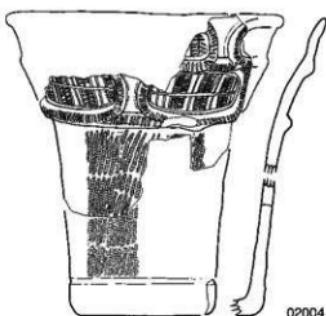
02002

口縁部既瓦区帯
区面内横位沈線
体部パネル文区面内キャビア文、三叉文充填



02003

口縁部隆帯により対向U字状モチーフ
降帯上部横溝文施文
外部推定4号前壁带区帯
壁帶キャビア文、ジグザグ文



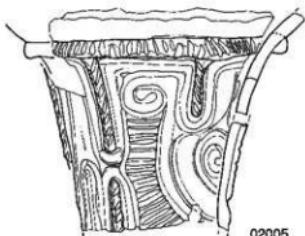
02004

口縁部2段に構成区帯
区面内横位沈線充填後擬走削み
体部単筋L.R施文

0 10cm

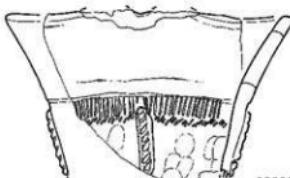
第140図 2号住居跡出土遺物(1) (S=1/4)

2号住居跡



02005

口縁部斜状座敷
I字状に隆帯で区画後比縫充填



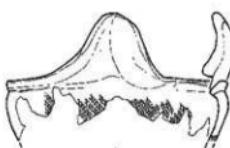
02006

口縁部1単位の大把手(欠損)
底部横縫キヤクピラ文
体部縦位置縫帶貼付け(推定1単位)



02007

口縁部池状斜尖
口縁部下隆帯により肥厚



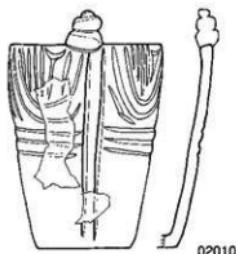
02008

口縁部1単位の突起
口縁部内弯
地文革刷Rし横位施文



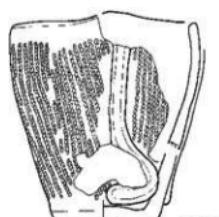
02009

口縁部に小突起推定4単位
波痕下に沈墨による三角文
口縁部横円区面
細彫蓋か



02010

口縁部1単位の小突起
突起下から伸びる位置沈墨、
I字状モチーフで人体意匠



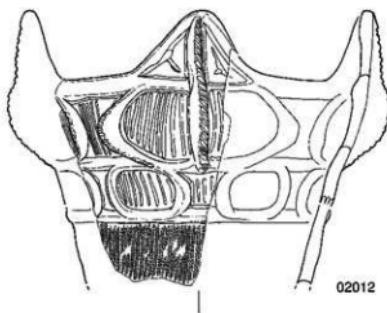
02011

口縁部1単位の小突起
突起下から隆帯が底下
所要端末を巻き込む

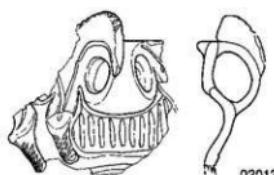
0 10cm

第141図 2号住居跡出土遺物(2) (S=1/4)

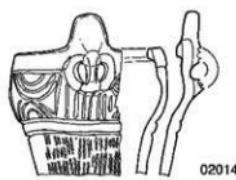
2号住居跡



口縁部小突起付付造定4単位
口縁部側面区直文透文
体側拵り系L施文抜文



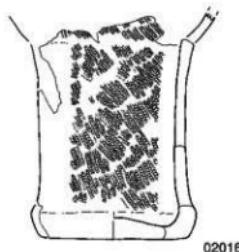
口縁部外面にミミズク把手
器底薄く丁寧に調査される



口縁部に1単位の小突起
穴枠下外側にミミズク把手
口縁部対向U字
模位沈線



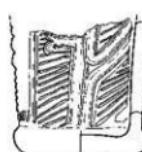
1段の純文施文後横位沈線、
羅位沈線、円文施文



体部單線R L施文



残存部位に2カ所の円文
体部は基本的に単面L R施位施文

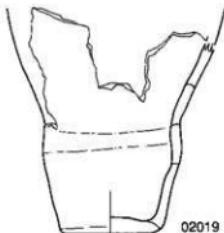


体部パネル文
区画内横位・斜位沈線充填

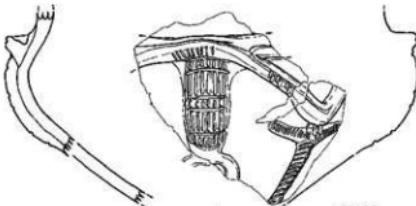
0 10cm

第142図 2号住居跡出土遺物(3) (S=1/4)

2号住居跡

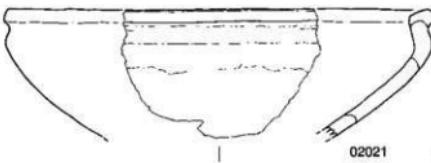


02019



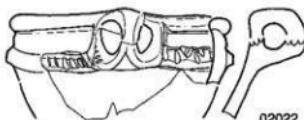
02020

小瓶片からの復元
口縁部欠損
体部文様抽象文か



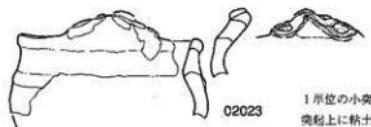
02021

両壁丁寧



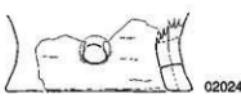
02022

口縁部外面ミニマク状把手

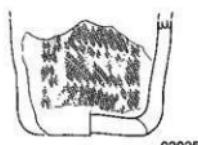


02023

1単位の小突起
突起上に紺士綿貼付け



円形かかし



地文單影Rし横位施文
底部付苔株で済し



02026

0 10cm 0 5cm

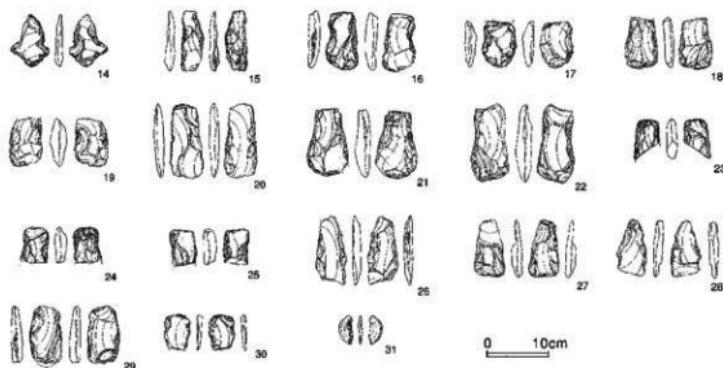
第143図 2号住居跡出土遺物 (4) (02019~02025 S=1/4・02026 S=1/2)

2号住居跡

小形刮片石器



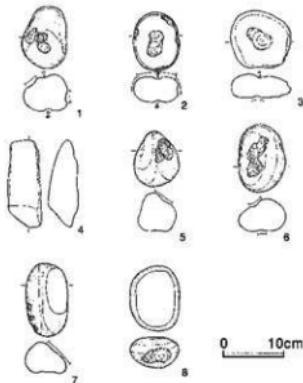
中形刮片石器



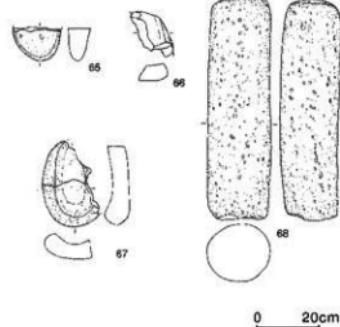
大珠器



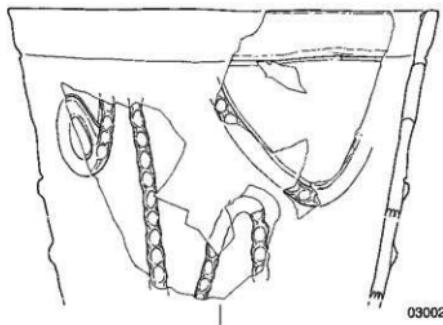
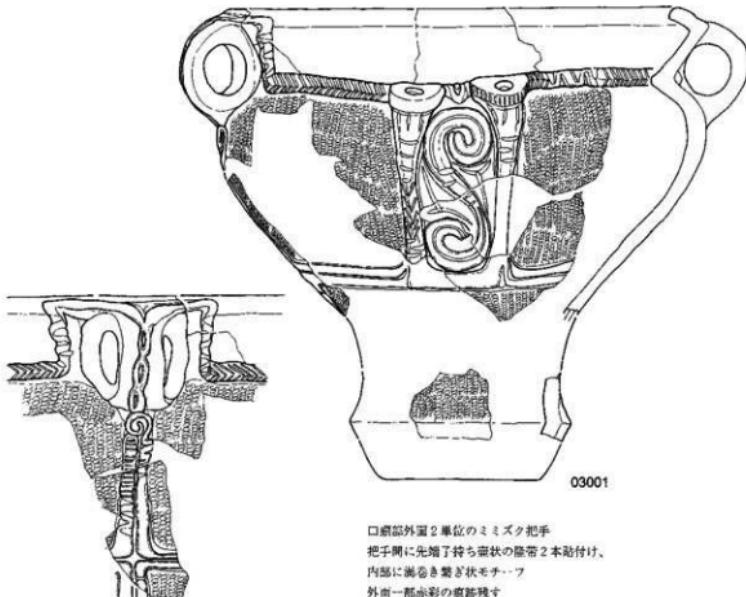
磨石器（小）



磨石器（大）



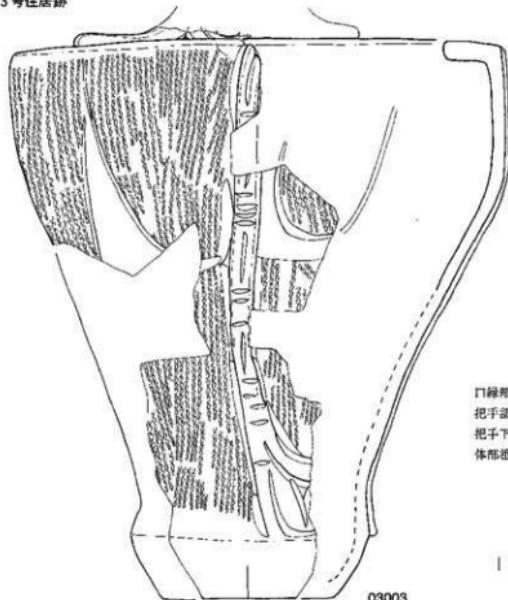
第144図 2号住居跡出土石器一覧 (S = 1/4 · 1/8 · 1/16)



0 10cm

第145図 3号住居跡出土遺物（1）（S=1/4）

3号住居跡



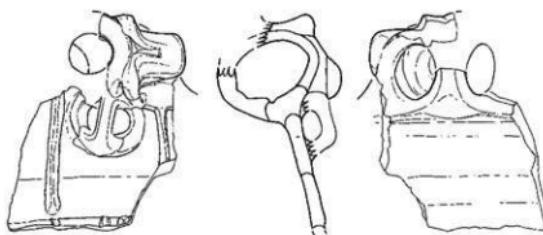
口縁部1単位の大形把手
把手部の大半を欠損
把手下及びその対称の位置から腰帶垂下
体部通路にU字状構造彫り落し

03003



03004

口唇部刻み施文後沈線施文
更に軽く拂でて最終調整



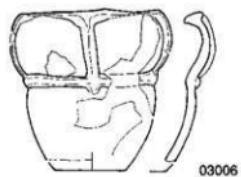
03005

ミニスク状の大把手下外筋にミニスク状把手付加

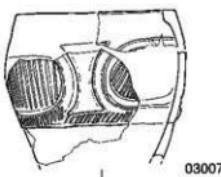
第146図 3号住居跡出土遺物(2) (S=1/4)

0 10cm

3号住居跡



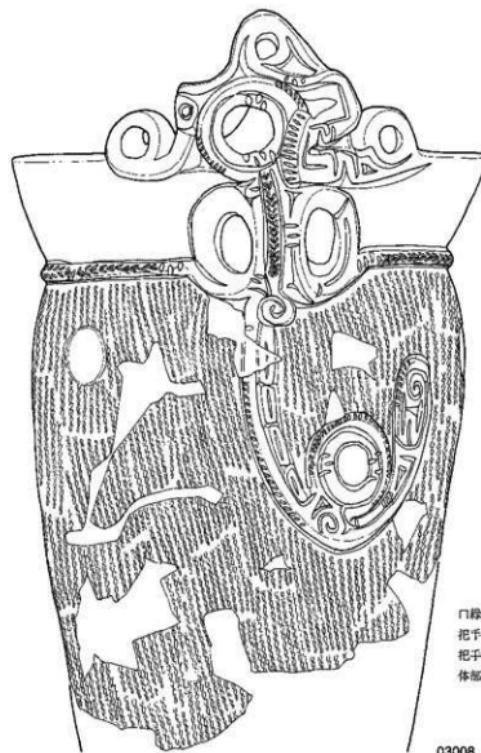
03006



03007

山形部、頭部幾位隆舌
縫合部を複数段階で4単位に区画

平口鉢
直部横円区面規定4単位
区画内縫合及び斜位沈縫充填



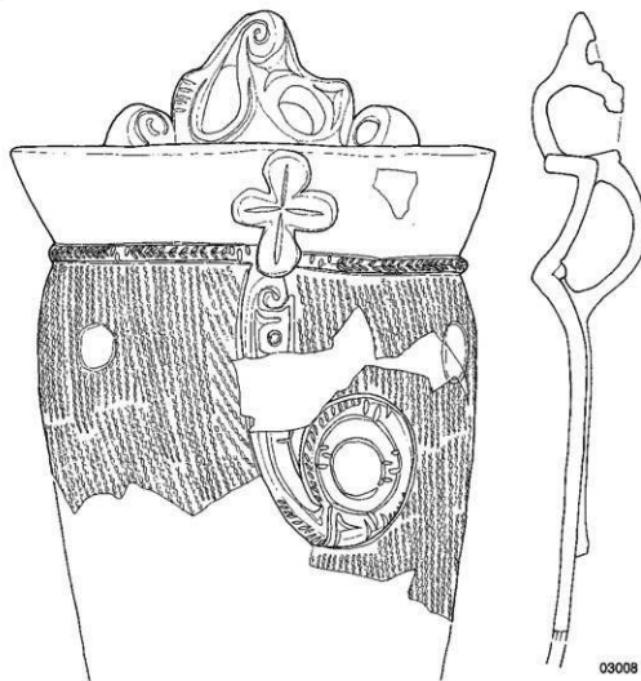
口縁部1単位の大把手
把手下とその対称の位置にミミズク把手
把手下から縫合垂下
体部上位に円文4単位

03008

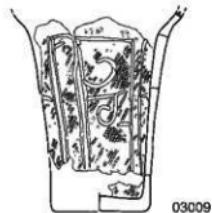
第147図 3号住居跡出土遺物（3）（S=1/4）

0 10cm

3号住居跡



03008



03009



03010

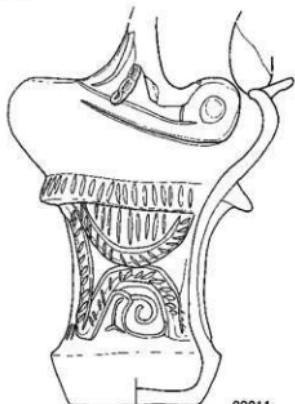
地文單節 R L 橫位施文

頭部で強くくびれ口縁部が外上方に開く
体部は沈線により文様を展開
地文單節 R L 橫位施文

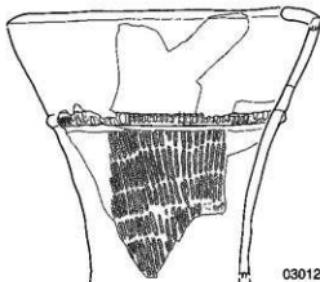
第148図 3号住居跡出土遺物 (4) (S=1/4)

0 10cm

3号住居跡



口縫部1単位の大把手
頭部横状隆帯
体部縦位及び対向U字状隆帯



口縫部屈曲
頭部縦位隆帯
腰帯上筋み及び交り刺突



口縫部内面粘土貼付け
頭部横状隆帯
体部推定4単位対向U字状モチーフ
モチーフ上級形状刺み

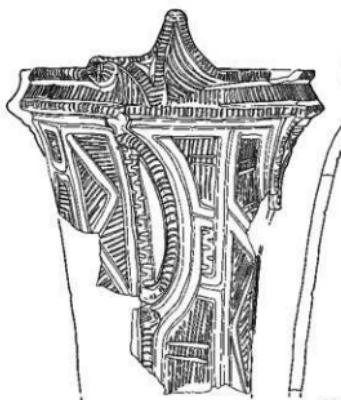


頭部横状隆帯
体部推定4単位の縦位隆帯面の
内沿対向U字状モチーフ推定2単位

0 10cm

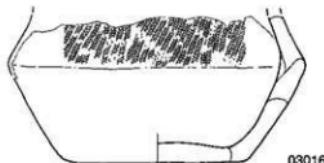
第149図 3号住居跡出土遺物(5) (S=1/4)

3号住居跡



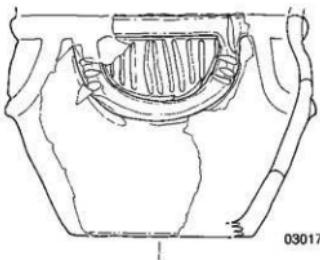
03015

口縁部1単位の人把手
腹部鋸状隆脊未発達
体部推定4単位厚帯区画
体部パネル文



03016

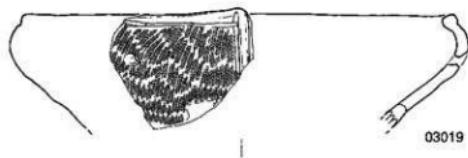
地文厚節R.L.継位施文



03017



03018



03019

口縁部大きく開く
横紋、底付舟形貼付け
補修孔有り
地文0段多角R.L.継位施文

0 10cm

第150図 3号住居跡出土遺物(6) (S=1/4)

3号住居跡

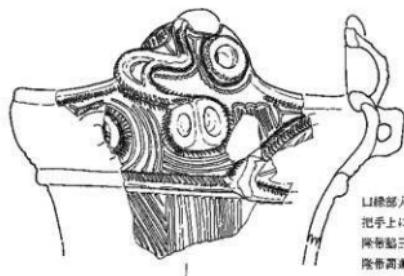


半口器
頭部ぐの字状にくびれる
体部バネル文
U線直下横長区画
以下縱長区画
区画内縱及び斜位比擬

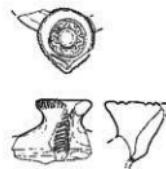


03021

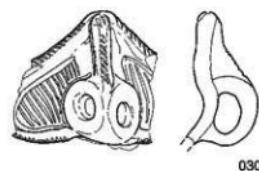
地文単節Rし横位施文後2本の隆帯縦位貼付け1単位
底部付近は相対する三角形状



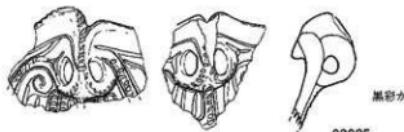
口縫部大把手1単位
把手手上に絶状の隆帯貼付け
隆帯筋三角押し連続
隆帯筒窓半状文、三叉文、沈梅水填



03023



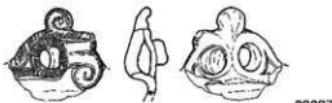
03024



03025



03026

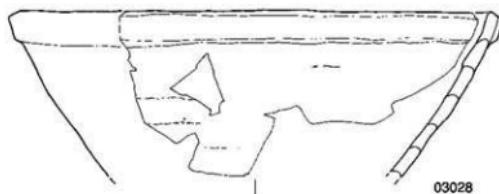


1単位の大把手
隆帯1割み

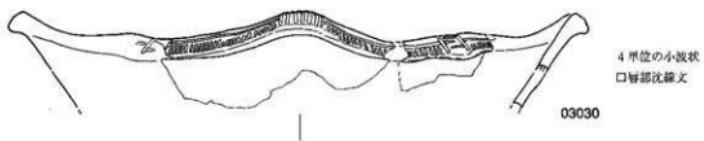
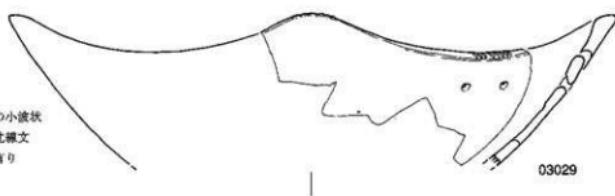
0 10cm

第151図 3号住居跡出土遺物 (7) (S=1/4)

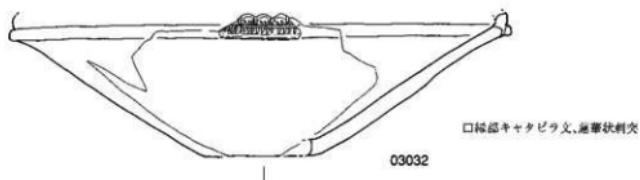
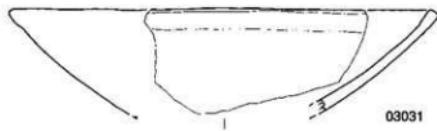
3号住居跡



4単位の小波状
口唇部沈線文
補修孔有り



4単位の小波状
口唇部沈線文

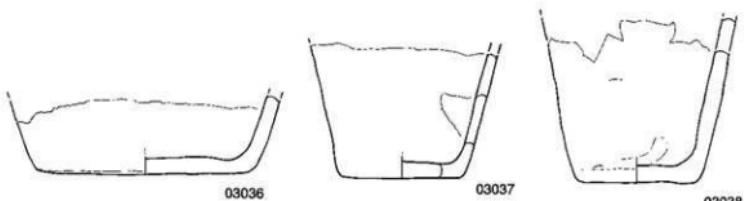
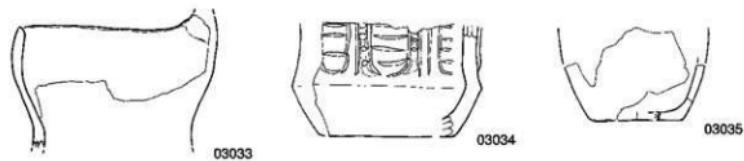


口唇部キャビラ文、蓮華状刻文

0 10cm

第152図 3号住居跡出土遺物 (8) (S=1/4)

3号住居跡



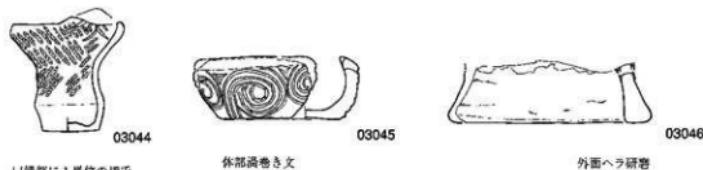
縦合痕から剥落し、微口縁を呈する



0 10cm



0 5cm

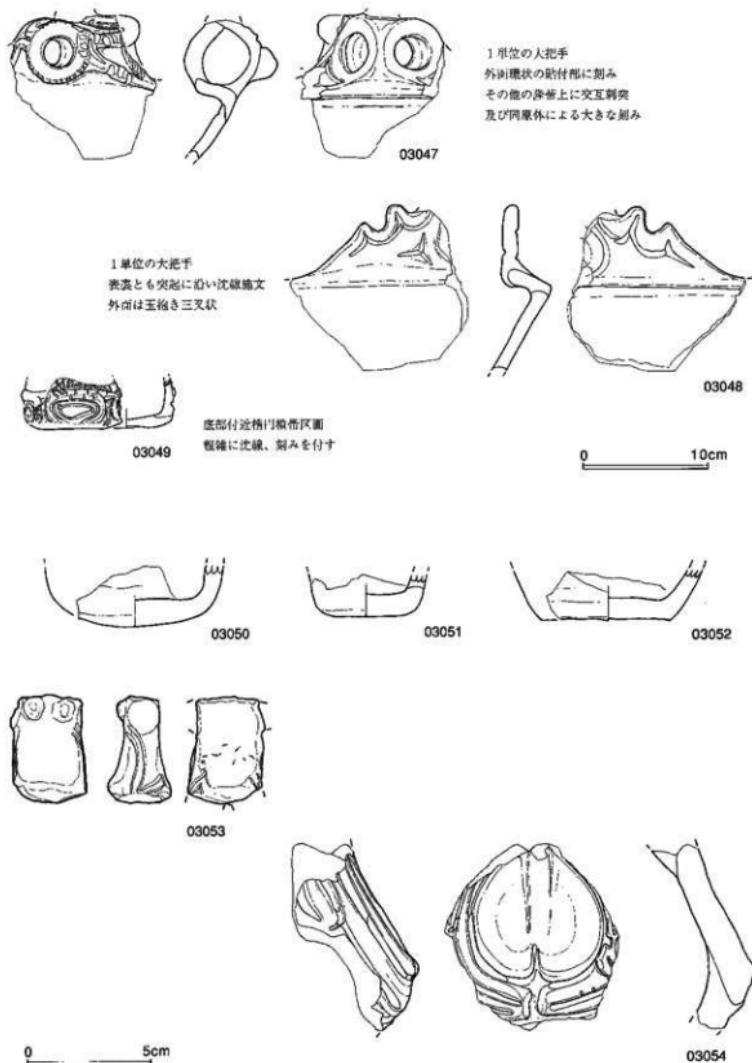


外面ヘラ研磨

0 10cm

第153図 3号住居跡出土遺物 (9) (03033~03041・03044~03046 S=1/4・03042・03043 S=1/2)

3号住居跡



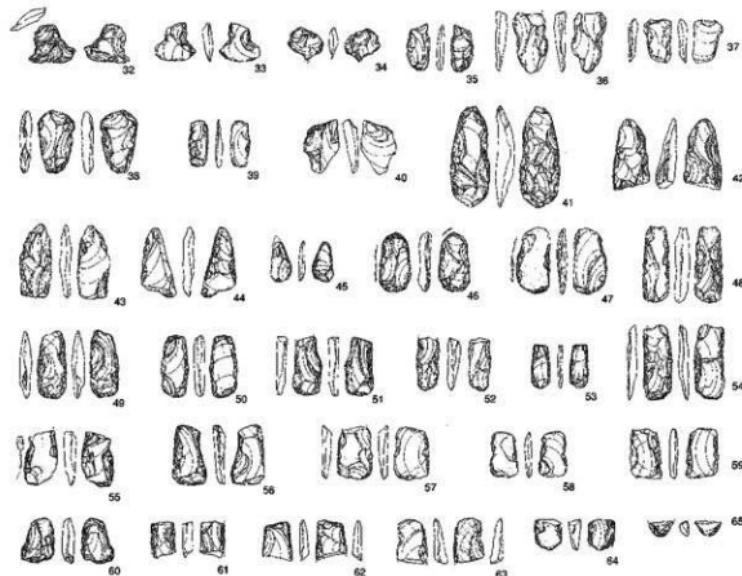
第154図 3号住居跡出土遺物 (10) (03047~03049 S = 1/4 · 03050~03054 S = 1/2)

3号住居跡

小形削片石器



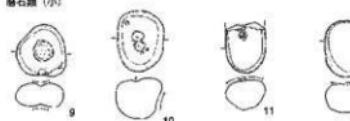
中形削片石器



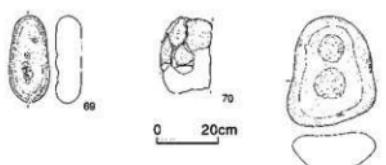
磨製石斧類



磨石類（小）

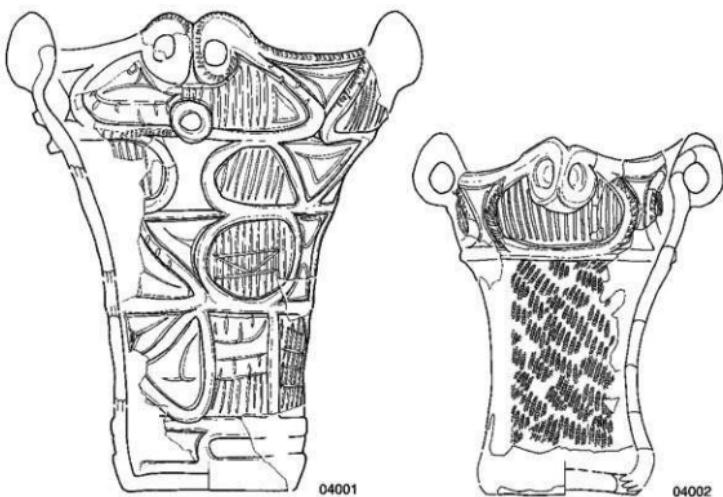


磨石類（大）



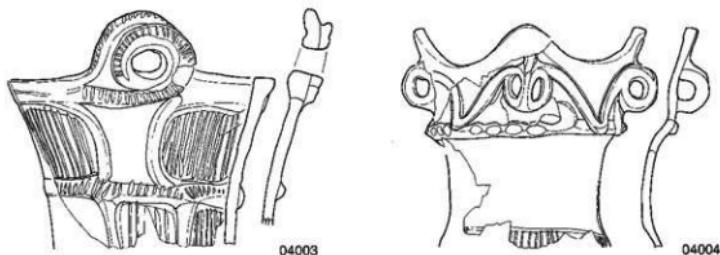
第155図 3号住居跡出土石器一覧 (S = 1/4 + 1/8 + 1/16)

4号住居跡



口縁部外面ミミズク把手推定5単位
面部円形斜付文意定3単位
口縁部陥落によるV字区間
体部区間に沈線文

口縁部外面ミミズク把手推定4単位
口縁部文様帶縫合による横内区画
区面意定沈線施文
体部地文甲第R.L斜位施文
小仄による歪み顯著



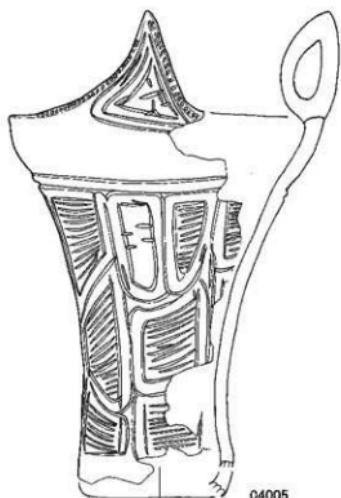
口縁部大把手1単位
体部横位区画文
区面内縦位沈線施文

口縁部4単位の波状
波底下外面ミミズク状把手
ミミズク間を縫合で連続
体部半街形文か

0 10cm

第156図 4号住居跡出土遺物(1) (S=1/4)

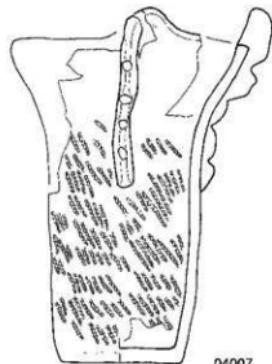
4号住居跡



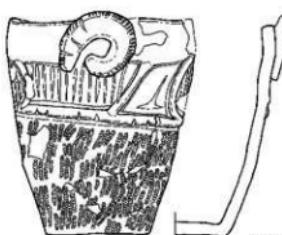
口縁部1単位の大把手
体形パネル文
陳帯貼付けなし



口縁部1単位の把手
頭部横円区両文4単位
体部單路L R



口縁部1単位の把手
波頂部から底部に陳帯貼付け
地文單節L R

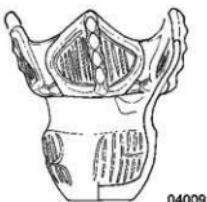


口縁部墜帶貼付1単位小
頭部横位区両文
体部單節L R

0 10cm

第157図 4号住居跡出土遺物(2) (S=1/4)

4号住居跡



04009

口縁部4単位の小波状
口縁部4単位の横引模文
底面下外面縦に施帶貼付
体部下半施捺による梯形文



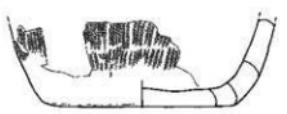
04010

平口縁
腹部飾状施帶
施帶上文互押捺
体部バネル文



04011

底部付近横帶区间
区画内施捺充填



04012

地文R Lの捺り条文綴施文



04013

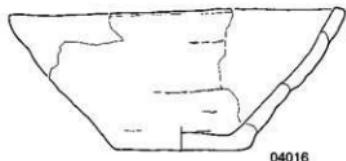
等外側削丁章
底部分近横引模帶区画



04014

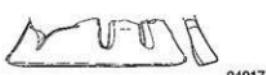


04015



04016

ヘラ研磨されるが器外面に輪折み痕を残す



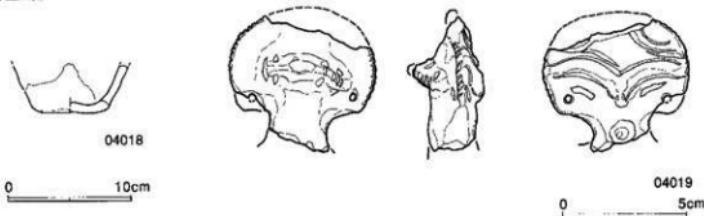
04017

複数長方形2個と菱形の透かしを交互に配する

0 10cm

第158図 4号住居跡出土遺物(3) (S=1/4)

4号住居跡

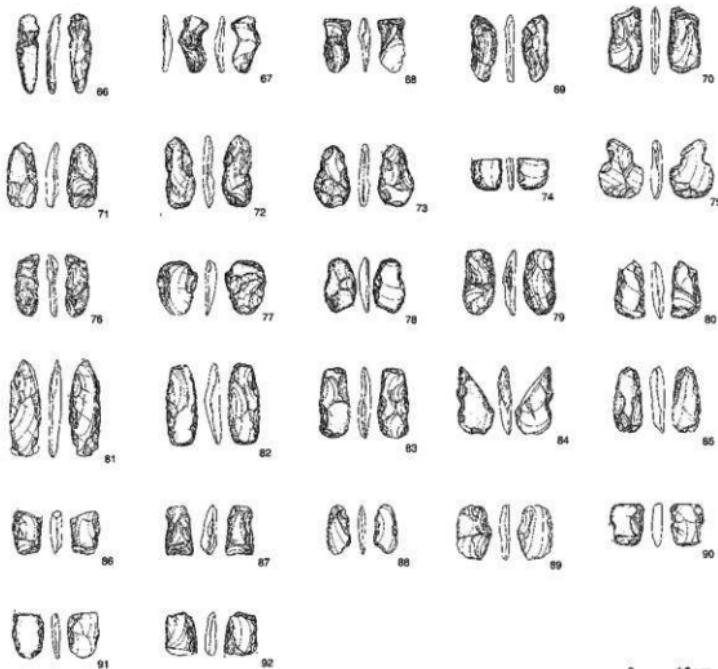


第159図 4号住居跡出土遺物 (4) (04018 S=1/4・04019 S=1/2)

小形剥片石器



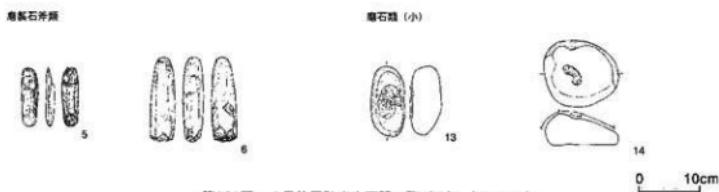
中形剥片石器



第160図 4号住居跡出土石器一覧 (1) (S=1/4・1/8)

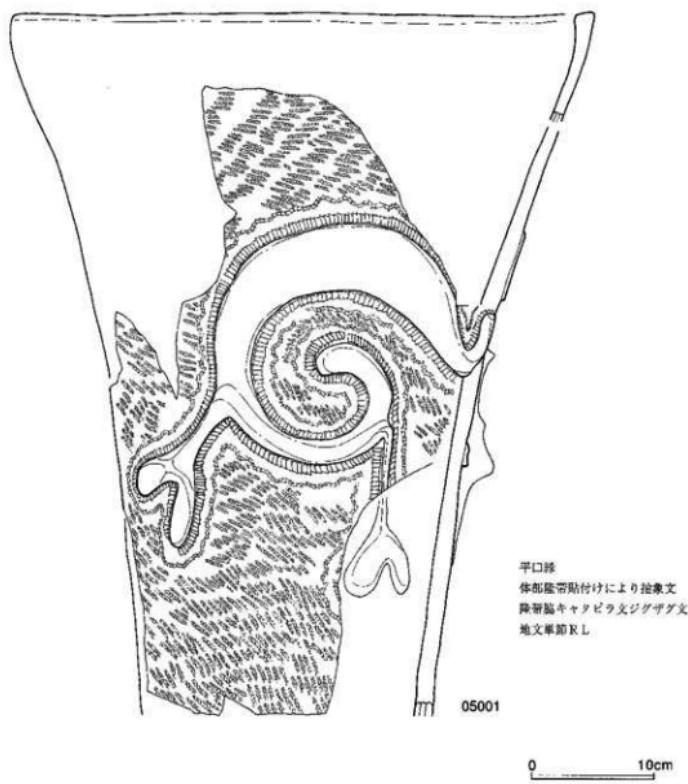
0 10cm

4号住居跡



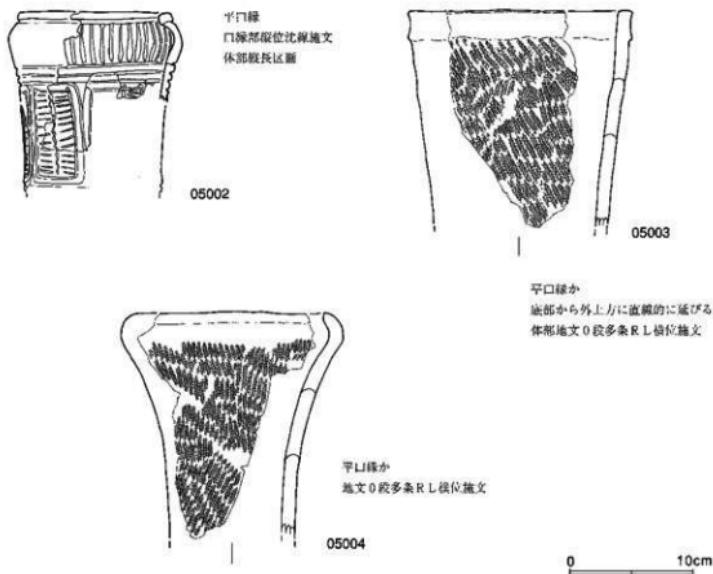
第161図 4号住居跡出土石器一覧 (2) ($S = 1/8$)

5号住居跡

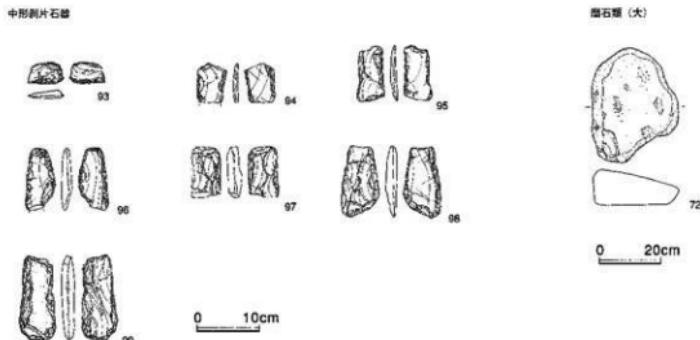


第162図 5号住居跡出土遺物 (1) ($S = 1/4$)

5号住居跡

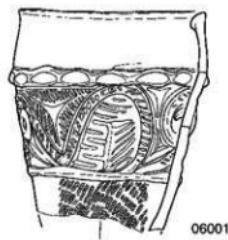


第163図 5号住居跡出土遺物（2）（S=1/4）



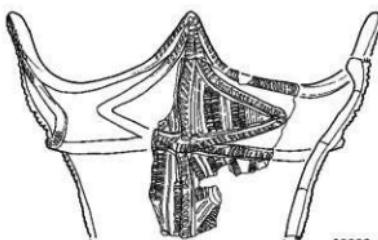
第164図 5号住居跡出土石器一覧（S=1/8・1/16）

6号住居跡



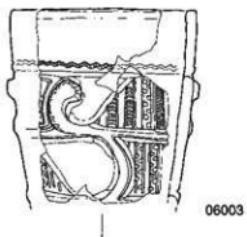
06001

半口様
底部横位頸状隆帯
体部文様帶隆帯区画
区画内二叉文等
体部下半小鉢 L.R.



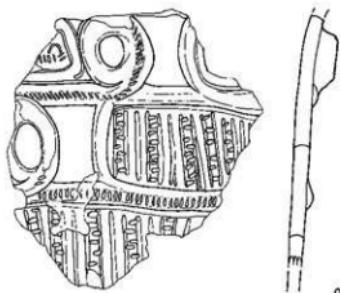
06002

口様部4単位の波状突起
波頂部を頂点に矩形区画
区画内半斜帯により沈線齊溝捺文

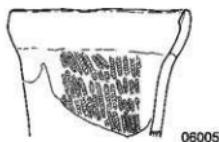


06003

体部横帯区画
横位半隆帯充填
半隆帯上連続押引き文、交叉刻文

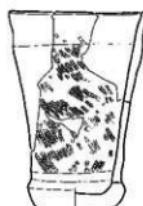


06004



06005

地文單節R.L.横位族文



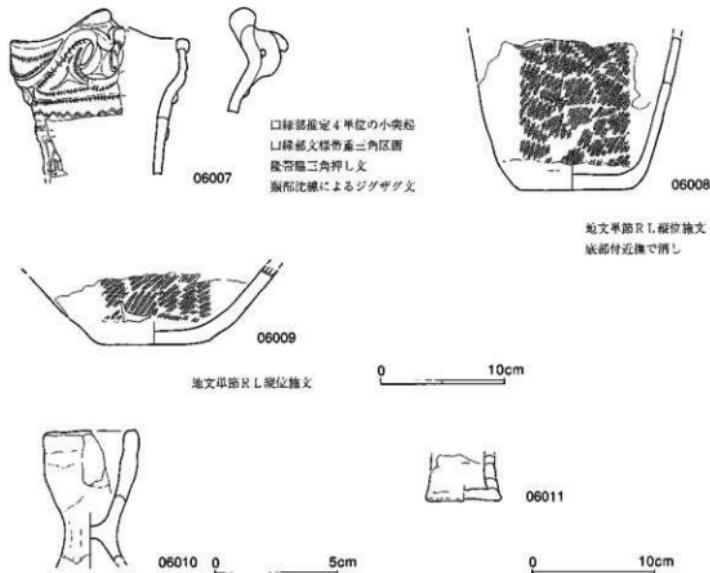
地文單節R.L.横位族文
基面摩滅

06006

0 10cm

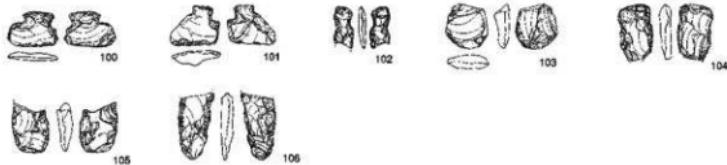
第165図 6号住居跡出土遺物(1) (S=1/4)

6号住居跡

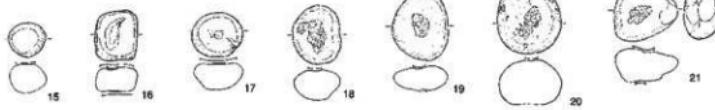


第166図 6号住居跡出土遺物（2）（06006～06009・06011 S=1/4・06010 S=1/2）

中形削片石器



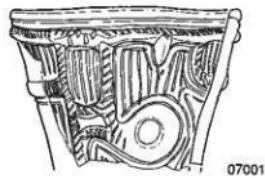
磨石器（小）



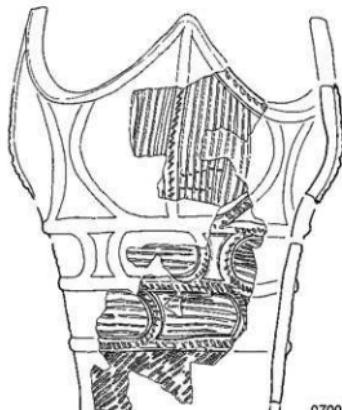
第167図 6号住居跡出土石器一覧（S=1/8）

0 10cm

7号住居跡



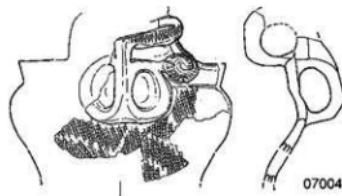
平口縁
腹部縦伏隆帯貼付け
体部パネル文
区画内模位沈維充填



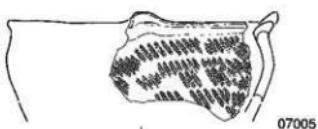
II縁部4単位の大波状
口縁部下垂状の縦帶区画強部2段の指円区画
区画内模位沈維充填
体部下半單筋L.R



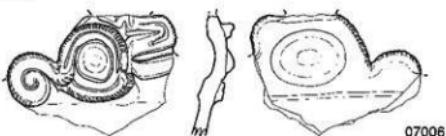
口縁部1単位の小突起
突起下部分的に地文磨り削し模位にジグザグ文



1単位の大把手
把手外側にミミズク状把手
体部地文單筋R.L模位施文



4単位の小突起か
地文單筋R.L模位施文

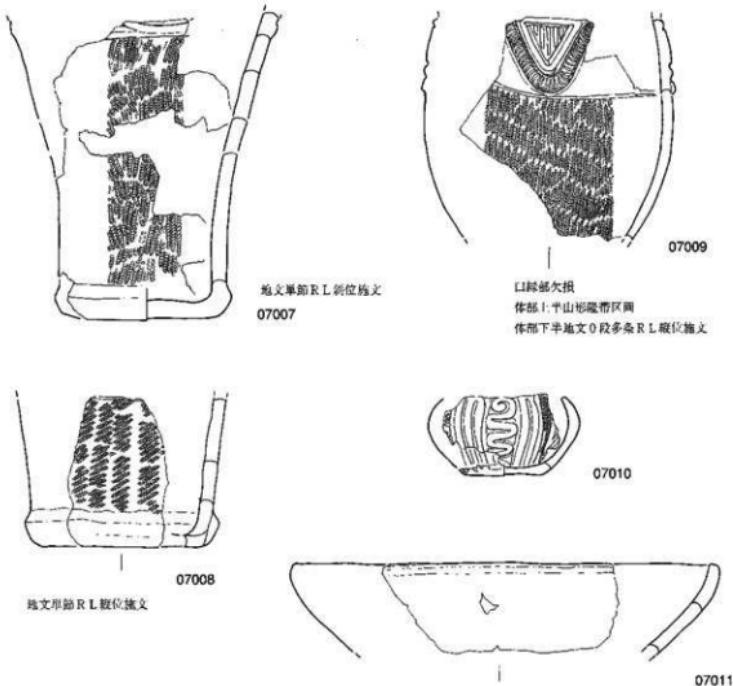


1単位の大把手
人柄の円形文に底槽を貼付け

0 10cm

第168図 7号住居跡出土遺物（1）（S=1/4）

7号住居跡



第169図 7号住居跡出土遺物 (2) ($S = 1/4$) 0 10cm

小形剥片石器



中形剥片石器



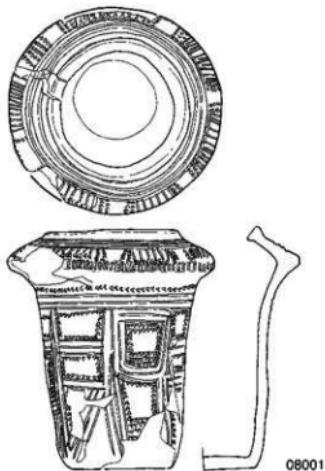
用削石斧頭



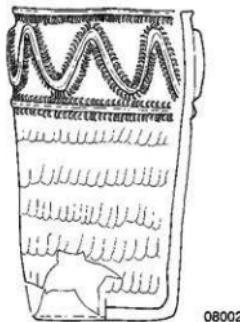
第170図 7号住居跡出土石器一覧 ($S = 1/4 + 1/8$)



8号住居跡

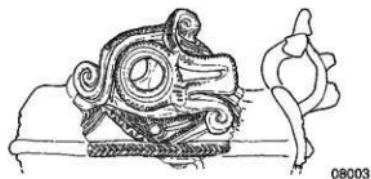


口縁部底下突出
幾何状文、三角押し文綱文施文
体部パネル文、区画内三角押し文施文



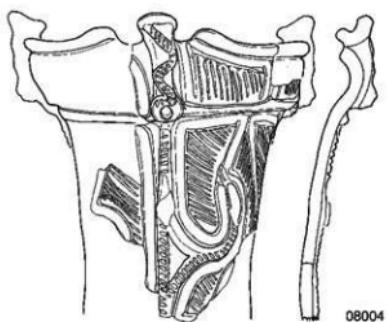
08002

口縁部文様帯波状降着點付け
向者腹邊絞割突文
体部折翼压痕明瞭



08003

1単位の大把手
座席状を刻み、文化剥突により加飾
把手内面は大柄のミミズク状

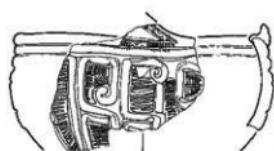


口縁部指定4単位の小突起
火起上座帶加飾
口縁部区画内施事状文
体部突起から延びる脊帶により4分割

0 10cm

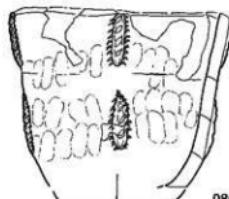
第171図 8号住居跡出土遺物(1) (S=1/4)

8号住居跡



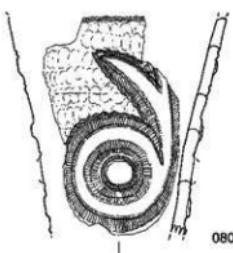
08005

口縁部 I 単位の小突起
体部バネル文
指状モチフ



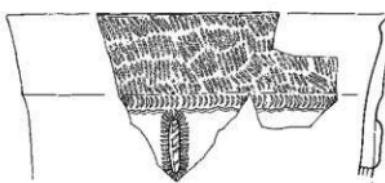
08006

体部下半（底部）略完存
破損後再利用か
残存部数 2 枚 1 単位の貼付文 4 単位



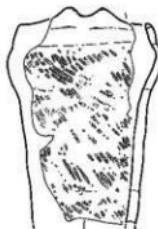
08007

脛帯貼付けによる抽象文
モチーフ基キャビラ文・
二角押しによるジグザグ文



08008

口縁部地文基部 R L 横位施文
口縁部下にキャビラ文



08009

口縁部に 2 個 1 枚の小突起
体部地文基部 R L 横位施文



08010

1 単位の大把手
隆背 T. 細み



08011

施文半體 R L 斜位施文



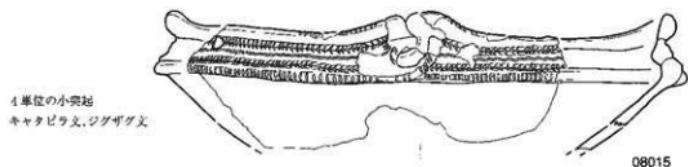
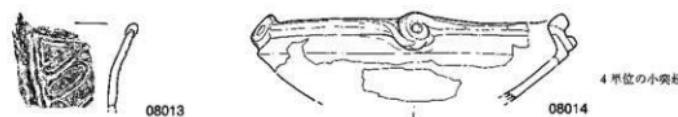
08012

有 T. 施文後彫り消し
円文内部細かい原体により
ジグザグ文、三角押し文、直線文
格製される

0 10cm

第172図 8号住居跡出土遺物 (2) (S=1/4)

8号住居跡



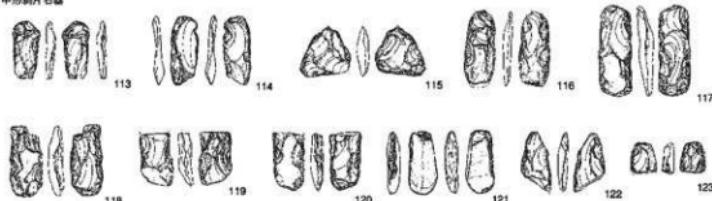
第173図 8号住居跡出土遺物（3）（S=1/4）

0 10cm

小形剥片石器



中形剥片石器

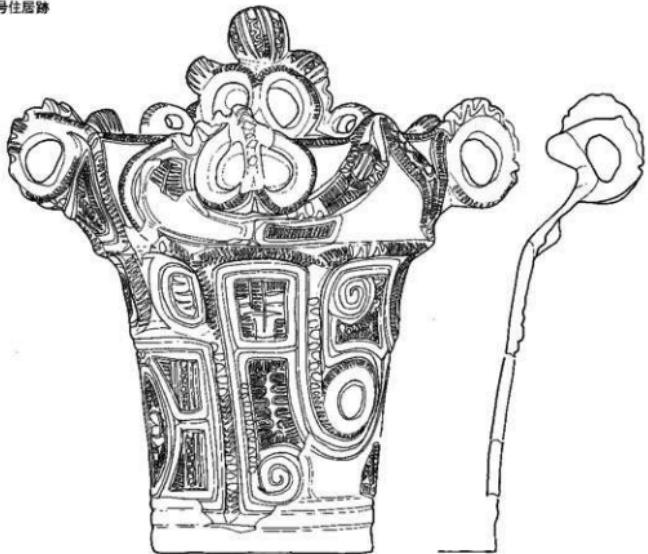


縦製石斧頭



第174図 8号住居跡出土石器一覧（S=1/4・1/8）

9号住居跡



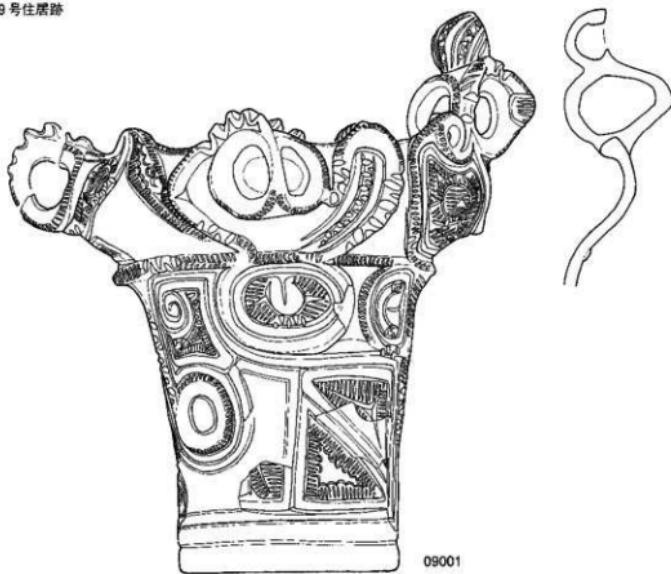
口縁部4単位の把手
内1カ所は大把手
体部パネル文
区画内「乂」文、邏卒状文、交互刺突

09001

0 10cm

第175図 9号住居跡出土遺物 (1) (S=1/4)

9号住居跡



09001

口縁部4単位の小段状
口縁部文様帯重三角区帯
頸部弦文帶
体部バネル文
区画内円文、沈線充填



09002

平口縁部
環品齊状斜帶
体部バネル文
区画内比線充填

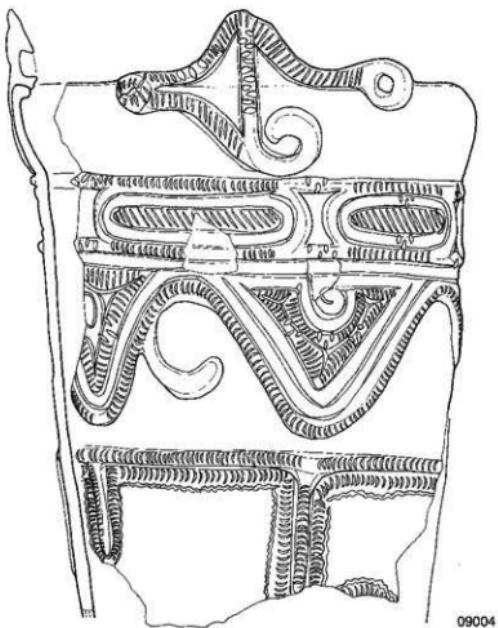


09003

0 10cm

第176図 9号住居跡出土遺物 (2) (S=1/4)

9号住居跡



09004

口縁部 1 単位の大把手
頭部桂円文横帯区画
体部文様帶 2 級構成
上段は波状隆起脂付けにより仄開し、三叉文、円文を重点

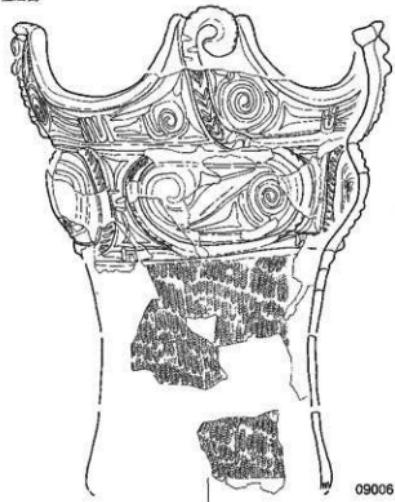


09005

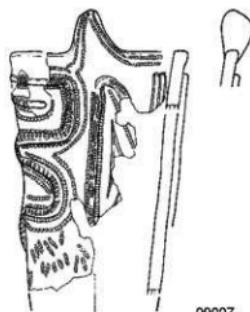
第177図 9号住居跡出土遺物（3）（S=1/4）

0 10cm

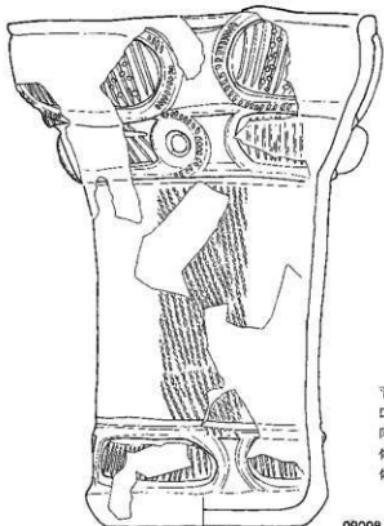
9号住居跡



口縁部4単位の大放状
波筋部から垂下する斜帯を挟み円文、三叉文を配置
体部上半に波頭部に対応する横円区面4単位



口縁部1単位の小突起
体部縦帶密付け
降帯脇充押し状
外部下半横円区面

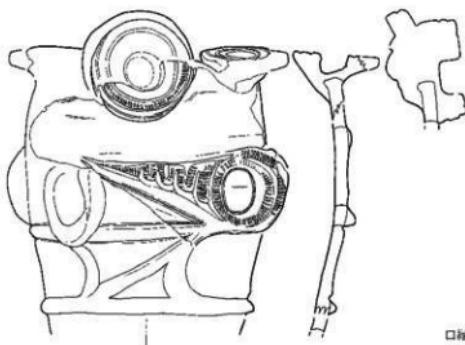


平口縁少
口縁部横円区面2段
区内定位比輪、交互刺突
体部地文残り糸
体部下半横円区面

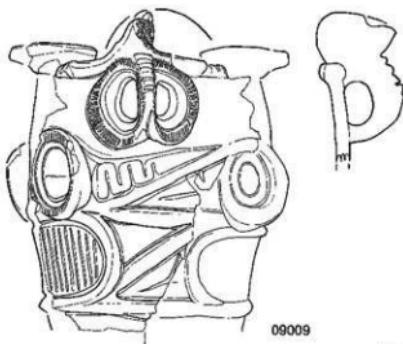
0 10cm

第178図 9号住居跡出土遺物(4) (S=1/4)

9号住居跡

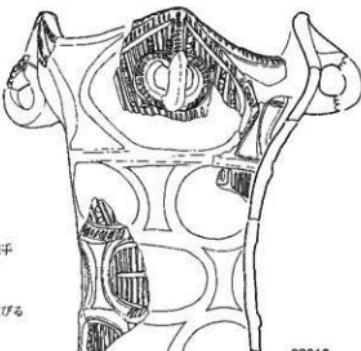


口縁部4単位の小波状
彼道下にミミズク状突起
体部は拘円文重疊



09009

把手の進存部より4単位を想定
ミミズク状の把手に対向して円形の把手
この間に上向きに円形の把手を想定
口縁部拘文帯以下横帯区画
立体的な武具を意匠から新規に復元延びる
区画内三叉文他で充填

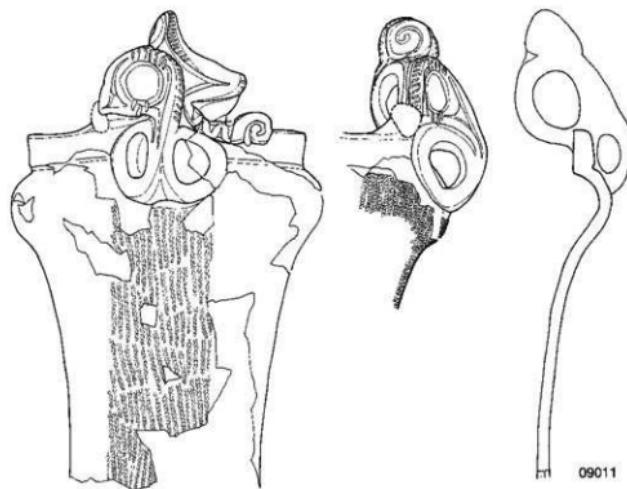


09010

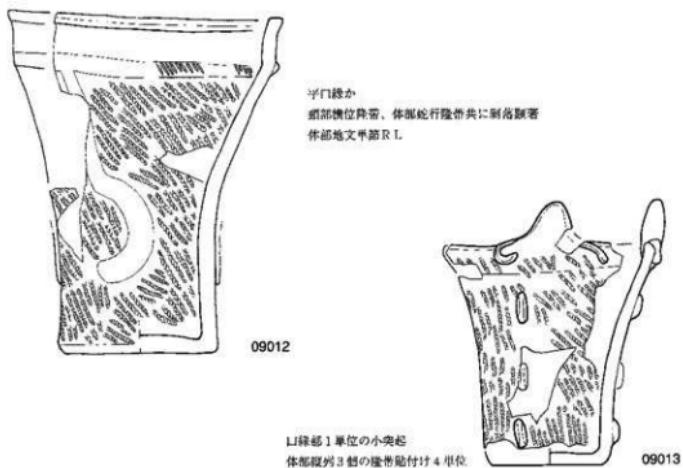
第179図 9号住居跡出土遺物(5) (S=1/4)

0 10cm

9号住居跡



口縁部1単位の大把手
把手下に外向するミミズク把手部地文手筋RL



第180図 9号住居跡出土遺物(6) (S=1/4)

0 10cm

9号住居跡



09014



09015

口縁部1単位の大把手（一部剥落）

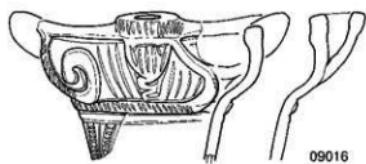
脇形飾状隆帯

体部バネル文

口縁部2単位の大把手（剥落）

脇部脇状隆帯

体部バネル文



09016

口縁部4単位の突起

子持臺状の突起とミミズク状の突起を交差に配置か
体部縦位沈線、交叉網突

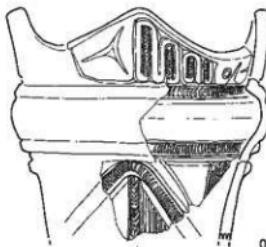


09018

口縁部1単位の小突起

体部ランク上に透巻貼付け

地文捺り糸



09017

口縁部推定4単位の波状

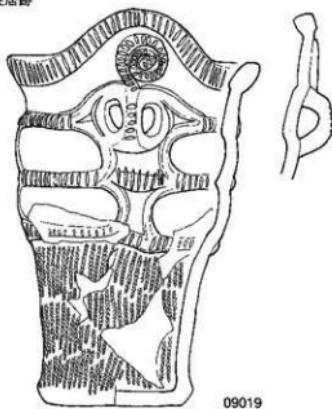
口縁部に三叉文、円文施文

体部山形に墜巻貼付け

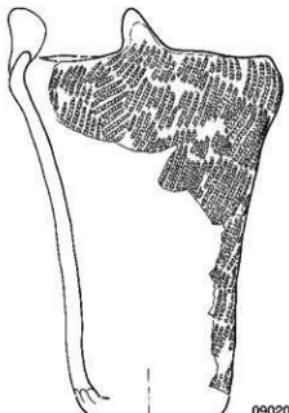
0 10cm

第181図 9号住居跡出土遺物（7）（S=1/4）

9号住居跡



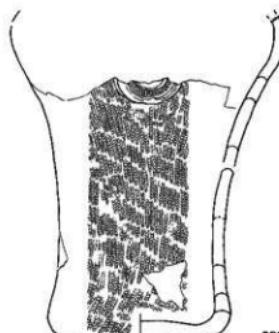
口縁部に1単位の小突起
奥起下に人体意匠
体部下平地文單筋L R



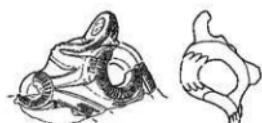
口縁部1単位の小突起
堆文單筋L R 絹介施文



口縁部1単位の突起
口唇部から3本の横位纏帶貼付け
中央の縫帶は交互側突、他は連続折み
堆文單筋L R 絹介施文



体部上位に縫帶による円形彫刻
地文單筋R L 絹介施文



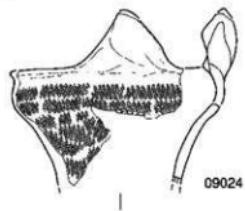
1単位の大把手
縫帶上端
把手内面ミズク状

09023

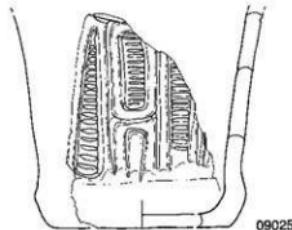
0 10cm

第182図 9号住居跡出土遺物(8) (S=1/4)

9号住居跡



山脚部 1 単位の大把手
体部地文單節 R L 横位施文



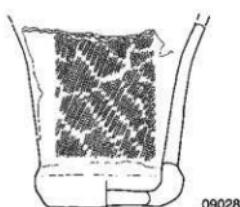
体部バネル文
区画内横位沈痕充填



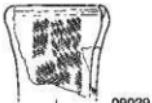
底部付近横川横筋区画
体部バネル文
・部単節 R L 施文



体部地文草筋 R L 横位施文



地文单節 R L 横位施文
残存部上端沈痕によるジグザグ文

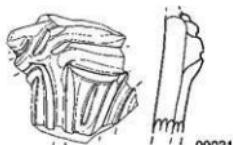


地文单節 R L 横位施文



地文单節 R L 横位施文
地文施文後沈痕施文

0 10cm

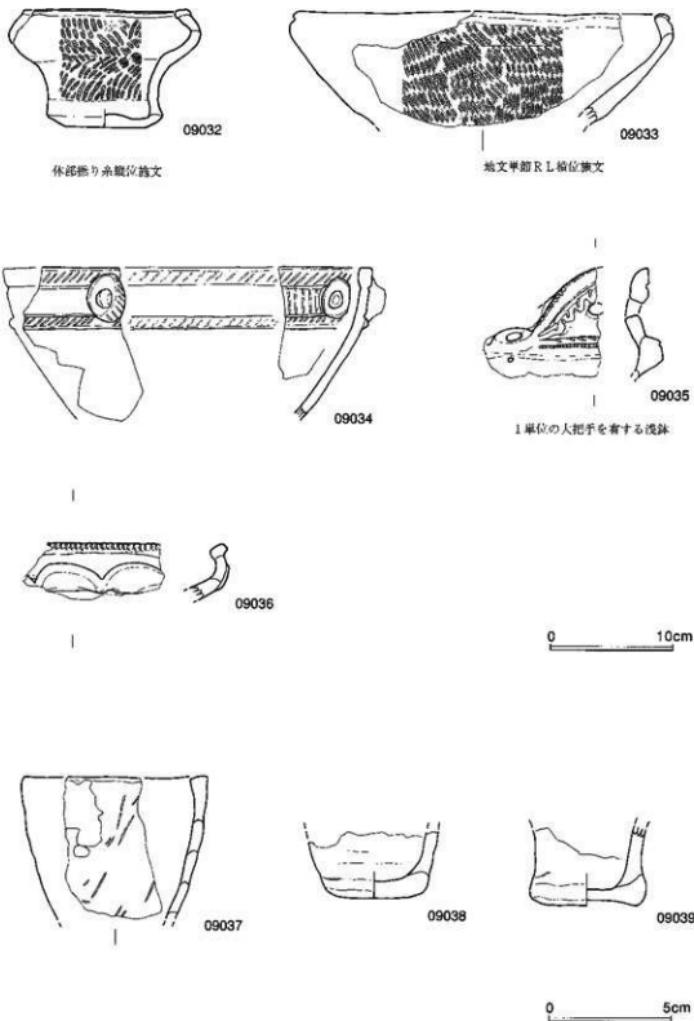


染町類型

0 5cm

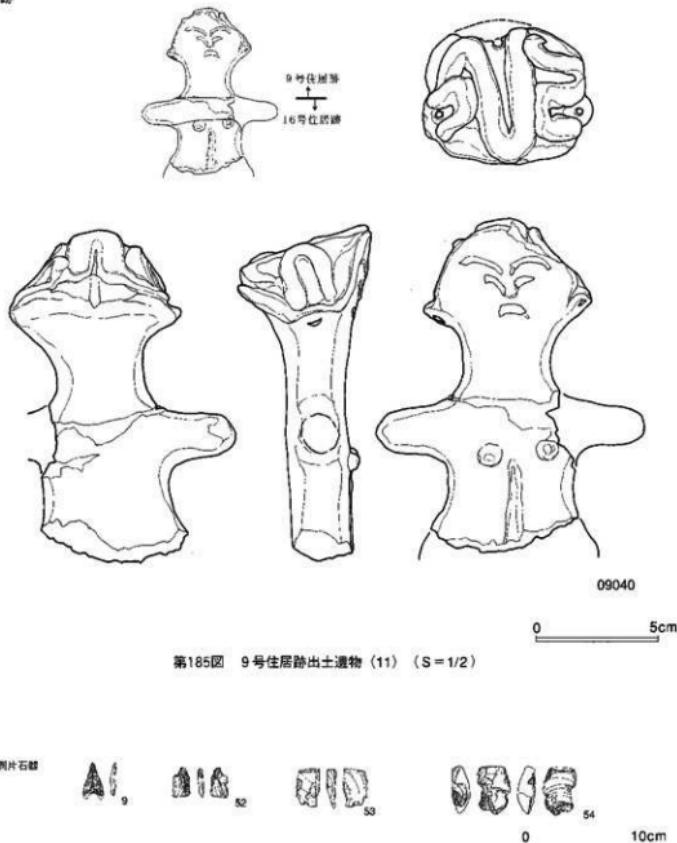
第183図 9号住居跡出土遺物 (9) (09024~09030 S=1/4 + 09031 S=1/2)

9号住居跡



第184図 9号住居跡出土遺物 (10) (09032~09036 S=1/4 · 09037~09039 S=1/2)

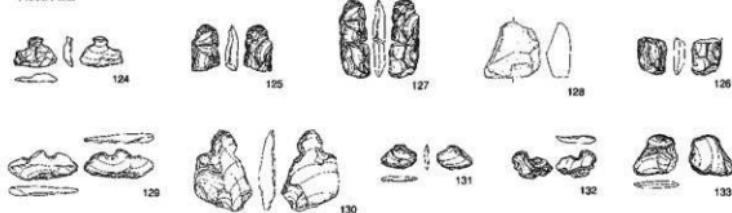
9号住居跡



小形剥片石器



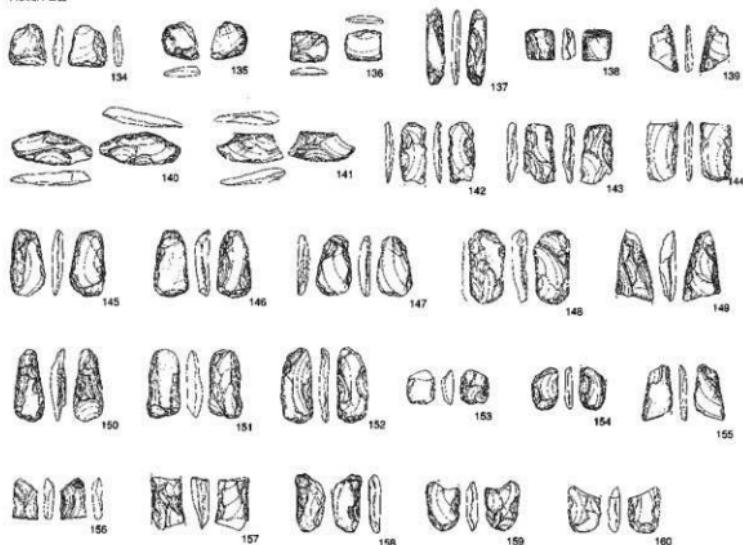
中形剥片石器



第186図 9号住居跡出土石器一覧 (1) (S=1/4・1/8)

9号住居跡

中形削石器



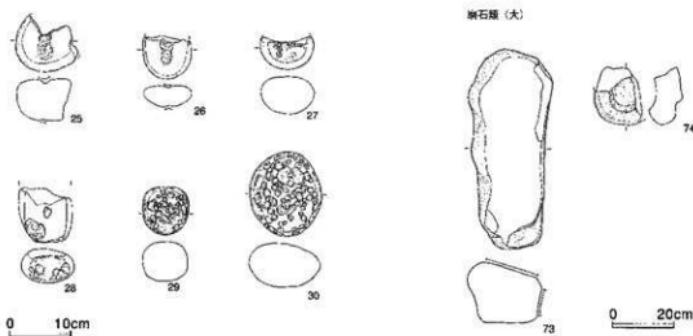
磨石器（小）



磨削石斧頭

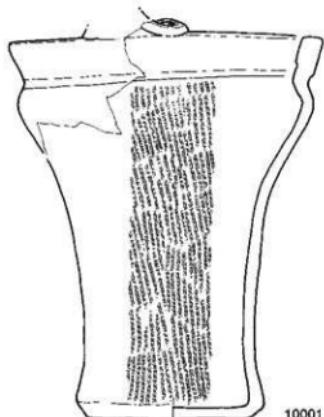


磨石器（大）



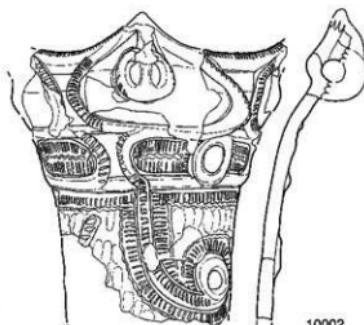
第187図 9号住居跡出土石器一覧（2）（S=1/8・1/16）

10号住居跡



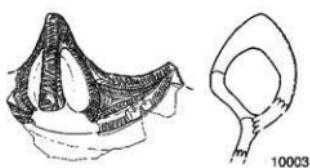
10001

口縁部1単位の大把手
体部地文單線R1.



10002

口縁部4単位の小波状
波頂部から下垂状に4単位の区画
腹部に楕円形凹区画
体部に体内に向かって延びる隆脊點付け
体部指西仄直



10003

1単位の大把手を有する鉢
隆脊上彎み、交叉刺突
隆脊間にV叉文



10004

0 10cm

第188図 10号住居跡出土遺物 (1) (S=1/4)

10号住居跡



頭部蛇形縫合部
縫合上連續割み、交互網突
体部地文單沿 R.L. 斜位施文

10005



地文単沿 R.L. 口縁部の一部以外綴位施文

10006



中空の上開装飾付上器突起
器内面丁寧に調査
人体模は環状の接觸痕跡

10007

0 10cm

第189図 10号住居跡出土遺物 (2) (S=1/4)

中形剥片石器



161



162



163



164



165



166



167



168

0 10cm

磨石類 (大)



75

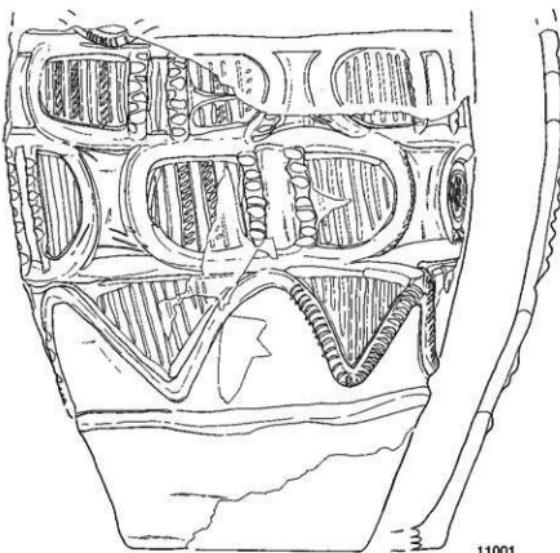


76

0 20cm

第190図 10号住居跡出土石器一覧 (S=1/8・1/16)

11号住居跡



口部外折
横带区面
山形像者・横円区面・横円区面・山形像者
区面内壁沈線光沢

0 10cm

第191図 11号住居跡出土遺物 (S=1/4)

中形石器



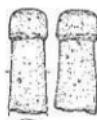
169



170

0 10cm

磨石類(大)



77

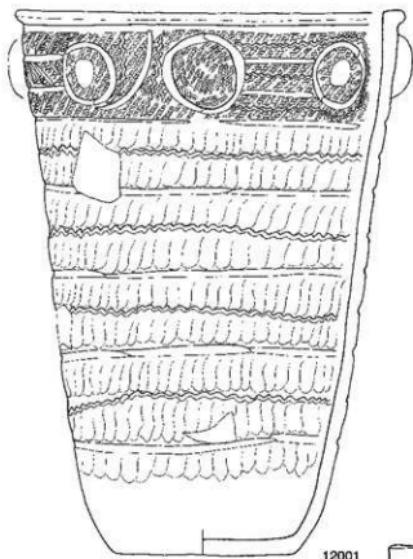


78

0 20cm

第192図 11号住居跡出土石器一覧 (S=1/8・1/16)

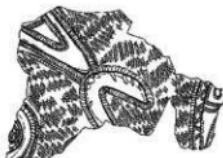
12号住居跡



12001

平口總

口縄第4 単位の貼付けによる円文
貼付け帯に沈線による円文・横位沈線文
地文単節し
体部横位沈線、ジグザグ文
沈線間接頭圧痕

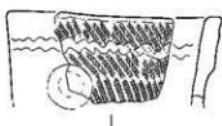


12002

地文単節R L 沈文後モチーフ貼付け
隆帯筋、底帶上に細状キャビラ文、三角押し文



12003



12004

口縄内下に沈線によるジグザグ文

4 単位の円文

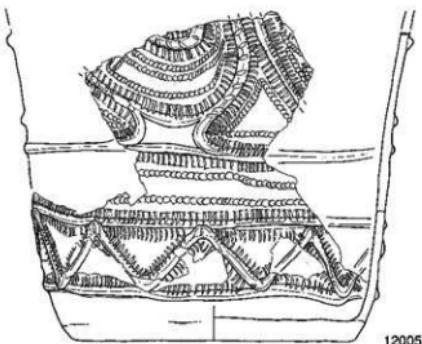
地文単節R L 横位施文

0 5cm

0 10cm

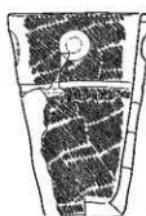
第193図 12号住居跡出土遺物（1）（12001～12003 S=1/4・12004 S=1/2）

12号住居跡



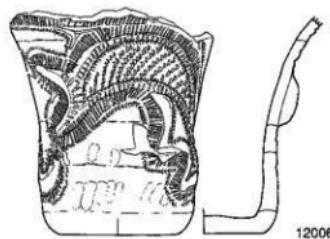
12005

陰帯による渦巻き文、三角文
その下部を2段に横帯区画し、その下段は山形隆帯を貼付
隆帯貼はキャタピラ文、ペン先状T工具による連続押點



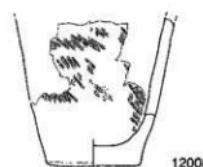
12007

平口縁
4単位の沈刻による円文
腹部沈刻、押引きによるジグザグ文
地文半筋R L



12006

体部サンショウウオ状モチーフ2単位
モチーフ上竹管道続刺突
モチーフ外縁キャタピラ文、三角押し文



12008

地文付加条縞文R L.+横位施文
粗粒



12009

0 10cm

第194図 12号住居跡出土遺物（2）（S=1/4）

小形削片石器



0 10cm

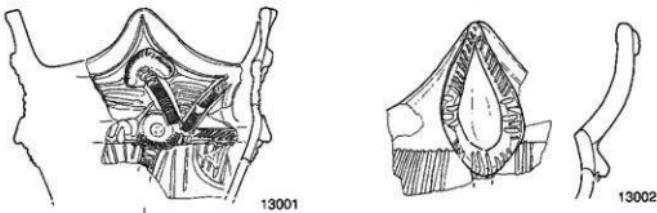
中形削片石器



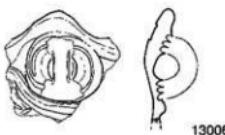
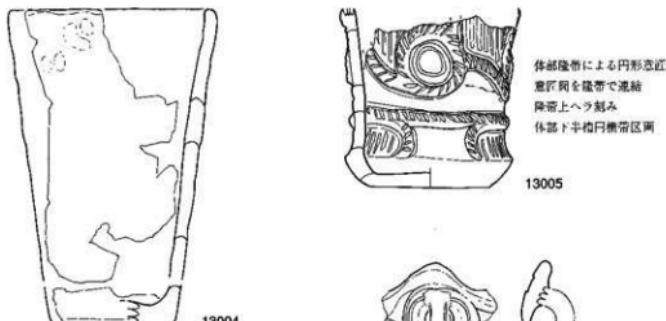
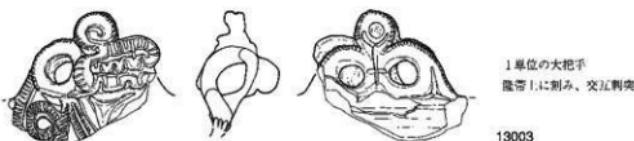
0 10cm

第195図 12号住居跡出土石器一覧（S=1/4・1/8）

13号住居跡



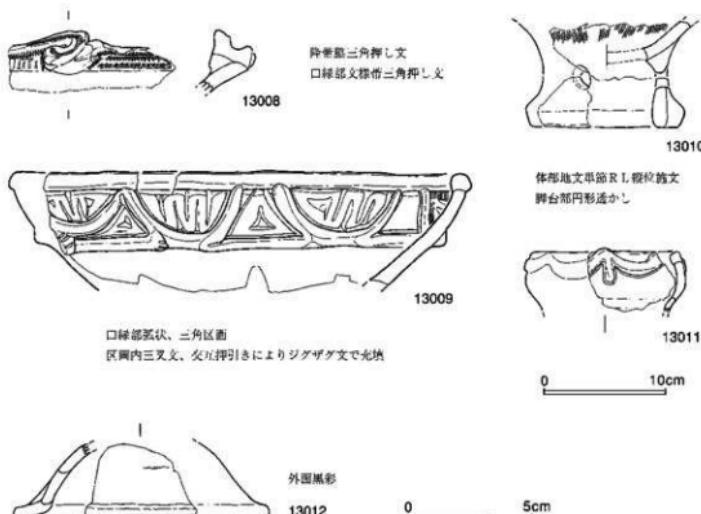
口縁部推定 4 単位の波状
頭部鶲状溝帯
溝帯上刻み、父互刺突 地文沈縮光斑



第196図 13号住居跡出土遺物 (1) ($S = 1/4$)

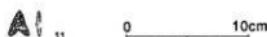
0 10cm

13号住居跡

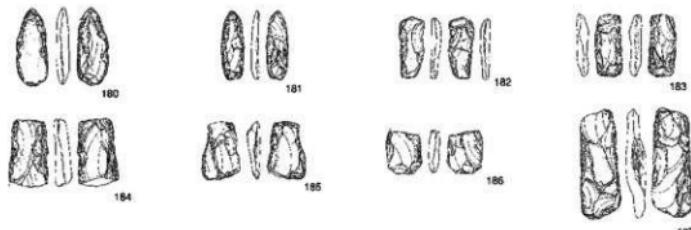


第197図 13号住居跡出土遺物（2）（13007～13011 S=1/4・13012 S=1/2）

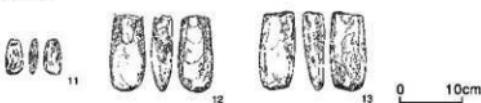
小形剥片石器



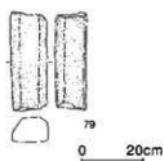
中形剥片石器



磨製石斧頭

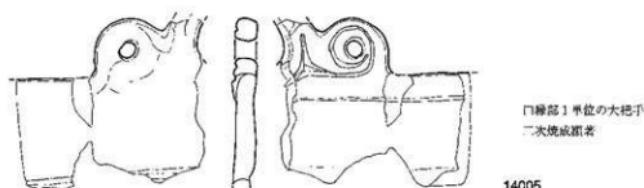
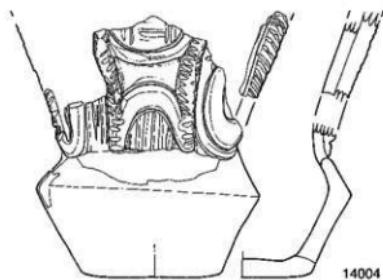
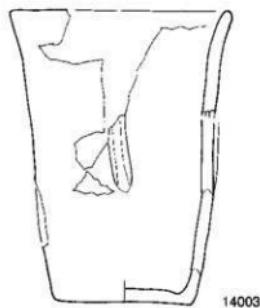


磨石盤（大）



第198図 13号住居跡出土石器一覧（S=1/4・1/8・1/16）

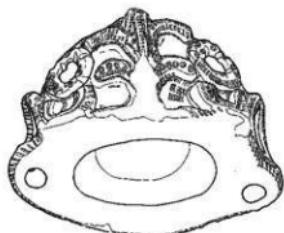
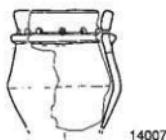
14号住居跡



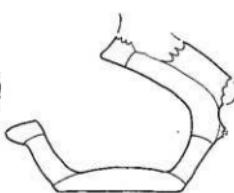
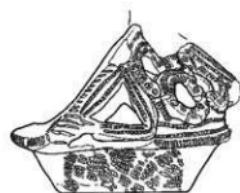
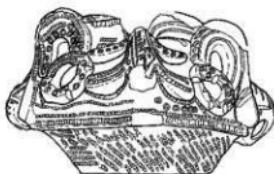
第199図 14号住居跡出土遺物 (1) (S=1/4)

0 10cm

14号住居跡



天蓋式の鉢手土器
天蓋部外面中央に人物（動物）金瓦
側面部打ち欠きか
窓部内側に円形、三角形透かし
陣形上竹管状T.具による円文、陰帯部に三角押し文
体部下半單筋京L.斜位施文
内面灰化物粒子付着



14008

0 10cm

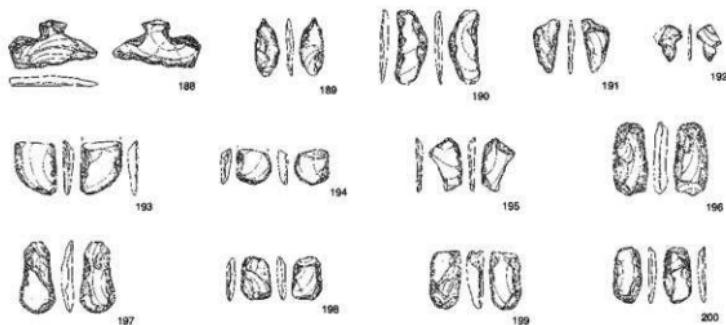
第200図 14号住居跡出土遺物（2）（S=1/4）

14号住居跡

小形刮片石器



中形刮片石器

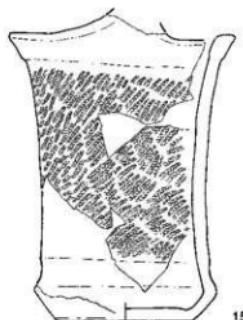


磨擦石片類



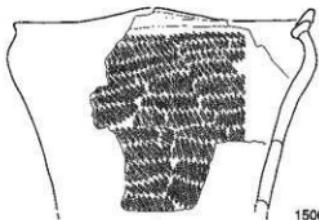
第201図 14号住居跡出土石器一覧 (S = 1/4 • 1/8)

15号住居跡



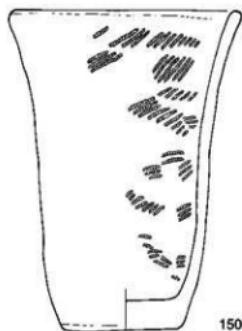
15001

1単位の把手
体部地文単節R.L.斜位捺文



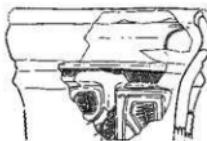
15002

1単位の把手
体部地文単節R.L.斜位捺文



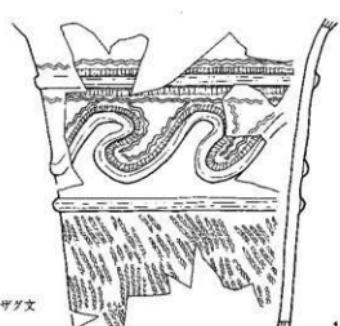
15003

平捺
体部地文単節R.L.捺文擦り消し



15004

△縦部幾何圖案
底部荷状捺文
体部バネル文

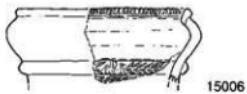


15005

0 10cm

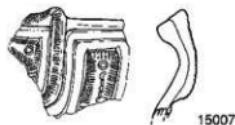
第202図 15号住居跡出土遺物（1）（S=1/4）

15号住居跡

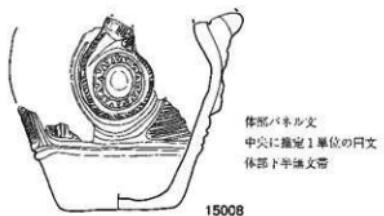


15006

頭部縁帶交差刻夷、波形状斜み
体部單第 L R



15007



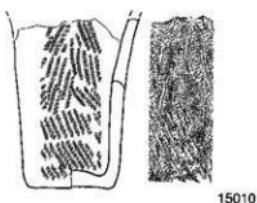
15008

体部バキル文
中央に確定1単位の円文
体部下半強文帶



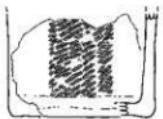
15009

地文單第 R L 機位施文



15010

地文行加条織文
R L・R L R 組合せ
IとL Rの原体をR方向に並ぶ



15011

地文單第 R L 機位施文

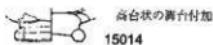


15012



15013

脚部に3条の沈線により山形文
山形文内部を三角形透かし



15014

0 10cm

第203図 15号住居跡出土遺物（2）（S=1/4）

15号住居跡



15015

外面赤彩後黒彩
内面赤彩

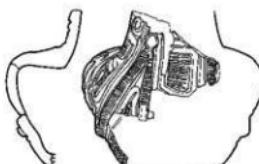
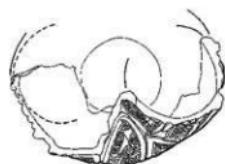


15016

内面赤彩
焼成未穿孔



15017



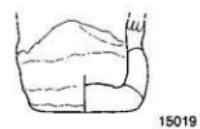
15018

遺存状態不良のため詳細不明
甕口上部と思定
パネル文企画に展開
身部を山形に配す
縁部上へラフ込み
区間に三叉文、網格子文等で充填

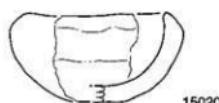
0 10cm

第204図 15号住居跡出土遺物（3）（S = 1/4）

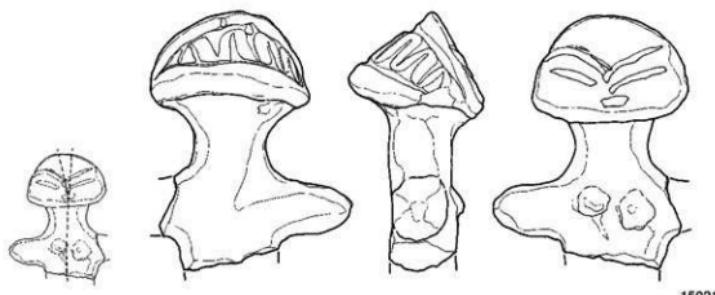
15号住居跡



15019



15020



15021

0 5cm

第205図 15号住居跡出土遺物 (4) ($S = 1/2$)

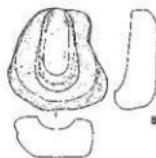
磨石類 (大)



80



81



82

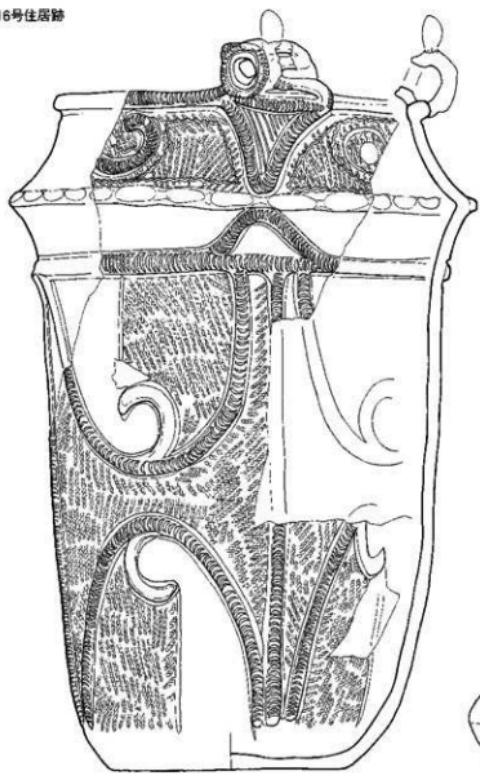


83

0 20cm

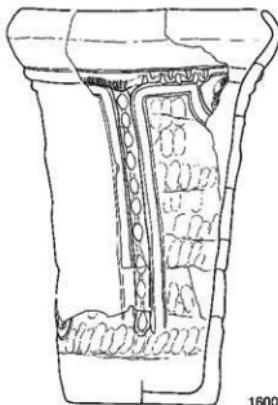
第206図 15号住居跡出土石器一覧 ($S = 1/16$)

16号住居跡



16001

口縁部1単位の大把手
山林部文様亞降帯、沈織により渦巻き文、
円文・体部文様降帯による縱位4単位区画
区間内対内U字状降帯
竪文單面R.L充填
残部も消し

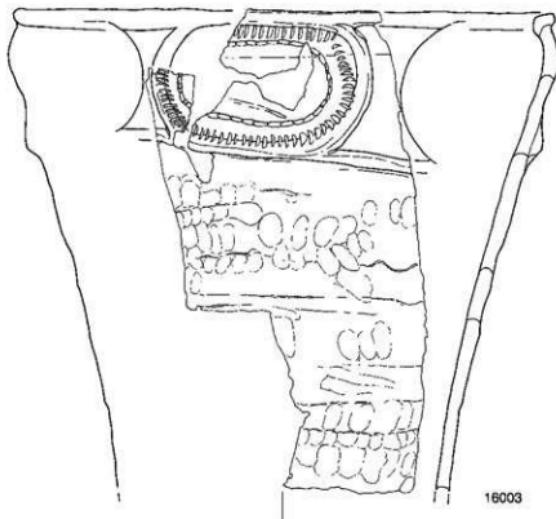


16002

平口鋸か
瘤部横位降帯上交叉刺突
以下瘤部縱位降帯區画
体部沿縁直線縫に残すが底部
付近は磨かれ光沢を帯びる

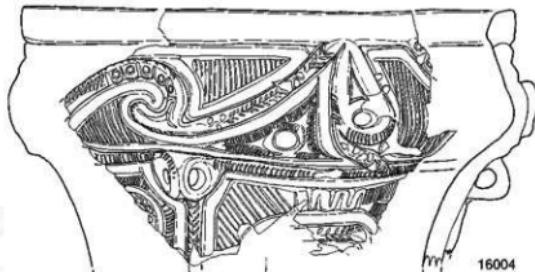
第207図 16号住居跡出土遺物 (1) (S=1/4)

0 10cm



16003

平口鉢か
口縁部格円横筋区画
区画内両爪形造筋刻み、ペン先状工具による押引き
体部指痕痕明顯に残す



16004

口縁部波状隆起による区画
背帶上口唇刺穴、幾何状刻み
区画内縦位条線、三叉文充填
体部ノエル文
区画内斜位条線、交互押引き

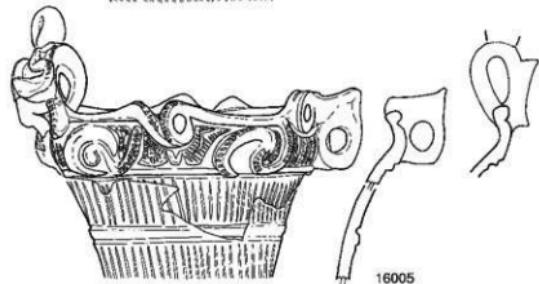
0 10cm

第208図 16号住居跡出土遺物（2）（S=1/4）

16号住居跡

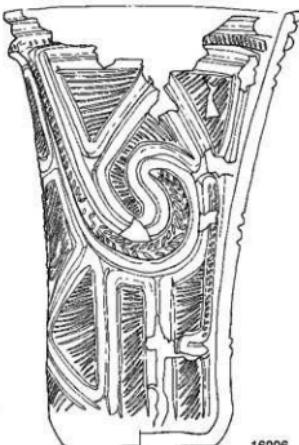


口縁部1単位の大把手
口縁部隆脊による複円区画、山形区画
体部側面壁面
体部地文壓印角線



16005

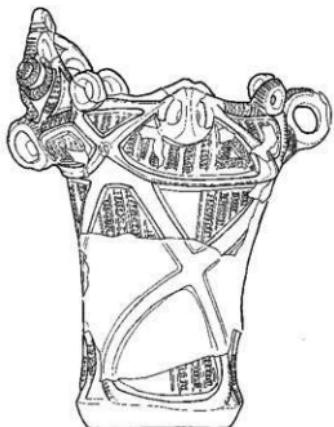
平口縁か
側面幾何状態面
体部パネル文
区画内比似光沢
座面土連続削み、被杉状局み



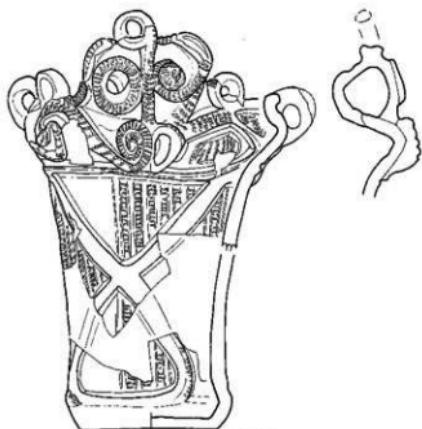
16006

第209図 16号住居跡出土遺物 (3) (S = 1/4)

0 10cm



口縁部 1 単位の大把手と 3 個の把手で 4 単位に区画
この区画の中間に小環状の穴を付す
大把手内面はミミズク状を呈し、外側は蛇体モチーフが横間
4 単位区画から延びる陰帯により重三角文を構成
区画内装内深脚突等で充填
体部斜格子状座帶

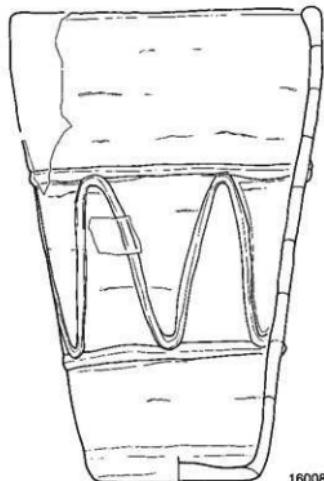


16007

0 10cm

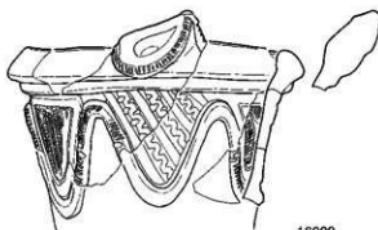
第210図 16号住居跡出土遺物 (4) (S=1/4)

16号住居跡



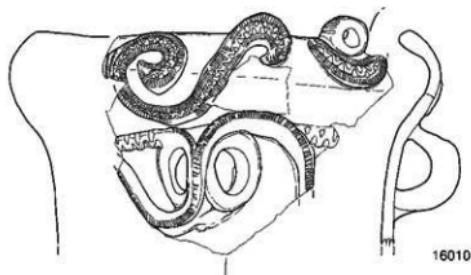
16008

口縁部から直線的に立ち上がり、口縁部で若干内窪する
胴部横位幾何区画により中帶文
山形降唇筋付け



16009

口縁部上単位の把手
頸部斜状隆帯
舟跡山形降帯



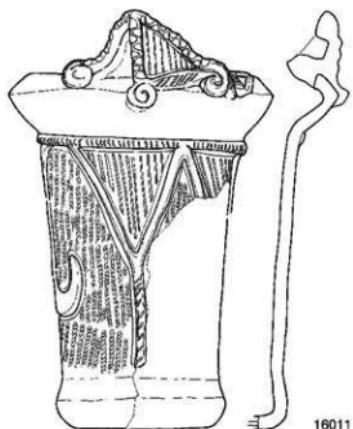
16010

口縁部確定1単位の大把手
把手部欠損
頸部確定4単位のミニズク把手
把手側を隆起で結ぶものと確定
隆帯上連続刻み、交叉刺突

0 10cm

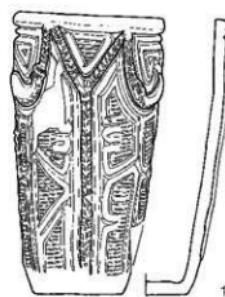
第211図 16号住居跡出土遺物 (5) (S = 1/4)

16号住居跡



16011

口縁部 1 単位の大把手
体高山形洋帯とそれから垂下する隆帯により区画
山形区画内流線で充填
地文单葉 R し底付施文



16012



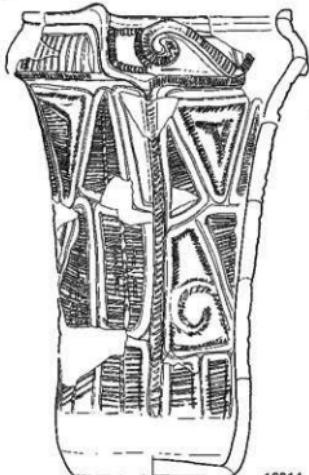
16013

口縁部 1 単位の大把手
頂部鈎状隆帯
体部バネル文
隆帯上横桿状割み、交叉刺突
隆帯基キャビラ文、ジグザグ文
無文部一部折頭丘痕残す

0 10cm

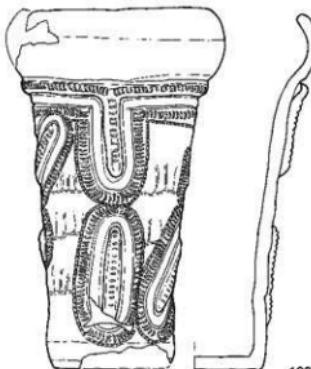
第212図 16号住居跡出土遺物 (6) (S = 1/4)

16号住居跡



16014

口縁部4単位の小瓶状
口縁部文様帯酒文から延びる山形
隆帯(「又」文充填)、縦位沈原充填
体部パネル文
斜帯上連続折み
区面内接位沈原
三角押し文



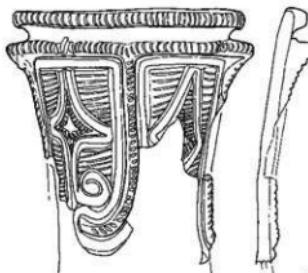
16015

平口縁
頭部横位隆帯から延びる数位桟円文2単位と
その間に斜位の桟円文を2個1単位2単位配す
桟円文間は指浜底を残す



16016

平口縁
底部から直線的に立ち上がり瓶部上半で膨らみ
口縁部は斜め上方に立ち上がる
口縁部文様帯は4単位の「ノ」の字状突起を配し
その間を沈原文、角押し文で充填
瓶部上半はS字状隆帯を組み合せ幅曲文を構成
瓶部下半はパネル文

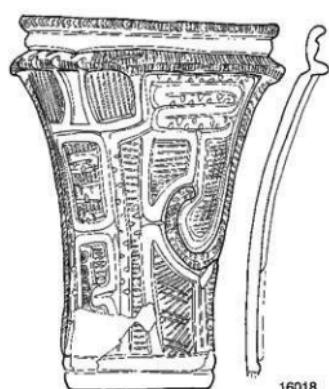


16017

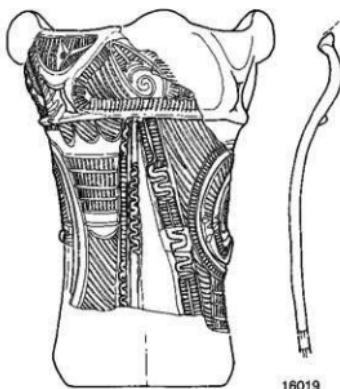
平口縁
頭部横位隆帯
体部パネル文
区面内菱形文十字文施文接位沈原充填

0 10cm

第213図 16号住居跡出土遺物（7）（S=1/4）



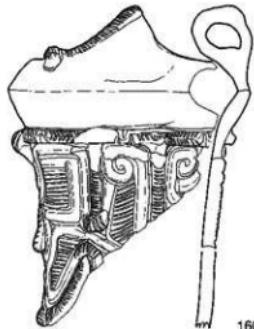
16018



16019

平口盤
頭部圓状隆帶
体部バネル文
隆帶上織杉状刻み

口縁部4単位の小波状
推定ミミズク状の小把手を頂点に重三角文を構成
区画内三角押し文、三叉文等光沢
体部隆帶による渦巻き文と直線文を交互に配す
隆帶上地継ぎ込み、交互刃欠



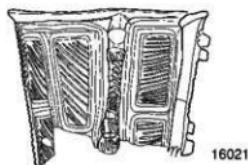
16020

口縁部1単位の山形突起
頭部圓状隆帶
隆帶上織杉状刻み、交叉刻突
体部バネル文
区画内横位光沢光沢

0 10cm

第214図 16号住居跡出土遺物 (8) ($S = 1/4$)

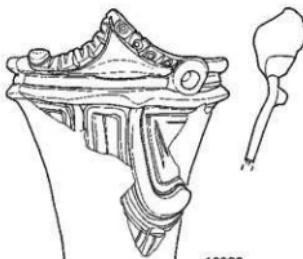
16号住居跡



16021

平口縁

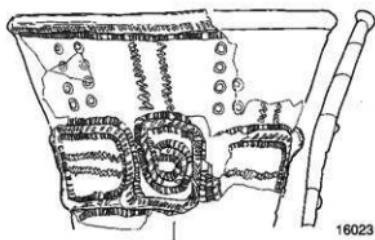
口縁部から4単位の微位墻面下
墻面上端上端付け、連続削み
体部文様バトル文
区画内横位、斜位沈線光沢



16022

口縁部1単位の川形突起

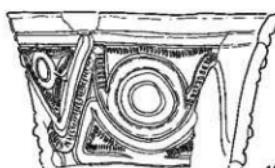
通部鋸状墻面
体部小破片のため盛み有りか



16023

平口縁

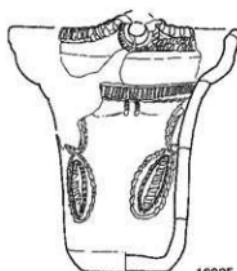
頸部墻面による方形区画
口縁直下、頸部隆脊脇角押し文
墻面上連続削み
口縁部裏位直列円文、ジグザグ文



16024

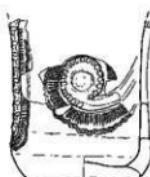
平口縁

口縁直下山形墻面とこれから延びる円文配置
墻面上連続削み
山形墻面区画内円文、三叉文充填



16025

瓶位墻面と渦巻き状の墻面を交互に配し
4単位に区画墻面品キャビラ文、押
引きによるジグザグ文
無文部に輪積み痕残す



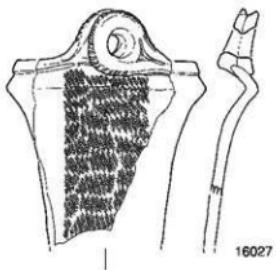
16026

継位墻面と渦巻き状の墻面を交互に配し
4単位に区画墻面品キャビラ文、押
引きによるジグザグ文
無文部に輪積み痕残す

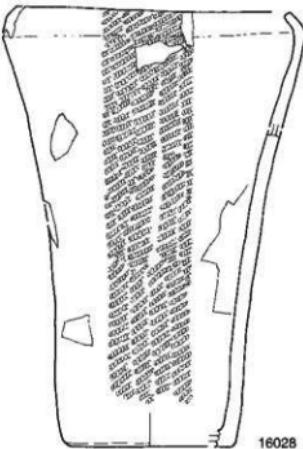
0 10cm

第215図 16号住居跡出土遺物（9）（S=1/4）

16号住居跡



口縁部1単位の大把手
把手は2本の粘土紐を接合して作成
仔鹿地文平筋R L横位施文



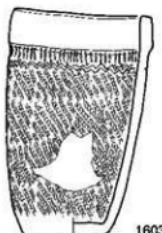
平口縁
草筋及び横位施文
内面丁寧に研磨



口縁1単位の把手
地文草筋R L



口縁部1単位の山形突起
口縁部底に横位脊骨
縦窓上縫移状割込み、交り割れ
地文草筋R L、L Rをランダムに施文

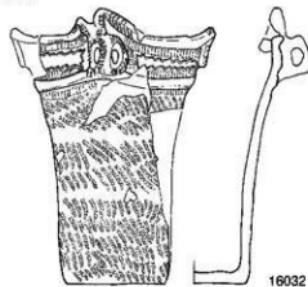


平口縁
底部にキャビラ文、ジグザグ文
地文草筋R L横位施文

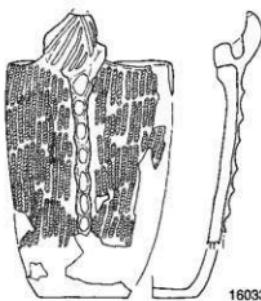
0 10cm

第216図 16号住居跡出土遺物 (10) (S = 1/4)

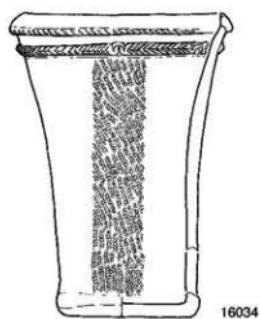
16号住居跡



口縁部4単位の突起
内1カ所を大きく突出させる
口縁部文様帶キャタピラ文、ジグザグ文
地文單節R L横位置文



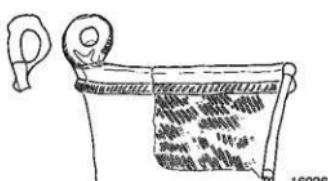
口縁部1単位の突起
突起から裏側に頭状隆起並下
地文單節R L



平口縁
口縁部下に陥落點付け
陥落部上被模状刻み、起点として4カ所に交叉刺突
地文單節R L斜位置文
器内側研磨痕著



平口縁
口縁部下に2条の沈線を施す
体部に十字状に沈線を引き、その端末に更に沈窓を付加
地文單節R L鉛文後一部擦り消し
底部敷物質



口縁部1単位の瘤状突起
II腰部下に龍首を連ねし刻みを施す
地文單節R L横位置文

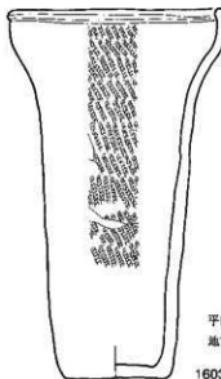


口縫部欠落
体部に沈線により人字窓記?挿出
地文單節R L斜位置文

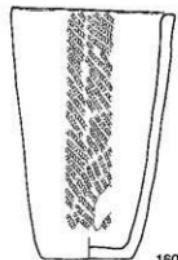
0 10cm

第217図 16号住居跡出土遺物 (11) (S=1/4)

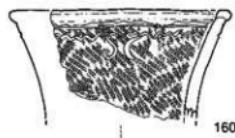
16号住居跡



平山縹
地文單路 R L 横位施文
16038



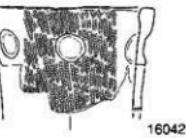
平山縹
地文単路 R L 横位施文
16039



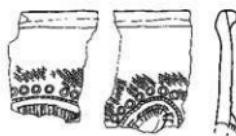
体部地文単路 R L 横位施文後沈緋施文
16040



半取状の絶土塊貼付け後單路 R L 施文
指揮でにより幅広の渦巻き文施文
16041

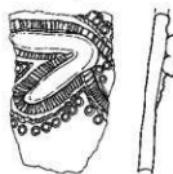


平口縹
削り取りによる円文
地文単路 R L 縱位施文
16042



16044

4 縱位の把手を想定
隆筋上に刻み
把手内面に小文起を行加し、刻みを付す

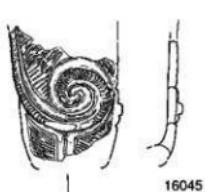


口縁部に單路 R L
障蓋によるモチーフ貼付け
底帯縦キャラビラ文、押引きによるジグザク文、竹管刺文
16043

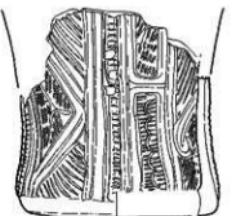
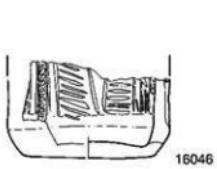
第218図 16号住居跡出土遺物 (12) (S = 1/4)

0 10cm

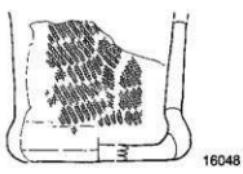
16号住居跡



体部パネル文
区画内近い単位の条線斜位施文



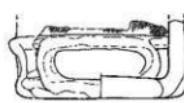
刷毛位以上欠損
体部パネル文
複位隕帶上連續網み、交互斜文
区画内斜位沈線、蓮華状斜交、單施純文、三叉文光塗



地文R L横位施文



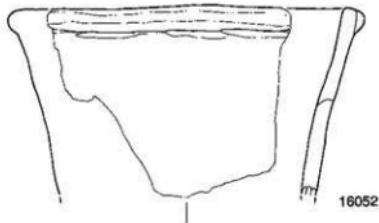
内面炭化物大横付带



底部附近横位格円区画
体部地文草節R L複位施文



底部付近横帶区画
体部パネル文

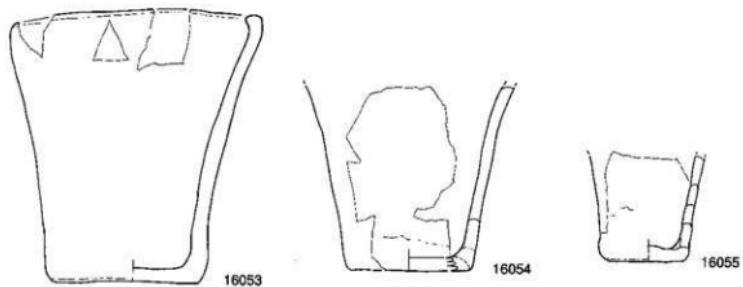


平口縁
内外面黒色塗彩
器皿研磨頭文

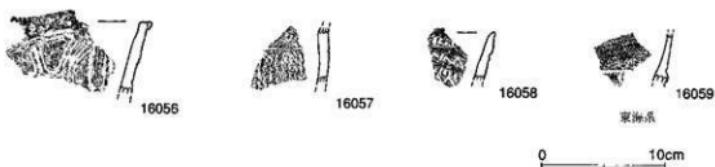
0 10cm

第219図 16号住居跡出土遺物 (13) (S = 1/4)

16号住居跡

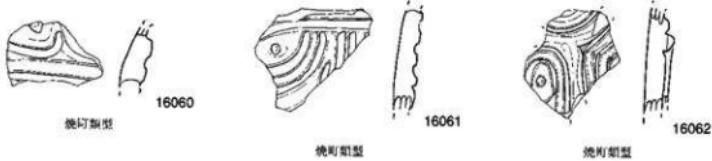


横文施文後磨り消し
無文



東海系

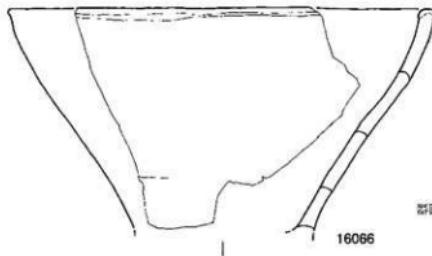
0 10cm



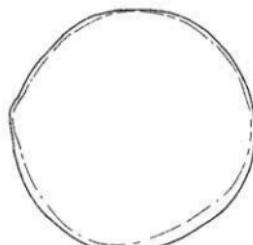
0 5cm

第220図 16号住居跡出土遺物 (14) (16053~16059 S=1/4 + 16060~16065 S=1/2)

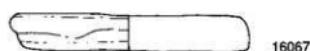
16号住居跡



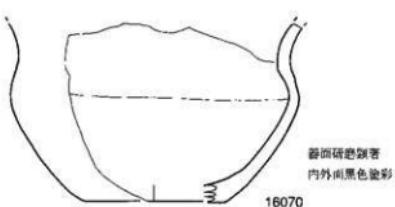
器面研磨頸部



波状に隆起筋付き
縦帯上刻み



内外面赤彩



器面研磨頸部
内外面黒色塗彩



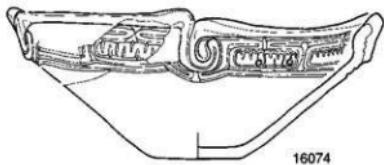
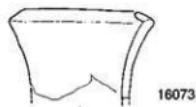
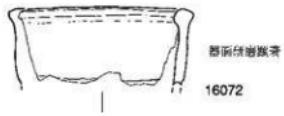
16071

体部波文单沿R L横置施文

0 10cm

第221図 16号住居跡出土遺物 (15) (S = 1/4)

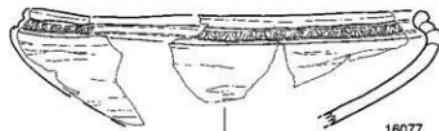
16号住居跡



口縁部4 単位の小波状
底面部から「ノ」の字状の隆起
文様帶内裏裏状刺突、円形刺突、
交互刺突等充満



口縁部4 単位の小尖起
口縁部文様帯山形、波状隆起
補修孔右り

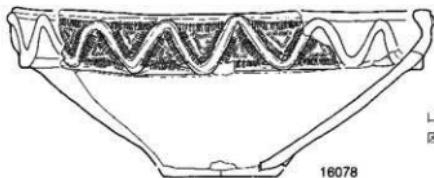


口縁部2条の沈線により側面化
交互刺突

0 10cm

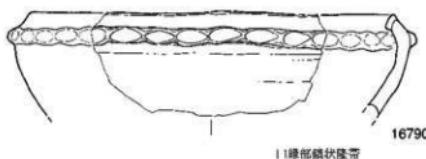
第222図 16号住居跡出土遺物 (16) (S = 1/4)

16号住居跡



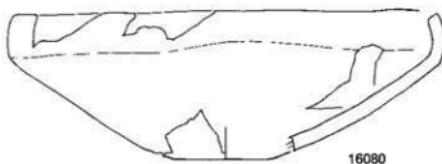
16078

口縁部文様帯山形陣帶
区画内キタピラ文

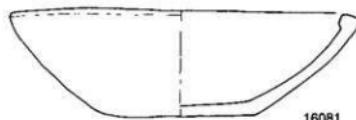


16790

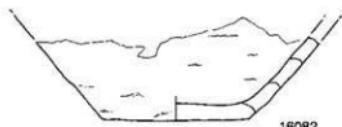
口縁部筋状隆帯



16080

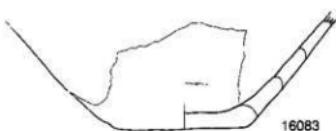


16081



16082

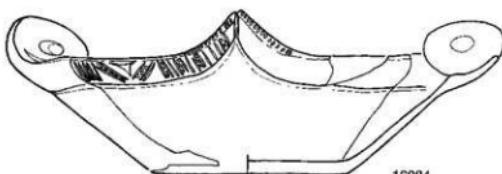
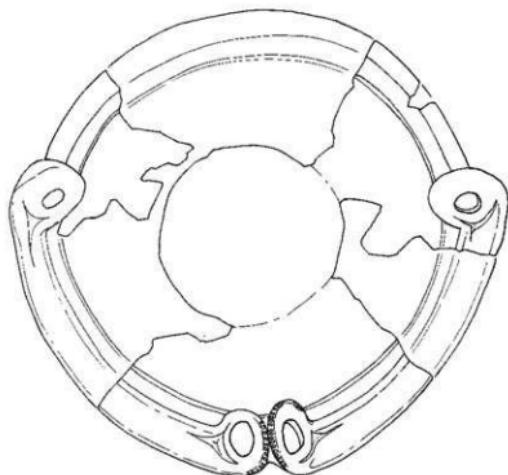
縦筋み痕残す



16083

第223図 16号住居跡出土遺物 (17) (S = 1/4)

0 10cm



16084

口唇部内面4単位の突起物付け（1単位欠落）

突起部に三叉文

口縁外間に沈線、交叉斜溝、三叉文

0 10cm



16085

口唇部ヘラ削み

地文單筋RL

挑成前穿孔2穴



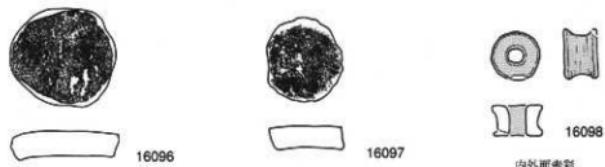
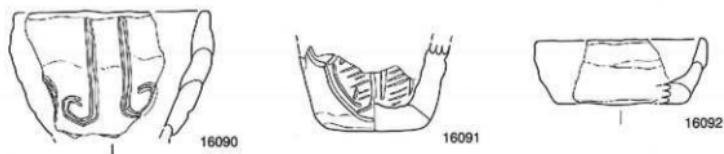
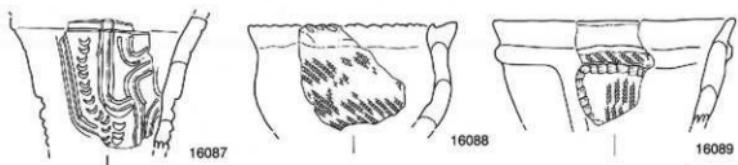
16086

円形、三角形透かし

0 5cm

第224図 16号住居跡出土遺物 (18) (16084 S = 1/4 + 16085・16086 S = 1/2)

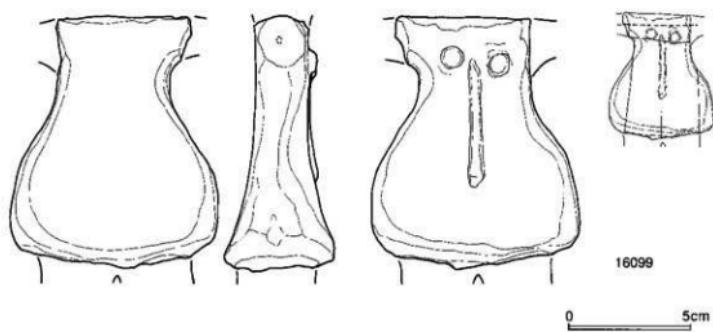
16号住居跡



0 5cm

第225図 16号住居跡出土遺物 (19) (S = 1/2)

16号住居跡

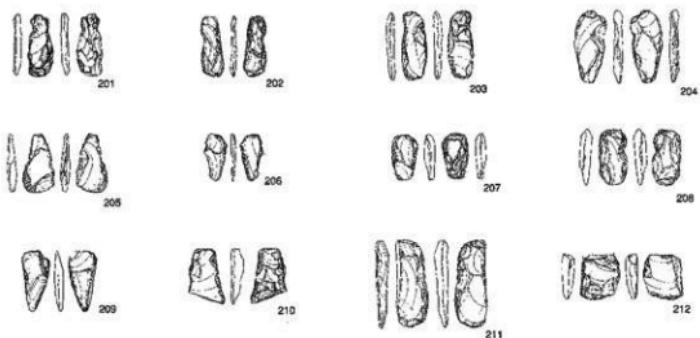


第226図 16号住居跡出土遺物 (20) ($S = 1/2$)

小形削片石器



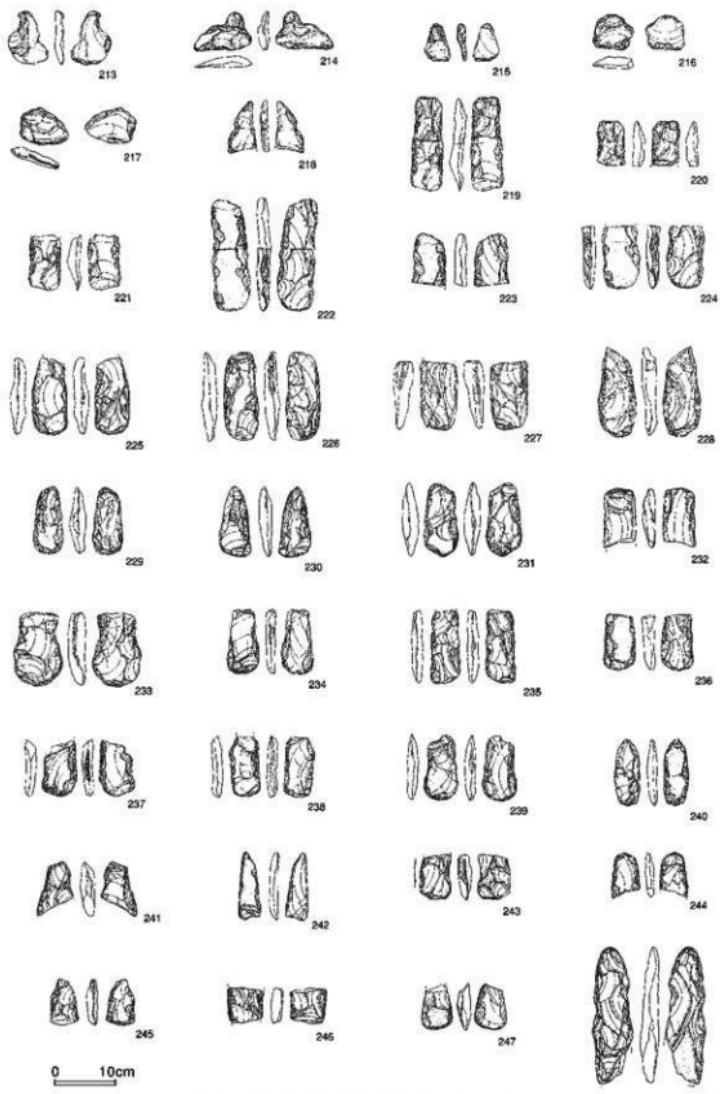
中形削片石器



第227図 16号住居跡出土石器一覽 (1) ($S = 1/4 + 1/8$)

16号住居跡

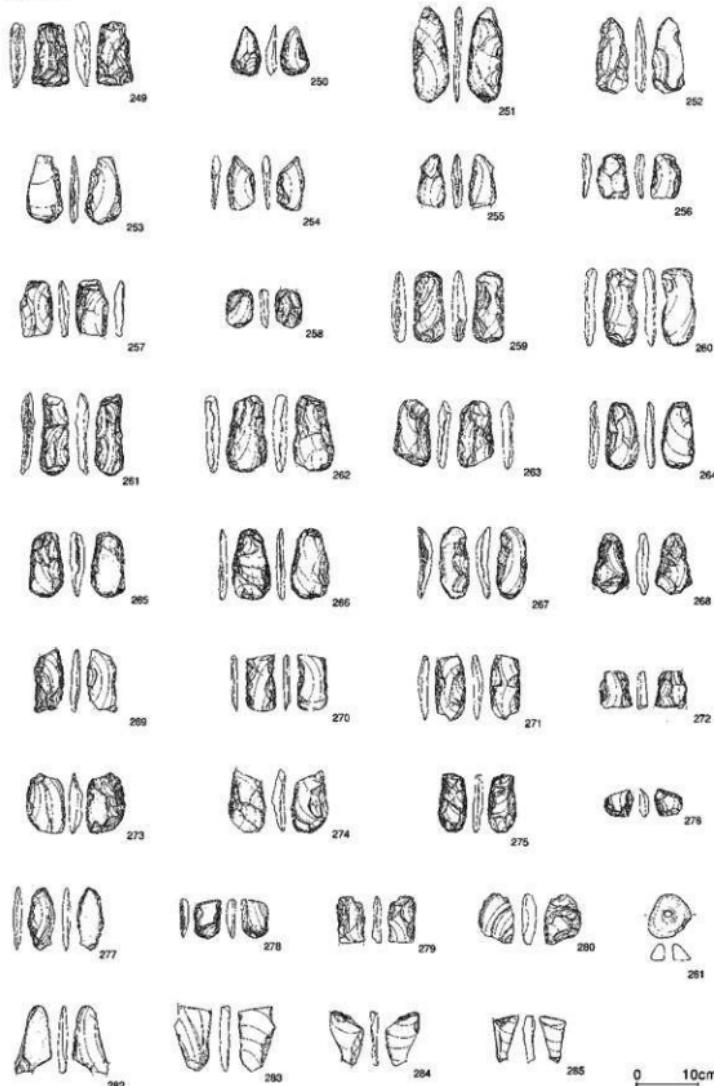
中形剥片石器



第228図 16号住居跡出土石器一覧（2）（S=1/8）

16号住居跡

中形刮片石器



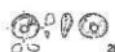
第229図 16号住居跡出土石器一覧 (3) (S=1/8)

16号住居跡

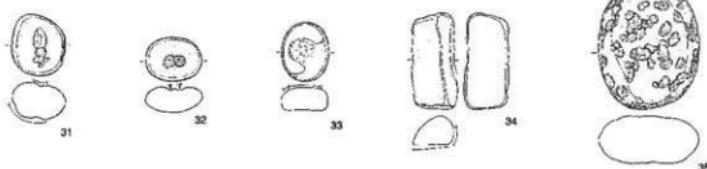
磨製石斧頭



大珠頭



磨石頭（小）



0 10cm

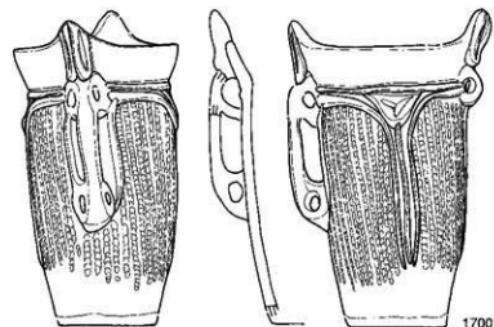
磨石頭（大）



0 20cm

第230圖 16号住居跡出土石器一覽（4）（S=1/8・1/16）

17号住居跡



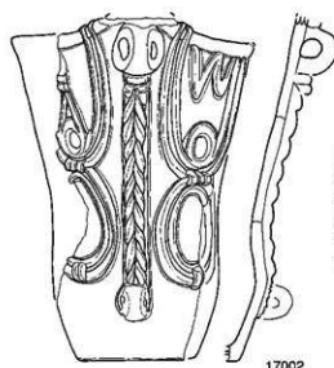
口縁部 2 単位の突起

一方はジョッキ状に把手を付加、他方は盤面を円形に貼付け

体部はこの間に三叉文を起点とし唇帯を垂下

地文ベン先状T具の連続押捺

17001



口縁部施一定 2 単位の突起

突起下ミニズク状把手を起点とし瓶状隆起貼付け

端末にもミニズク状突起貼付け

突起間に対向U字状（下方は円形を呈する）

モチーフ内円文、W字状文

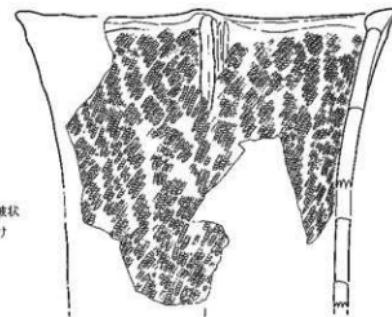
モチーフ4単位

17002



17003

地文単位を有する全縁施一定



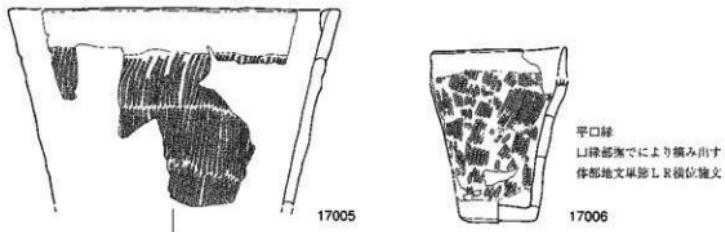
17004

口縁部施一定 4 単位の小波状
波浪下に縦位隆帶貼付け
地文単位 L R 施一定

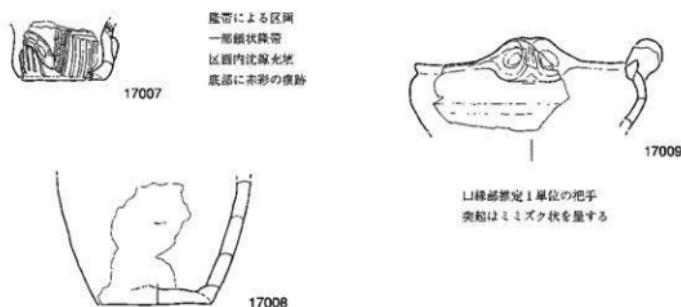
0 10cm

第231図 17号住居跡出土遺物 (1) (S=1/4)

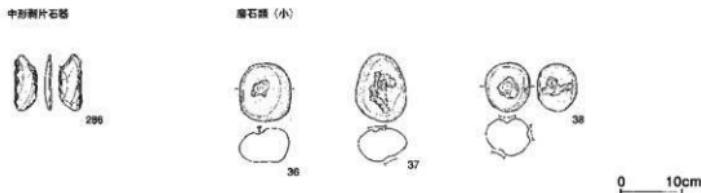
17号住居跡



体部地文捺り赤文瓦縦位施文



第232図 17号住居跡出土遺物（2）（S=1/4）



第233図 17号住居跡出土石器一覧（S=1/8）

18号住居跡



第234図 18号住居跡出土遺物 (S = 1/4)

中形削片石器



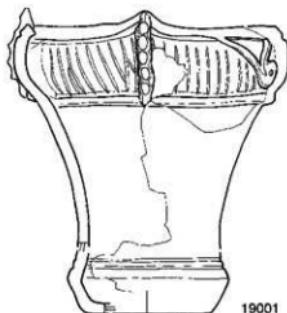
0 10cm

磨石類（大）



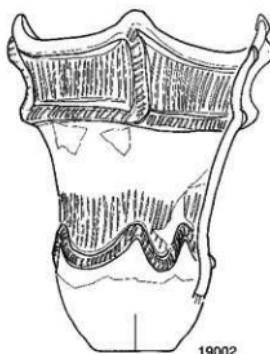
0 20cm

第235図 18号住居跡出土石器一覧 (S = 1/8 + 1/16)



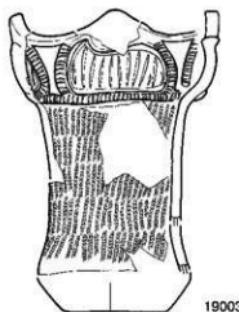
19001

口縁部4 小位の突起
突起部は横状降帶複位貼付け、
頭部横位縫帯と連絡し口縁部文様帶を構成
頭下部に沈縫2 朱捺文



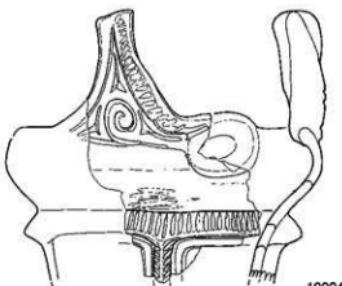
19002

口縁部4 小位の突起
突起下部から縫位縫帯貼付け、
頭部横位縫帯と連絡し口縁部文様帶を構成
頭下部に波状縫帶、その上部に条縫施文



19003

4 単位の突起
突起と頭部横位縫帶を結び土壇状の区画
区画内縫位縫
体部地文單節R L 橫位施文

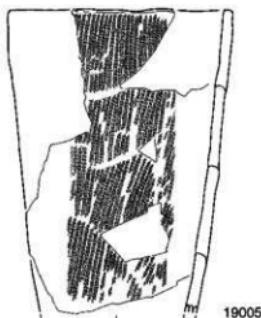


19004

1 単位の大把手
把手正面に玉抱き三叉文
頭部横位縫帶

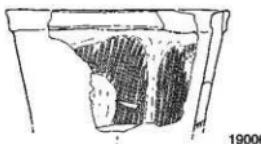
0 10cm

19号住居跡



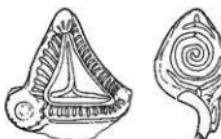
19005

地文捺り系文し縁付施文



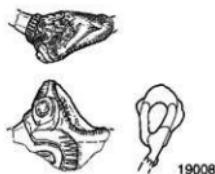
19006

底部地文捺り系文R縁付施文後指
塗でにより磨り消しモチーフ描出

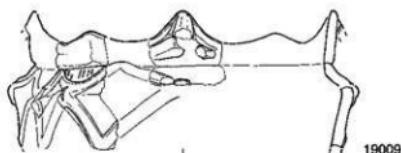


19007

1 単位の大把手
正面観は三角形の把手の縁に円文を配し、
縁付には渦巻き文を三交叉で描え込み

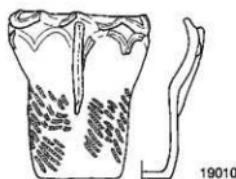


19008



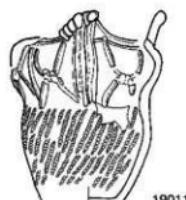
19009

4 単位の小突起
突起下ミミズク把手か
二次焼成窯跡



19010

口縁部に2条の波状腰帶をずらして
貼付け、菱形の凹凸述続
1カ所のみ底位縫合垂下
地文單施Rし縁付施文



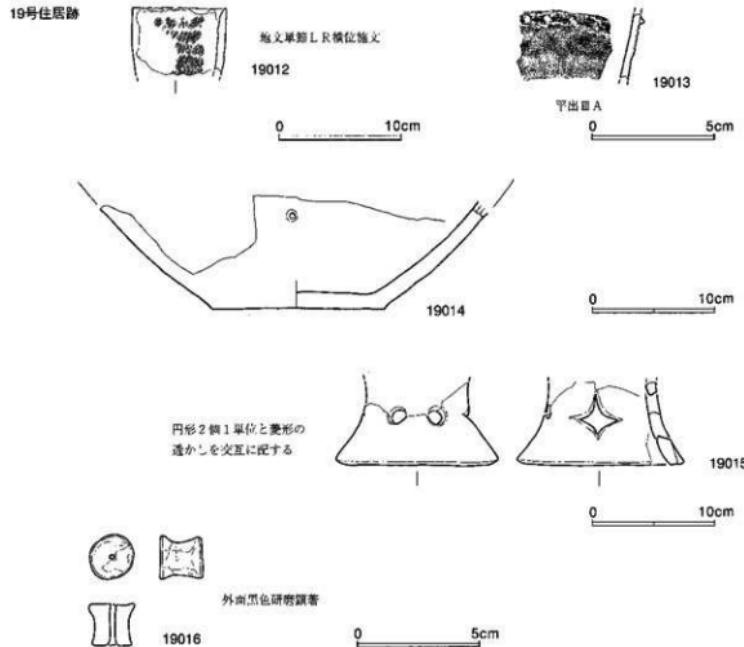
19011

口縁部1単位の突起
突起下から絞り腰帶頂下
口縁部文様帶対向U字状腰帶貼付け、
この間に縫合縫合貼付け

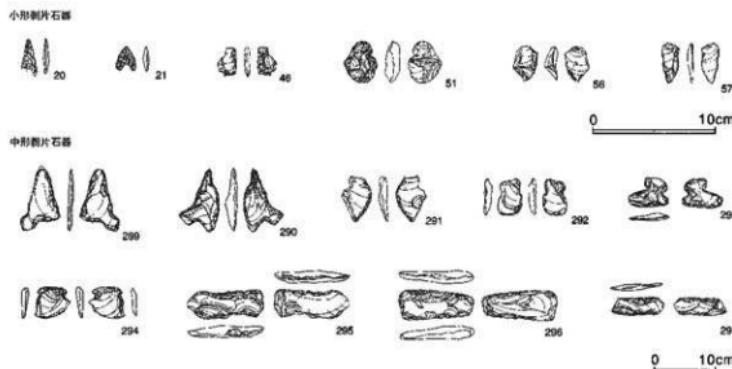
0

10cm

第237図 19号住居跡出土遺物 (2) (S = 1/4)



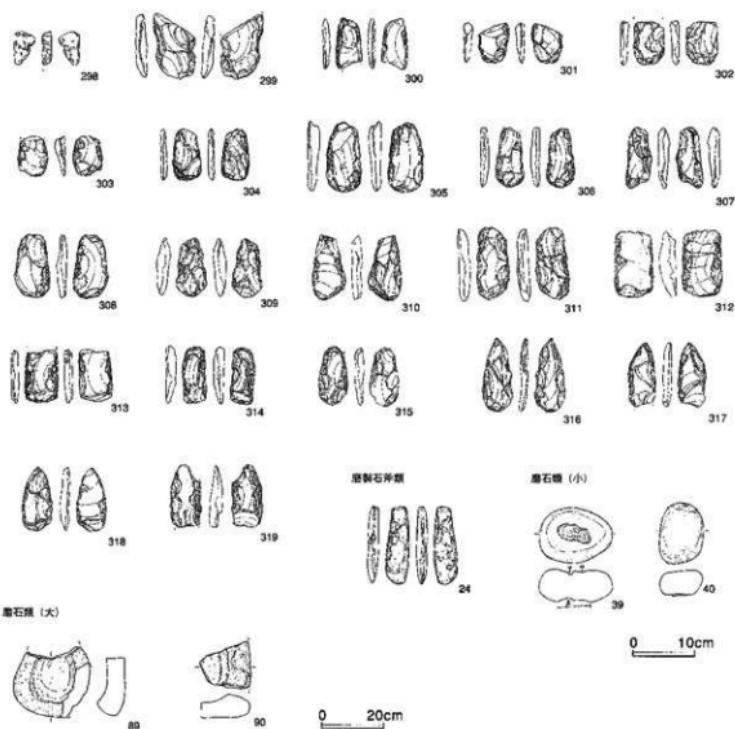
第238図 19号住居跡出土遺物（3）（19012・19014・19015 S=1/4・19013・19016 S=1/2）



第239図 19号住居跡出土石器一覧（1）（S=1/4）

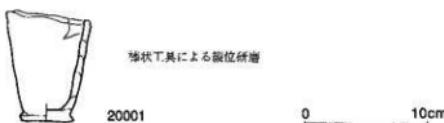
19号住居跡

中形剥片石器



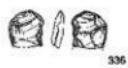
第240図 19号住居跡出土石器一覧（2）（S=1/8・1/16）

20号住居跡



第241図 20号住居跡出土遺物（S=1/4）

5号土坑
中形削片石器



336

39号土坑
磨石鏡(小)



41

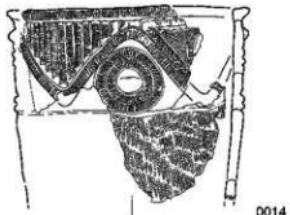
51号土坑
中形削片石器



338

0 10cm

52号土坑



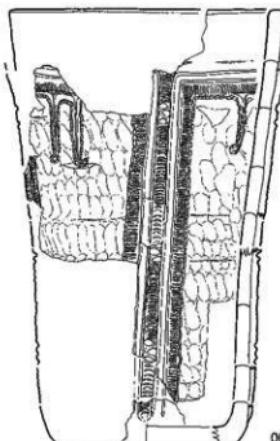
0014

平口縁

口縁部文様断面隆帯
隆帯前面内縦位沈線、連続組み、三文文等光沢
隆帯下凹文
体部池文革路 R L 横位施文
グリッド出土遺物と接合

0 10cm

60号土坑



0015

58号土坑
中形削片石器



341

磨石鏡(小)



45

59号土坑
中形削片石器



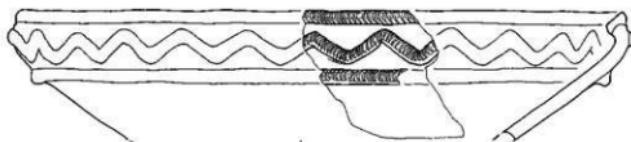
0 10cm

平口縁か

口縁部に4単位の突起有りか
体部1単位の縦位隆帯
隆帯上連続刻み、交互刺突
隆帯間を「コ」の字状にキャタピラ文、
三角押しによるジグザグ文
体部指標正確残す

0 10cm

65号土坑



0016

中形削片石器



339



340

0 10cm

第242図 5・39・51・52・58~60・65号土坑出土遺物 (S = 1/4 · 1/8)

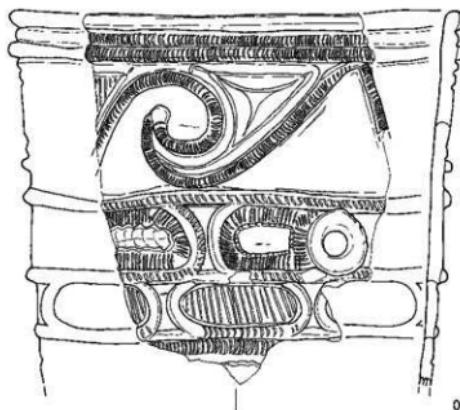
66号土坑



0017

口縁部三角区面
クロワッサン状の筋付けを意識し
小穴起から延びる墨帯にハラ刺み
区画内輪位沈線、三叉文光端

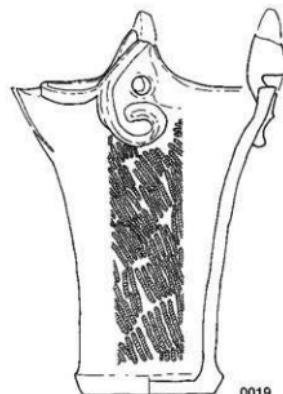
67号土坑



0018

平口縁
II輪型 2条の後伏墨帯
以下波状降帯、横位格円区直文 2段

68号土坑



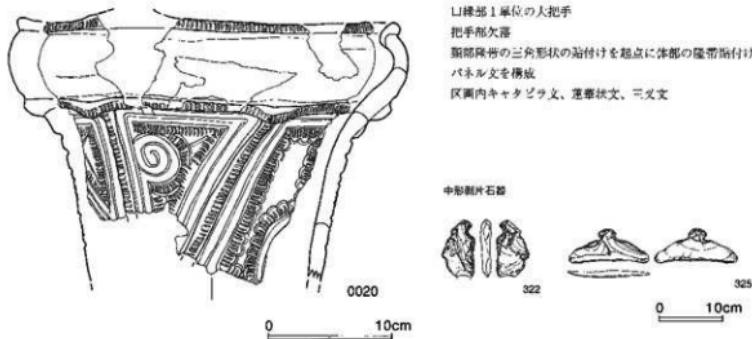
0019

口縁部 1単位の大把手
底部突出
外部地文平筋 R L 横位施文

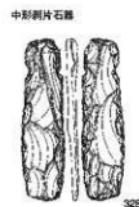
第243図 66~68号土坑出土遺物 (S = 1/4)

0 10cm

72号土坑



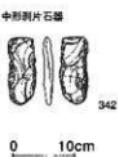
74号土坑



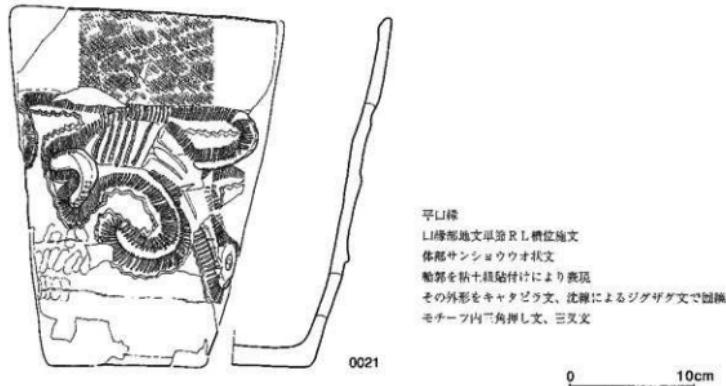
78号土坑



88号土坑



92号土坑



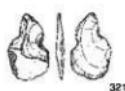
第244図 72・74・78・88・92号土坑出土遺物 (S = 1/4 · 1/8)

96号土坑



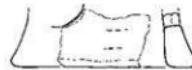
97号土坑

中形剥片石器



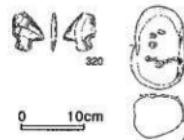
103号土坑

中形剥片石器



口縁部 1 単位の突起
突起下に菱形の印刷
突起下から能登が延びる
縦文半地 R.L.
器皿堅硬崩落

中形剥片石器



115号土坑

中形剥片石器

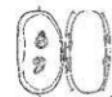


116号土坑

中形剥片石器

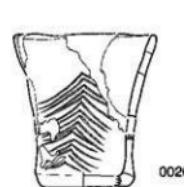
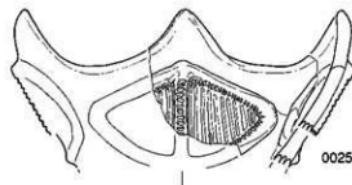


磨石頭 (小)



0 10cm

125号土坑



平口縁
底部に大きく1単位の瓶底欠羽根状沈線
二次焼成により基面荒れ頃者

0 10cm

127号土坑

中形剥片石器



磨石頭 (小)



0 10cm

第245図 96・97・103・115・116・125・127号土坑出土遺物 (S = 1/4 · 1/8)

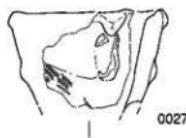
139号土坑

中形剥片石器

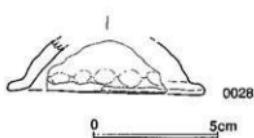


141号土坑

中形剥片石器

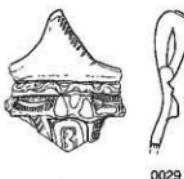


0027

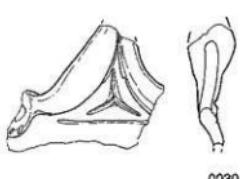


0028

147号土坑



0029



0030



47

1単位の大把手

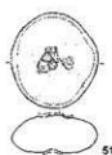
口縁部下端広の半隆帯を交互押捺により波状か
筋部凸状差巻

0 10cm

0 10cm

151号土坑

磨石頭（小）



51

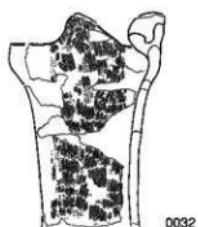
152号土坑



0031

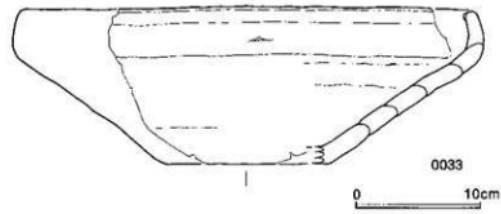
125号土坑

地文单範R L横位施文



0032

152号土坑

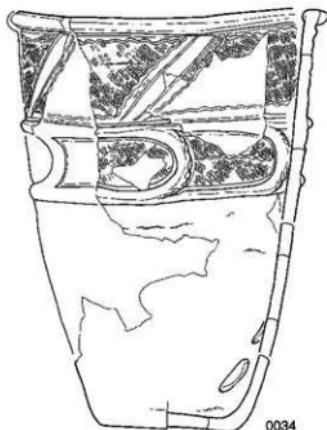


0033

口縁部1単位の突起
地文单範R L横位施文

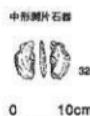
第246図 125・139・141・147・151・152号土坑出土遺物 (S = 1/2 · 1/4 · 1/8)

157号土坑



0034

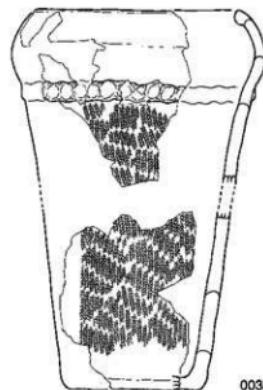
平山峰
口縁部文様茶糸立平行沈線により菱形区画
体部中位に「」状の区画
地文甲筋RL横位施文
4号化粧跡、グリッド出土遺物と接合関係



324

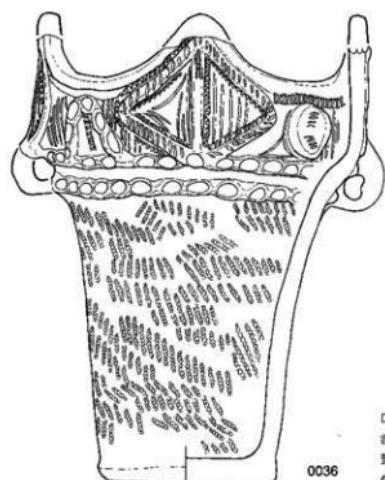
0 10cm

167号土坑



0035

頸部領状隕帶
体部地文平筋RLし斜位施文



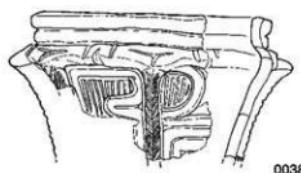
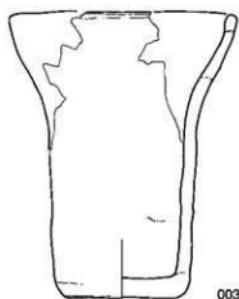
0036

口縁部4単位の波状
波艮部から巻帯により菱形区画
頸部に2本の領状隕帶貼付け
体部地文平筋RLし横位施文

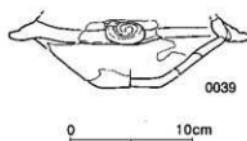
第247図 157・167号土坑出土遺物 (S=1/4・1/8)

0 10cm

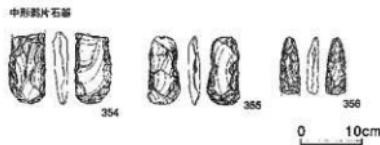
167号土坑



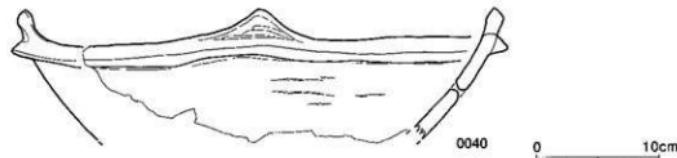
頸部羽状縫帶
体部バネ文
縦肋隆脊、上級杉状網目



0 10cm



165号土坑



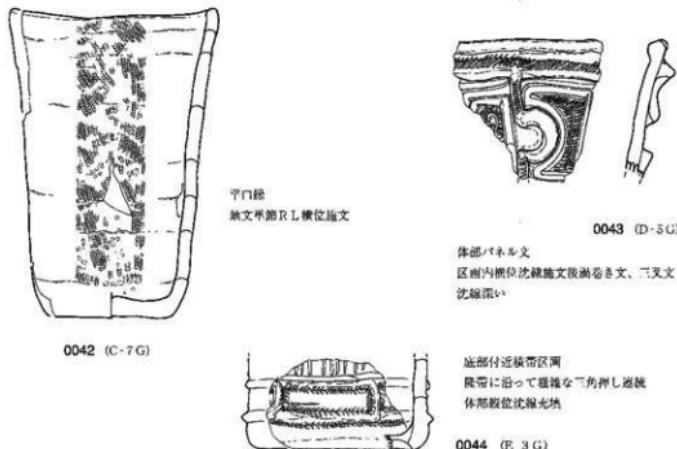
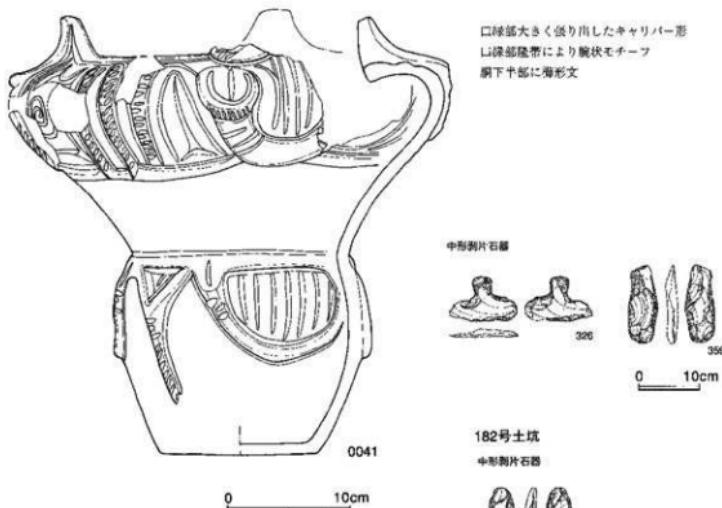
中形剥片石器



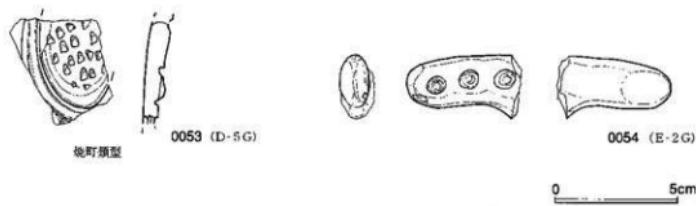
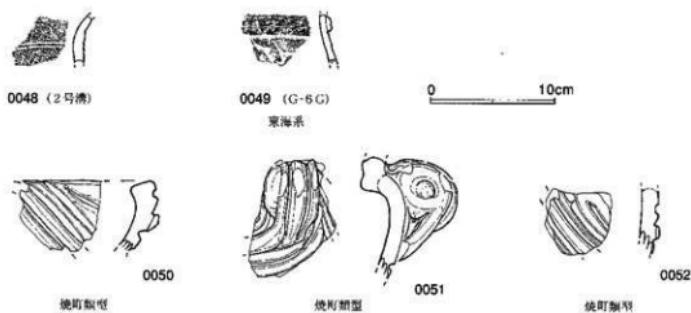
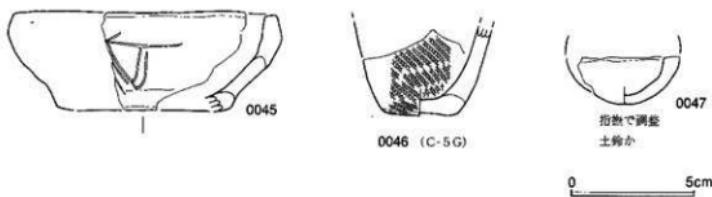
0 10cm

第248図 165・167号土坑出土遺物 (S = 1/4 · 1/8)

171号土坑

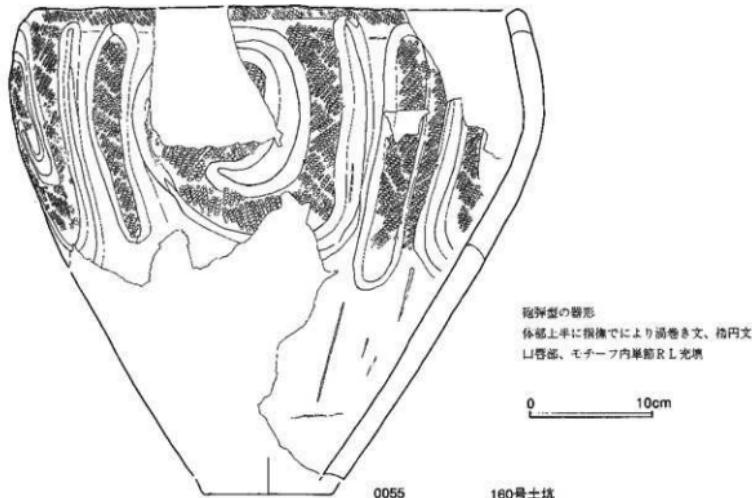


第249図 171・182号土坑・遭構外出土遺物 (S=1/4・1/6)



第250図 遺構外出土遺物 (0048・0049 S=1/4・0045~0047・0050~0054 S=1/2)

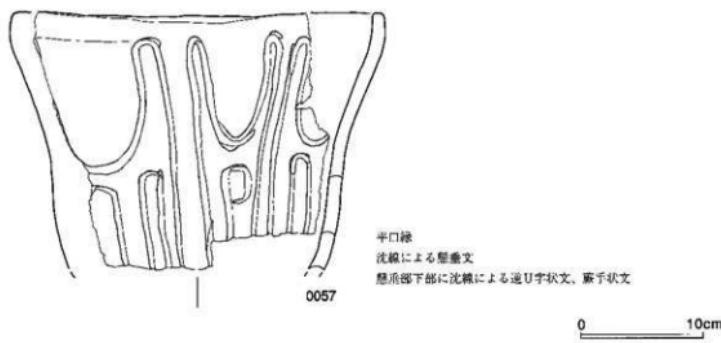
1号土坑



160号土坑

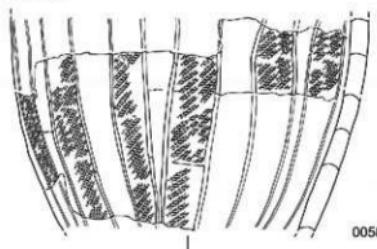


170号土坑

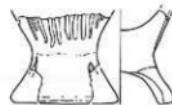


第251図 1・160・170号土坑出土遺物 (S = 1/4)

164号土坑

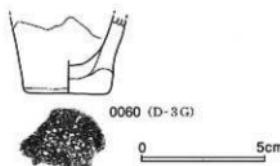


0058



体部縦位沈織文
脚台部三角形透かし
0059 (B-4G)

0 10cm



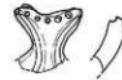
0060 (D-3G)

0 5cm

160号土坑



161号土坑

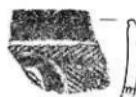


0062

0061



0063 (D-9G)



0064 (F-3G)



0065 (2号溝)



0066 (E-2G)

脚台に透かし4単位か
底部織文縦位沈織文

149号土坑



0067

140号土坑



0068



0069 (C-4G)



0070 (C-3G)



0071 (D-7G)

140号土坑



0072 (1号溝)



0073



0074 (C-4G)



0075 (C-3G)



0076 (D-7G)

164号土坑



0078

160号土坑



0079

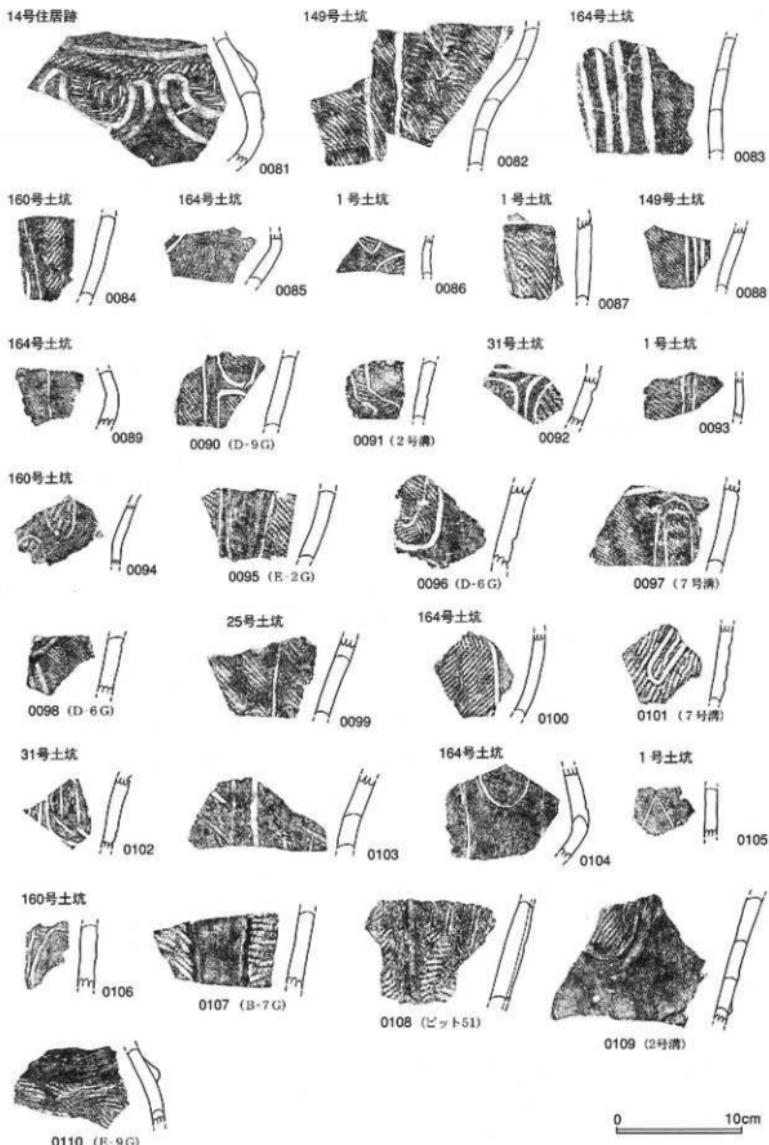
161号土坑



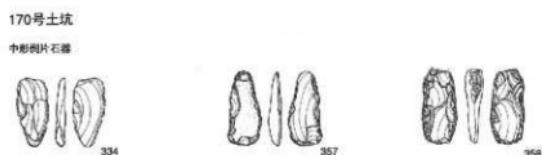
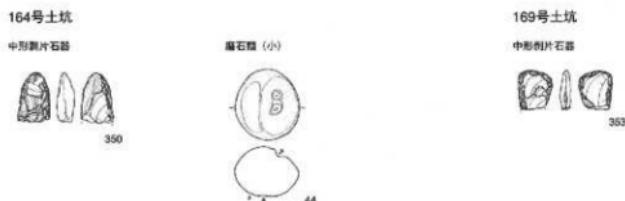
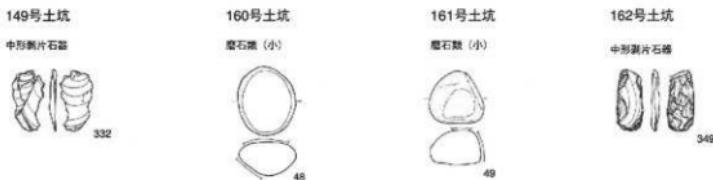
0080

0 10cm

第252図 140・149・160・161・164号土坑・遺構外出土遺物 (S=1/4・1/8)



第253図 遺構外出土遺物 (S = 1/4)



第254図 149・160・161・162・164・169・170号土坑出土石器一覧 (S = 1/8)

0 10cm



0 10cm

第255図 道構外出土遺物 (S = 1/4)



0112 (F-7 G)

鉢形縁・瀬戸美濃系か



0113 (6号溝)

鉄軸小鉢



0114 (1号住居跡)

瀬戸美濃系灰釉鉢



0115 (E-1 G)

在地系内耳

0 10cm

155号土坑

155号土坑



0116



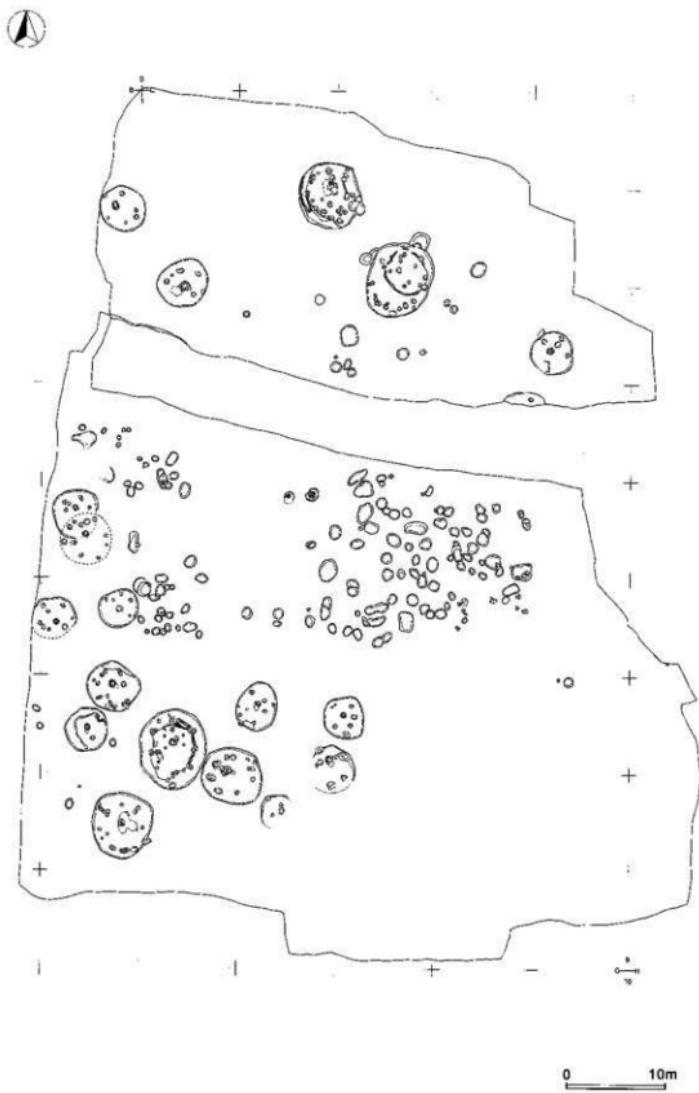
0117

0 5cm

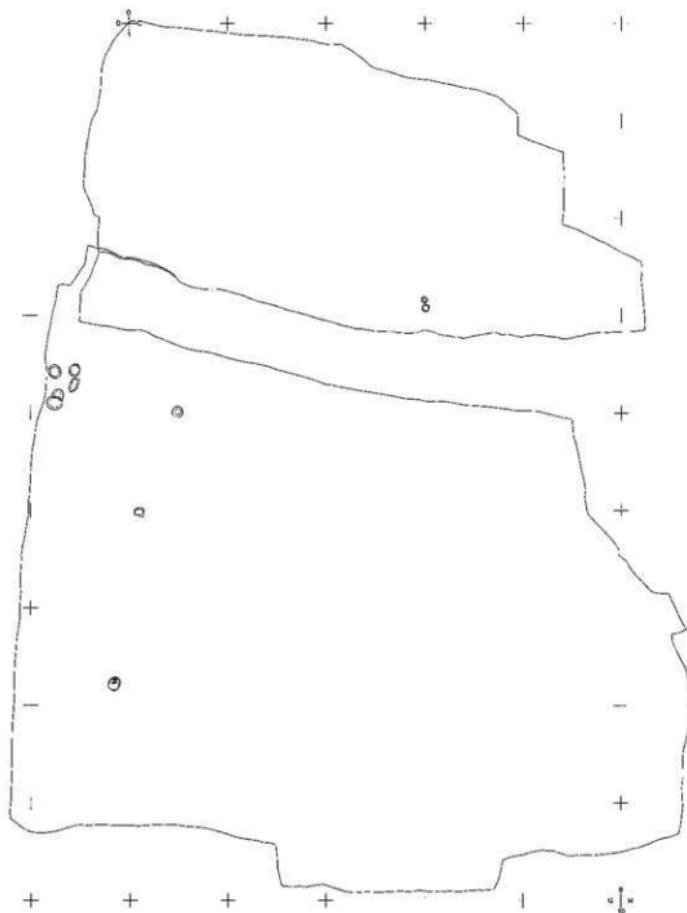
第256図 近世遺物 (0112~0115 S=1/4 · 0116·0117 S=3/4)

第1表 造構別石器組成表

検出位置	石鏃	石錐	石匙	不定形	R.I.	U.I.	磨石	石核	両核	楔	両翼	小形針	打斧類	磨斧	小形磨石類	大形磨石類	石棒	特殊	大形計	合計
SB1	2			3	1	4		3	1	1	4	19	13	3	11	7		34	53	
SB2	1					1		2	1	2		9	18		8	4	2	32	41	
SB3	4					2	2	6	1		1	4	3	23	34	1	4	3	42	65
SB4	1					1				1		3	27	2	2			31	54	
SB5											0	7				1		8	8	
SB6				1	1					1		3	7		7			14	17	
SB7		1		1	2					5		9	6	1	2			9	18	
SB8		1		1	1	1		2	1	6	1	14	11	2	5			18	32	
SB9	1			1	6	4		2	3		17	34	1	13	2	1	51	68		
SB10						1	1	1			3	8		4	2		14	17		
SB11											0	2		1	1	1		5	5	
SB12	1	1		3	4	4		1	1	1	1	17	9		1			10	27	
SB13	1					2		1		3	7	8	3		6	1		18	25	
SB14	3			1	3			2		3	12	13	3	1				17	29	
SB15											0				4			4	4	
SB16	5	1		4	3	10		2	3	16	7	51	84	7	5	4	2	102	153	
SB17										1	2	3	1		3			4	7	
SB18											0	2				4		3	3	
SB19	2				2	3	1	2		5	15	30	1	2	2		35	50		
1土壤											0	2		12				14	14	
5土壤											0	1						1	1	
7土壤										1	1							0	1	
20土壤											0	1						1	1	
22土壤											0	1						1	1	
39土壤											0	1		1				2	2	
51土壤											0	1						1	1	
58土壤											0	1		1				2	2	
59土壤											0	1						1	1	
65土壤											0	2						2	2	
72土壤											0	2						2	2	
78土壤											0	1		1				2	2	
88土壤											0	1						1	1	
96土壤											0	2						2	2	
97土壤											0	1						1	1	
103土壤									3	1	4	2		1			3	7		
115土壤											0	1						1	1	
116土壤											0	1		1				2	2	
125土壤											0	1						1	1	
127土壤											0	1		1				2	2	
139土壤											0	1						1	1	
145土壤											0	1						1	1	
147土壤										1	1	1		1				2	3	
149土壤											0	1						1	1	
157土壤											0	1						1	1	
161土壤											0	1		2				3	3	
162土壤								1			1	1						1	2	
164土壤											0	1		1				2	2	
165土壤											0	3		1				4	4	
167土壤											0	3						3	3	
169土壤											0	1						1	1	
170土壤											0	2						2	2	
171土壤											0	2						2	2	
182土壤											0	1						1	1	
合計	21	4	0	21	24	37	3	21	10	42	29	212	358	24	98	32	1	5	518	730

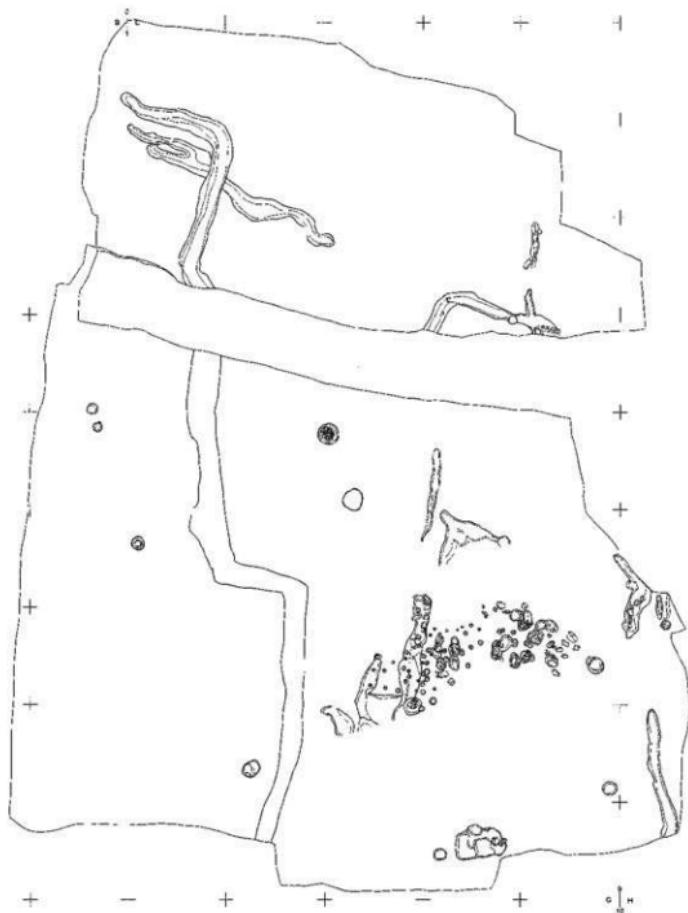


第257図 遺構分布図 中期中葉 ($S = 1/500$)



0 10m

第258図 遺構分布図 中期後葉 ($S = 1/500$)



0 10m

第259図 遺構分布図 近世以降 ($S = 1/500$)

3 調査の成果と課題

調査の概要でも述べたとおり、本遺跡では绳文時代中期中葉の馬蹄形集落がほぼ完全な形で調査されている。今までこの地域では多くの中期中葉の遺跡が調査されてきたが、集落のほぼ全体が分かるような調査、あるいは集落の経営期間が比較的短く集落の構造がモデル的に把握できる例はほとんどなかった。このような状況から今後この調査の成果が各種の分析に用いられるものと期待しているが、ここでは作業を通して気が付いた幾つかの点を指摘しておきたい。

中期中葉集落の群別と廃棄行動

この集落では調査区西側が農道により既破壊・調査不能であったり、あるいは調査区中央やや北寄りに田畠により掘削・破壊されている部分がある。また、この調査地点の北側についても山林のため状況が不明ではあるもののC・D-1区の様子を見ると遺物の分布が途切れること、岩盤が深い位置から見られることから居住に適した地点とは考えられない。以上からは本来の遺構の分布はまだ若干の広がりを見せる可能性はあるものの、この調査の成果の見直しを要するものとは想定していない。

このような状況から住居跡の分布の途切れた部分にかなり意図的ではあるが大別の線を引くことが可能である。即ち北群として1、2、3、17、18、19、20号住居跡の7軒を、南群として4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15、16号住居跡の13軒を想定したい。中央の上坑群については明確な根拠を示し得ないが概ね104号土坑と118号土坑の間と、90号土坑と92号土坑の間を結ぶ線により北群と南群に群別が可能であろうか。

この群別した両者を比較すると、住居跡の数で北群対南群が約1:2の比率となり、南群が優勢となる。また、細別時期毎に見ていくとⅠ期とした5、8、12号住居跡、Ⅱ期とした9、15、16、更にⅢ期とした4号住居跡も南群に位置している。但し、土坑については北群にもこれらの時期のものが含まれる上、Ⅳ期以降と判断した1、2、3号住居跡からも他の時期の遺物に混じてこれらの時期の遺物が出土している。先に述べたとおり、時期複合の遺物の出土した場合、住居跡の帰属時期は主体となる時期、あるいは新しい段階のものと判断しているが、その住居そのものの経営期間の長短は不明と言わざるを得ない。ここで遺物の出土状況を確認しておくと、これらの住居跡の中では1号住居跡に拡張の痕跡が明らかであり、その経営期間は一定の幅を有することが明らかである。しかし、01002、01003、01005、01006等の出土状況を見ると覆土上層からの出土であることを注意しなくてはならない。同様に2号住居跡についても02001、02003等が住居床面直上からの出土であるものの、その他の時期の土器も同様にほとんどのものが床面直上の出土であること、3号住居跡については03015がやや浮いた状況で、03022は他のものと一括で吹上パターンで出土している。このような状況からはこれらの遺物を積極的に1～3号住居跡に帰属させる理由は見出せない。以上からは斜面上位に位置する北群の住居跡に、斜面下部の住居に居住したⅣ期以降の人々がそれ以前の土器を拾い集めて廃棄行為をあえて行ったことになるが、このような行為をあえて行わなければならなかつた合理的な理由が考へられない。

具体的に遺構間の接合関係を見るとその事例は石器を含めて21例ある。しかし、ここで北群、南群とした範囲を超えて接合したのは16076の1点のみである。もちろん遺跡に残された遺物を全部採集できたとは考えられず、また、個体識別する能力の問題等からこの数字が確定的な数字でもないことは明らかであるが、

この事実から北群、南群を超える廃棄行為が皆無ではないものの、日常的に頻繁に行われたものとは考え難い状況である。この事象から南群に居住した人々の北群への廃棄行為は積極的に否認できない。以上からは自身の経験則からは否定的に捉えているものの、先の所見とは異なるが予想以上に集落が広がる可能性が否定できない一方、あるいは痕跡は残されていないものの、いわゆる堅穴住居跡ではない、痕跡のほとんど残らない簡便な居住形態が北群に存在し得たと考えるべきなのだろうか。後者の場合でも遺物の保有形態等大きな問題が派生することとなる。今後更なる分析作業が必要となろう。

住居跡の主軸・入口方向・炉の正面観

今回の調査では遺構の複合が少なく、住居の構造がおおよそ把握できるものがあり、それらについて簡単に触れてみたい。

入口方向については主観的な部分は否定できないが、主柱穴の巡る位置からみて、規模的にこれらと異なる入口施設と推定できる施設が検出された例として2、9、12、13、16、19号住居跡が、また、造出しのベッド状遺構の途切れから入口が推定できるものに1、15号住居跡がある。また、明確な痕跡ではないが柱穴間が広がることにより入口方向の推定できるものとして3、5、7、14、20号住居跡が挙げられよう。また、何ら施設は認められないものの主軸方向に入口が推定できるものとして4、8号住居跡を挙げる。これらと主軸方向（長軸）との整合性を見るとはば整合するものとして2、4、8、9、12、13、14号住居跡が挙げられる。これらには時期的な偏向性は認められず、この集落のはば全時期を通して普遍的に認められる形態と考えられる。併し、これらについても炉の正面観との整合性を見るとはば一致するものとして4、8、12、13、14の各住居跡が挙げられ、2、9号住居跡についてはズレが見られる。石圓いかの正面観は住居内部の空間構成を規制するものと考えられることから今後注意していただきたい。

また、入口施設として対ビットのみられた13、16、19号住居跡については入口施設として張出しを持つ可能性があるし、同様にベッド状の遺構を有する1、15号住居跡にも張出しを有する可能性を指摘しておきたい。

石棒・石柱

本遺跡で石棒の出土した住居跡として2、11号住居跡が、石柱の出土したものとして1、9、11、13、15号住居跡がある。この内11号住居跡の石棒については炉石への転用である。出現位置を見ると1号住居跡は造出しのベッド状遺構直上、2号住居跡の無頭の大型石棒は入口側の柱穴上、9号住居跡は奥壁寄り東側に偏在した床面直上から、11号住居跡は住居奥側柱穴の奥壁寄りに、13号住居跡では入口施設対ビットに掛かったものと住居中程の主柱穴に掛けたものが、15号住居跡では造出しのベッド状遺構の先端部というよりも柱穴に掛かって出土している。

これだけの出土例で一般的な傾向を導き出すことは不可能ではあるが、若干の例外を除いて柱穴の位置に近い状態で床直から出土している事が指摘される。本調査の住居跡の柱穴の半蔵開きでは柱材もしくは柱痕を残した状態で検出された例は無く、このことから主柱もしくは入口施設の柱に任せ掛け、あるいは折り付けられたものが、柱材抜き取り後そのまま放置された状態が想定できようか。その際、石棒と石柱には明確な機能分化は存在しないと考えられる。また、その居住空間に占める位置にはばらつきがあり、今後に課題を残す。

更に先の集落の群別によると北群に1、2号住居跡、南群に9、11、13、15号住居跡があり、やはりここ

でもその出現率は住居総数に比例し北群1対南群2となる。なお、細別時期毎の出現率等については再利用等の問題もあり有効な情報とは成り得ない。今後更なる事例の集積、その検討を踏まえた有効な分析手法の確立が必要となろう。

石圓い炉掘方の被熱範囲

本調査において検出された住居跡の石圓いがについて、その掘方まで被熱赤変の認められるものが幾つかあり注目される。1、3、9、13、14、15、16号住居跡がそれで、この内16号住居跡のみ炉床部の地山被熱赤変が顕著であるが、他については炉床部の被熱の痕跡は明らかではなかった。これらからは炉の使用形態についても改めて検討する必要があることと、がの掘方、石圓いがの炉石の下部まで被熱赤変していたことはいわゆる煮炊き等一次的使用に係わる以外の何らかの当時の人々の行為を想定する必要がある。

ここで着目しておきたいのが当地域の縄文時代中期後葉、曾利式期の炉の形態、石圓い炉の他に地床炉状の焼上跡が見られるもの⁽¹⁾である。これについては別校⁽²⁾でも検討しているが、当地域では曾利I式期から終末の曾利V式期まである程度の比率で普遍的に認められ、曾利式の古い段階ほど石圓い炉に近接して見られる傾向にある。この根形として明らかに石圓い炉掘方内部まで被熱赤変した今回調査事例のような形態を想定しておきたい。

その行為の内容については現況では明確にできないが炉を構築する段階、あるいはそれに先行する祭祀的な要素が指摘できようか。別校においても曾利式期の変遷を把握しつつ推論を述べたが、今後の類例の増加を待ちつつ検討を重ねていかねばならない。

(1) 山本の主張する石圓い複式炉である。但し、その概念規定、用語の使用については問題がある。

山本茂樹 1993 「1号住居跡のがについて」『日影川遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告第100集

(2) 伊藤公明 2002 「曾利式期の地床炉状焼上跡について—八ヶ岳南麓を中心として—」『日々の考古学』

東海大学考古学教室開設20周年記念論文集

釣手土器とその出土状況

今回の調査で14号住居跡より釣手土器14008が把手が欠損したのみではほぼ完存する状態で出土している。この土器については既に幾つかの文献⁽¹⁾により紹介されているので参考願いたいが、施文技術や手法からは藤内式の古い段階に製作されたものと考えられる。但し、他に出土した土器はこれよりも新しい段階、井戸尻式期のものと判断される。また、その出土状況については先の遺構観察所見に述べたとおり、14号住居跡は消失家屋の可能性があり、この釣手土器以外のものには二次焼成の痕跡が顕著であった（むしろこの釣手土器と二次焼成の顕著なものとの使用時の一括土器と認めた）。その際に先にも触れたとおり、日常の土器の保有形態という問題も派生するが、今後の資料の蓄積を待って論じたい。が、当該土器には使用によると考えられる器内面の二次焼成、炭化物の付着は顕著に認められるものの住居焼失に伴うと考えられる器外の二次焼成は顕著には認められない。ここでは当該土器がほぼ床面直上の出上で、流れ込みでは有り得ない状況であることからこの土器が何らかの理由により伝世したと考えたい。その際、二次焼成をほとんど受けなかった点については今後実験的手法等により検証が必要と考えられる。

なお、本例では把手は故意に打ち欠かれたものと考えられ、逆に釣手土器の把手のみを保有した例として10号住居跡出土の10007が考えられる。

また、土器の編年研究的な観点からは、今回調査の14008や長坂町酒呑場遺跡^②例、須玉町下平遺跡^③等北巨摩地域にはその成立段階の釣手土器が分布しており、今後この器種の生成過程を明らかにする上でその位置付けを十分検討する必要があろう。

更にこの器種の機能、用途を考察する上で使用の痕跡が明らかな14008の事例は重要な意味を持つものと考える。今報告には間に合わなかったものの現状でできる自然科学的分析、あるいは今後の非破壊調査、分析の進展により可能な分析を導入しつつその使用の実態に迫りたいと考える。

- (1) 新津 健 1999 「縄文中期釣手土器考」「山梨県史研究」7
県立市博物館 1999 「縄文土器のふしがな世界第二章—中部高地の釣手土器展—」
- (2) 山梨県埋蔵文化財センター 1997 「酒呑場遺跡」山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第135集
- (3) 新津氏のご教示による。文献は 山路恭之介 1998 「下平遺跡」「須玉町史 資料編 第一巻 考古・古代・中世」

焼町類型の土器

本遺跡では小破片ではあるが焼町類型の土器が出土している。本県で調査による当該土器の出土は須玉町の西川遺跡^①以来2例目となるものである。近年当該土器の変遷觀が示され^②、その変遷觀によれば03042は棒状工具による角押文が見られ、新巻類型のものとなる可能性も指摘される^③が、それ以外については小破片のこともあり明確な判断は困難ではあるものの概ね藤内式に共判する範囲のものと考えられる。

山梨県域では昭和50年代後半以降の中央自動車道整備やこの岐北地域で実施された面積整備事業に伴う大型開発、その後の各種開発事業に伴い実施された発掘調査により資料の蓄積が図られてきたにもかかわらず焼町類型の土器の出土例はこの2例以外には人泉村守所第2遺跡^④例、長坂町酒呑場遺跡^⑤例があるのみである。即ち現状では山梨県内での分布状況を見ると極めて限られた分布であり、しかも岐北地域に限り分布することになるが、同時期の大規模な集落の甲ヶ原遺跡^⑥や海道前C遺跡^⑦等には見られない。今後も注意して分布動向を把握する必要があろう。

また、外來系の土器として焼町類型のもの以外にいずれも小破片ではあるものの平出目A他東海系のものが認められた。

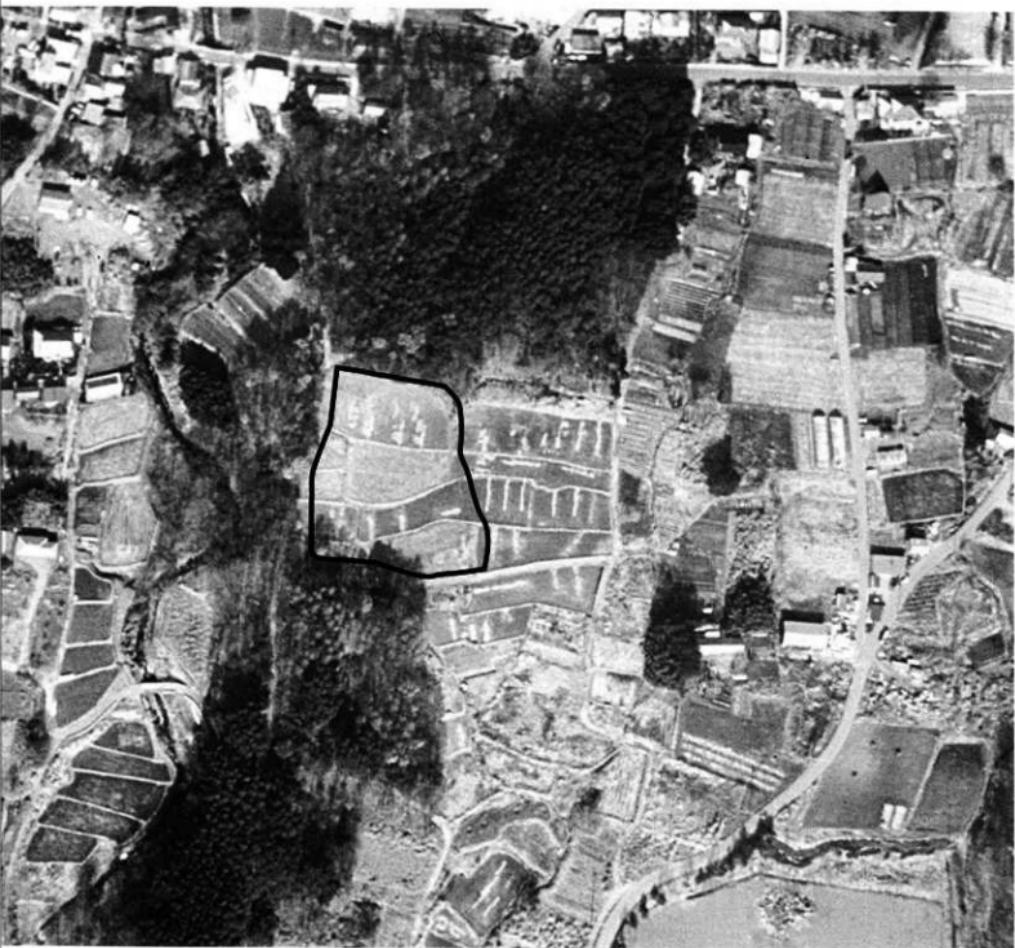
- (1) 調査報告書に実測図の提示なし。今福利忠氏のご教示による。
須玉町教育委員会 1988 「西川遺跡」
- (2) 寺内隆夫 1997 「川原田遺跡縄文時代中期中葉の土器群について」「川原田遺跡—長野県北佐久郡御代田町川原田遺跡発掘調査報告書—縄文編」
- (3) 長谷川裕次氏のご教示による。
- (4) 伊藤公明 2001 「守所第2遺跡T-37号住居跡出土の土器」「八ヶ岳考古—平成12年度年報—」
- (5) 山梨県教育委員会他 1997 「酒呑場遺跡(第1・2次)－農業試験場堀・改築工事に伴う発掘調査報告書－(速報編)」
山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第135集
- 猪股良彦 1996 「縄文の舞—第8回特別展上巻に描かれた人体形象文の世界—」別府市遺跡博物館
- (6) 山梨県教育委員会他 1994 「甲ヶ原遺跡Ⅰ」山梨県埋蔵文化財センター調査報告第96集
山梨県教育委員会他 1996 「甲ヶ原遺跡Ⅱ」山梨県埋蔵文化財センター調査報告第114集
山梨県教育委員会他 1997 「甲ヶ原遺跡Ⅲ」山梨県埋蔵文化財センター調査報告第144集
山梨県教育委員会他 1998 「甲ヶ原遺跡Ⅳ」山梨県埋蔵文化財センター調査報告第145集
- 大泉村教育委員会 1994 「甲ヶ原遺跡第6地点・第7地点」大泉村埋蔵文化財調査報告書10集
- (7) 山梨県教育委員会他 2000 「古井遺跡・大林遺跡・宮の前遺跡・海道前C遺跡・大林遺跡—国道141号(笠輪バイパス)建設に伴う発掘調査報告書—」山梨県埋蔵文化財センター調査報告第165集

参考文献

前掲以外の参考文献は以下のとおり。

- 大泉村教育委員会他 1985『東姫神遺跡B』大泉村埋蔵文化財調査報告 第3集
大泉村教育委員会他 1986『豆生田第3遺跡』大泉村埋蔵文化財調査報告 第4集
大泉村教育委員会他 1987『姫神遺跡』大泉村埋蔵文化財調査報告 第5集
大泉村教育委員会他 1988『方城第1遺跡』大泉村埋蔵文化財調査報告書 6集
大泉村教育委員会他 1989『人和田遺跡・大和田第2遺跡』大泉村埋蔵文化財調査報告書 7集
大泉村教育委員会他 1990『大和田第3遺跡』大泉村埋蔵文化財調査報告書 8集
大泉村教育委員会他 1991『宮地第2遺跡・宮地第3遺跡』大泉村埋蔵文化財調査報告書 9集
大泉村教育委員会 1999『古林第4遺跡I(石器編)』大泉村埋蔵文化財調査報告書 12集
高根町教育委員会他 1996『西の原遺跡・石堂遺跡』高根町埋蔵文化財調査報告書 第3集
高根町教育委員会他 1987『石堂B遺跡』高根町埋蔵文化財調査報告書 第5集
高根町教育委員会他 1997『社口遺跡第3次調査報告書』
高根町遺跡調査会 1996『大部構造跡』
長坂町教育委員会 1996『酒呑場遺跡G区』長坂町埋蔵文化財発掘調査報告書 第11集
山梨県教育委員会他 1974『山梨県中央地理埋蔵文化財包藏地発掘調査報告書—北巨摩郡小瀬沢町地内—』
山梨県教育委員会他 1975『山梨県中央地理埋蔵文化財包藏地発掘調査報告書—北巨摩郡長坂・野野・蘿崎地内—』
山梨県教育委員会他 1986『御坪遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告 第13集
山梨県教育委員会 1987『寺所遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告 第27集
山梨県教育委員会 1988『金生遺跡I(中世編)』山梨県埋蔵文化財センター調査報告 第39集
山梨県教育委員会 1989『金生遺跡II(縄文時代編)』山梨県埋蔵文化財センター調査報告 第41集
山梨県教育委員会他 1991『小坂遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告 第63集
山梨県教育委員会 1994『天神遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告 第97集
山梨県教育委員会 1998『水原遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告 第153集
山梨県教育委員会他 1997『酒呑場遺跡・第3次調査—(造構編・前編)』山梨県埋蔵文化財センター調査報告 第136集
山梨県教育委員会他 1998『酒呑場遺跡・第3次調査—(造構編・後編)』山梨県埋蔵文化財センター調査報告 第169集
山梨大学考古学研究会 1978『御所遺跡発掘調査報告』
八ヶ岳南麓遺跡学術調査団 1987『山梨県高根町野添遺跡発掘調査報告書』

写真図版



施工前航空写真



試掘調査風景



移設前石造物設置状況



近景





近景



近景



近景



1号住居跡
遺物出土状況



1号住居跡
01002、01005
01006、01013他
出土状況



1号住居跡
01018出土状況



1号住居跡
炉跡検出状況



1号住居跡
穴掘状況



2号住居跡
遺物出土状況



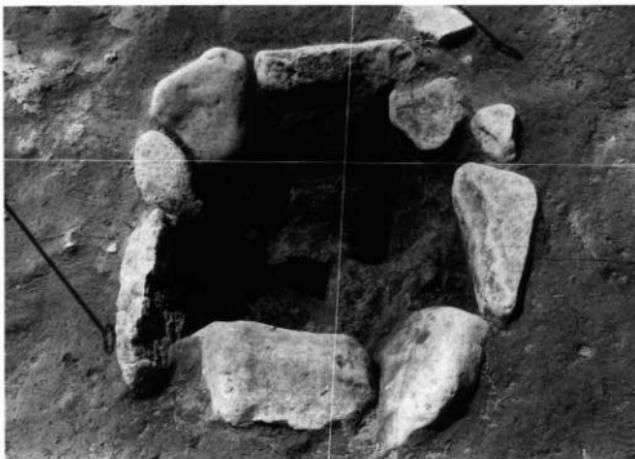
2号住居跡
遺物出土状況



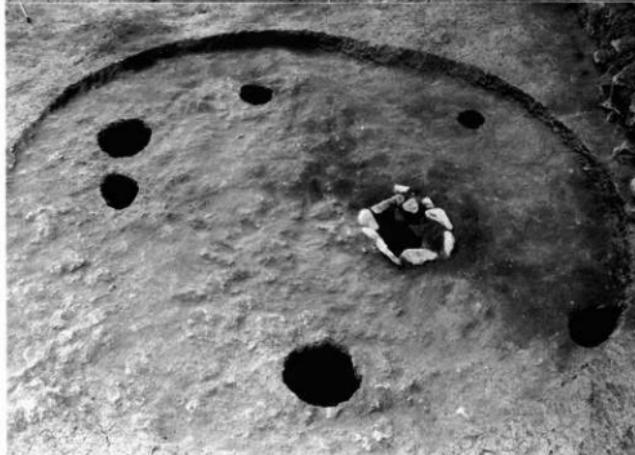
2号住居跡
02003他出土状況



2号住居跡
ヒスイ製玉類出土状況



2号住居跡
炉跡検出状況



2号住居跡
穴掘状況



3号住居跡
遺物出土状況



3号住居跡
03011.03016
出土状況



3号住居跡
03008.03021
出土状況



3号住居跡
03003出土状況



3号住居跡
03001, 03003他
出土状況



3号住居跡
03013出土状況



3号住居跡
炉跡棟出状況



3号住居跡
完掘状況



4号住居跡
遺物出土状況



4号住居跡
04012出土状況



4号住居跡
04003、04008
04009出土状況



4号住居跡
04001、04002
出土状況



4号住居跡
04007出土状況



4号住居跡
炉跡発掘状況



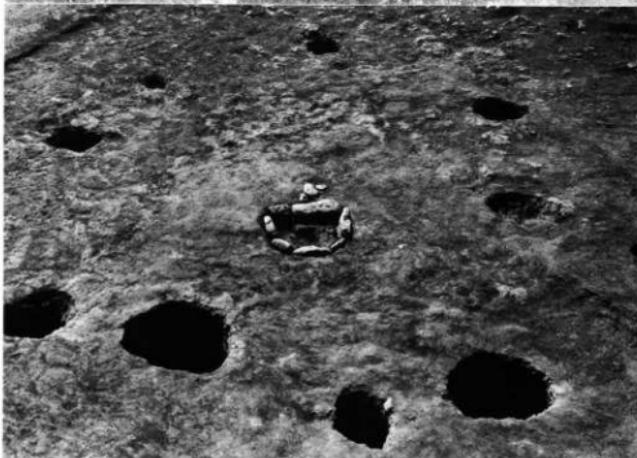
4号住居跡
発掘状況



4・5号住居跡
発掘状況



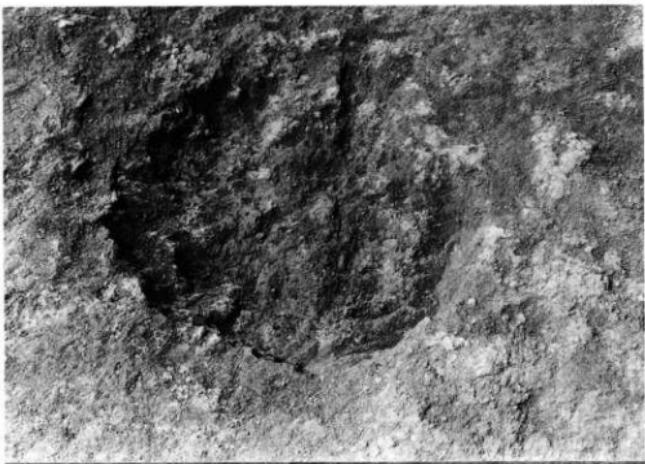
5号住居跡
炉跡検出状況



5号住居跡
完掘状況



6号住居跡
遺物出土状況



6号住居跡
炉跡完掘状況



6号住居跡
完掘状況



7号住居跡
遺物出土状況



7号住居跡
炉跡検出状況



7号住居跡
完掘状況



8号住居跡
遺物出土状況



8号住居跡
08002出土状況



8号住居跡
炉跡検出状況



8号住居跡
完掘状況



9号住居跡
遺物出土状況



9号住居跡
09004出土状況



9号住居跡
09001出土状況



9号住居跡
09014, 09019
出土状況



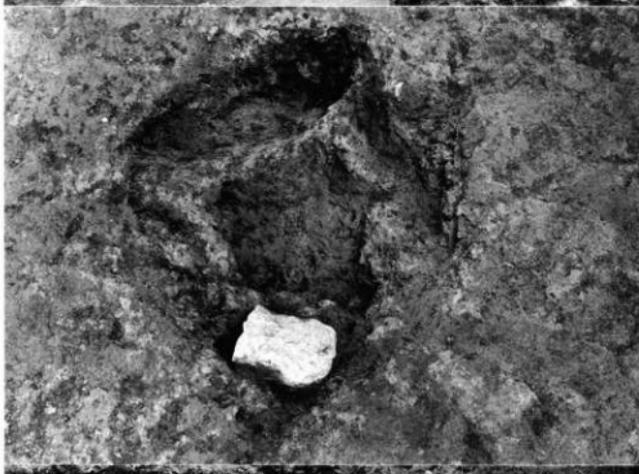
9号住居跡
09015出土状況



9号住居跡
09040出土状況



9号住居跡
遺物出土状況



9号住居跡
炉跡完掘状況



9号住居跡
完掘状況



10号住居跡
検出状況



11号住居跡
11001出土状況



11号住居跡
炉跡完掘状況



11号住居跡
完掘状況



12号住居跡
遺物出土状況



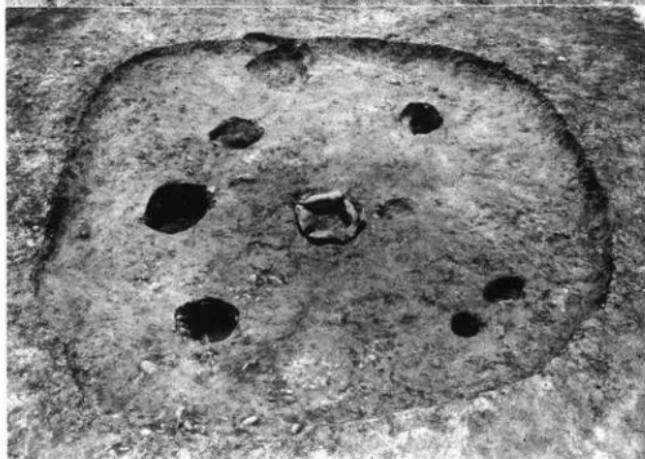
12号住居跡
12001、12003他
出土状況



12号住居跡
12005出土状況



12号住居跡
炉跡検出状況



12号住居跡
完掘状況



13号住居跡
遺物出土状況



13号住居跡
炉跡検出状況



13号住居跡
完掘状況



14号住居跡
遺物出土状況



14号住居跡
14008出土状況



14号住居跡
14008出土状況



14号住居跡
14008出土状況



14号住居跡
覆土内炭化材、焼土出土状況



14号住居跡
ピット6検出状況



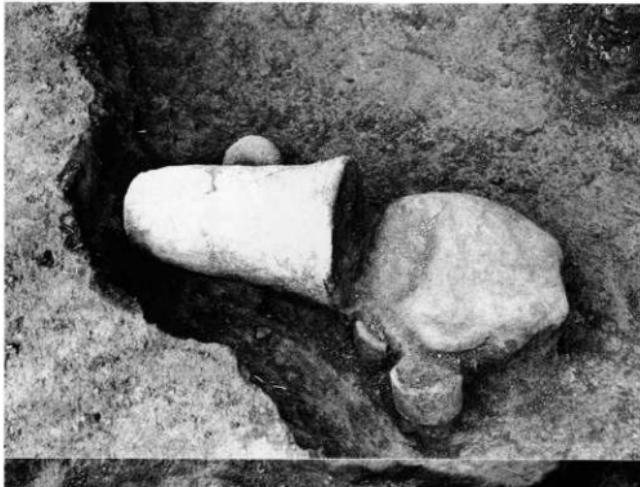
14号住居跡
炉跡検出状況



14号住居跡
完掘状況



15号住居跡
遺物出土状況



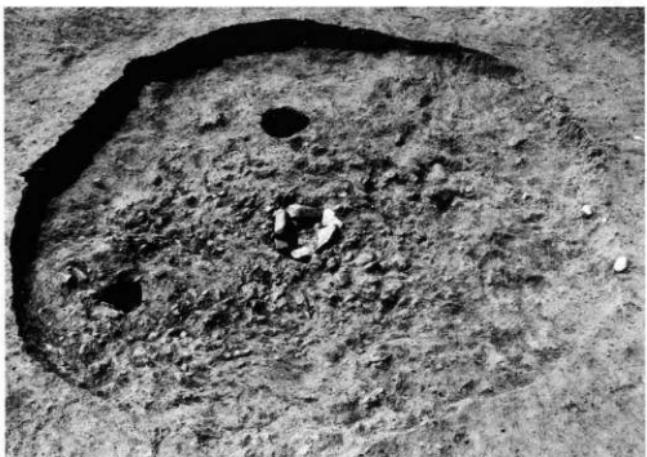
15号住居跡
15003出土状況



15号住居跡
15021出土状況



15号住居跡
炉跡検出状況



15号住居跡
完掘状況



16号住居跡
遺物出土状況



16号住居跡
16015.16020
出土状況



16号住居跡
16018出土状況



16号住居跡
16016出土状況



16号住居跡
16006、16037
出土状況



16号住居跡
16004、16074他
出土状況



16号住居跡
16033、16067
出土状況



16号住居跡
16012、16019
出土状況



16号住居跡
16070, 16081
出土状況



16号住居跡
16034, 16035
16084出土状況



16住居製石斧
出土状況



16号住居跡
09040出土狀況



16号住居跡
16006、16007
16010、16012他
出土狀況



16号住居跡
遺物出土狀況



16号住居跡
炉跡検出状況



16号住居跡
完掘状況



17号住居跡
17001出土状況

17号住居跡
完掘状況



18号住居跡
完掘状況



19号住居跡
19002出土状況





19号住居跡
19001、19004
01014出土状況



19号住居跡
19010、19011
出土状況



19号住居跡
炉跡検出状況



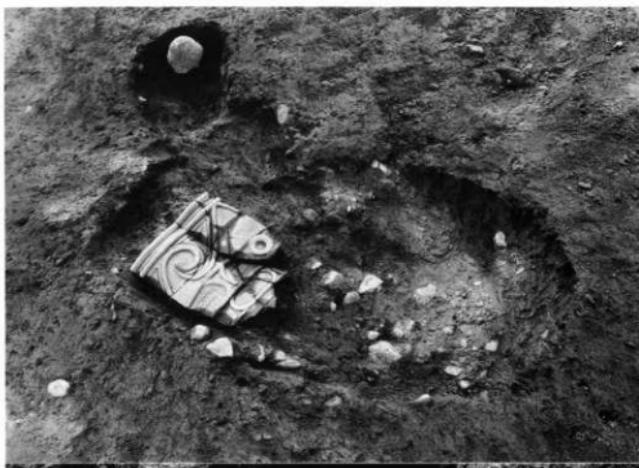
19、20号住居跡
完掘状况



20号住居跡
炉跡検出状況



20号住居跡
完掘状况



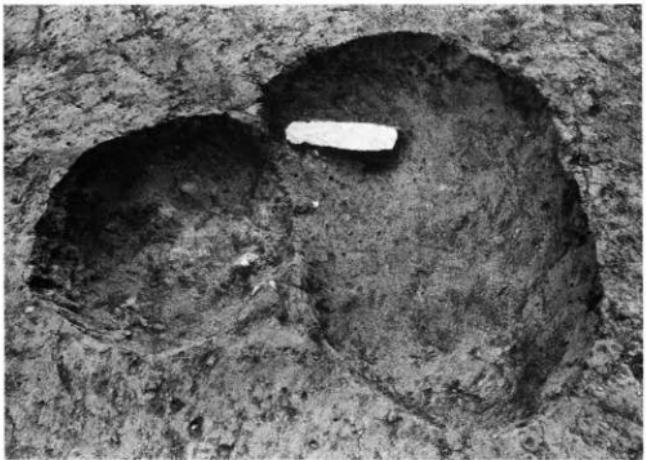
67号土坑



68号土坑



72号土坑



74号土坑



76、77、78号土坑



125号土坑



152号土坑



155号土坑



156号土坑



161号土坑



165号土坑



167号土坑



169号土坑



170号土坑



171号土坑





164号土坑



164号土坑



17号土坑



21、22号土坑



35号土坑



37、45号土坑



38号土坑



39号土坑



41、42号土坑



101号土坑（上面）



101号土坑（底面）



116号土坑



117号土坑



作業風景



作業風景



01001



01002



01003



01004



01005



01006



01008



01009



01010



01011



01012



01013



01014



01015



01016



01017



01018



01019



02001



02003



02004



02005



02006



02009



02010



02011



02014



02016



02017



02019



02022



02023



03001



03003



03006



03008



03009



03011



03012



03013



03014



03015



03018



03020



03021



03033



03035



03044



04001



04003



04004



04005



04006



04007



04008



04009



04010



04011



05001



05002



06001



06002



06005



06006



06007



07001



07002



07003



07007



07010



08001



08002



08004



08005



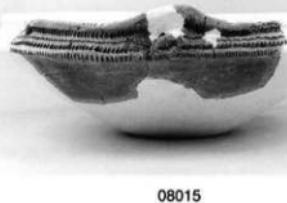
08006



08009



08011



08015



09001



09002



09003



09004



09005



09006



09007

09008

09009



09009

09009

09010



09011

09012

09013





10001



10002



11001



12001



12003



12005



12006



12007



13005



13009



14001



14002



14003



14004



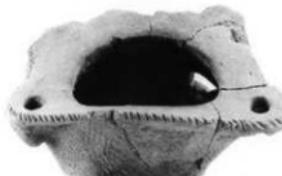
14006



14007



14008





15001



15003



15008



15013



15018



16001



16002



16003



16004



16006



16007



16005



16009



16007



16008



16010



16011



16012



16013



16014



16015



16016



16017



16018



16019



16020



16021



16022



16023



16024



16025



16028



16029



16030



16031



16032



16033



16034



16035



16036



16037



16038



16039



16042



16046



16047



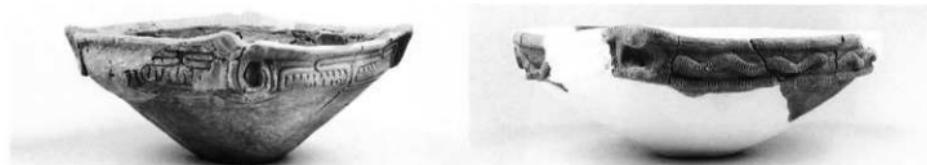
16053



16067



16070



16074

16076



16077



16078



16080



16081



16084



17001



17002



17004



17006



18001



19001



19002



19003



19010



19011



0014



0015



0018



0019



0020

0021

0026



0031

0032

0034



0036

0037

0040

0039



0041



0042



0055



0056



0057



0051



03043



16061



09031



16062



16063



03053



04019



09040



16099



15021



0054



01022



3段直前段反撲 L L R



15010



付加条繩文 R | L R



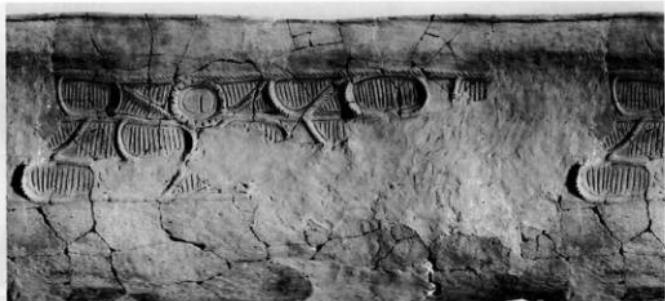
12008



付加条繩文
RL+L巻き付け



01001



01005



01010



03008





08001



09001



09002



09014





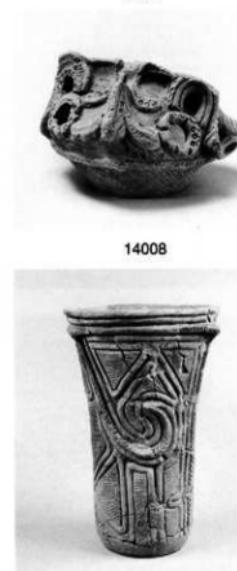
09015



12001



14008



16006





16007



16012



16015



16016





16018



16019



16074



0036



報告書抄録

ふりがな	こべいしだいⅣいせきⅡ		
書名	古林第4遺跡Ⅱ		
副書名	平成4年度埋蔵文化財発掘調査報告		
シリーズ	大泉村埋蔵文化財調査報告書 16集		
著者氏名	伊藤公明		
発行者	大泉村教育委員会		
編集機関	大泉村教育委員会		
所在地	〒409-1502 山梨県北巨摩郡大泉村谷戸3025 Tel 0551-38-3115		
印刷所	ほおずき書籍(株)		
発行日	平成14年3月31日		
古林第4遺跡	所在地	山梨県北巨摩郡大泉村西井出2466番地他 1/25,000地図名・位置・標高 谷戸 北緯35°51' 東経138°24' 標高870m	
概要	測量面積	4,458m ²	
	調査期間	平成4年7月1日～平成4年9月27日	
	主な時代	縄文時代中期中葉	
	主な遺構	縄文時代中期中葉 住居跡20軒 土坑178基 ピット約60基	
	主な遺物	縄文土器 石器 土偶 石製承飾 陶磁器 古鏡	
	特記事項	縄文時代中期馬蹄形集落 ヒスイ製品	

大泉村埋蔵文化財調査報告書 16集

古林第4遺跡Ⅱ

平成4年度埋蔵文化財発掘調査報告

平成14年3月31日 発行

発行 大泉村教育委員会

印刷 ほおずき書籍株式会社

〒381-0012 長野県長野市柳原2133-5

電話 (026)244-0235(代)

